

国立国語研究所学術情報リポジトリ

待遇表現の実態：松江24時間調査資料から

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-06-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001294

待遇表現の実態

— 松江24時間調査資料から —

1971

国立国語研究所

待遇表現の実態

— 松江24時間調査資料から —

1971

国立国語研究所

刊行のことば

国立国語研究所は、昭和 38 年度に島根県松江市において「国民各層の言語生活の実態調査」を行なった。この調査の目的は、市民の各層がどのような言語生活を営んでいるか、また、言語生活についてどのような問題を持ち、どのような意識を持っているかを調べることであった。

松江調査では、特に市民の話しことばに中心をおき、性別、年代、学歴、職業、居住経歴等から見たいいくつかの層における言語使用の実態を種々の観点から調査した。その一つとして、いわゆる「24 時間調査」を一市民の家庭において実施し、午前 6 時から午後 10 時の間、その家庭において行われたすべての会話を録音して、その文字化資料を作成した。

松江調査で重点的に採り上げた事からの一つに、待遇表現に関する種々の言い方がどんな場面にどのように選択されるかという問題があった。本書は、24 時間調査で得られた文字化資料をもとに、各種の待遇表現の現われ方について分析したものの、一部の報告である。

もちろん、この報告によって、松江市民の待遇表現の実態のすべてが明らかになったわけではない。しかし、実際の会話における例を分析したという点に、この調査研究の一つの特徴があると考えられる。

もう一つの特徴は、資料の処理に電子計算機を利用したことであろう。本研究所では、書きことば資料としては、新聞の語彙調査はじめ電子計算機を利用した調査研究を実施し、すでにいくつかの成果を公表してきたが、話しことば資料の処理という点では、本報告書における調査研究が最初の仕事である。処理計画立案の段階において分析方法の検討に不徹底な点などがあったため、電子計算機による処理が十分に利用されていない感もあるが、話しことば研究における一つの試みという意味で、将来のさらに進んだ研究方法の開発に役立つことができれば幸いである。

本報告書の執筆にあたっては、分析に関する部分は第四研究部第一資料研究室 南不二男、処理に関する部分は、松本昭（当時、同室員。昭和 42 年 4 月

1日 東京教育大学に転出)が、それぞれ担当した。

おわりに、特に私生活をわずらわすことの多い調査に長時間にわたって協力してくださった松江市の落合春雄氏の家族の方々に厚く御礼申しあげる。

昭和46年3月

国立国語研究所長

岩 淵 悦 太 郎

目 次

刊行のことば

0. 総説	1
0.1. 〔この報告書の意図・性格〕	1
0.2. 松江調査のあらまし	1
0.3. 24時間調査について	4
位置・目的 調査実施の概要 調査対象	
資料の種類・性格	
0.4. 分析と資料の処理	13
分析について 電算機による処理について	
0.5. 凡例	25
1. 分析	30
1.0. 待遇表現関係要素粗描	30
1.1. 談話	33
談話の認定 談話の分類 談話の実例 談話数と文数	
1.2. 参加者の種類と談話の種類	42
参加者の種類と communication 上の function 参加者	
の種類とことばの調子 参加者の種類と話題	
1.3. 談話の種類とていねい表現	46
communication 上の function とていねい表現 ことば	
の調子とていねい表現 話題とていねい表現	
1.4. 談話の種類と尊敬表現	52
communication 上の function と尊敬表現 ことばの調	
子と尊敬表現 話題と尊敬表現	
1.5. 談話の種類と要求表現	57
communication 上の function と要求表現 ことばの調	
子と要求表現 話題と要求表現	

1.6.	呼び名	62
	communication 上の function と呼び名 ことばの調子 と呼び名 話題と呼び名	
1.7.	今後の問題	72
	談話について 待遇表現の分析について 資料の処理と の関係	
2.	処理	82
2.1.	〔処理の目的〕	82
2.2.	65 MATSUE PLT (プログラム・ライブラリー・テープ)	82
2.3.	処理の実際	83
	文の段階 文節の段階 形態素の段階	
2.4.	今後の問題	104
3.	付録	106
3.1.	参加者の組と談話数, 文数	106
3.2.	談話の種類と待遇表現関係要素	118
3.3.	OUTPUT の例	127
3.4.	松江調査関係文献	223
3.5.	索引	225
3.6.	Summary	230

0. 総説

0.1. 国立国語研究所は、昭和38年度に、島根県松江市で「国民各層の言語生活の実態調査」（以下、「松江調査」と呼ぶ）を実施した。本書は、その調査の一部をなす、いわゆる「24時間調査」によって得られた資料の処理と分析の報告である。

松江調査は、いろいろの年齢、学歴、居住経歴、職業に属する一般市民が、日常どんな言語生活をいとなんでいるか、また言語生活についてどのような問題を持ち、どんな意識を持っているか、の実態を、話しことばに重点をおきながら明らかにしようという意図のもとに計画された。その計画の中には、いろいろな条件のもとにおける、各種の表現の使い分け——たとえば、いろいろな段階の待遇表現の使い分けとか、方言的表現と標準語的表現の使い分けなど——の実態を明らかにすることが含まれていた。この報告で扱うことがらは、もっぱらその面に関するものである。

本書における分析については、おもに南不二男、処理とくにコンピュータによる資料の処理については、おもに松本昭が、それぞれ担当した。執筆の分担はつぎのとおりである。

0. 総説

0.1.	0.2.	0.3.	0.4.1.	0.5.南
0.4.2.松本				

1. 分析南
2. 処理松本
3. 付録松本、南

なお、この仕事の初期の段階で、コンピュータによる処理プログラム作成のために、山本武氏（当時日本ビジネスコンサルタント社員、同社より国語研究所に出向）の援助をあおいだ。また、研究補助員沢田さち子、益子芳江、アルバイト安田悦子、小田久子が仕事を助けた。

0.2. 松江調査のあらまし。

松江調査は、以下のような各種の調査からなるものであった。^{注1)}

調査項目

(1) 言語生活の構造に関する調査

- a 一般市民の言語行動の内容。 b 市民の言語生活に対する意識。
- c 個人が一日の言語行動に費やす時間。

(2) 種々の条件（相手、話題、場所など）による、ことばの使い分けに関する調査

- a 家庭の内部あるいは外部における言語行動の変容。 b 市民各層における呼び名の使い方の変容。 c 東京語の敬語、松江方言の敬語に対する市民の意識。なお、付帯調査として、d 手紙文の中における敬語の使い方、e 外来語の浸透状況についても調べた。

(3) 言語環境に関する調査

- a 市民の言語的環境（市街地の看板・掲示、ラジオ・テレビ・地方新聞・広報紙・通達・チラシ広告など、図書館・貸本屋の利用状況、文房具等の利用状況など）。 b 市民のコミュニケーション的環境（交通圏、商業圏、人口動態）

調査実施の概要

(1) 準備調査（昭和38年7月1日～7月6日）

- a 基礎抽出の準備。 b 松江方言の体系記述。 c 生徒調査のプリ・テスト。 d 言語環境調査。 e 交通圏調査。

(2) 概観調査

① 基礎調査（質問紙調査。昭和38年10月1日～10月8日）

〔調査事項〕 調査票A：市民一日の言語行動の種類、きまり文句のあいさつ、外来語の理解度。 調査票B：場面や相手による敬語の使い分け。 調査票A、B共通：新聞・雑誌・手紙・電話の利用度、言語生活および方言と共通語に関する意識。

〔調査対象〕 住民登録票に基づき、旧市域および上^{あげの}乃木町・浜^{はまの}乃木町・古志^{こしはら}原町地区に住む15歳～69歳の市民1,887人を選んで、調査表を届け、1,414通を回収した。（抽出比1/25、回収率74.9%）

② 市民調査（面接調査。昭和38年11月26日～12月3日）

〔調査事項〕 主として場面による敬語の使い分け。

〔調査対象〕 基礎調査票で回収できた1,414人の中から、さらに男女、年齢、居住経歴によって220人を選び、所員8人と島根大学学生6人が面接調査した。

③ 生徒調査（集合調査。昭和38年10月2日～10月5日）

〔調査事項〕 家庭内の言語生活の実態および意識。外来語の理解度。

〔調査対象〕 市内小学校3校（各校とも、5年生2学級ずつ）、市内中学校5校（各校とも2年生、うち4校は2学級ずつ、1校は1学級）、市内高等学校3校（各校とも3年生、うち2校は2学級ずつ、1校は1学級）。

④ 主婦調査（面接調査。昭和38年11月26日～12月4日）

〔調査事項〕 生徒調査の場合に同じ。

〔調査対象〕 生徒調査の家族構成の記載に基づき、しゅうとまたはしゅうとめと同居する主婦90人（俸給生活者、商業、農業の各層にまたがるよう考慮）を選び、所員4人によって面接調査をした。

⑤ 婦人学級調査（集合調査。昭和38年11月30日）

〔調査事項〕 生徒調査、主婦調査に同じ。

〔調査対象〕 ^{もちだ}持田婦人学級（62人）。

⑥ PTA調査（集合調査。昭和38年11月27日、12月2日）

〔調査事項〕 生徒調査・主婦調査・婦人学級調査に同じ。なお、この調査に付随して「手紙文の敬語調査」も実施した。

〔調査対象〕 島根大学付属中学校PTA（39人）、松江市立第四中学校PTA（42人）。

(3) 事例調査

① 24時間調査（昭和38年11月29日）

松江市生えぬきの家族よりなる一家族を選び、その家族および訪問者の言語行動を一日じゅう観察し、記録した。観察・録音は、午前6時から午後10時までの16時間。実施の詳細については、0.3.参照。

② 継続観察調査（昭和38年11月30日～12月1日）

24時間調査を補うものとして、毎日1～2時間ずつ、違った時間帯で何日間か継続的に観察し、記録した。調査対象は、デパート店員（21歳女。延べ5時間）、古書籍商（35歳男。延べ4時間）、高級公務員（53歳男。延べ3.5時間）の3人。

③ 裏づけ調査（昭和39年3月12日～16日）

市民調査の結果、疑問の残る点、さらに細かく調べたい点などを、松江市生えぬきの各年齢層の市民数人について面接調査をした。

これらの調査は、林大（委員長）、齋賀秀夫（幹事）のほか、石綿敏雄、柴田武、林四郎、松本昭、南不二男、渡辺友左よりなる調査委員会が、その企画・実施にあたった。（24時間調査実施の時には、さらに高田正治が参加した）

また、個々の調査の結果については、何人かの委員がすでに発表したものがある。それらについては、「松江調査関係文献」の項（p.223, 224）を参照していただきたい。

0.3. 24時間調査について。

0.3.1. 位置・目的。上にあげた各種の調査のうちで、おもな部分をしめる、(2)の概観調査は、質問紙に対する書き込み、または面接調査によるものであった。つまり、この方法は、調査対象となった市民各個人の内省に頼るものである。

調査方法としては、このような調査対象各個人の意識を調べるやり方のほかに、言語行動が実際に行なわれる現場をおさえるやり方も考えられる。(3)の事例調査はそれであり、24時間調査はその一つであった。

この事例調査によって、われわれは、概観調査で得られた結果を実例によって裏づけすることもできるし、また、その結果を訂正することもできるはずである。24時間調査について、われわれが期待したのは、

- a 方言的表現と標準語的表現の使い分け
- b 待遇表現の各種の段階における言い方の使い分け
- c あいさつ

d 呼び名

e 家庭内の言語生活（とくに家族間の会話——だれとだれがよく話しか、話さないかなど）

などの実態であった。これらの諸点のうち、とくにa, b, c, dは、概観調査のうちの①基礎調査、②市民調査の結果の裏づけと訂正のために役立つと考えてよいであろう。また、eは、③生徒調査、⑤婦人学級調査、⑥PTA調査などの結果に関係させて扱うことも可能と思われる。また、記録された会話の中には、④主婦調査の問題に関する話題を含むものもあった。^{註2)}

最初の予定では、調査対象にえらんだ家庭の主婦の言語行動だけの観察と記録に重点をおくはずであった。しかし、結果としては、他の家族や訪問者の発話もほとんど記録することができた。分量が多くなったために、ある程度正確さを減じた部分もあるが、一方では、上にのべたような、いろいろな問題に係のある資料が得られた。

また、この資料は、いうまでもなく何人かの話し手と聞き手による、実際の発話の記録である。個々の切りはなされた文ではなく、一つづきのまとまった会話をいくつか含んでいる。それで、一種の会話の文章の研究のための資料として使うことができると考えられる。この観点からの資料の分析は、待遇表現の使い分けや、方言的表現と標準語的表現の使い分けの問題とも密接な関係がある。

本書では、資料処理の関係で、16時間分の資料全部の分析はできなかった。扱ったのは半分の約8時間分（午前6時から午後2時まで）にとどまった。他の事例調査、すなわち継続観察調査の資料は、その整理が済んでいないので、使うことができなかった。

松江調査以前に行なわれた24時間調査としては、福島県白河市で行なわれたもの（昭和24年）と山形県鶴岡市で行なわれたもの（昭和25年）とがある。^{註3)} これらの調査は、以下にあげることがらに重点をおいていた。

(1) 一日じゅうの言語量。

話題の数、文の数、文節の数。

言語量の時刻別分布。

一日のとなり語数。

- (2) よく使われることば。

語と文節の使用度数。

よく使われる語の個人的相違。

- (3) 一日のうちどのくらい読み書きするか。(鶴岡ではラジオ聴取の状況も)

- (4) 話しことばの文の長さ。(鶴岡では文節の長さも)

つまり、白河、鶴岡の調査のばあいには、一日じゅうの言語量、語、文節の使用度数、文、文節の長さなど言語の量的な面に重点がおかれている。それに対して、松江調査では、もちろん量的な面も当然扱われるけれども、中心はことば——とくに待遇表現——の使い分けの実態という、いわば質的な面にある。また、調査対象となった発話者も、白河 4 名、鶴岡 3 名であったが、松江のばあいは 29 名にのぼる (同居家族 5 名、訪問者 24 名)。記録の方法も、白河、鶴岡の時は、手書きまたは一部録音機併用であったが、松江では、全面的に録音機にたよった。以上のように、この松江での 24 時間調査は、それ以前の二つの調査とは、いろいろの点で違っている。

0.3.2. 調査実施の概要。調査を行なった日時、場所は次の通りである。

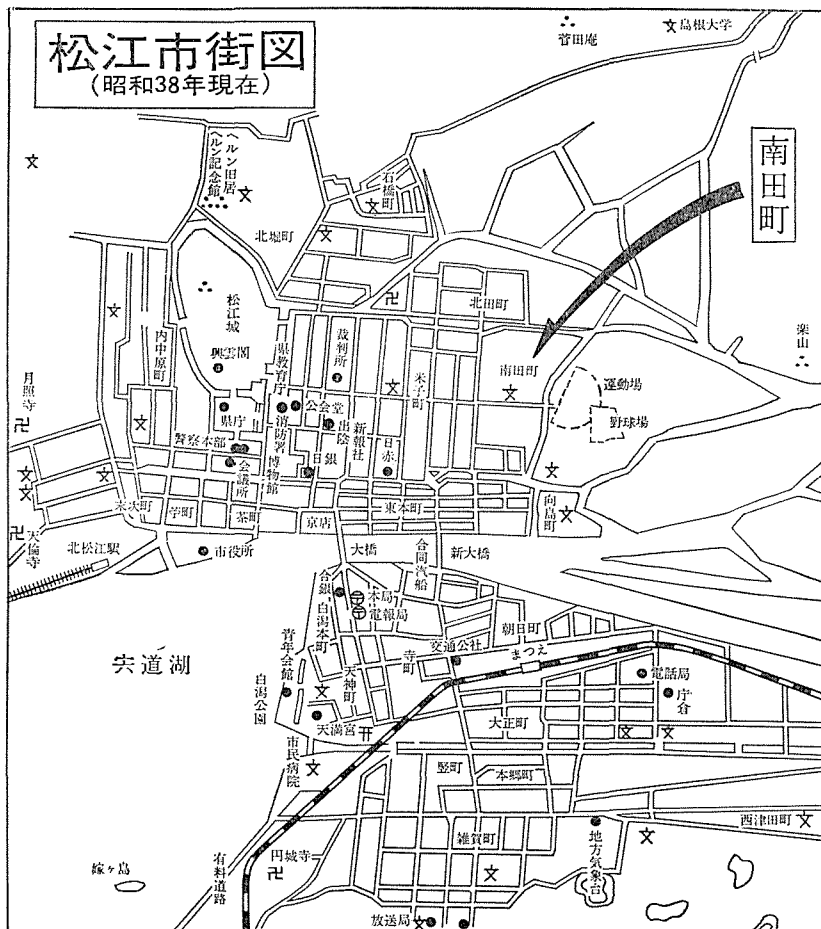
昭和38年11月29日午前6時から午後10時まで (約16時間)。

松江市南田町^{みなみだ} 127 番地、落合春雄氏宅。南田町は、松江市旧市域の中心からやや東によったところにある。住宅地域である。(次ページ地図参照)

当日は、録音機 2 台を置き、交互に使った。マイクロフォンは同時に 3 個使用し、会話がいちばん多く行なわれると思われる、茶の間、台所に配置した。

調査員は 2 人 1 組となって、録音テープのとりかえ、音量の調整などにあたり、また、発話者の行動について適宜メモした。1 組 1 時間半ないし 2 時間で交代した。調査員、録音機などは、家族や訪問者に見えないようにして、できるだけ発話者に影響をあたえないよう注意をはらった。また、録音時間中は、家族と調査員の会話を禁じた。しかし、一部調査員の不注意により、また、やむをえない事情によって、家族と調査員の間に会話が生じたばあいが、ほんのわずかあった。

録音テープは、大きさ 7 インチ、速さ 9.5 センチ/秒で、のべ 10 本。実際に



は、うらおもてを使ったので、6本で足りた。

当日、落合氏宅で行なわれた会話のほとんどは記録されたといってよい。ただし、家族が外出したばあいの発話は記録できなかった。近所、たとえば、隣家とか近くの商店に、家族、とくに主婦が、外出した際の記録のために、携帯用録音機を用意したが、実際にはほとんど役に立たなかった。ワイヤレスマイククロフオンを使用すれば、この種の発話もある程度は記録できたはずである。そのほか、テープのかけかえの際の不手際で、数分間録音もれができた箇所がある。

録音状態は、ふつうの日本家屋で、日常そのままの状態で録音したのであるから、きわめて良好であったとはいえない。しかし、そのような条件のもとでは、まずいい方であったというべきであろう。茶の間および台所の茶の間に近い部分で行なわれた会話、とくに発話者が坐って話しているばあいのものは、ほぼ完全に記録されている。茶の間の隣りのへやでの会話は、一般に聞き取りがむずかしいものが多かった。台所の出口あたりのものも、やや聞きにくい。

0.3.3. 調査対象。その発話が記録された発話者は、全資料においては、5人の同居家族および訪問者24人である。この報告書で扱う範囲内では、同居家族5人、訪問者16人である。以下に、報告書で扱う範囲の発話者をあげる。（敬称略）

同居家族

落合寿美子	主婦	明治37年生	旧高女卒	
落合春雄	主人	明治38年生	高小卒	漁業
落合 ^{やちよこ} 八千代子	三女	昭和11年生	高校卒	事務所勤務
落合 ^{とくすけ} 恵友	長男	昭和17年生	高校卒	会社勤務
神門 ^{かんと} 幸子	主人の妹 ¹	大正7年生		病院勤務

訪問者

新聞配達

落合徳三	主婦の兄	明治35年生	旧中卒	会社勤務
野菜売りの婦人 ¹		30歳台?	市内西尾町から	
落合てい	主婦 ^{注4)} の母	明治19年生	女子師範卒	
野菜売りの婦人 ²		60歳台?	市内 ^{あさくみ} 朝酌町から	

洋服屋店員

郵便配達

奥村節子	落合氏長女	昭和5年生	旧高女卒	八東郡島根村 ^{やつか} 加賀 ^{かか} に住む
山内某		30歳~40歳?		山陰合同銀行員
福島登		20歳台?	高校卒	富士銀行員
村上某	近所の奥さん	60歳台		
金津某		40歳台?(女性)		温灸師
蒲生八重子	主人の妹 ²	明治45年生		落合家の隣りに住む
クリーニング屋 ¹				
寺本某	主婦の友人	主婦と同年輩	旧高女卒	
クリーニング屋 ²				

以上の発話者の、資料に現われた行動を、時間を追って簡単に示す。

- 6 時 主婦（落合寿美子）すでに起床。
- 6 時15分 主人（落合春雄）起床。主婦と話。
- 6 時35分 長男（落合恵友）起床。主人の妹₁（神門幸子）起床。
- 6 時50分 新聞配達来る。主人，主婦，主人の妹₁ の間で雑談。
- 7 時 主人，朝食を食べずに外出。
- 7 時すぎ 三女（落合八千代子）起床。主人以外の家族の朝食，出勤準備など。
- 8 時すぎ 主婦の兄（落合徳三），花を持って来る。主婦，三女と数分話して帰る。三女，長男，主人の妹₁ あいついで出勤。
- 8 時30分すぎ 野菜売りの婦人₁ 来る。主婦，二三の野菜を買う。しばらくして帰る。
- 8 時55分 主婦の母（落合てい）来る。へやに上って，主婦と，家族，親戚のうわさ，その他の世間話。
- 9 時55分 野菜売りの婦人₂ 来る。へやに上る。主婦，主婦の母を相手に，大根，かぶの話，漬物の話，世間話などをする。
- 10時20分 野菜売りの婦人₂ 帰る。洋服屋の店員来て，用件だけで帰る。
- 10時30分 郵便配達来る。長女（奥村節子）来る。へやに上って，主婦，主婦の母と話を始める。
- 10時33分 山陰合同銀行員（山内某）来る。へやに上って，主人の帰りを待つ。主人，漁でとれた魚を持って帰宅。しばらくして，富士銀行員（福島登）来る。山陰合同銀行員，用件をすませて帰る。主人，主婦の母，富士銀行員の間で雑談。
- 10時56分 近所の奥さん（村上某），ちょっと来て帰る。
- 11時24分 富士銀行員帰る。このあと，主人，主婦，主婦の母，長女で，魚のよりわけをしながら雑談。

- 12時35分 温灸師（金津某）来て、へやに上る。（主人に温灸をするため）
- 12時55分 主人の妹₂（蒲生八重子）来る。魚のよりわけに参加。
主婦の母、長女と話す。昼食はじまる。^{注5)}
- 13時24分 クリーニング屋₁来て、用件だけで帰る。温灸師、治療をすませて、話に仲間入りする。
- 13時32分 主婦の友人（寺本某）、女学校の同窓会名簿のことで来る。主婦、長女としばらく話して帰る。
- 13時50分 クリーニング屋₂来る。温灸師帰る。そのあと、主人、主婦、主婦の母、長女、主人の妹₂の間で雑談。

0.3.4. 資料の種類・性格。この調査の結果から作られた資料には、次の種類のものがある。

(1) 録音資料

録音時間：約16時間（午前6時から午後10時まで）

録音テープの大きさ：7インチ

速度：9.5 cm/秒

原テープ：6本（表6本分、裏4本分）

コピーテープ：10本（表のみ）

(2) 文字化資料

録音資料は調査後文字化した。文字化資料には次の三種のものがある。

- a 音声表記テキスト。録音資料を聞きながら文字化した、最初のテキストである。

分量：16時間分全部

表記：国際音声字母による簡略表記。ただし、テープ（片面）二本分（午後5時15分ごろから午後8時30分ごろまで）はカタカナ表記。

付加情報：話し手、文にあたる部分の切れ目、文節にあたる部分の切れ目。

- b 音韻表記テキスト。理論的に言えば、aのあとに来る第二次的テキストである。aのテキストは、そのときそのときの発話の音声上の形に

近い表記なので、同じことばでも表記が違ふことがよくある。このbのテキストの方は、一応の音韻論的解釈をへた形にしてあるので、ことばの形が一定している。ことばの形が一定しているということからいえば、次のcにあげる形態音韻表記テキストの方がさらに一定している。しかし、cのテキストは、書かれた面では実際のことばの形に遠い。

分量：約8時間分（録音テープ片面5本分）

表記：音韻表記（原則として国際音声字母使用）

付加情報：文番号、話し手：聞き手コード（これはさらに、次の情報を含む。同居家族／訪問者の別、個人番号、性別、詳細は0.5参照）、文の切れ目、文の種類（三種。普通文、疑問文、中断文）、文節の切れ目。

- c 形態音韻表記テキスト。理論的に言えば、第三次資料である。ことばを形態素に分析し、それを形態音素で表わしてある。これは、直接には、コンピュータに input して処理するために作ったテキストである。実際の作業の過程では、aのテキストからすぐこのcのテキストを作り、そのあとでcからbのテキストを作った。音韻化規則によって、このcの形態音韻表記テキストを、bの音韻表記テキストに転写することが可能だったからである。また、それを前提として、形態音韻論的分析を行なった。

分量：約8時間分（録音テープ片面5本分）

表記：形態音韻表記（HITAC 3010の64文字コード使用）

付加情報：文番号（bの場合と同じ）、話し手：聞き手コード（bの場合と同じ）、文の切れ目（bの場合と同じ）、文の種類（bの場合と同じ）、文節の切れ目（bの場合と同じ）、形態素の切れ目。

以上三種のテキストのうち、b、cのテキストが全体の約半分しかないのは、主として担当者（南）の非能率による。

これらの資料が、松江市民の言語生活の実態をよく代表しているものであるかどうかについては、かなり問題がある。

第一に、調査対象にえらんだ家庭が、松江市民の一種の平均的な生活に近いものであるかどうか、ということである。その点では、あまり平均的であるとは言えないかもしれない。職業の漁業は、松江市の中でもきわめて少ない職業だからである。^{注6)}しかし、あえてここをえらんだのは、この種の調査は、被調査者に大きな犠牲を強いるものであって、落合家のような自発的な協力は、他に期待できるかどうか、疑問だからであった。

第二に、これは必然的に、一つの家庭における、一日の記録が、言語生活——たとえそれを話しことばの面だけに局限してみても——のすべての分野をおおうものであると言い切れない。おそらくそれは不可能である。だから、この記録だけをもって、すべての分野における実例を得るための資料とすることはできない。しかし、上述のように、当日は偶然わりに多くの訪問者にめぐまれて、いろいろな種類の発話を記録することはできた。

第三に、被調査者がこの調査を意識するために、ふだんとは違った点がいくつか言語行動の上に現われたのではないか、ということである。前にものべたように、調査員や録音機類を目につかぬようにして、出来るだけ影響をおよぼすことを避けたが、すでに調査が行なわれていることを知っている被調査者にその影響を全然なくすることは不可能なことである。ただ、それをわずかな程度にとどめることは出来たと考えられる。また、訪問者の多くは、調査が行なわれていることを知らなかった。調査のことをまえもって知っていたのは、同居家族の全部5人と、訪問者の中では、主婦の兄、主婦の母、長女、主人の妹²の4人であったと思われる。すなわち、同居家族、訪問者あわせて21人のうち、9人が調査を知っており、12人は知らなかったということになる。

第四に、とくに文字化資料についての問題がある。録音資料の文字化のためには、「準備調査」における「松江方言の体系記述」が役立った。しかし、録音状態不良のための聞き取り困難、あるいは松江方言についての知識不足のためのことばの認識困難が原因となって、文字化できなかった部分がすくなくある。また、文字化してあってもまちがっている箇所もすくなくないと想像される。^{注7)}なおまた、二組以上の会話が行なわれている際には、聞き取りがむずかしい方の組の会話を一定時間無視して文字化しなかった場合もある。

以上の諸点から考えて、この記録が完全な資料であるとはいえない。相当程度までは、言語生活の実態を反映しているとは考えられるが、具体的ないくつかの点について、それぞれその信頼できる程度を客観的に示すことは出来ない。

0.4. 分析と資料の処理。

0.4.1. 分析について。

この報告書における分析の一般的な目的は、まず、待遇表現にもっぱら関係していると考えられるいくつかの言語要素と、それらの要素の選択を規定しているいくつかの条件を明らかにすることである。

ここで問題にする言語要素は、いわゆる「ていねい表現」「尊敬表現」「要求表現」および呼び名に関係したものに限る。取り扱う具体的な形は、多くの場合、形態素または形態素の連続である。

資料に現われているこれらの要素には、方言的な形のものもあるし、標準語的な形のものもある。たとえば、GOZAINS と GOZAIMAS <いずれも「ございます」にあたる>、NASAINS と NASAIMAS <いずれも「なさいます」にあたる>、RAE と RARE <いずれも「られる」にあたる> など。また、あらたまった形のものも、それほどあらたまった形でないものも現われている。たとえば、ANATA <あなた> と ANTA <あんた>、(…te) kudasaimase <(…して) 下さいませ> と (…te) cjoodai <(…して) ちょうだい>。研究の目的いかんによっては、これらは厳密に区別して扱わなければならないだろう（たとえば、そこの方言の文法体系の記述など）。しかし、ここでは、それらの混在状態そのものが分析の対象となる。各種の条件のもとでの、各種の要素の選択の実態を明らかにすることが目的だからである。

要素の選択を規定する条件の種類についてはいろいろの観点がありうる。たとえば、言語体系内のものと言語体系外の間を区別するのも一つの見方である。標準語では、いわゆる連体修飾語の中の述語の部分に「ます」が現われることがすくない傾向がある。さらに、たとえば「…ながら」という句の中には「ます」は絶対に現われることが出来ない（*手ヲフリマシナガラ走りマシ

タとは言えない。手ヲフリナガラ走りマシタは言える)。このような制約は、まったく言語体系内部の事情によるものである。それに対して、性別、年代、社会的地位(階級)、学歴などの違いがもしいくつかの要素の選択に関係があるならば、それらは一応言語体系外の条件とみなすことが出来るかもしれない。たとえば、女性は「あなた」「ございます」を男性にくらべて多く使うとか、若い世代の女性は男に対する呼び名に「…君」の形を用いることがあるが、古い世代の女性にはそれがない、といったようなことなどはそれに関係のある現象であろう。しかし、これらの諸条件も、言語要素の選択に関係している限り言語的な存在であると主張する考え方もありうる。この際、言語的か言語的でないかという区別それ自身はそれほど重要でないかもしれない。重要なのは、どんな条件がどんな要素の選択にどのように関係しているか、ということである。ただ、上に例としてあげた、連体修飾語やある種の従属句の構造にもっぱら関係したもの、いわばせまい意味での言語体系内部のことがらが条件になっているものと、一方性別とか社会的な階層といった、一応言語をはなれても存在しうることがらが条件になっているものとの違い(また両者の間にはいろいろな段階のものがあることが想像されるが)は認めなければならないであろう。

条件の種類については、とくに、せまい意味での言語体系の外のことがらが条件になっているものについては、別の見方もありうると思われる。それは、いわば固定的(または絶対的)な条件と、臨時的(または相対的)な条件との区別である。たとえば、性別、年代(相手との相対的な年代の違いを問題にしない場合の)、学歴、職業、出身地などは、一応話し手にとっては動かすことの出来ない固定的(絶対的)なことがらである。それに対して、そのときそのときの話の相手とのいろいろな関係(相対的な年代の違い、みうちかみうちでないか、主人側か客側かなど)、そのときそのときの話の持っている communication の上での function、またはそのときそのときの話題などが、いろいろな言語要素の選択に関係しているならば、それらはいわば臨時的(相対的)な条件と見ることが出来るであろう。

松江調査における、24時間調査以外のいくつかの調査では、どちらかという^{注8)}と固定的(絶対的)な条件を問題にしたものが多い。それに対して、ここでも

っばら問題にしようとするのは臨時的（相対的）条件といろいろな要素の現われとの関係である。

それぞれの要素の選択についての臨時的（相対的）な各種の条件を明らかにするためには、問題の要素の現われる具体的な言語表現およびその周辺のいろいろな事実を分析する必要があると思われる。ところで、言語（要素）の具体的な現われは、多くの場合、大きいにしろ小さいにしろ、ひとまとまりの文章（discourse）の形をとるのがふつうである。従って、ここで問題にするような条件を明らかにするためにはまず文章およびその周辺のいろいろな事実^{注9)}に何らかの意味での分析を加える必要があると思われる。さらにまた、文章の構造それ自身にも、ひとつひとつの言語要素（文、単語、形態素あるいは音素など）の現われを規定する条件が見出されるのではないかと予想される。

言語表現を文章の形で見えるためには、もちろんある程度の長さを持ったテキストが資料として必要である。その点に、ここで扱う資料の、この種の研究のための有利さがあると考えてよいと思われる。ここでの分析は、そのようなテキストにおける文章を通して見られる、いくつかの条件と待遇表現関係の諸要素の現われとの関係を見ることに重点をおいた。

待遇表現関係の諸要素の現われについての分析を完全なものに近づけるためには、考え得るすべての条件（要素の選択に関する）およびそれによって起こる結果を明らかにすることと、それらの、条件——結果という組み合わせの、おたがいの間の関係、別のことばで言えば、個々の条件——結果という組み合わせの、全体的な要素の選択の過程における位置を明らかにすることが必要と思われる。すなわち、要素の選択の過程に関する全体的な体系を明らかにすることである。ところで、この報告書で取り上げるのは、あとでのべるように、ここで談話と呼ぶ、文章論上の一種の仮定的な単位の種類とその談話に参加する話し手、聞き手との関係、および待遇表現関係の諸要素と談話の種類との関係である。ある談話に参加する話し手、聞き手のいかんは、その談話の型または種類の選択に関する条件の一部である可能性が大きい。また、談話の種類^{注9)}のいかんは、そこに現われる待遇表現関係の要素の選択に関する条件の一部である可能性も大きい。しかし、これだけが要素の選択に関する条件の全部である

かどうかについては問題がある。おそらく、資料における待遇表現関係の要素の選択に関する全体的な体系を作るには不十分ではないかと思われる。すなわち、すべての種類の条件はまだ分析されていないわけで、いわば質的に不十分である。一方にもう一つの問題がある。ここでは要素の現われ方を数の形で示す場合が多い。しかし、それは厳密な意味での統計学的な検討を経たものではない。一種の全数調査であるが、数の形ではっきりした結論を出すためには、理論的に検討が不十分、またしばしば量的にも不十分であると思われる。加えて、資料そのものにいくつかの問題があることは前にものべた通りである（→ 0.3.2.）。以上のことから考えて、この報告書の内容は、資料における待遇表現関係の要素の現われの実態を十分分析した結果とは言い難い。にもかかわらず、それをあえて示すのは、ここで問題にするようなことがらの分析のための、一つの新しい観点を提出し、また、そうした観点から眺めた事実のいくつかを報告しようとするからである。

0.4.2. 電算機による処理について。

0.4.2.1. 本報告の分析研究のために、「65 MATSUE」と銘うたれて開発された、言語研究補助用のプログラムが利用された。

このプログラムの目的は、文・文節・形態素のごとく、三段階に分割されている文字化（ローマ字化）資料——本報告に即して言えば、0.3.4. の ②のc「形態音韻表記テキスト」——を各段階ごとにその全レコードを磁気テープに記録（ファイル化）し、その上で必要な整理、分類、統計処理を行い、さらには、リクエストに応じて必要項目の選択および各項目に対する付加情報——時間帯、話し手、聞き手、文番号など——にもとづく分類、配列をおこなった上で、その結果を、高速印字機（ラインプリンター）で印字し、言語研究者の分析のために、すぐに役立つ形でそれぞれの段階の資料を提供することにある。

この「65 MATSUE」というプログラム名称は、その立案・着手された年度（昭和40年＝1965年）と、それが松江調査の資料の分析を直接の目的として計画されたということを示すものであるが、松江資料以外のものであっても、それが三段階以下に分割されているローマ字化された資料であるならば、このプログラムを利用して処理することが可能である。また、付加情報も本報告の場

合のように、時間帯、文番号、話し手、聞き手というように固定して考える必要はない。資料の種類や分析の目的に応じて、巻数、ページ数、話題の分野別、文体別、等々、全く別の意味をもつコードをそれぞれの位置にあてはめて処理することも可能である。ただこのプログラムが、元来、多人数の話し手・聞き手による自然な発話・会話を録音したものを可能なかぎり忠実に文字化した資料を分析する目的で作られているため、もともと文書の形で存在する言語資料を分析する場合には、いささか無駄な面のあることは否めないであろう。

以下、本報告の資料分析の場合に即した形でプログラムの概要を説明しよう。（ゼネラル・フローチャート参照）

0.4.2.2.

I 文の段階

I—1 0.3.4.の(2)のcに示された、文番号、話し手：聞き手コード、文の種類などの付加情報をつけて、一文づつを一ブロックとする形でパンチされた紙テープ（原始入力テープ）を読みとり、形式上のエラーをチェックしながら磁気テープに書きこむもの。

——プログラム名称 65 MATSUE 1——

I—2 原始入力テープに存在したエラーの訂正・削除、および脱落のあった文の追加をし、各レコードに時間帯情報を挿入して、マスターファイル（磁気テープに記録されたもの）を作製するもの。配列順序は、文番号による。

——プログラム名称 65 MATSUE 2——

I—3 あとから追加して作製された原始入力テープにもとづく新しいマスターテープができた場合、既存のマスターファイルと次に出来たマスターテープとを総合して、新マスターファイルを作るマージ・プログラム。配列順序はI—2と同じ。

——プログラム名称 65 MATSUE 3——

I—4 マスターファイルに収められたすべての文を、話し手、聞き手、時間帯の三つのkeyによって分類配列（ソート）した結果を印字するもの。（ソートは HITAC 3010 ソート・ルーチンを利用する。以下同様）この処理結果は、だれがだれと、どのように話し、また話さないかという、言語生活の実態（0.3.1.のe参照）を、時間の流れの中に見ることに役立つもので

ある。

プログラム名称 65 MATSUE 5——

Ⅱ 文節（長語）の段階

Ⅱ—1 「長語見出し立てプログラム」文段階のマスターファイルを入力として、そこにあるすべての文にふくまれる全文節（長語）の一つ一つを見出し語として、それをふくむ文および付加情報をつけたものを別の磁気テープに書きこむもの。——プログラム名称 65 MATSUE 6——

☆ この磁気テープを入力として、見出し語をアルファベット順にソートすれば、文節（長語）段階のマスターファイルができる。このファイルは、文節を見出し語とし、その文節をふくむ文が付記されているカードを、アルファベット順に配列整理したものと同様の価値をもつ。同一語形を見出し語とするレコード群の内部は、更にその見出し語をふくむ文の番号順に配列されている。

Ⅱ—2 「度数つき長語リスト」の作製。文節（長語）単位でことなり語数、のべ語数の計算をし、各語について、出現度数のついた語彙表を作成する。最終ページには、全体のことなり語数と、のべ総語数とが示される。

——プログラム名称 65 MATSUE 8——

Ⅱ—3 調べたい文節の語形（語数に制限なし）を指定すると、文節段階マスターファイルから、該当するものをえらび出し、それらの見出し語をふくむすべての文を、その話し手、聞き手、文番号などの情報をつけて印字・作表するもの。全文節について作表することも可能。

——プログラム名称 65 MATSUE 6 A——

Ⅱ—4 リクエストされた見出し語について、話し手、聞き手、文番号の順でソートした上で、その結果を、話し手—聞き手のことなりに応じて、用いられた見出し語とそれのあらわれた文の番号とを印字するもの。リクエストする見出し語の選定を工夫すれば、待遇表現の現われ方を規定する非言語的条件を考察する上で直接的に役立つ資料をうることができる。(0.4.1.参照)

——プログラム名称 65 MATSUE 6 B——

Ⅲ 形態素（短語）の段階

Ⅲ—1 「短語見出し立てプログラム」文節段階マスターファイルを入力

とし、形態素（短語）を見出し語として、その形態素をふくむ文節、文、その他の付加情報をつけたレコードを、出現したすべての形態素について作製して、別の磁気テープに書きこむもの。

——プログラム名称 65 MATSUE 7——

☆ この磁気テープを入力として、見出し語のアルファベット順ソートを行えば、形態素（短語）段階のマスターファイルができる。このファイルは形態素を第一次の見出し語とし、それをふくむ文節を第二次の見出し語として、それらをふくむ文を付記してあるカードのストックと同様の価値をもつ。同一見出し語をもつレコード群の内部は、更にその形態素をふくむ文節のアルファベット順、更にその次は話し手、聞き手、文番号、という order で分類されている。

Ⅲ—2 「度数つき短語リスト」の作製。形態素（短語）単位で、ことなり語数、のべ語数を計算し、各形態素ごとの出現総度数およびその形態素をふくむ各文節の出現度数を示し、最後に全体の形態素のことなり語数、のべ語数を印字するもの。同時に、このリストと同内容の磁気テープを作製する。

——プログラム名称 65 MATSUE 90~91——

Ⅲ—3 「リクエストによる度数つき短語リスト」の作製。上記（Ⅲ—2）の短語リストを実際に印字すると極めて膨大なものとなるので、実際には調べたい形態素についてのみ作表させることが多い。その場合には、Ⅲ—2の印字開始直前の停止後に、印字をせずこのプログラムをよび出して処理を実行すれば、調べたい形態素についてだけ作表する。（語数制限なし）

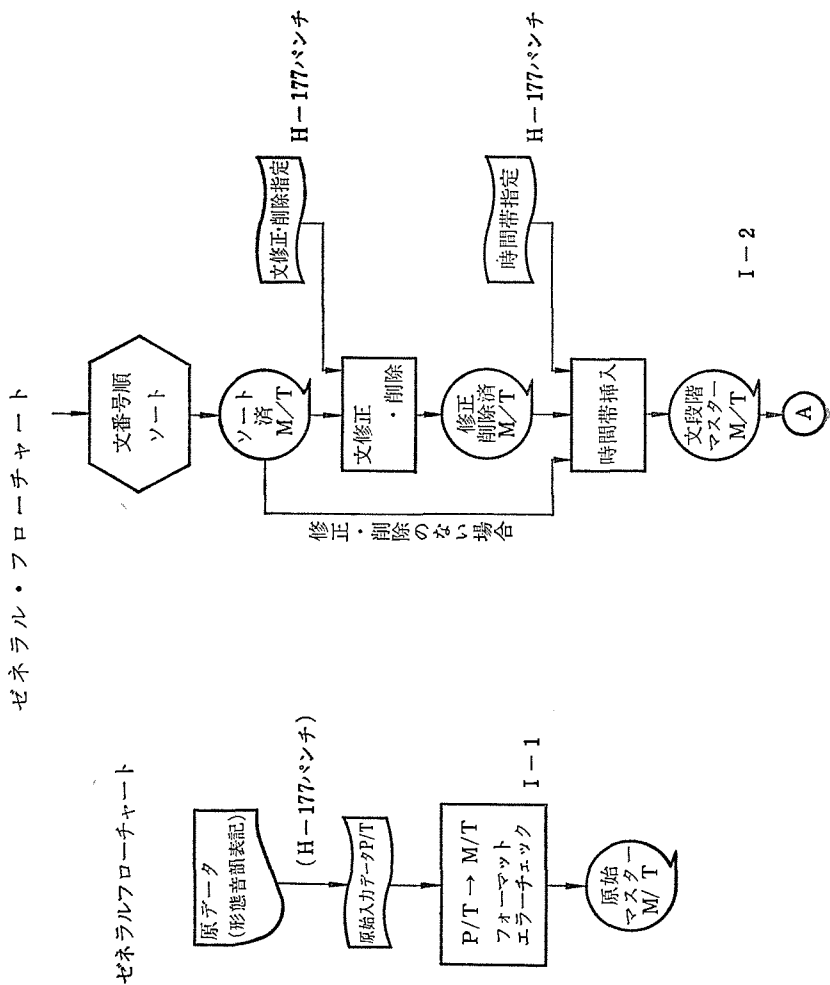
——プログラム名称 65 MATSUE 9 A——

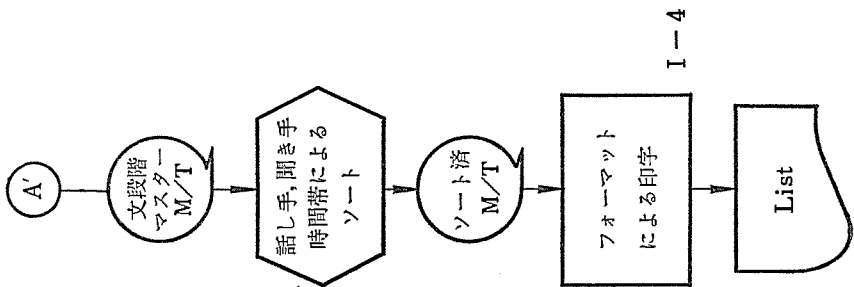
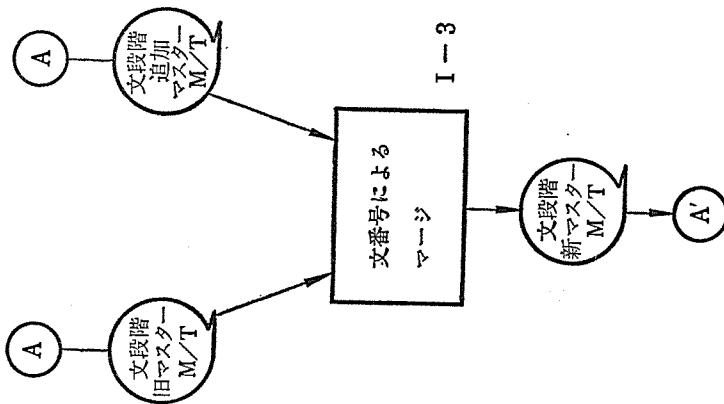
Ⅲ—4 リクエストされた、見出し語（形態素）とそれをふくむ文節のすべてを、さらにその文節をふくむ文に、話し手、聞き手、等の付加情報をつけた形で印字するもの。 ——プログラム名称 65 MATSUE 7 A——

Ⅲ—5 リクエストされた形態素に関して、話し手、聞き手、形態素、文番号の順序でソートし、その結果を、同一の話し手について、聞き手の違いに応じて、どのように問題の形態素を使ったり、使わなかったりしているかを見ることができるよう、話し手、聞き手、形態素、その形態素をふくむ文

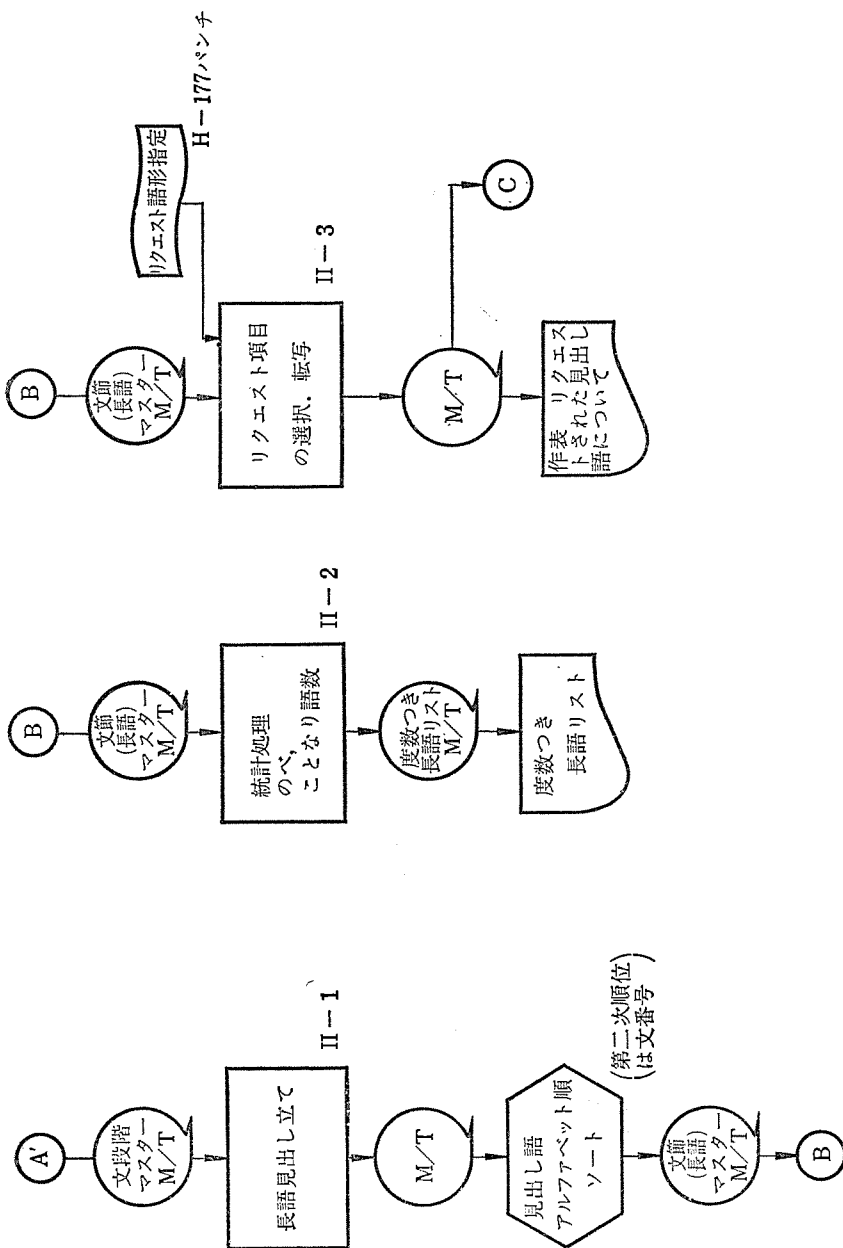
節，その文節をふくむ文番号という順で表示するもの。

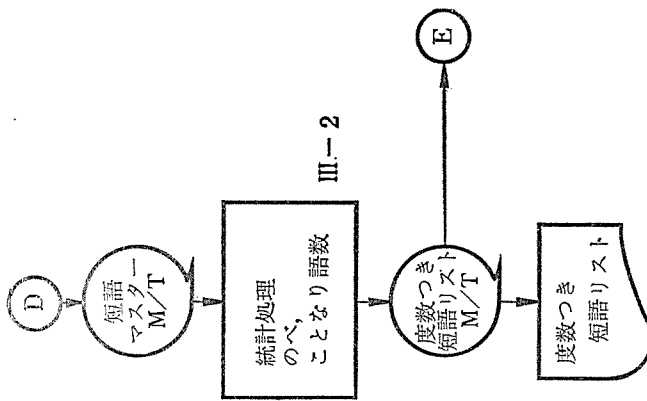
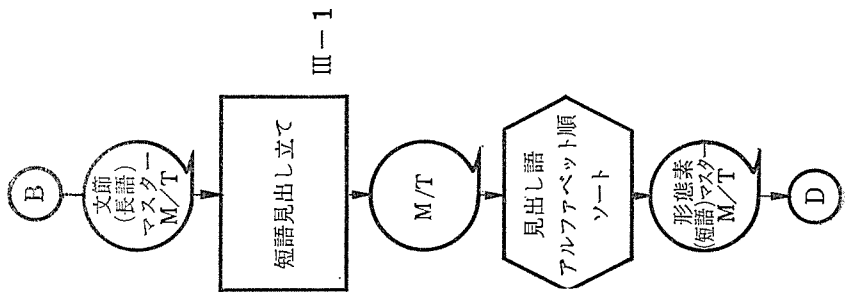
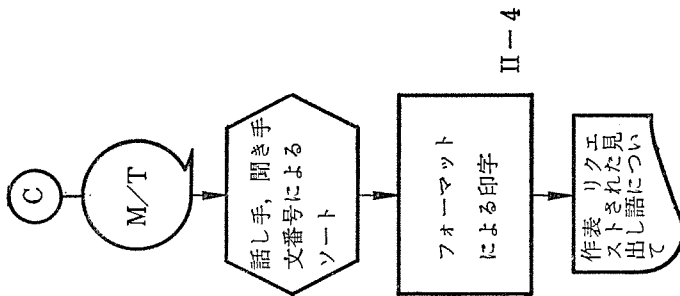
——プログラム名称 65 MATSUE 7 B——

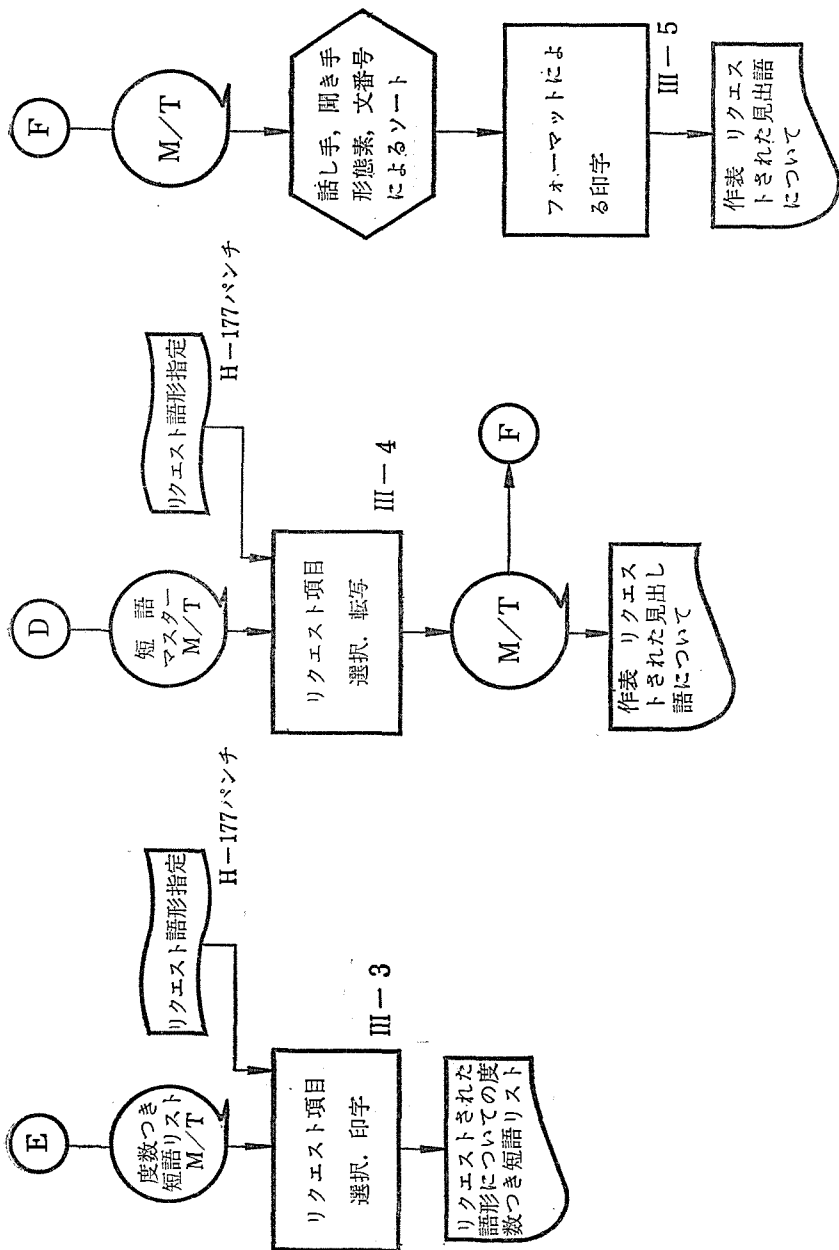




ソート順
 ①話し手, 時間帯, 聞き手
 ②時間帯, 話し手, 聞き手
 の二種類によって
 印字される結果も二種類の
 リストが作製される。







0.5. 凡例。

(1) 話し手：聞き手コード

三けたよりなる。

第一けた 同居家族か訪問者かの区別

K 訪問者 (kyaku)

U 同居家族 (uchi no mono)

第二けた 発話者の番号

1～G (訪問者, 計16名)

1～5 (同居家族, 計5名)

Kのばあい, コードを三けたにそろえるために, 10以上はアルファベットの大文字を使った。

第三けた 性別

F 女性

M 男性

K 1 M 新聞配達

K E M クリーニング屋₁

K 2 M 落合徳三(U 1 Fの兄)

K F F 寺本某(U 1 Fの友人)

K 3 F 野菜売りの婦人₁

K G M クリーニング屋₂

K 4 F 落合てい(U 1 Fの母)

K Z M 国語研究所員

K 5 F 野菜売りの婦人₂

K 6 M 洋服屋店員

U 1 F 落合寿美子(主婦)

K 7 M 郵便配達

U 2 M 落合春雄(主人)

K 8 F 奥村節子(落合家長女)

U 3 F 落合八千代子(三女)

K 9 M 山内某(山陰合同銀行員)

U 4 M 落合恵友(長男)

K A M 福島登(富士銀行員)

U 5 F 神門幸子(U 2 Mの妹)

K B F 村上某(近所の奥さん)

K C F 金津某(温灸師)

I N D 不明

K D F 蒲生八重子(U 2 Mの妹)

(2) 形式の表記

形態素の表記

形態音韻表記(アルファベット大文字。HITAC 3010

の64文字コードにあたる)。たとえば、DES <です>、
MAS <ます>、CJODAI <ちょうだい> など。

形態素の連続の表記 音韻表記（主として、アルファベット小文字を使用）。たとえば、nasaimase (NASAIMAS, RE)
<なさいませ>、nasai (NASAR, RE) <なさい>
など。

形態素の表記は、表現された形とは違っているばあいがある。たとえば、
DAR <だ——いわゆる断定の助動詞>、TAR <た——いわゆる過去の助
動詞> など。また、一つの表記をもって二つ（以上）の形を代表している
こともある。たとえば、RARE <られる>は「れる、られる」、TAR <た>
は「た、だ」をそれぞれ示す。なお、以下に、二三の記号について説明を
加えておく。

	形態音韻表記	音韻表記
促音（ッ）	Q	q
撥音（ン）	N	n
長母音にあたる母音音素 の連続	VV(AA, OO, EE など) で表わす	vv (aa, oo, ee など) で表わす
ヤ行音、拗音の半母音に あたるもの	J	j
形式不明の表記	(++++)	
発話なしの表記	SILENT	

(3) 形式の切れ目の表記

形態素の切れ目 コンピュータのコードとしては、－（マイナス）。た
とえば、SICI-ZI-NO <七時の>、KU-RU-WA
<来るわ> など。ただし、本報告書の表記では原則と
して－の代りに -（ハイフン）を用いた。

文節の切れ目 スペース。たとえば、SO-NO HAQPA-WA <そ
のはっぱは> など。

文の切れ目 # #。たとえば、# HOO SOO. # <“ほうそう。”>

(4) 文の種類の表示

- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 普通文 | ・ (ピリオド)。 |
| 疑問文 | @ (アットマーク)。0.3.4. の②のbの音韻表記テキストでは、? |
| 中断文 | ; (セミコロン)。 |

(5) 文番号

7けた固定長の数字。第7けた目は補充用とする。従って1番は 0000010, 150番は 0001500 のごとく表示される。

0000101 は、10番と11番の中間に位置づけられる番号を示す。

HITAC 3010 の高速印字機で印字する場合、64文字モードで印字すると、ある種の記号は、実際には存在して電算機内では記憶されていても、全然印字されない。たとえば、'AAの ' や、文の種類のうち、疑問文を示す@、中断文であることを示す;などは印字されない。(その点はH-177で印字する場合も同様である)そこで、電算機の記憶装置内に、実際に当該記号が存在するか否かを知るために、高速印字機の文字モード制御スイッチをきりかえて印字させることが多い。その場合、' はカ、@ はイ、; はエ、: はオ、% はセ、のように仮名文字にかえて印字される。

たとえば、'AA→カAA

……'ANOO ZIDOOSJA ; →カANOO ZIDOOSJAエ

のごとくである。したがって、処理結果をよむ時には、もとの形に翻訳してよむ必要がある。(ただし、本報告書では、語形を示す場合には原則として'は省いた。もっとも、MAN'IN <満員>、PAN'JASAN <パン屋さん> などのような場合には残した)

注1 以下の記述は、昭和40年2月20日に、国語研究所が松江市で行なった、松江調査報告講演会の時の配布資料「松江調査の結果」による。

注2 たとえば、嫁、しゅうとの問題、家庭の中でだれがさいふを持つかなど。

注3 『言語生活の実態——白河市および付近の農村における——』(国研報告2, 1951), 『地域社会の言語生活——鶴岡における実態調査——』(国研報告5, 1953) 参照。なお、このほかに昭和27年に三重県上野市において実施した24時間調査が一例あるが、結果

は発表されていない。

注4 継母。

注5 仕事や来客の関係で、みんなが揃って昼食をとったのではない。

注6 昭和35年10月1日現在で、松江市で漁業をいとなむとされている、15歳以上の就業者数は、男398名、女102名、計500名である（『新修松江市誌』、昭和37年、松江市役所発行による）。

注7 文字化の作業を native の者が行なうか、あるいは native の者があとで検査を行なうかすれば、文字化が不可能だった箇所、あるいはまちがって文字化した箇所をすくなくすることが出来たと思われる。しかし、実際にはそれは出来なかった。

注8 たとえば、付録(3.4.)の松江調査関係文献目録中の国立国語研究所1965b、林四郎1966など参照。

注9 最近のいわゆる computational linguistics の分野でも、文章の分析の重要性が目目されはじめたようである。たとえば、K. Krippendorff は、content analysis における approach のしかたとして、association models, discourse models および communication models の三種をあげている。そして、テキストに現われる有限の数の要素（たとえば語）の相互関係についての統計的な性格だけを問題にする第一の model より、文章（discourse）全体を考察の対象とする第二の model の方が、またさらに、話し手、聞き手間の伝達における相互作用まで取り扱うことを目的とする第三の model の方がもっと強力であるという意味のことを言っている（K. Krippendorff : Models of Messages : Three Prototypes, The Analysis of Communication, 1969）。これは、具体的なことばによる伝達における、どんな言語上の要素もたがい切りはなされた存在でないこと、また具体的な言語行動そのものが、他の種の行動からまったく独立した存在ではないことなどを考えれば当然のことであろう。石綿敏雄の教示によると、G. Salton は、content analysis における情報検索について、統計的な手法を用いた方法と、人手によって作成したシソーラスを用いる方法によって、いくつかの実験をし、その間の比較をした。統計的な手法の中では、一語一語をばらばらにした状態で、リクエストのキーワードと store されているテキストのキーワードのマッチングをするよりも、単語の association を利用した方が効果的であった。ところで、さらに、これらの統計的な手法よりも、人手によるふつうのシソーラスを使った方がより効果的であったと、Salton は報告している（Gerard Salton : Automatic Content Analysis in Information Retrieval, The Analysis of Communication, 1969）。これも、テキスト全体についての総合的な情報が、どんな言語 data の処理の場合にも必要であるということを示す例の一つであろう。このことは、単に computational linguistics に限ったことではない。

また、最近の言語の意味の研究は、もっぱら単語（あるいは形態素）を考察の対象とする従来の行き方ばかりでなくて、文の中におけるいくつかの単語の結び付き（連語）、あるいは句または文全体に着目する傾向がだんだん一般的になってきているよう

である。たとえば、Herbert E. Brekle: Generative Satzsemantik und Transformationelle Syntax im System der Englischen Nominalkomposition (Wilhelm Fink Verlag, München, 1970), 石綿敏雄「言語の意味と言語情報処理」(『電子計算機による国語研究』国研報告31, 1968), 「言語の意味と言語情報処理」修正補記 (LDP〈国語研究所電子計算機グループ月報別冊〉, No. 1, 1968-5), 「構文解析自動化の研究 I——CL からの構文論の見通し」(『電子計算機による国語研究 II』国研報告34, 1969), Geoffrey N. Leech: Towards a Semantic Description of English (Longmans, London, 1969), 南不二男「文の意味についての二三のおぼえがき」(『国語研究』〈国学院大学〉, No. 24, 1967-12), On the Meaning of Sentences (Studies in General and Oriental Linguistics, 1970), 中野洋「言語情報処理における意味の把握についての方策」(『計量国語学』No. 53, 1970-6) など。これも、ことばの意味(内容)を、さらに広い範囲の条件のもとで考えようとする傾向の現われの一つであろう。しかし、意味についての分析も、文を最大単位としているかぎり、それはそれなりの限界があるはずで、将来はさらに大きな単位を考察の対象にする必要があると思われる(この問題については、1.7.2.参照)。

言語研究の対象を抽象的な *langue* の体系に限ることなく、具体的な表現(または言語行動)にも目を向けるべきだという意見は、はじめにあげたような *application* の観点からばかりでなくて、一般言語学の立場からもそれほどしばしばではないにしても説かれてきた。最近では、Eugenio Coseriuが、言語学を Saussure 流の *langue* の学と規定することはあまりにもせまい見方であること、言語研究のためには言語行動の言語学(または言語行動の文法)が必要なことを主張している(E. Coseriu: *Teoría del lenguaje y lingüística general* 1967。この Coseriu の説は、石綿敏雄に教えられた)。ただし、ここで問題にする談話の種類(または型)は、たしかにより具体的な言語表現の型に対応するものではあるが、それ自身具体的なものか、あるいは抽象的な存在として考えるべきかは問題である。このようなことばの表現の型の選択(または、言語行動の型の選択とも言えるかもしれないが)の問題は、個々の言語要素の選択と同様、またはそれに先行して取り上げられなければならないことがらであると思われる。松江調査でも、基礎調査、生徒調査、主婦調査、婦人学級調査、PTA調査は、こうした言語行動の型に関する調査を含むものであった。これらの調査の結果の一部については、国立国語研究所1965b, 林四郎1966参照。また、主婦調査などの結果について、さらにいろいろな言語行動(の型)の背後にある要因をさぐることを意図した分析もあった。渡辺友左1965, 1968参照。しかし、全体として見ると、松江調査が企画され、実施された段階では、こうした言語行動の型の現われ(またその背後の要因)から、個々の言語要素の現われにおよぶ、統一的な理論を作ろうとする志向は、まだはっきりしていなかったと言ってよい。

1. 分析

1.0. 待遇表現関係要素粗拙。

資料に現われたかぎりの待遇表現関係の要素を概観しておくことにする。ただし、ここでは、いわゆるていねい表現、尊敬表現および要求表現に関係した要素だけについて見る。

(1) ていねい表現関係の要素

DES <です>

(…DE) GOZAIMAS <(…で) ございます>

(…DE) GOZAINS <(…で) ございます>

MAS <ます>

また、DAR <だ> もあわせて考察するばあいがある。DES と DAR についてはなお問題があるが、あとでふれる。

(2) 尊敬表現関係の要素

RARE <られる>

RAE <られる>

SAQSJAR <られる>

NAR <なさる>

NASAR <なさる>

NASAIMAS <なさいます>

NASAINS <なさいます>

(3) 要求表現関係の要素

nasaimase (NASAIMAS, RE) <…なさいませ>

nasainse (NASAINS, RE) <…なさいませ>

nasai (NASAR, RE) <…なさい>

nai (NAR, RE) <…^{注1)}なさい>

(…te) kudasaimase (KUDASAIMAS, RE) <(…て) 下さいませ>

(…te) kudasainse (KUDASAINS, RE) <(…て) 下さいませ>

(…te) kudasai (KUDASAR, RE) <(…て) 下さい>

(…te) cjoodai (CJODAI) <(…て) ちょうだい>

(…te) gosinai (GOS, NAR, RE) <(…て) 下さい>

(…te) gosudawa (GOS, DAR, WA) <(…て) ちょうだい>

(動詞) dawa (DAR, WA) <…しなさい, …するといい, 例, tabee-dawa=食べなさい, jakudawane=焼きなさい, 焼くといいよ>

以上の三つの種類の区別は絶対的なものではない。便宜上分けてあげただけであって、こまかく検討すると同じ種類としたものの中でも、違った性格を示すものもあり、また他の種類のものとある点では共通した特徴を持つものもある。たとえば、尊敬表現としたもののなかで、NASAR, NASAIMAS, NASAINS は、ある点では RARE, RAE とははっきり違った特徴を持ち、ていねい表現とした諸要素に近い現われ方を示す。これらについての詳細は、あとでそれぞれの項でのべる。

上に示した形態素の分析には問題がある。たとえば、NASAIMAS は NASAR と MAS とにさらに分析すべきだという意見もあると思われる。

尊敬表現と要求表現にあげた、NASAR, NASAIMAS, NASAINS は、ここでは動詞に接尾したものだけを問題にしている。

要求表現については、() の中にそれぞれの形式を構成するおもな形態素を示した。

以上の要素の現われ方(このばあい分布)を、つぎの図(p. 32)に簡単にまとめて示す。問題の要素ばかりでなく、付随して現われる要素のおもなものもあわせてあげた。

- (1) これらの要素(形態素)の現われる順序は、左から右(I→Ⅶ)。
- (2) I, Ⅱ…Ⅶそれぞれの同じ欄中の要素はたがいに排除的。ただし、Ⅱの MAS は、RARE, RAE または SAQSJAR のあとには現われることができる。
- (3) I の N と V はそれぞれ名詞と動詞(の語幹)。
- (4) Ⅱの a はていねい表現関係の要素。Ⅱの b は尊敬表現関係の要素。b・c は尊敬表現と要求表現に関係した要素。c は要求表現関係の要素で、要求表現に関係したばあいのみを問題にしている。

I	II		III	IV	V	VI
N	a	DAR ₁ DES ₁ (…DE) GOZAIMAS (…DE) GOZAINS			WA GA KA	NA NAA NE
	b	RARE RAE SAQSJAR	MAS	DAR ₂ DES ₂	JVV	NEE NOO
V	b・c	NAR NASAR NAsAIMAS NAsAINS			KEN DOMO DE	JO JA
	c	(…TE) GOS (…TE) GOS, NAR (gosinar-) (…TE) KUDASAR (…TE) KUDASAIMAS (…TE) KUDASAINS (…TE) CJOODAI			RE	

(5) II の DAR₁, DES₁ と III の DAR₂, DES₂ とは、以下のような理由から^{注2)}区別した。

a DAR₁, DES₁ は、名詞（また名詞に相当する句）のあとにしか現われないが、DAR₂, DES₂ は動詞のあとにも現われうる。（MAS をともなった動詞のあとにも現われうる）

b DAR₁, DES₁ と DAR₂, DES₂ とは、一般的に言って共存可能である。

例：

korja zjootoodesuda (DES₁, DAR₂) <これは上等です> (100690,

K 8 F : K 4 F)

miqcuadaqtadesunee (DAR₁, DES₂) 〈三つだったですねえ〉
(52340, KAM : K 4 F/U 2 M)

zjamudadake^{注3)}nne (DAR₁, DAR₂) 〈ジャムだからね〉 (107770,
KDF : K 8 F)

DES₁ と DES₂ の共存例は見つけていない。

- c DAR₁, DES₁ には TAR 〈…た, 過去〉がつくことができるが,
DAR₂, DES₂ に TAR がついた例はない。また, DAR₂, DES₂ には
JVV 〈う, よう, つまり「だら」「だろう」「でしょう」〉がつきう
るが, DAR₁, DES₁ にはつかない。

例:

nanbodesitadarakane (DES₁, TAR, DAR₂, JVV) 〈いくつ
だったでしょうかね〉 (89000, K 4 F : KDF)

sendo tomaribandaqtadesjoo (DAR₁, TAR, DES₂, JVV)
〈このまえ泊り番一宿直か—だったでしょう〉 (41150, K 8 F : U 1 F)

- (6) Ⅲ, Ⅳ, Ⅴにわたる RE は, いわゆる命令形を作る形態素。つまりこ
の要素は, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴの諸要素とたがいに排除的な関係にある。
- (7) Ⅳの JVV は 〈う, よう〉にあたるもの。
- (8) Ⅴの諸要素は, いわゆる終助詞または接続助詞にあたるもの。
- (9) Ⅵの諸要素は, いわゆる間投助詞。

1. 1. 談話。

1. 1. 0. ひとまとまりの文章を何らかの方法で分析することは, 単語とか形態素とかいった言語要素の現われを規定する何らかの条件を文章の中に見つけようとするばあい前提の一つと考えられる。常識的に言えば, ひとまとまりの文章をいくつかの部分 (または構成要素) に分けることが必要になるのだろうが, そうした文章論上の構成要素的なもの (あるいはそれにあたる単位的なもの) としては, とくに書きことばについては, 一種の伝統的な概念が一般に使われてきている。部, 章, 節などはその代表的なものであろうし, また段落も

そうである。書きことば資料では、書き手が一定していることがふつうであるし、また、内容や書き手の態度などが何らかの点で首尾一貫した性格を持っているばあいが多いから、そうしたいくつかの種類の単位を設定することが比較的容易であるように見える。^{注4)} それに対して、話しことば、とくに日常生活における会話では、たとえば、話し手——聞き手の関係が固定的でなく、いわば流動的であるし、話の内容（主題）、あるいはまた、その話の持っている communication 上における function とでも言うべきものが一定とはいえない。^{注5)} 話しことば、とくに会話の、そうした文章論上の単位的なものを設定するについては、はっきり解決できない問題が現在のところいくつかあるように思われる。

1.1.1. 談話の認定。資料に現われた全部の会話は、その形式上または内容上のいろいろな特徴から、それぞれひとまとまりになったいくつかの部分に切ることができると思われる。それらの部分を、かりに「談話」と呼ぶことにした。それに対して、いくつかの談話のあつまり、または資料全体の談話のあつまりを、ここではかりに「会話」と呼んでおくことにする。

一つづきの会話をいくつかの談話（にあたる部分）に切るにあたっては、一応次のような基準によることにした。

1 形の上の特徴

- a その部分の前またはあとのはっきりしたポーズ
- b その部分自身内部の連続性（一つの談話にあたると考えられる、会話のある部分それ自身の中に、相当長い、はっきりしたポーズ——話の中断——がないこと）

2 内容上の特徴

- a その談話（にあたる部分）に現われる各センテンス（にあたる発話）の話し手および聞き手（これを一括して談話の「参加者」と呼ぶ）が一定していること。もっとも、一部の参加者の途中からの参加または脱落はありうる。
- b その談話（にあたる部分）の、communication の上での function ^{注6)} が一定していること。たとえば、あいさつ、用談、雑談、感情の直接

表現といったようなこと。

- c その談話（にあたる部分）の、ことばの調子が一定していること。たとえば、ふつうの調子、あらたまり、くだけなど。もちろん、多少の変化はありうる。
- d その談話（にあたる部分）の話題の性格が一定していること。たとえば、日常生活に関することがら、世間話、他人のうわさなど。もちろん、多少の変化はありうる。

これらの基準はおおざっぱなものであって、それぞれこまかい点ではいくつか問題があることは言うまでもない。たとえば、かならずしもその前後にはっきりしたポーズが現われるとはかぎらない。また、一つの談話の中のポーズについて、どの程度以上のものは問題にし、どの程度以下のものは無視する、といったことについても、はっきりした客観的な基準をたてているわけではない。^{注7)}内容上の特徴についてはなおさらである。形の上から言えばひとまとまりの談話となると思われる部分が、たとえば、事務上の用談+世間話といった性格を持っているばあいもある。このように、こまかい問題はいくらかでもあるけれども、それらはある程度まで無視して、ここでは、資料中の処理したかぎりの会話（文数 9,922）を、1,245 の談話に分けた。

1.1.2. 談話の分類。一つの談話は、最小のものは、一つの文からなる。これはたとえば、joisjo <よいしょ>とか、aa omosiroi <ああ、おもしろい>といった感情の直接的表現に多い。それに対して、長いものでは、一つの談話の文数が 211 におよぶものまである。これは、親せきについてのうわさ話で、参加者は 4 人である。

このようにして、資料中の 1,245 の談話にはいろいろの性格のものがあるから、これをいくつかの種類に分けることが可能であると思われる。そのために、ここでは、かりに次の三つの点から考えることにした。

- a communication 上の function。あいさつ、用談、おしゃべりなど。
- b ことばの調子。ふつう、あらたまり、くだけ、皮肉など。
- c 話題。日常生活に関することがら、事務用件、時事、他人のうわさなど。具体的には、それぞれの点についていくつかの特徴を考え、それぞれの特

徴に一けたのコードをあたえ、全体として三けたのコードで表わすようにした。

第1けた： communication 上の function	第2けた： ことばの調子	第3けた： 話題（おもな内容）
0 不明	0 不明	0 不明
1 ひとり	1 あらたまり	1 日常・身边・家庭
2 あいさつ	2 くだけ	2 世間・時事
3 しらせ・用談	3 ふつう	3 事務・用事
4 おしゃべり	4 泣き	4 個人うわさ
5 遊び	5 おこり	5 感謝・賞讃
6 教え・さしず	6 おしつけ	6 悪口・非難・不平
7 けんか	7 へりくだり	7 つくり話・うそ
8 思考	8 皮肉	8 感覚・感情
		9 きまり文句
		A 昔話

(1) communication 上の function。言語表現が実際の communication において果している役割りは単純でなく、いろいろのものと考えられる。たとえば、ふつう言うところのあいさつ（「こんにちは、ずいぶん寒くなりましたね」「それじゃまたね、バイバイ」など）と、何かのことがらについてのしらせ（「今度のごみ集めは火曜だそうですよ」「牛乳代 2,800 円おたてかえしておきました」など）とでは、明らかにその communication の上での function が違うと思われる。前者は人と人との一種の社会的な接触に関係したもの（そのときそのときの接触をはじめる、つづける、打ち切るなど）と思われるし、後者は何らかのことがらに関する情報を伝えることにもっぱら関係がある。そうしたいろいろな function（の違い）を説明するために、一応の仮説として上の表にあげたようないくつかの特徴を考えてみた。それぞれについて簡単に説明を加える。

- 1 ひとり：聞かせることをめざした相手のない言語表現、たとえば、ひとりごと、感情の直接的表現におけるもの。
- 2 あいさつ：人と人との間の、そのときそのときの一種の社会的接触に関係したもの。

- 3 しらせ・用談：何らかのことがらに関した、(言わば知的な)情報の伝達を目的にしたもの。
- 4 おしゃべり：何らかのことがらに関した伝達を行なっているが、目的はそれにあるのではなく、話すこと自身が目的、または話を続けることによって人と人との間の何らかの関係を維持することが目的であるもの。たとえば、世間話、他人のうわさなどにおけるもの。
- 5 遊び：ことばの表現そのものが何らかの意味での楽しみの対象となるもの。冗談、子どもの遊びのことば、言語遊戯などから文学(のある面)までも含む。
- 6 教え・さしず：知的な情報の伝達という点では3と共通しているが、相手を話し手の意に従わせようとする性格がある。3の場合は、ただ話し手から相手に情報を中立的に伝えるだけである。
- 7 けんか：知的な情報の伝達というより感情的な性格の強い communication。相手を話し手の意に従わせようとする性格という点では6と共通しているように見えるが、こちらはその伝達が相互的である(6の場合は、原則として一方的)。
- 8 思考：思考活動におけることばの働き一般。

以上のほかに、いわゆる metalingual な働きとか、記録(あるいは情報の蓄積)といった function も考えることが可能なように思われるが、ここではあげなかった。なお、ここで使ったひとり、あいさつ、しらせ・用談などといったことばは、単にそれぞれの特徴の名まえとして使ったのであって、ふつうに言うところのあいさつならあいさつ、用談なら用談という種類の言語表現だけをさすものではない。上にあげたような特徴を持っていれば、たとえば常識的にはあいさつとは言わない言語表現でも2の function を持つと言うことができる。

(2) ことばの調子。言語表現の一種の形として現われた、常識的にことばの調子と言ってよいと思われる面を、それだけ取り出したものである。厳密な考察をしたわけではないので、さらにこまかい分析を施す余地は大いにある。いわゆるイントネーション、強調、ポーズのおき方などの、いわば suprasegmen-

tal な面にも関係していると思われるし、また、segmental な要素の発音のしかたに関係した面もあると思われる。また、話のはやさにも関係があるであろう。

- 1 あらたまり：いわゆる形式的な、かしこまった調子。あいさつなどに現われるもの。
- 2 くだけ：冗談，ごく親密な間での会話などに現われる，ふざけた調子。
- 3 ふつう：常識的に見て中立的だと思われる調子。
- 4 泣き：子どもが何かを訴える時のような調子，あるいは，おとながぐちをこぼす時のような調子。もちろん，ほんとうに泣くという行動をとまなう必要はない。
- 5 おこり：けんか，叱責などの場合，また，不平・不満をもらすような時の調子。もちろん，これはそうした調子だけを問題にしているの^{注8)}で，必ずしも話し手がおこっている場合だけとは限らない。
- 6 おしつけ：強調あるいは要求の調子の程度が，3（ふつう）よりも大きいと考えられるものをおしつけとした。
- 7 へりくだり：相手の顔色をうかがいながら，機嫌をとる時などの調子。おせじ，あやまりなどの場合，子どもをあやす時などに現われるもの。
- 8 皮肉：常識的に見て，皮肉あるいはからかいなどと考えられる表現に現われる調子。

(3) 話題。これは，あげ出したらきりがないかもしれないが，資料に出て来る限りのものをおおうことが出来そうに思われる項目をあげた。その選択，整理にはっきりした原理をたてたわけではない。それぞれについての説明は加えないが，8（感覚・感情）は，たとえば，「あっ，いたい！」「うん，こりゃうまい」「あらいやだ」といったような表現をその代表的なものとしてあげることが出来るだろう。9（きまり文句）はあいさつなどにおいてよく見られるものの，A（昔話）は，話し手の過去の経験を回顧するような内容のことで，いわゆる昔話（かちかち山，絵姿女房などのような）ではない。

談話の種類は，こうした三種の特徴に対応する三けたのコードの組み合わせで表わすわけ^{注9)}である。たとえば，138は{ひとり，ふつう，感覚・感情}で，資

料中の例でいえば, aa omosiroi <ああ, おもしろい> などがこれにはいる。
 219は {あいさつ, あらたまり, きまり文句} であって, 多くの訪問者のあいさつはこれにはいる。331は {しらせ・用談, ふつう, 日常・身边・家庭} である。家族どうしの間の家事に関する談話などはこれにはいる。434は {おしゃべり, ふつう, 他人うわさ} ということになる。親せきのだれかれについてのうわさを内容にした雑談などはこれである。

1.1.3. 談話の実例。以下に資料中の実例をすこしあげる。

- 0011190 ——— : ——— # SILENT. #
- 01250 0011200 K 3 F : I N D / U 1 F # maa arigatoogozaimasu. #
 0011210 U 1 F : K 3 F # ohajoogozaimasu. #
 0011220 K 3 F : I N D # (++++). #
- 01260 0011230 U 1 F : K 3 F # aa ? #
 0011240 K 3 F : U 1 F # daikoN (++++)ka ? #
 0011241 K 3 F : U 1 F # daikoNwa arimasu(++++). #
 0011250 U 1 F : K 3 F # ija arukedo hatakeni arude ima cjoode
 naiwa. #
- 0011260 K 3 F : U 1 F # hoNnara naNka hokano mono
 (++++). #
- 0011270 U 1 F : K 3 F # ara iiga iiga. #
 0011271 U 1 F : K 3 F # sore aNta soNna ; #
 0011280 K 3 F : U 1 F # sumimaseNne cjoQto (++++). #
 0011290 U 1 F : K 3 F # (++++) aNta ikeNwane. #
 0011291 U 1 F : K 3 F # aNta soNna ; #
- 0011300 K 3 F : I N D # (++++). #
 0011310 U 1 F : K 3 F # are maa soo aa. #
 0011320 ——— : ——— # SILENT. #
- 0011330 K 3 F : U 1 F # kore (++++) cuketedemo tabete kuda-
 sai kjabecu. #
- 0011340 U 1 F : K 3 F # aa ? #
 0011341 U 1 F : K 3 F # ara maa (++++). #
 (中略)
- 01280 0011450 U 1 F : K 3 F # okaasan dogedesuka ? #
 0011460 K 3 F : U 1 F # arigatoogozaimasu. #
 0011461 K 3 F : U 1 F # anoo joo joo gozaimasu (++++). #
 0011470 U 1 F : K 3 F # mada denasaajani naraNnee. #

0011480 K 3 F : U 1 F # hee mazu hujuni naQtekara (++++)-
cjoita hooga ii (++++). #

0011490 U 1 F : K 3 F # sogedesjoonee. #

0011500 K 3 F : U 1 F # mata raineNno haruni (++++) mata
demasukeN onegaisimasu. #

0011510 U 1 F : K 3 F # odaizini nasarana ikeNnee. #

0011520 K 3 F : U 1 F # arigatoogozaimasu. #

(中略)

01290 0011751 U 1 F : K 3 F # jaaja doomo. #

0011760 K 3 F : U 1 F # doomo. #

0011770 U 1 F : K 3 F # arigatoogozaimasita. #

- a 上の例は音韻表記テキストである。
- b 各行の左に、ところどころにある五けたの数字は談話番号。これは資料のはじめから、談話に通し番号をつけた。次の文番号についても同様である。
- c 各行のはじめの七けたの数字は文番号。
- d K 3 F, U 1 Fは参加者を示すコード (→0.5.)。: の左は話し手, 右は聞き手を表わす。I N D は話し手または聞き手が不明であることを表わす。
- e # は文の境目。
- f (++++) は不明の部分。

上にあげた例は、次の四つの談話よりなる。

談話番号	範 囲	
01250	0011200, 0011210	219 {あいさつ, あらたまり, きまり文句}
01260	0011230~0011341	331 {しらせ・用談, ふつう, 日常・身辺・家庭}
01280	0011450~0011520	411 {おしゃべり, あらたまり, 日常・身辺・家庭}
01290	0011751, 0011760	219 {あいさつ, あらたまり, きまり文句}

1.1.4. 談話数と文数。次に、処理した限りの資料に現われた談話の種類と、それぞれの種類における談話数と文数とをあげておく。

第1表

談話の種類	談話数	文数	談話の種類	談話数	文数
000	3	3	422	2	32
020	1	1	430	19	48
030	208	290	431	173	1,997
031	6	9	432	58	1,507
032	1	1	433	1	5
			434	85	2,320
121	3	3	43A	13	198
128	1	1	481	1	1
130	95	98			
131	5	6	0**	219	304
132	1	1	1**	157	161
138	52	52	2**	132	744
			3**	362	2,465
211	5	11	4**	375	6,248
214	1	16			
215	2	12	*0*	3	3
219	29	289	*1*	38	337
221	1	5	*2*	40	213
229	2	8	*3*	1,163	9,368
231	67	284	*8*	1	1
234	8	61			
235	1	9	**0	329	444
239	16	49	**1	625	4,692
			**2	63	1,571
321	8	32	**3	16	177
330	3	4	**4	96	2,420
331	333	2,204	**5	3	21
332	1	30	**8	53	53
333	15	172	**9	47	346
334	2	23	**A	13	198
411	1	9	総計	1,245	9,922
421	22	131			

上の表で、0**, 1**…4** は、communication 上の function のコードだけを示す。同様に、*0*, *1**…*8* はことばの調子、**0, **1…**A は話題の、それぞれのコードだけを示す。

1.2. 参加者の種類と談話の種類。

1.2.0. 参加者のいかんによって、それぞれの種類の談話の現われ方がずいぶん違う場合がある。ある種の参加者の組には、ある種類の談話が比較的多く現われるが、他の種類の談話はすくないということがある。談話の種類と待遇表現関係の諸要素の現われとの関係を見る前に、そうした参加者の種類と談話の種類との関係を見ておくことにする。そのために、ここでは参加者を、まず、

非親せき (省略記号：非シ)

親せき (省略記号：シ)

同居家族 (省略記号：ウ)

^{注10)}に分け、さらにそのおのおのの組み合わせによって分類した。すなわち、

非親せき・非親せき (非シ・非シ)

非親せき・親せき (非シ・シ)

非親せき・同居家族 (非シ・ウ)

非親せき・親せき・同居家族 (非シ・シ・ウ)

親せき・親せき (シ・シ)

親せき・同居家族 (シ・ウ)

同居家族・同居家族 (ウ・ウ)

上にあげたような、参加者の組み合わせの別による、各種類の談話の現われ方の程度を知るために、次のような方法をとった。まず、参加者の組を、上記のように、非シ・非シ、非シ・シ、非シ・ウ、非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウ、ウ・ウの七つのグループにまとめる。次に、この参加者の組の七つのグループそれぞれの全文数と資料全体のべ文数との比率によって、各種類の談話の、それぞれの全文数を比例配分すれば、参加者の組のグループごとの、各種類の談話の一種の理論的な文数を知ることが出来る。それと、実際に現われた文数とを比較すれば、参加者の組のグループごとの、各種類の談話の現われの特色が知られる。^{注11)}ただし、ここでは、前にあげた、communication 上の function、ことばの調子および話題という三つの種類の特徴の組み合わせではなく、それぞれの種類の特徴について、べつべつに現われ方を見ることにした（三

つの特徴の組み合わせについての現われ方は、付録 3.1. 参照)。なお、ここで問題にする談話（および文）は、第一にその参加者が複数で組を作っているもの、第二にその参加者の種類がはっきりしているものに限る。従って、ここでは資料における全部の談話（および文）をあげるわけではない。

1.2.1. communication 上の function。参加者の組のグループの別による communication 上の function の種類の現われ方は、次の第2表の通りである。表の同一欄中の、左側の数字は実際の文数、右側は理論文数。理論文数で1未満の値のものはあげなかった。（これらは、以下の各表とも同様）

第2表

	0**	1**	2**	3**	4**
非シ・非シ	0 —	0 —	0 —	0 1.0	4 2.5
非シ・シ	0 15.2	0 8.1	42 37.2	208 123.3	253 312.4
非シ・ウ	0 21.2	0 11.3	197 52.1	287 172.6	193 437.4
非シ・シ・ウ	0 51.5	0 27.4	295 126.5	207 419.1	1,175 1,062.2
シ・シ	0 21.2	0 11.3	21 52.1	37 172.6	630 437.4
シ・ウ	0 151.5	0 80.5	156 372.0	1,175 1,232.0	3,679 3,124.0
ウ・ウ	0 27.3	0 14.5	33 67.0	548 221.9	314 562.3
不 明	0	0	0	3	0

数のすくない非シ・非シは別として、まず、2**（あいさつ）について見ると、非シのはいったグループで実際の文数が多くなっているのが目につく。理論文数より相当多いものもあるし（非シ・ウ、非シ・シ・ウ）、そうでないものもあるが（非シ・シ^{注12)}）、すくなくとも理論文数よりすくないものはない。それに対して、非シのはいらないグループ、すなわちシ・シ、シ・ウ、ウ・ウでは逆に実際の文数がすくない。あいさつが、みうちでない外からの訪問者が来た場合に多く起こるのは当然かもしれない。3**（しらせ・用談）については、実際の文数が非シ・シ、非シ・ウ、ウ・ウで多くなり、非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウですくなくなっている。これは、非親せきの訪問者は、おそらく何かの用があつたずねて来ること、また同居家族どうしの間では日常生活、家事などについての談話が多く行なわれることを示すものかもしれない。4**（おしゃべり）では、非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウで実際の文数が多く、非シ・シ、

非シ・ウ，ウ・ウですくない。すなわち，3**の場合とちょうど逆の傾向を見せている。親せきどうしの組み合わせ，あるいは親せきと同居家族との組み合わせでは，特別の用事のないおしゃべりが多く起こるようである。

1.2.2. ことばの調子。参加者の組のグループの別による，ことばの調子の種類の現われ方は，次の第3表の通りである。

第3表

	0	*1*	*2*	*3*	*8*
非シ・非シ	0 —	0 —	0 —	4 3.7	0 —
非シ・シ	0 —	33 16.9	1 10.7	469 468.4	0 —
非シ・ウ	0 —	99 23.6	7 14.9	571 655.7	0 —
非シ・シ・ウ	0 —	141 57.3	78 36.2	1,458 1,592.4	0 —
シ・シ	0 —	3 23.6	20 14.9	665 655.7	0 —
シ・ウ	0 1.5	61 168.5	95 106.5	4,853 4,683.5	1 —
ウ・ウ	0 —	0 30.3	7 19.2	888 843.0	0 —
不 明	0	0	0	3	0

めだつと思われる点は，*1*（あらたまり）が非シ・シ，非シ・ウ，非シ・シ・ウ，つまり非シを含むグループで多く，シ・シ，シ・ウ，ウ・ウ，つまり非シを含まないグループですくないことであろう。これはもちろん，前に見た2**（あいさつ）の現われと関係がある。*2*（くだけ）が非シ・シ・ウですくし多くなっているが，これは4**（おしゃべり）にともなって現われたものである。*3*（ふつう）については，各グループともこれといった特色はない。

1.2.3. 話題。参加者の組のグループの別による，話題の種類の現われ方は，次の第4表の通りである。やや目につく点だけを拾い上げる。*1（日常・身辺・家庭）が多いのは，やはりウ・ウである。また，非シ・シにも多い。^{注13)}*2（世間・時事）は非シ・シ・ウに多く，非シ・シ，非シ・ウ，シ・シですくない。シ・ウ，ウ・ウでは，ここの限りではすくなくないようである。*3（事務・用事）はやはり非シ・ウで多い。*4（個人うわさ）はシ・シ，シ・ウで多く，非シ・シ，非シ・ウ，非シ・シ・ウですくない。ウ・ウでも案外すくない。わりにはっきりした傾向を見せるのは，*9（きまり文句）であって，非シ・ウ，非シ・シ・ウで多く現われる。これはあいさつと関係がある。

第4表

	**0	**1	**2	**3
非シ・非シ	0 —	0 1.9	4 —	0 —
非シ・シ	6 22.2	353 234.6	13 78.5	0 8.9
非シ・ウ	23 31.1	331 328.4	34 109.9	141 12.4
非シ・シ・ウ	2 75.5	711 797.6	502 266.9	36 30.1
シ・シ	0 31.1	202 328.4	18 109.9	0 12.4
シ・ウ	19 222.0	2,414 2,346.0	831 785.0	0 88.5
ウ・ウ	2 40.0	660 422.3	167 141.3	0 15.9
不 明	0	3	0	0

	**4	**5	**6	**9	**A
	0 1.0	0 —	0 —	0 —	0 —
	76 121.0	0 1.1	0 2.7	10 17.3	45 9.9
	40 169.4	0 1.5	0 3.7	108 24.2	0 13.9
	134 411.4	0 3.6	0 9.0	150 58.8	142 33.7
	463 169.4	0 1.5	0 3.7	5 24.2	0 13.9
	1,654 1,210.0	21 10.5	0 26.5	60 173.0	11 99.0
	53 217.8	0 1.9	0 4.8	13 31.1	0 17.8
	0	0	0	0	0

1.2.4. まとめ。今まで見て来たところから、参加者の種類と談話の種類との関係について、次のようないくつかの点をあげることが出来そうに思われる。

(1) 非シ（を含むグループ）と、シまたはウ（を含むグループ）との違いがいくつかの点で見られる。たとえば、2**（あいさつ）およびそれにもなって*1*（あらたまり）、**9（きまり文句）が前者に多く、後者にすくないこと。また、3**（しらせ・用談）も前者に多い（非シ・シ・ウを除く）。一方、4**（おしゃべり）、**1（日常・身辺・家庭）、**4（個人うわさ）が後者に多く、前者にすくない。このような事実は、みうちか、みうちでないかの違いが談話の種類選択に相当関係があることを示唆していると言えそうである。

(2) シ・シ、シ・ウの組み合わせは、一つの特徴を持つようである。それは、この組み合わせを含むグループ、すなわち非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウで4**が他とくらべて多いことである。また、3**がすくなくなっている。

(3) 同じみうちの参加者のグループでも、親せきのはいったグループ（シ・

シ、シ・ウ）と、同居家族だけのグループ（ウ・ウ）では違いがありそうである。(2)であげたように、シ・シ、シ・ウでは4**が多く、3**がすくないが、ウ・ウではその逆に3**が多く、4**がすくない。この点では、ウ・ウはむしろ、みうちでない参加者のはいった非シ・シ、非シ・ウと共通した性格を示している。また、話題についても、たとえば**4がすくない点などで、ウ・ウは、むしろ、非シ・シ、非シ・ウ、非シ・シ・ウと共通した性格を示している。

以上、ここでは参加者を非親せき、親せき、同居家族にわけて見た場合に注意されるいくつかの点をあげたわけだが、参加者を別の観点から分類して、それによって談話の種類の現われを考えることも、可能あるいは必要なのではないかと考えられる。たとえば、非親せきの来訪者と家族との関係をさらにくわしく分けるとか、同じ同居家族でも一日中うちにいる者と、勤めなどで外に出る者とに分けるなど。あるいは、ここでいうところの固定的（絶対的）条件を考慮に入れて、性別、（絶対的）年代、職業、学歴、居住経歴などを問題にすることも考えられる。

以下、ここで問題にした談話の種類を手がかりにして、それらと各種の待遇表現関係の要素の現われとの関係を見ることにする。

1.3. 談話の種類とていねい表現。

1.3.0. ここでは、談話の種類と、学校文法でいうところの「ていねい語」にあたる諸要素の現われ方との関係について見る。問題にするていねい表現関係の要素は、DES<です>、MAS<ます>、GOZAIMAS<ございます>、GOZAINS<ございます>の四つである。なお、これらのていねい表現関係の要素の現われに関連させて、DAR<だ>についても見ることにする。

ある種類の談話にある要素が多く現われているか、それほど多く現われていないかの見当をつけるために、次の方法をとった。すなわち、各種類の談話のそれぞれの文数と資料全体ののべ文数との比を求め、その比率によって、問題の要素の全度数を比例配分し、それをそれぞれの種類の談話における、問題の要素の理論度数とする。それと実際の度数とをくらべる。このやり方は、談話の文数についてとったものと基本的には同じである。しかし、今度の場合は問

題があるように思われる。問題の要素（形態素）の全度数を比例配分するというのならば、資料全体における全形態素ののべ度数と、各種類の談話における全形態素の度数との比による方がよいのではないかと思われる。しかし、今の場合、全形態素ののべ度数が、資料全体についても、各種類の談話におけるものについても、わかっていないので、そのやり方をとることが出来なかった。そういうわけで、一種の approximation として文の度数の比によることにした。これは、他の待遇表現、すなわち尊敬表現、要求表現、呼び名についても同様である。また、談話の種類については、communication 上の function、ことばの調子、話題という三つの特徴の組み合わせではなく、前の 1.2. の場合と同様、それぞれの種類の特徴についてべつべつに現われ方を見ることにした。これはあとの尊敬表現、要求表現、呼び名についても同様である（三つの種類の特徴の組み合わせについての現われ方は付録 3.2. 参照）。

1.3.1. communication 上の function とていねい表現。

communication 上の function の種類による、ていねい表現関係の各要素の現われ方は、次の第 5 表の通りである。

第 5 表

	DES	MAS	GOZAIMAS	GOZAINS
0**	8 14.8	8 15.0	0 1.2	0 —
1**	0 9.9	0 10.0	0 —	0 —
2**	33 34.5	113 34.9	18 2.9	0 1.4
3**	101 123.3	135 124.8	13 10.3	9 5.0
4**	351 310.6	243 314.4	10 25.8	11 12.6
?	3	0	0	0

DES と MAS は、その現われ方にいくらかの違いがあるようである。すなわち、MAS は 2**（あいさつ）に多く、4**（おしゃべり）ですくなめであるのに対して、DES にはこれといった特徴はなさそうである。4** でやや多めのようなが、それが意味があるかどうかはわからない。GOZAIMAS と GOZAINS は数がすくないので、はっきりしたことは言えない。ただし、この限りでは、GOZAIMAS は 2** に多いのに、GOZAINS はむしろ、3**（しらせ・用談）、4** に集中している。

1.3.2. ことばの調子とていねい表現。

ことばの調子の種類による、ていねい表現関係の各要素の現われ方は、次の第6表の通りである。

第6表

	DES	MAS	GOZAIMAS	GOZAINS
0	0 —	0 —	0 —	0 —
1	12 14.8	75 15.0	18 1.2	0 —
2	16 9.9	8 10.0	3 —	0 —
3	465 463.4	416 469.1	20 38.5	20 18.8
8	0 —	0 —	0 —	0 —
?	3	0	0	0

やはり、DES と MAS との間にいくらかの違いが見られる。すなわち、*1*（あらたまり）で MAS が多いのに対して、DES はそこでは多くない。DES の現われ方には、全体的にこれといってめだつ点はないようだ。GOZAIMAS と GOZAINS については、ここの限りではやや違いが見られないでもない。すなわち、GOZAIMAS の方は *1* に比較的多く現われているのに対して、GOZAINS はすべて *3*（ふつう）である。

1.3.3. 話題とていねい表現。

話題の種類による、ていねい表現関係の各要素の現われ方は、次の第7表の通りである

第7表

	DES	MAS	GOZAIMAS	GOZAINS
**0	10 19.7	7 20.0	0 1.6	0 —
**1	224 231.7	257 234.5	20 19.3	16 9.4
**2	90 78.9	55 79.8	1 6.6	3 3.2
**3	16 9.9	16 10.0	2 —	0 —
**4	118 118.3	80 119.8	2 9.8	1 4.8
**5	2 —	3 —	1 —	0 —
**8	0 4.9	0 5.0	0 —	0 —
**9	15 14.8	70 15.0	14 1.2	0 —
**A	18 9.9	11 10.0	1 —	0 —
?	3	0	0	0

DES と MAS との間の違いが **9 (きまり文句) に見られる。MAS が多く現われている。DES は全体としてここでもこれといっためだつた点はない。GOZAIMAS と GOZAINS についても、この限りでは **9 に違いがありそうに見える。GOZAIMAS は **9 に比較的多いが、GOZAINS が現われたのは、**1 (日常・身辺・家庭) に16例のほか、**2 (世間・時事)、**4 (個人うわさ) だけで、**9 にはなかった。

1.3.4. まとめ。

以上の三つの点から考えると、同じていねい表現関係の要素といってもその現われ方にある程度の違いがありそうなのがわかる。とくに、DES と MAS は、2** (あいさつ) およびそれにともなうと考えられることばの調子——*1* (あらたまり) など——や、話題——**9 (きまり文句) ——で、比較めだつ違いを示した。これは、あいさつのきまり文句に MAS が DES よりも多く使われているということがあるのかもしれないし、また DES と MAS との文法的な (あるいは意味上の) 性格の違いも関係しているかもしれない。これからの研究課題の一つであろう。もし、この DES と MAS についての結果が偶然でないならば、MAS は、ていねいさの程度あるいは形式的であることについての程度において DES より上と考えられる。それに対して DES は中立的で、ふつうの文体に多く現われるものと言ってよさそうである。

GOZAIMAS と GOZAINS との間にも何らかの違いがありそうである。前者が 2**, *1*, **9 に比較的多く、後者が 3** (しらせ・用談), 4** (おしゃべり), *3* (ふつう), **1 (日常・身辺・家庭) などに現われているという傾向がもし偶然の結果でなかったならば、ひょっとしたら標準語形と方言形の違いにもとづく、ていねいさあるいは形式的であることについての程度の違いによるものかもしれない (つまり、前者があらたまつた形、後者はふつうの形)。なお、これについては、尊敬表現の NASAIMAS と NASAINS について参照。(→1.4.4.)

1.3.5. 補い。

(1) DAR <だ> について簡単にあげる。第8表の通りである。communication 上の function, ことばの調子、話題をまとめて示す。

第8表

0**	11	26.9	**0	18	35.9
1**	0	17.9	**1	386	421.6
2**	11	62.8	**2	206	143.5
3**	157	224.3	**3	5	17.9
4**	716	565.1	**4	265	215.3
			**5	0	—
0	0	—	**8	0	9.0
1	6	26.9	**9	4	26.9
2	23	17.9	**A	11	17.9
3	865	843.2	?	2	
8	1	—			

communication 上の function については、2** (あいさつ)、3** (しらせ・用談)、とくに2** ですくなく、4** (おしゃべり) で多い傾向を示す。ことばの調子では、*1* (あらたまり) ですくなく。話題では、**9 (きまり文句) ですくなく、**2 (世間・時事)、**4 (個人うわさ) でやや多い。以上の傾向は、大ざっぱに言って、MAS と逆の性格を持っていると言えそうである。もし、前の 1.3.4. でのべたように、ていねいさあるいは形式的であることの程度に関して DES が中立的であるとするならば、MAS は DES の上、DAR は DES の下に位置するものと言うことが出来るかもしれない。

(2) 話し手、聞き手の組み合わせとていねい表現。ていねい表現にとって、話し手と聞き手の関係が重要な条件になるということは、従来からよく言われていることだが、たしかに実際の現われ方を見ると、話し手と聞き手の組み合わせのいかんによっていろいろな違いが見られるようである。ここでは、その例として資料の中から話し手と聞き手がそれぞれひとりずつの組 (たとえば、K8F:U1F とか U1F:U2M などといった) を55組えらび、それらの組のすべての発話における DES, MAS, GOZAIMAS, GOZAINS の現われをあげる。

なお、話し手、聞き手間の関係について、以下にあげるようないくつかの特徴を仮定して、それによって上の諸要素の現われを見ることにした。

客側、主人側の関係：

- a 客（側の立場）から主人側へ
- b 主人（側の立場）から客側へ
- c 客どうし
- d 家族どうし

この場合、主人側というのは、さきにあげたここという同居家族のメンバーだけとは限らない。訪問者でも（とくに親せき）、さきに来ていてあとの訪問者を迎える位置（一種の社会的位置）にあれば、主人側として扱う。

年齢の関係：

- e 年少者から年長者へ
- f 年長者から年少者へ
- g （ほぼ）同年者どうし

みうちか、みうちでないかの関係：

- h 互にみうちでない者どうし
- i 互にみうちである者どうし

第9表

	DES		MAS		GOZAIMAS		GOZAINS	
a	124	117.9	144	112.0	14	9.2	9	4.8
b	204	164.2	195	156.0	18	12.9	6	6.6
c	79	96.8	55	92.0	1	7.6	2	3.9
d	14	42.1	6	40.0	0	3.3	0	1.7
e	276	172.6	230	164.0	15	13.5	9	7.0
f	115	197.9	136	188.0	15	15.5	6	8.0
g	30	50.5	34	48.0	3	4.0	2	2.0
h	220	113.7	248	108.0	29	8.9	14	4.6
i	201	307.3	152	292.0	4	24.1	3	12.4

各欄の左側は実際の度数，右側はそれぞれの特徴における文数と総文数との比によって，それぞれの要素のここにおける限りののべ度数を比例配分して出した理論度数。

客側，主人側に関係にした特徴の場合は，客側から主人側へおよび主人側から客側への組み合わせにおいて，ていねい表現関係の要素の現われ方が多い

傾向にあるようである。それに対して、客どうしではむしろすくない傾向を示し、さらに家族どうしでもすくない（これは当然かもしれぬ）。年齢に関係した特徴では、年少者から年長者への組み合わせで多く、年長者から年少者への組み合わせですくない。同年者どうしはあまりはっきりしないが、どちらかというとなめらしい。みうちかみうちでないかでは、みうちでない者どうしで多く、みうちどうしではすくない、という違いがはっきりしている。このような結果は、われわれの常識から予想されるところとかけはなれていないようである。

1.4. 談話の種類と尊敬表現。

1.4.0. 談話の種類と、学校文法でいうところの「尊敬語」にあたる諸要素の現われ方との関係について見る。問題にする尊敬表現関係の要素は、RARE〈られる〉、RAE〈られる〉、SAQSJAR〈「られる」に近いか?〉、NAR〈なさる〉、NASAR〈なさる〉、NASAIMAS〈なさいます〉、NASAINS〈なさいます〉の七つである。なお、以下では、比較的数字の多い、RARE、NAR、NASAR と、数のすくない、SAQSJAR、NASAIMAS、NASAINS とを別にして見ていくことにする。

1.4.1. communication 上の function と尊敬表現。

communication 上の function の種類による、尊敬表現関係の各要素の現われ方は、次ページの第10表 (1, 2) の通りである。

はじめに、RARE、NAR および NASAR について見ると、RARE が 2** (あいさつ)、3** (しらせ・用談) ですくなく、4** (おしゃべり) で多い傾向を示すのに対し、NASAR が逆にどちらかという、2**, 3** で多く、4** ですくないのが目につく。NAR の現われ方には、これといった特別な点はないように見える。数のすくない、RAE、SAQSJAR、NASAIMAS および NASAINS については、RAE、SAQSJAR が 4** に集まっていて、RARE に似た傾向を示すのに対して、NASAIMAS は 2**, NASAINS は 3** に集まる。もちろん数がすくないから決定的なことは言えない。

第10表の 1

	R A R E		N A R		N A S A R	
0**	0	6.0	1	1.6	0	1.8
1**	0	4.0	1	1.1	0	1.2
2**	3	14.1	6	3.8	18	4.2
3**	14	50.3	16	13.5	23	15.0
4**	180	126.6	30	34.0	18	37.8
?	4		0		1	

第10表の 2

	R A E		S A Q S J A R		N A S A I M A S		N A S A I N S	
0**	0	—	0	—	0	—	0	—
1**	0	—	0	—	0	—	0	—
2**	0	—	1	—	8	—	2	1.1
3**	0	2.8	0	2.3	1	2.5	12	3.8
4**	11	6.9	7	5.7	1	6.3	1	9.5
?	0		1		0		0	

1.4.2. ことばの調子と尊敬表現。

ことばの調子の種類による、尊敬表現関係の各要素の現われ方は、次の第11表 (1, 2) の通りである。

第11表の 1

	R A R E		N A R		N A S A R	
0	0	—	0	—	0	—
1	0	6.0	2	1.6	2	1.8
2	3	4.0	4	1.1	1	1.2
3	194	188.9	48	50.8	56	56.4
8	0	—	0	—	0	—
?	4		0		1	

第11表の 2

	R A E		S A Q S J A R		N A S A I M A S		N A S A I N S	
0	0	—	0	—	0	—	0	—
1	0	—	0	—	5	—	0	—
2	0	—	4	—	0	—	0	—
3	11	10.3	4	8.5	5	9.4	15	14.1
8	0	—	0	—	0	—	0	—
?	0		1		0		0	

ことばの調子の種類との関係については、上の表に見られる通り、あまりめだつ点はない。ただ、NASAIMAS が*1*（あらたまり）にある程度多いことが注意をひく程度である。

1.4.3. 話題と尊敬表現。

話題の種類による、尊敬表現関係の各要素の現われ方は、次の第12表（1, 2）の通りである。

第12表の1

	RARE		NAR		NASAR	
**0	1	8.0	0	2.2	0	2.4
**1	53	94.5	40	25.4	51	28.2
**2	17	32.2	2	8.6	1	9.6
**3	1	4.0	0	1.1	1	1.2
**4	123	48.2	10	13.0	4	14.4
**5	0	—	0	—	0	—
**8	0	2.0	0	—	0	—
**9	1	6.0	2	1.6	2	1.8
**A	1	4.0	0	1.1	0	1.2
?	4		0		1	

第12表の2

	RAE		SAQSJAR		NASAIMAS		NASAINS	
**0	0	—	0	—	0	—	0	—
**1	0	5.2	4	4.2	4	4.7	14	7.1
**2	0	1.8	1	1.4	1	1.6	0	2.4
**3	0	—	0	—	0	—	0	—
**4	11	2.6	3	2.2	0	2.4	1	3.6
**5	0	—	0	—	0	—	0	—
**8	0	—	0	—	0	—	0	—
**9	0	—	0	—	5	—	0	—
**A	0	—	0	—	0	—	0	—
?	0		1		0		0	

RARE, NAR, NASAR については、RARE と NASAR がここでも大ざっぱに言って逆の傾向を示している。すなわち、RARE は**1（日常・身辺・家庭）ですくなく、**4（個人うわさ）で多いのに対して、NASAR は**1

で多く、**4 ですくない。NAR は**1 に多く、この点については NASAR に近い傾向を示している。数のすくない方では、RAE が**4 に集中して、RARE に似た性格を示す。SAQSJAR にはとくにめだつ点はないようである。NASAIMAS, NASAINS では、前者が**9 (きまり文句) にある程度多く見られ、後者は**1 に集まっている。

1.4.4. まとめ。

はじめに、RARE と NASAR がいろいろな点で違った性格を示すことが注意される。communication 上の function の 2** (あいさつ), 3** (しらせ・用談), 4** (おしゃべり), 話題の **1 (日常・身辺・家庭), **4 (個人うわさ) について、それぞれ逆の傾向を示すことは上に見て来た通りである。数のすくない方のものでも、RAE はやはり RARE に近いようである。NASAIMAS と NASAINS はどちらかというと NASAR に似た現われ方である。このようなことから考えると、ここで尊敬表現としてあげた諸要素は大きく二つのグループに分れるのではないかと想像される。一つは RARE と RAE, 他の一つは、NASAR, NASAIMAS, NASAINS。NAR は両者の中間か、ひょっとしたら後者に近いのかもしれない。SAQSJAR についてもわからない。

なお、NASAIMAS と NASAINS との間にも、こまかく見ると、違いがありそうである。そして、その違いは、ていねい表現における GOZAIMAS と GOZAINS の違いと平行的なもののように思われる。communication 上の function, ことばの調子, 話題について、それぞれの要素が比較的多く現われているものを+で示すと下のようなになる。(±は多くもすくなくもないもの)

	NASAIMAS	NASAINS	GOZAIMAS	GOZAINS
2**	+		+	
3**		+		+
1	+		+	
3		±		+
**1		+		+
**9	+		+	

1.4.5. 補い。

尊敬表現と関係者。ここで関係者というのは、ある尊敬表現をうける立場にある人物のことである。ほとんどの場合、問題の尊敬表現関係の要素がついている述語の表わす動作または状態の主（動作主）である。この関係者が、その話し手にとって目の前にいる相手（聞き手）であるか、または話し手から（同時にまた聞き手からも）離れたところにいる第三者であるかということについて、尊敬表現関係の要素によって相当いちじるしい違いが見られる。

第13表

	RARE	RAE	SAQSJAR	NAR	NASAR	NASAIMAS	NASAINS
相手	7	0	5	38	54	10	12
第三者	194	11	4	20	6	0	1
?	0	0	0	1	0	0	2

RARE, RAE は、第三者について使われた場合が圧倒的に多い。それに対して、NASAR, NASAIMAS, NASAINS では、相手について使われた場合が多い。NAR は両者の中間的な性格を示す。SAQSJAR も、数がすくないから断定は出来ないが、ここの数字の限りでは中間的である。以上のことは、前の 1.4.4. で談話の種類による現われ方から考えた、二つのグループの区別と一致する。NASAR, NASAIMAS, NASAINS, とくにあとの二者はある点でていねい表現に関係のある性格を持っているように見えるが（→1.4.4.），それは、ここで見たように相手（聞き手）について使われる場合が多いことがその一つの原因かもしれない。また、ここに見られる事実は、尊敬表現の内容（意味）上の特徴として、関係者の扱い方に二種類のものがあるのではないかと、つまり、一つは関係者をいわば「そと」の者として扱い、他はいわば「うち」の者として扱う、といった二種類のものがあるのではないかと、ということを示唆するものである。

ついでに、関係者が第三者の場合、どのような種類の人間であるかを、次にあげておく。

第14表

	RARE	RAE	SAQSJAR	NAR	NASAR	NASAINS
世間一般	18	0	0	0	1	1
他人(または知人?)	67	0	0	6	2	0
親せき	80	9	4	4	2	0
親せき(または知人?)	11	0	0	0	0	0
話し手の家族	6	2	0	5	0	0
相手の家族	0	0	0	0	1	0
その他	6	0	0	1	0	0
?	0	0	0	4	0	0

1.5. 談話の種類と要求表現。

1.5.0. 談話の種類と要求表現関係の諸要素の現われ方を見る。問題にする要求表現関係の言語形式は次の通りである。nasaimase (NASAIMAS, RE) <なさいませ>, nasainse (NASAINS, RE) <なさいませ>, nasai (NASAR, RE) <なさい>, nai (NAR, RE) <なさい>, (…te) kudasaimase (KUDASAIMAS, RE) <(…して) 下さいませ>, (…te) kudasainse (KUDASAINS, RE) <(…して) 下さいませ>, (…te) kudasai (KUDASAR, RE) <(…して) 下さい>, (…te) cjoodai (CJOODAI) <(…して) ちょうだい>, (…te) gosinai (GOS, NAR, RE) <(…して) 下さい>, (…te) gosudawa (GOS, DAR, WA) <(…して) ちょうだいぐらいにあたるか?>, (動詞) dawa (DAR, WA) <…しなさい, …するといい>。

1.5.1. communication 上の function と要求表現。

communication 上の function の種類による、要求表現関係の各要素の現われ方は、次の第15表の通りである。

全体的に数がすくないから断定的なことは言えないが、一般に要求表現は2** (あいさつ) と3** (しらせ・用談) に多く、4** (おしゃべり) にはすくない傾向があるようである。個々の言語形式について見ると、2** に多いもの——nasaimase, 3** に多いもの——nai, dawa, 2** と3** 両方に多いもの——nasai, kudasai, cjoodai がある。2** の場合は、席をすすめたり、茶菓をすすめたりする時のものが多いと想像される。3** については、家庭内のこま

第15表

	nasaimase	nasaiNse	nasai	nai	kudasaimase
0**	0 —	0 —	0 1.2	0 —	0 —
1**	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
2**	8 —	1 —	16 2.8	2 1.1	0 —
3**	1 2.3	0 —	17 10	7 3.8	1 —
4**	0 5.7	0 —	6 25.2	5 9.5	0 —
?	0	0	1	1	0

	kudasaiNse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
0 —	15 2.1	12 1.6	3 —	0 —	2 —	2 —
1 —	11 7.5	9 5.8	2 1.3	2 —	10 3.3	10 3.3
0 —	4 18.9	1 14.5	0 3.2	0 1.3	1 8.2	1 8.2
0	0	1	0	0	0	0

ごました用事に関して要求表現がしばしば現われることを示すものかもしれない。以上の傾向は、われわれの常識から考えるとあまりへだたりはないように思われる。

1.5.2. ことばの調子と要求表現。

第16表

	nasaimase	nasaiNse	nasai	nai	kudasaimase
0	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
1	5 —	0 —	1 1.2	0 —	0 —
2	0 —	0 —	1 —	0 —	0 —
3	4 8.5	1 —	37 37.6	14 14.1	1 —
4	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
?	0	0	1	1	0

	kudasaiNse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
0 —	1 —	0 —	2 —	0 —	0 —	0 —
0 —	3 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
1 —	26 28.2	22 21.6	3 4.7	2 1.9	13 12.2	13 12.2
0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
0	0	1	0	0	0	0

ことばの調子の種類による，要求表現関係の各要素の現われは，前ページの第16表の通りである。

nasaimase が *1*（あらたまり）にある程度多いほかは，みな *3*（ふつう）に集まっているが，これも理論度数よりとくに多いわけではない。

1.5.3. 話題と要求表現。

話題の種類による，要求表現関係の各要素の現われ方は，次の第17表の通りである。

第17表

	nasaimase	nasaiNse	nasai	nai	kudasaimase
*0	0 —	0 —	0 1.6	0 —	0 —
*1	4 4.2	1 —	37 18.8	13 7.1	1 —
*2	0 1.4	0 —	0 6.4	1 2.4	0 —
*3	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
*4	0 2.2	0 —	0 9.6	0 3.6	0 —
*5	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
*8	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
*9	5 —	0 —	2 1.2	0 —	0 —
*A	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
?	0 —	0 —	1 —	1 —	0 —

	kudasaiNse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
	0 —	0 1.2	0 —	0 —	0 —	0 —
	1 —	26 14.1	22 10.8	3 2.4	2 —	13 6.1
	0 —	1 4.8	0 3.7	0 —	0 —	0 2.1
	0 —	2 —	0 —	0 —	0 —	0 —
	0 —	0 7.2	0 5.5	0 1.2	0 —	0 3.1
	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
	0 —	1 —	0 —	2 —	0 —	0 —
	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
	0 —	0 —	1 —	0 —	0 —	0 —

nasaimase が **9（きまり文句）にある程度多いほかは，**1（日常・身辺・家庭）に集まっている。とくに，nasai, nai, kudasai, cjoodai, dawa がそうである。それに対して，**2（世間・時事）とか **4（個人うわさ）ではすくない。

1.5.4. まとめ。

もちろん断定は出来ないが、ここの結果の限りでは、談話の種類と要求表現の現われとの関係はわりにはっきりした性格を見せているように見える。communication 上の function や話題についての現われ方から考えられるように、要求表現——とくに日常生活の会話における要求表現は、多くの場合、人と人との一種の社会的な接触に関するもの——2**（あいさつ）におけるような——とか、日常生活における具体的ないろいろなものごとに関して、相手に何らかの具体的な行動を求めること——3**（しらせ・用談）、**1（日常・身辺・家庭）におけるものとかに関しておこるものようである。それに対して、発話の時点において目の前に具体的に現われることがらを直接問題にすることがすくないところの、4**（おしゃべり）、**2（世間・時事）、**4（個人うわさ）では、要求表現がおこることもすくないのであろう。このような、目の前の具体的なものごとを直接問題にしているか、そうでないかという違いは、談話の分析の上でも、また、待遇表現そのものの分析の上でも、注目してよい一つの点であるように思われる。

1.5.5. 補い。

要求表現では、さきのていねい表現の場合と同じように、話し手と聞き手の間の（直接的）関係が問題となると思うので、ていねい表現の時に見た、話し手と聞き手の間の関係についてのいろいろな特徴をここでも使い、それぞれの特徴における要求表現関係の諸要素の現われを見ておくことにした（→1.3.5.）。話し手、聞き手の組も、やはりていねい表現の場合と同じ55組である。（第18表）

- | | |
|------------------|------------------|
| a （客側の立場から主人側へ） | b （主人側の立場から客側へ） |
| c （客どうし） | d （家族どうし） |
| e （年少者から年長者へ） | f （年長者から年少者へ） |
| g （ほぼ同年者どうし） | |
| h （互にみうちでない者どうし） | i （互にみうちである者どうし） |

各欄の左側は実際の度数、右側はそれぞれの特徴における文数と総文数との比によって、それぞれの要素のここにおける限りののべ度数を比例配分して出した理論度数。

第18表

	nasaimase		nasaiNse		nasai		nai		kudasaimase	
a	1	1.7	0	—	15	10.1	4	2.8	1	—
b	5	2.4	1	—	14	14.0	3	3.9	0	—
c	0	1.4	0	—	5	8.3	1	2.3	0	—
d	0	—	0	—	2	3.6	2	1.0	0	—
e	4	2.5	0	—	17	14.8	6	4.1	1	—
f	2	2.8	0	—	9	16.9	2	4.7	0	—
g	0	—	1	—	10	4.3	2	1.2	0	—
h	6	1.6	1	—	13	9.7	2	2.7	1	—
i	0	4.4	0	—	23	26.3	8	7.3	0	—

	kudasaiNse	kudasai		cjoodai		gosinai		gosudawa		dawa		
	0	—	5	7.6	5	6.2	0	1.4	0	—	3	3.1
	1	—	20	10.5	15	8.6	4	2.0	1	—	0	4.3
	0	—	2	6.2	1	5.1	1	1.2	0	—	3	2.5
	0	—	0	2.7	1	2.2	0	—	0	—	5	1.1
	0	—	12	11.1	4	9.0	1	2.1	0	—	6	4.5
	1	—	10	12.7	10	10.3	3	2.4	1	—	3	5.2
	0	—	5	3.2	8	2.6	1	—	0	—	2	1.3
	1	—	12	7.3	6	5.9	2	1.4	0	—	0	3.0
	0	—	15	19.7	16	16.1	3	3.7	1	—	11	8.0

それぞれの要素の度数もすくないし、ていねい表現の場合ほど現われ方についての性格がはっきりしていないように見える。客側か主人側かという関係については、b（主人側から客側へ）に、kudasai, cjoodai（また nasaimase も）がわりに現われる傾向がありそうなのは、あいさつなどで、席や茶菓をすすめたりする時などに出て来るものかと思われる。年齢の関係に関しては、同年者どうしの間にいくつかの種類のもものが比較的多く現われていること（多いというほどでもないが）、みうちかみうちでないかについては、dawa がみうちどうしに集まっていることぐらいが目につくことがらであろう。

1. 6. 呼び名。

1. 6. 0. 呼び名については、以下にあげる範囲の言語形式を問題にする。(それぞれの言語形式のあとの()内の数字は現われた度数を示す)

(1) 人名

a 姓+名

HASIMOTO RJUUTAROO (2) ETOO TOSIJA (2) JA-
SUDA ZENGOROO (1) KAWASIMA HACUKO (1) NA-
KAJAMA MASA (1)

b 姓

GAMOO (10) HUNAGOSI (2) AOKI (2) INOUE (1)
ISIKAWA (2) JAMAZAKI (1) OCIAI (1) OZUWARUDO
(4) UCIDA (2) URABE (1) WATANABE (1) KAWA-
SIMA (1) KANBA (3) KANDO (3) KAZITA (5) KE-
NEDII (1) MOCIDA (5) NAKAMURA (3) RUBII (1)
SAKURAI (2) TAKESITA (3) TOMITA (1) TOMO-
CIKA (1)

c 名

HIROKO (2) HUMI (1) AKIRA (7) ICIROO (6) JOOKO
(6) KIMIE (2) KUNIO (1) MINORU (2) REEKO (3)
SACIKO (1) TOKUSUKE (1) TOSIKO (3)

d 姓+名+SAN

HUZHARA MOTOME-SAN (1) ENDOO KAEMON-SAN
(1) JASUDA ZENBEI-SAN (1) OCIAI TEE-SAN (1)
UEDA MOTOKAKU-SAN (1) NAKAJAMA MASA-SAN
(2) SENGOKU KOOTAROO-SAN (2) TANAKA ZIROO-
SAN (1)

なお、姓+名の略称に SAN をつけたものが一例あった。

UEKAKU-SAN (=UEDA MOTOKAKU) (1)

e 姓+SAN

HARA-SAN (1) HATA-SAN (2) HINO-SAN (1) HOSODA-SAN (1) AMANO-SAN (1) ETOO-SAN (2) IWATA-SAN (1) IKEDA-SAN (2) INOUE-SAN (1) JAMAUCI-SAN (1) JAMASAKI-SAN (1) JASUDA-SAN (2) OCI-AI-SAN (3) OKANO-SAN (3) OOHASI-SAN (1) OOSAWA-SAN (1) UENO-SAN (6) WATANABE-SAN (1) KAWASIMA-SAN (1) KANBA-SAN (1) KANDA-SAN (2) KANDO-SAN (2) KENEDII-SAN (4) MACUBARA-SAN (MACUHARA-SAN を含む) (2) MACUMOTO-SAN (2) MACUSITA-SAN (2) MACUZAKI-SAN (2) NAGATANI-SAN (1) NAKAMURA-SAN (3) NOMURA-SAN (2) NORO-SAN (3) SAKURAI-SAN (8) SENGE-SAN (2) TAKESITASAN (4) TAMURA-SAN (2) TERAMOTO-SAN (3)

f 名+^{注15)}SAN

HACUKO-SAN (2) HIROSI-SAN (1) HUMI-SAN (7) HUMIKO-SAN (1) HUZIKO-SAN (1) AKI-SAN (1) JACIJOKO-SAN (3) JOOKO-SAN (2) KEEKO-SAN^{注16)}(?) (1) KEIBOO-SAN (2) KEN-SAN (1) KUMA-SAN (1) KUMAHARU-SAN (1) MASA-SAN (1) MASAE-SAN (3) MINO-SAN (1) MOTOME-SAN (2) NOBOO-SAN (2) REEKO-SAN (3) SECUKO-SAN (3) SIN'ICI-SAN (1) SIZU-SAN (1) SJOO-SAN (1) SJOOKO-SAN (1) SUMISAN (2) SUMIKO-SAN (5) TOMI-SAN (1) TOSI-SAN (2) TOSIKO-SAN (1)

g 名+CJAN

JOOKO-CJAN (2) REEKO-CJAN (1) TOSIJUKI-CJAN(?) (1)

h 名(略称)+CJAN

CII-CJAN (1) HIRO-CJAN (5) IQ-CJAN (1) JAKO-CJAN

(1) JAQ-CJAN (13) KEN-CJAN (4) KIMI-CJAN (1)
 MINO-CJAN (1) MIQ-CJAN (^{注17)}?) (2) SEQ-CJAN (4)
 TOKU-CJAN (6)

(2) 親族称呼

a 親族称呼そのまま

O-BABA (14) O-ZIZI (1) PAPA (10)

b 親族称呼+SAN

BAA-SAN (1) O-BAA-SAN (6) O-KAA-SAN (11) O-
 NEE-SAN (1) O-NII-SAN (1) O-TOO-SAN (9) O-ZII-
 SAN (3) OBA-SAN (28) OKU-SAN (27) OZI-SAN (4)
 NEE-SAN (2) NII-SAN (2) PAPA-SAN (1)

c 親族称呼+CJAN

O-BAA-CJAN (84) O-KAA-CJAN (71) O-TOO-CJAN (38)
 O-ZII-CJAN (5) OBA-CJAN (6) KAA-CJAN (1) TOO-
 CJAN (1)

d 名+親族称呼+SAN

CIKAKO-OBA-SAN (1) SACIKO-OBA-SAN (1)

(3) 代名詞

a 代名詞そのまま

BOKU (3) BOKU-TACI (1) UCI (23) UCI-JACI (14)
 UCI-RA (6) UCI-RACI (4) WASI (12) WASI-RA (1)
 WATASI (140) WATASI-JACI (4) WATASI-RA (2) WA-
 TASI-TACI (1) WATAKUSI (1) ANATA (1) ANTA (212)
 ANTA-GATA (3) ANTA-JACI (1) OMAI (17) OMAI-
 JACI (1) DONATA (2)

b 代名詞+SAN

A-NO-SAN (1) OMAI-SAN (24) OMAI-SAN-JACI (1)
 DARE-SAN (2)

(4) その他に、以下にあげるような CAN, HAN, SAMA がついたものが

あるが、それらはここでは扱わなかった。

JAMANOUQ-CAN (10) JAMAUQ-CAN (1) SJUIQ-CAN (4)
 OQ-CAN (5) O-TOQ-CAN (1) OZIQ-CAN (3)
 BABA-HAN (1) MOCIDA-SJOO-HAN (1) MOCIDA-SJOO-
 KO-HAN (1) SIN'ICI-HAN (1) SJOO-HAN (1) SJOOKO-
 HAN (3) IKEDA-HAN (1)
 O-BABA-SAMA (1) O-KAA-SAMA (1)

1.6.1. communication 上の function と呼び名。

communication 上の function の種類による、各種の呼び名の現われ方は、以下にあげる第19表および第20表の通りである。人名、親族称呼関係のものと、代名詞関係のものを別々にして見ることにする。これは以下同様。

第19表

／	姓+名だけ	姓 だけ	名 だけ	姓+名+ S A N	姓+S A N	名+S A N	姓+名(略) +S A N
0**	0 —	0 1.7	0 1.1	0 —	1 2.3	0 1.6	0 —
1**	0 —	0 1.1	0 —	0 —	0 1.5	0 1.1	0 —
2**	0 —	1 3.9	0 2.5	0 —	3 5.4	0 3.8	0 —
3**	0 1.8	2 14.0	0 8.8	0 2.5	10 19.3	12 13.5	0 —
4**	7 4.4	53 35.3	35 22.1	10 6.3	63 48.5	42 34.0	1 —
?	0	0	0	0	0	0	0

／	名+CJAN	名(略)+ CJAN	親族称呼 だけ	親族称呼 +S A N	親族称呼 +CJAN	名+親族 称呼+S A N
0**	0 —	0 1.2	0 —	1 2.9	6 6.2	0 —
1**	0 —	0 —	0 —	0 1.9	0 4.1	0 —
2**	0 —	2 2.7	0 1.8	22 6.7	23 14.4	0 —
3**	0 1.0	17 9.8	9 6.3	10 24.0	81 51.5	0 —
4**	4 2.5	20 24.6	16 15.8	63 60.5	93 129.8	2 1.3
?	0	0	0	0	3	0

非常に大ざっぱに言って二つのグループに分れるように思われる。一つは4**（おしゃべり）に多いもの、他の一つは2**（あいさつ）または3**（しらせ・用談）に多いもの。前者としては、姓+名だけ、姓だけ、名だけ、姓+名+S A N、姓+S A N、名+S A Nなどをあげることが出来る。後者としては、名(略)+CJAN、親族称呼+S A N、親族称呼+CJANをあげることが出来る。

う。前者のグループにはいるものには、おそらく談話の話題となった人物の名まえが多いと想像される。それに対して、後者は談話の参加者（またはその場所に居合わせた人も？）をさすことが多いのではないか。

第20表

	BOKU	U C I	WASI	WATASI	WATAKUSI	ANATA
0**	0 —	1 1.4	0 —	5 4.4	0 —	0 —
1**	0 —	0 —	0 —	0 2.9	0 —	0 —
2**	0 —	3 3.3	1 —	12 10.3	0 —	1 —
3**	2 1.0	11 11.8	9 3.3	43 36.8	0 —	0 —
4**	2 2.5	32 29.6	3 8.2	84 92.6	1 —	0 —
?	0	0	0	3	0	0

	ANTA	OMAI	DONATA	OMAI SAN	ANOSAN	DARESAN
0**	6 6.5	1 —	0 —	0 —	0 —	0 —
1**	0 4.3	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
2**	31 15.1	0 1.3	0 —	2 1.8	0 —	0 —
3**	90 54.0	8 4.5	1 —	4 6.3	0 —	0 —
4**	86 136.1	8 11.3	1 1.3	19 15.8	1 —	2 1.3
?	3	1	0	0	0	0

どちらかという、3**（またあるものは2**も）に多く、4**でそれほど多くない傾向を示すようである。たとえば、ANTAは2**, 3**で多く、その他 WASI, WATASI, OMAI が3**でいくらか多いように見える。つまり、代名詞関係の呼び名は、前の人名関係のものの第二のグループ、名（略）+CJAN, 親族称呼+SAN, 親族称呼+CJAN に近い性格を持っていると言えるかもしれない。

1.6.2. ことばの調子と呼び名。

ことばの調子の種類による、各種の呼び名の現われ方は、以下にあげる第21表および第22表の通りである。

人名、親族称呼関係では、別にこれといってめだつ現われ方のものはないようである。しいてあげれば、親族称呼+SAN が*1*（あらたまり）と*2*（くだけ）でやや多いように見えることだが、これも、なにしろ数がすくないから確かなことはわからない。

第21表

／	姓+名だけ	姓 だけ	名 だけ	姓+名+ S A N	姓+S A N	名+S A N	姓+名(略) +S A N
0	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
1	0 —	0 1.7	0 1.1	0 —	1 2.3	0 1.6	0 —
2	0 —	0 1.1	0 —	0 —	2 1.5	0 1.1	0 —
3	7 6.6	56 52.6	35 32.9	10 9.4	74 72.4	54 50.8	1 — ⁹
8	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
?	0	0	0	0	0	0	0

／	名+CJAN	名(略)+ CJAN	親族称呼 だけ	親族称呼 +S A N	親族称呼 +CJAN	名+親族 称呼+S A N
0	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
1	0 —	0 1.2	0 —	6 2.9	4 6.2	0 —
2	0 —	1 —	1 —	6 1.9	8 4.1	0 —
3	4 3.8	38 36.7	24 23.5	84 90.2	191 193.6	2 1.9
8	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
?	0	0	0	0	3	0

第22表

／	BOKU	U C I	W A S I	WATASI	WATAKUSI	ANATA
0	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
1	0 —	1 1.4	0 —	4 4.4	0 —	1 —
2	0 —	3 —	1 —	3 2.9	0 —	0 —
3	4 3.8	43 44.2	12 12.2	137 138.2	1 —	0 —
8	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
?	0	0	0	3	0	0

／	AN TA	OMA I	DONATA	OMAI SAN	ANOSAN	DARE SAN
0	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
1	11 6.5	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
2	8 4.3	5 —	0 —	1 —	0 —	0 —
3	194 203.0	12 16.9	2 1.9	24 23.5	1 —	2 1.9
8	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
?	3	1	0	0	0	0

代名詞についても、とくに注意すべきものはなさそうである。が、AN TA だけが*1*で多い(*2*でも)のが注意される。

1.6.3. 話題と呼び名。

話題の種類による、各種の呼び名の現われ方は、以下にあげる第23表および

第24表（1,2）の通りである。

第23表

	姓+名だけ	姓 だけ	名 だけ	姓+名+ S A N	姓+ S A N	名+ S A N	姓+名(略) + S A N
**0	0 —	0 2.2	0 1.4	0 —	1 3.1	1 2.2	0 —
**1	0 3.3	11 26.3	8 16.5	0 4.7	15 36.2	14 25.4	0 —
**2	3 1.1	19 9.0	3 5.6	6 1.6	27 12.3	1 8.6	1 —
**3	0 —	0 1.1	0 —	0 —	2 1.5	0 1.1	0 —
**4	3 1.7	25 13.4	24 8.4	2 2.4	30 18.5	38 13.0	0 —
**5	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
**8	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
**9	0 —	0 1.7	0 1.1	0 —	1 2.3	0 1.6	0 —
**A	1 —	1 1.1	0 —	2 —	1 1.5	0 1.1	0 —
?	0	0	0	0	0	0	0

	名+CJAN	名(略)+ CJAN	親族称呼 だけ	親族称呼 + S A N	親族称呼 +CJAN	名+親族 称呼+ S A N
**0	0 —	0 1.6	0 1.0	2 3.8	6 8.2	0 —
**1	1 1.9	27 18.3	11 11.8	45 45.1	148 96.8	1 —
**2	0 —	0 6.2	0 4.0	3 15.4	27 33.0	0 —
**3	0 —	0 —	0 —	0 1.9	2 4.1	0 —
**4	3 1.0	11 9.4	14 6.0	42 23.0	13 49.4	1 —
**5	0 —	0 —	0 —	0 —	1 —	0 —
**8	0 —	0 —	0 —	0 1.0	0 2.1	0 —
**9	0 —	0 1.2	0 —	4 2.9	3 6.2	0 —
**A	0 —	1 —	0 —	0 1.9	3 4.1	0 —
?	0	0	0	0	3	0

第24表の1

	BOKU	U C I	W A S I	WATASI	WATAKUSI	ANATA
**0	0 —	2 1.9	0 —	4 5.9	0 —	0 —
**1	0 1.9	27 22.1	9 6.1	77 69.1	0 —	0 —
**2	2 —	15 7.5	1 2.1	13 23.5	0 —	0 —
**3	2 —	0 —	3 —	2 2.9	0 —	0 —
**4	0 1.0	3 11.3	0 3.1	43 35.3	0 —	0 —
**5	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
**8	0 —	0 —	0 —	0 1.5	0 —	0 —
**9	0 —	0 1.4	0 —	2 4.4	0 —	1 —
**A	0 —	0 —	0 —	3 2.9	1 —	0 —
?	0	0	0	3	0	0

第24表の2

	ANTA		OMAI		DONATA		OMAI SAN		ANOSAN		DARESAN	
**0	4	8.6	1	—	0	—	1	1.0	0	—	0	—
**1	157	101.5	14	8.5	1	—	16	11.8	0	—	0	—
**2	11	34.6	0	2.9	0	—	6	4.0	0	—	0	—
**3	5	4.3	0	—	0	—	1	—	0	—	2	—
**4	20	51.8	2	4.3	1	—	1	6.0	1	—	0	—
**5	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
**8	0	2.2	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
**9	12	6.5	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
**A	4	4.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
?	3		1		0		0		0		0	

人名、親族称呼関係には、1.6.1の場合と似た二つのグループが認められそうである。一つは**4（個人うわさ）が比較的多いもの、姓だけ、名だけ、姓+SAN、名+SAN。他の一つは**1（日常・身辺・家庭）が多いもの、名（略）+CJANと親族称呼+CJAN。ただし、親族称呼+SANは、communication上のfunctionでは名（略）+CJAN、親族称呼+CJANと同じグループに属したが、ここでは**4が多く、むしろはじめの方のグループに属する。これは、その話題の特徴の違いから考えて当然かもしれない。

代名詞関係には、どちらかというとも**1が多いものも多く、人名、親族称呼関係の場合、名（略）+CJANや親族称呼+CJANと似た傾向を示す。この点も、communication上のfunctionの場合と似ている。ただ、ANTAが**9（きまり文句）にある程度多いことが注意をひく。

1.6.4. まとめ。

いろいろな点から見て、呼び名のいくつかの要素は二つのグループに分れるように思われる。一つは、人名、親族称呼関係の中の、姓+名だけ、姓だけ、名だけ、姓+名+SAN、姓+SAN、名+SANである。communication上のfunctionとしては4**（おしゃべり）に多く、話題については**4（個人うわさ）に多かった。他の一つは、人名、親族称呼関係の中では、名（略）+CJAN、親族称呼+CJAN、それから代名詞関係の要素のいくつかである。これらは、communication上のfunctionでは、2**（あいさつ）、3**（し

らせ・用談)に多く、話題では**1(日常・身辺・家庭)に多かった。また、親族称呼+SANは、communication上のfunctionについては第二のグループに近い傾向を見せるが、話題については第一のグループにはいるもののようである。この二つのグループの違いについては、要求表現のところでふれた、目の前の具体的なものごとを直接問題にしているか、そうでないかという内容上の違いに関係があるかもしれない。(→1.5.4.)

もう一つ、ANTAに関する問題がある。このANTAは他の諸要素とはやや変った性格を持っているように思われる。すなわち、communication上のfunctionについては2**に比較的多く、ことばの調子では*1*(あらたまり)、話題では**9(きまり文句)においてすくなくない(一方、3**や**1にも現われているけれども)。つまり、ANTAは一方では日常生活に関する、ふつうの調子の談話にも現われるけれども、他の一方ではあいさつ——しかもあらたまった、きまり文句の——にも現われるようである。これは、ANTAを使うことが、あいさつの一種の型(の一部)をなすことを示すものかもしれない。そしてこの点は、標準語における意識とはすこし違うかもしれない。^{注18)}

1.6.5. 補い。

(1) 呼び名と関係者。ここで関係者というのは、ある呼び名によって名ざされる立場にある人物のことである。この関係者は、話し手または聞き手のこともあるし、また第三者である場合もある。その現われ方は、それぞれの呼び名によって違う。ここでは、人名、親族称呼関係のものについてだけあげる。代名詞関係のものは、話し手または聞き手か、あるいは第三者かの区別がはっきりしているからあげない。

第25表

	姓+名 だけ	姓だけ	名だけ	姓+名 + SAN	姓+ SAN	名+ SAN	姓+名 (略)+ SAN	名+ CJAN	名(略) + CJAN	親族称 呼+ だけ	親族称 呼+ SAN	親族称 呼+ CJAN	名+親族 称呼+ SAN
話し手または聞き手	—	—	—	1	3	3	—	—	11	9	29	171	—
第三者	7	56	35	9	74	51	1	4	28	25	65	33	2
?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—

人名を使った呼び名が、名(略)+CJANをのぞき、第三者に集中している。

これに対して、親族称呼+CJAN の大多数が（話し手または）聞き手に集まっている。名(略)+CJAN, 親族称呼だけ, 親族称呼+SAN は、第三者をさす場合が多いが、話し手または聞き手にもある程度まで使われていて、いわば中間的な性格を示す。こうした現われ方は、非常に大ざっぱに言って、前ののべた、二つのグループの別に対応するものと見る事が出来そうである。

つぎに、人名、親族称呼関係のものが第三者を名ざしている場合、どのような種類の人間について、どのような呼び名が使われているかをあげておく。

第26表

	姓+名 だけ	姓だけ	名だけ	姓+名 + SAN	姓+ SAN	名+ SAN	姓+名 (略)+ SAN	名+ CJAN	名(略) + CJAN	親族称 呼だけ	親族称 呼+ SAN	親族称 呼+ CJAN	名+親族 称呼+ SAN
知 名 人	6(5)	12(6)	—	8(6)	17(7)	1(1)	1(1)	—	—	—	1(1)	—	—
知人・他人	1(1)	15(9)	—	—	55(27)	5(3)	—	—	—	—	19(5)	—	—
みうち（話 し手、聞き 手共通）	—	28(10)	6(4)	1(1)	2(2)	36(20)	—	—	18(8)	16(3)	31(9)	27(5)	1(1)
話し手みう ち	—	1(1)	28(9)	—	—	3(3)	—	1(1)	6(2)	—	3(1)	3(2)	—
聞き手みう ち	—	—	1(1)	—	—	5(4)	—	2(2)	2(2)	—	6(5)	3(2)	—
そ の 他	—	—	—	—	—	1(1)	—	1(1)	2(1)	—	5(2)	—	1(1)

表中の（ ）外の数字は実際の度数，（ ）内の数字はことなり数。

(2) 呼び名と尊敬表現。どんな種類の呼び名と、どんな尊敬表現関係の要素が一つの文中に共存するかを見た結果を下にあげる。各種の呼び名の中で、尊敬表現関係の要素との共存例があるものだけをあげた。また、それぞれの呼び名の関係者が、尊敬表現関係の要素がついている動詞の動作主である場合だけをあげた。

第27表

	姓だけ	姓+ S A N	名+ S A N	親族称 呼だけ	親族称 呼+ S A N	親族称 呼+ C J A N	名+親族 称呼+ S A N	ANTA
RARE	3	4	4	5	7	1	1	—
SAQSJAR	—	—	—	1	—	—	—	—
NAR	—	1	—	—	1	11	—	9
NASAR	—	1	—	1	1	10	—	8
NASAIMAS	—	—	—	—	1	—	—	—

例がすくないので断定的なことは言えないが、RARE と共存することの多いグループと、NAR および NASAR と共存することの多いグループとの区別がありそうである。前者は、姓だけ、人名または親族称呼に SAN をつけたものおよび親族称呼だけであり、後者は、親族称呼+CJAN および ANTA である。この区別は、今までいくつかの観点から見て来た、呼び名の二つのグループの別、および尊敬表現関係の要素におけるたとえば、RARE と NASAR その他のものとの違いに、大体対応していると言うことが出来ると思われる。

1.7. 今後の問題。

1.7.0. 今まで、各種類の談話の、参加者の種類との関係から見た現われ方、また待遇表現関係の要素の、談話の種類との関係から見た現われ方を、あまり体系的にではなくあげてきた。一般に実例の数がすくないので、どの点についてもあまり断定的なことが言えないのはもちろんである。にもかかわらず、これからの研究との関連において、いくつかの点を問題にすることが出来ると思うので、以下それらについて簡単にのべておくことにする。

1.7.1. 談話について。

今まで見てきたように、参加者の種類と各種の談話の現われ方との間の関係、また談話の種類と各種の待遇表現関係の要素の現われとの間の関係には、いくつかの特徴が見出されるように思われる。その点でここに仮定した談話と呼ぶ一種の文章論上の単位は、待遇表現関係の諸要素の現われについての分析に一つの手がかりを提供するものであると考えてよさそうである。しかし、いくつかの具体的な点については、さらに検討を加えなければならない。

第一に、前にものべたように、ここで問題にしてきた談話という一種の文章論上の単位は、その切り方についても、またその種類の認め方についても、主観的な判断に頼る面が多い。そのような分析の根拠をみつけるためには、あるいはまた、そのような分析の結果を改めるためには、ここで見た待遇表現関係の要素に限らず、その他の種類の言語要素がどのように現われているかを見る必要があると思われる（ここで言語要素というのは、形態素あるいは単語だけでなく、一方では従属句、文およびそれらに付随したいくつかの要素、他の一

方では、音声上、あるいは書きことばならば表記上の要素までも含む)。また、ここで談話の種類を区別するためのめじるしとして使った三種類の 特徴——communication 上の function, ことばの調子, 話題——およびその個々の特徴について再検討しなければならないのはいうまでもない。たとえば、ここでいうことばの調子の種類を通して見た場合、待遇表現関係の要素の現われ方にあまりはっきりした傾向が見られないことが、他の二種の特徴にくらべて多かったような気がする。もっと検討して考え直す余地があると思われる。

第二に、談話という単位を仮定したのは、単にそれだけにとどまるものではなく、さらにその概念を使ってここでいう「会話」の構造を分析することを前提にしたものである。そして、具体的な談話の現われ方を見ると、会話の構造にもいろいろな型があるのではないかと想像される。たとえば、談話の実例として、1.1.3. にあげた、K3F(野菜売りの婦人1)とU1F(落合家主婦)との間の会話は、次のような四種の談話の連続からなる。すなわち、219{あいさつ, あらたまり, きまり文句}, 331{しらせ・用談, ふつう, 日常・身辺・家庭}, 411{おしゃべり, あらたまり, 日常・身辺・家庭}, 219{あいさつ, あらたまり, きまり文句}。はじめに2** (あいさつ) があり、次に3** (しらせ・用談) が来て、それが終ると4** (おしゃべり) になる。そしてふたたび2** (あいさつ) で終る。これは、常識的に考えられる会話の一つの典型であろう。このような型のものを一方に考えるならば、他方また別の型のものもありうると考えられる。たとえば、2** 抜きで、いきなり3** になるとか、3** はなくて、いろいろな4** が続くとか、あるいはまた、1** (ひとり) に終始するとか。どのような会話の型があるか、また、それらがどのような条件のもとに現われるかを明らかにする必要がある。

1.7.2. 待遇表現の分析について。

これについても、いくつかの問題があると思われるが、そのうちの二つの点にだけふれておきたい。

第一は、待遇表現関係の要素の現われに関する条件についての考え方である。前に見たように、談話の種類によって待遇表現の要素の現われ方に違いが見られた。たとえば、2** (あいさつ) には、ていねい表現の諸要素 (全部ではな

いが)が多く現われるようであった。そして、2**は、たがいにみうちでない参加者の組のグループ(非シ・シ, 非シ・ウ)に多く現われるようであった。このような場合、何がていねい表現(の要素)の選択についての条件になっているかを考えるについては、いろいろ問題がありそうに思われる。たとえば、参加者についての、いわば「非みうち」という特徴の存在が2**という談話の種類(または型)の選択の条件(の一つ)となり、2**の存在はていねい表現の要素の選択の条件(の一つ)となる、というような一種のヒエラルヒー的な論理を作ることは簡単に出来るであろうが、それがはたして問題の諸要素の現われ方をよく説明することになるかどうかは疑問である。たとえば、参加者の組のグループのすべてについて、2**でのていねい表現関係の要素の現われ方が一様であるかどうかという問題がある。また、ていねい表現は他の種の談話、3** (しらせ・用語)や4** (おしゃべり)などでも現われているのであるから、そのような談話での現われ方はどうかという問題もある。こうした点を明らかにするためには、各種の談話における、参加者の組(のグループ)ごとの待遇表現の各要素の現われを調べるべきであった。この報告書の限りでは、そこまで調べていない。松江市民の言語行動を見たり聞いたりした限りでは、そのあいさつは、どんな場合でもわりていねいな感じがする。すなわち、どんな話し手、聞き手の組み合わせでも、ていねい表現関係の要素の現われ方は多いのではないかと想像される。しかし、それを客観的に証拠だてることは今のところ出来ない。

なお、条件に関してもう一つの問題をあげることが出来ると思う。それは、前の1.7.1.で問題にしたような、談話によって構成される会話の構造に関するものである。会話の構造にいくつかの型があるとするならば、そのような会話の構造上の型もまた、待遇表現関係の要素の現われ方に関係した条件の一つになる可能性があるのではないかと想像される。たとえば、前に見たように、ていねい表現関係の要素は、2**に多く現われる傾向がある。ところで、ひとつづきの会話において、2**の現われる位置は、常識的な考え方からするならば、1.7.1.にあげた例のように、会話のはじめとおわりの部分である場合が多いのではないかと想像される。もしそうであるならば、ていねい表現関係の要

素は会話のはじめとおわりの部分で多くなり、中ほどの、いわばなかみの話の部分では現われ方がすくなくなる、というのが一種の平均的な型ということになる（その代り、なかみの話の部分が3**（しらせ・用談）だったら要求表現が多くなり、4**（おしゃべり）だったら尊敬表現の RARE などが多くなる、ということもありうるかもしれない）。そして、このほかにも、もしいくつかの会話の型があるとするならば、特定の話し手と聞き手の組における待遇表現関係の要素の現われ方を問題にする場合には、まず、その組にどういう型の会話が起こるか、を明らかにしておく必要があると考えられる。このように考察の対象をここでいう会話にまでひろげると、談話の種類についての問題のように考えられたものが、そうではなくて会話の型の問題として考えるべきものになるかもしれない。この可能性も考えておく必要があるだろう。

第二に、各種の待遇表現の内容（意味）の分析についての問題がある。一般的に言って、いわゆる待遇表現の内容は、その種類ごとにまとまった、単純な性格を持っているものではなく、いわばいろいろな内容上の特徴が複合したものであるように思われる。たとえば、前に尊敬表現に二つのグループの別——RARE, RAE などに対する NASAR, NASAIMAS など——があることを見たが、この中の第二のグループはいくつかの点でいい表現に近い性格を示した。このことは、第二のグループのものは、何らかの点でいい表現と共通した内容を持っていること、そして同時に第一のグループとも共通した別の内容も持っていることを示唆する。また一方、尊敬表現の第一、第二のグループの別に対応した呼び名関係の要素の区別もあるようである（談話の種類による現われ方、また文の中での共存関係などから）。これまた、それぞれ共通した内容を持っているのではないかと想像される。

ところで、このようないくつかの要素に共通した内容上の特徴のあり方については、さらに考えるべき点がいくつかあるように思われる。たとえば、尊敬表現関係の各要素は、その中の一つが文中のある位置に現われると、他のものはもちろんその位置に同時に現われることは出来ないし（mutually exclusive）、また隣り合った位置にも現われることは出来ない。にもかかわらず（むしろ、そのゆえにと言うべき？）、それらはある（いくつかの）内容上の特徴

を共通して持っているように思われる。たとえば、ある動作の動作主、つまりここである関係者をふつうの扱い方よりも何らかの意味で上のものとして扱う、といったようなものなどはその一つである。対立する特徴についてもそうであって、尊敬表現関係の各要素のうち、RARE, RAE などは話し手、聞き手の目の前にいない関係者、NASAR, NASAIMAS などは話し手の目の前にいる関係者（聞き手）をそれぞれ問題にするが、このような対立も、たがいに排他的な現われ方をするいくつかの要素の間において認められるものである。以上のような内容上の特徴のあり方は、一種の paradigmatic なあり方と言うことが出来るのではないと思う。

それに対して、たとえば、RARE がある種の呼び名のグループと、また NASAR が他の種の呼び名のグループと、それぞれ何らかの内容上の特徴を共有するとするならば、そうした特徴のあり方は、いわば syntagmatic なあり方と言うことが出来ると思う。そして、ある特徴をこのようなしかたで共有すると考えられるいくつかの要素の現われ方と談話の種類との間にも何らかの関係があることから考えると、こうした syntagmatic なあり方における内容上の特徴は一つの文の範囲にとどまらず、談話（またはさらに会話）全体にわたる、あるいはひろがっている、と考えるべきかもしれない。

待遇表現関係の要素の現われに十分な説明を与えるためには、こうした内容上の特徴の一つ一つを明らかにしていかなければならないと思うが、ここではまだそれが出来なかった。

1.7.3. 資料の処理との関係。

第一に、テキストについて。前にのべた通り、三種のテキストを作った。すなわち、a 音声表記テキスト、b 音韻表記テキスト、c 形態音韻表記テキスト。このうち、a は録音からの最初の文字化資料として必然的に作られたものである。また c はコンピュータでの処理のために必要であった。ただ b だけが、実際上の存在理由が他の二者にくらべてすくなく見えるかもしれない。理論的には、一応形態音韻論的分析は音韻論的分析のあとに来ると考えられるので、その点では、c のテキストを作るためには b のテキストを完成しておくことが必要であった。また実際面においても、形態音韻表記はわれわれが常識的に考

えるところのことばの形と離れた点が多いので、とくに文章の形における資料の処理——たとえば談話の分類など——には音韻表記テキストの方が便利であった。一方、音声表記テキストは、そのときそのときの発話をいわゆる broad notation でうつしたもののだから、「同じことば」に対応するいくつかの発話（断片）が違った表記で書かれていることがすくなくない。その点音韻表記テキストの方は、形がより一定している。これも音韻表記テキストの利点の一つと言ってよいと思われる。ただ同語異語の判別については、形態音韻表記テキストの方がすぐれていることは否定できない（これも完全なものではないが）。以上のようなことから考えると、やはり上記の三種類のテキストの作成は必要であったと言うべきだろう。

なお、形態音韻論の体系についてのある程度の見通しが出来れば、そして個々の具体的な発話（断片）について、それがどういふことばであるかという認識が出来れば、音声表記テキストからいきなり形態音韻表記テキストを作ることとも可能である。実際の作業ではその手順をとり、別にたてた音韻化規則（この報告書では具体的にあげることをしないが）によって、形態音韻表記テキストから音韻表記テキストを作るといふ、逆の順序をふんだ。これまた前にのべた通りである。

ところで、テキストにおける、待遇表現関係の要素に関連した問題としては、たとえば、ある種の要素がないということはどう表わすかという問題がある。積極的に存在する要素は、もちろんみななんらかの形で表記してある。ところが、ある要素の現われ方を調べる場合には、その要素が積極的に存在する場合と同様、その要素が現われうる位置に、その要素がないということを調べる必要がある場合がしばしばある。たとえば、ここではいい表現の DES, MAS など、あるいは尊敬表現の RARE, NASAR などが積極的に現われている場合のみを、各種類の談話について見た。しかし、これは、それらが現われうる条件のもとで現われていない場合も調査して比較する必要があるのではないと思われる。積極的な要素のないところにも何か positive な記号を与えることを工夫すべきであった。そのためには、まず研究対象たる資料についての、十分に^て、^を得^た言^語学^的分^析が前提となることはいうまでもない。

第二に、談話の処理について。コンピュータによる一応の処理計画をたてる前に、分析についての十分な考察をあらかじめ行なうことが出来なかったので、資料の処理のうち、談話に関した部分はすべて人手によった。談話関係の情報（たとえば、談話番号五けた、談話の種類のコッド三けた）をあとから付け加えて、それによってコンピュータによる再処理を施すことは比較的容易に行なえたはずなので、もしそれを実行したならば、相当の時間と労力を省くことが出来たと考えられる。また、考察の範囲ももっとひろげることが出来たのではないかと想像される（たとえば、待遇表現関係の要素に限らず、各種類の談話における語彙一般の現われ方など）。このようなわけで、2.4.にものべるように、分析についての考察の不徹底のため、コンピュータによる処理を十分活用できなかったうらみが残る。しかしまた一面から考えると、一般論として、このような研究においては、分析の過程において新しい観点や仮説が出て来るのがふつうなのであるから、一応の分析案に従った処理計画作成のあとでも、そうした新しい観点なり仮説なりに対処できるような、一種の柔軟性を持った処理システムを開発することが、こうした研究のためには必要なのではないかと考えられる。

注1 意味から言えば、関東方言などの行キナヨ、食ベナヨという言い方の～ナヨ程度のものか。

注2 以下にあげる諸点は、もっぱら形の上の違いである。内容（意味）上の違いについてはふれなかったが、大ざっぱに言って DAR₁、DES₁の方がより「ことがら」的であるのに対し、DAR₂、DES₂の方はより「陳述的」である。前者はことがらの認定（identification）に関係し、後者はそれに対する話し手の態度に関係すると言うべきか。ただし、この場合、話し手というのは正確ではないかもしれない。筆者（南）は、それについて以前「自分」ということばを使ったことがある（南「文の意味についての二三のおぼえがき」国語研究〈国学院大学〉No. 24, 1967-12 参照）。

注3 これはひょっとしたら聞き取りの誤りで、zjamudarakeNneの可能性もある。

注4 書きことば全般についてみると、必ずしもいつも簡単に事がかたづくとは思えない。たとえば、手紙、メモの類など。また、文学作品でも常識的な取り扱いでは処理できないものもあるだろう。逆に、話しことばでも、いわゆる独話（講演、発表、テーブルスピーチなど）は、会話にくらべて取り扱いが楽かもしれない。

注5 会話において、話し手と聞き手が交代する（たとえばA「おはよう、Bちゃん」B「あらびっくりした。どちらへお出かけ？」）ことは、ごくふつうのことだが、ある

(ひとかたまりの)会話に、途中から新しい発話者が参加したり、また、はじめにしゃべっていた人物が脱落したり、ということもありうる。さらに同じ発話者の組による会話でも、内容(主題)が変化したり、またその話の communication 上の function が違うものになったりすることもある(たとえば、あいさつから用談へ、用談から雑談へなど)。

注6 ここで communication 上の function と呼ぶことがらについては、さらにいろいろな点で検討が必要だと思われる。

第一に、すべての種類の言語表現(ある言語社会においてありうるすべての種類の言語表現)をおおうことが出来るような、いくつかの function を考えなければならぬが、ここにあげたものだけで十分かどうかもちろん疑問である。verbal communication の function については、Roman Jakobson の考えがある。Jakobson はまず、verbal communication を成り立たせる要素として、次の六つのもの考えた。addresser, addressee, contact, context, message, code。そして、それらのそれぞれに対応する(というよりも、それぞれにもっぱら関係がある、というべきか)、六つのことばによる communication の function を考えた。すなわち、emotive, conative, phatic, referential, poetic, metalingual。(R. Jakobson: *Linguistics and Poetics, Style in Language*, pp. 350~377, 1960) この考えは、ことばによる communication の基本的な働きをよく説明することが出来ると思うのだが、しかしこれだけで、現代社会におけることばの働きを説明しきれるかどうかはわからない。

第二に、それぞれの function の特徴の分析についても、まだ問題がありそうなことである。今ここにあげた、あいさつ、しらせ・用談、おしゃべりなどといった特徴(の名まえというべき?)は、まだ実際の表現(の型)そのものに近い。もうすこし抽象的ないくつかの特徴を取り出すことも可能ではないかと思われる。たとえば、一方的／交互的、具体的内容あり／具体的内容なし、はじめ／つづけ／うちぎり、ほんとう／まねなどなど。

第三に、それらの function のありかたについての問題がある。ここでは、それぞれの談話について、一種類の function しか認めなかったが、実際には、一つの談話(と呼ばれる会話の一部分)がいくつかの function を持つ場合がすくなくない——というよりも、表現されたことば(またはそのある部分)には、いくつかの違った function が重なってあるのがその本来的なあり方なのではないかと想像される。たとえば、ここでいうあいさつとしらせと遊び。このいくつかの function の重なりは、ある程度の長さを持った一つの談話においてばかりでなく、極端な場合には一つの文または一つの単語よりなる談話においてさえ認められるのではないかと思われる。たとえば、「アブナイッ!」には「しらせ+ひとり」といった、常識的に見れば矛盾した特徴の共存さえ考えられるのではないか。

第四に、この function のありかたはいわゆる言語体系そのものとも密接な関係があると思われる。言語の体系における要素の間の一つの重要な関係は、言語記号(ま

たはその何らかの特徴)の対立 (opposition) である。たとえばこの対立の関係も、その言語表現の function のいかんによって変って来るのではないかと想像される。音韻的対立 (あるいはそう解釈されるところの、もとなる音声上の対立) については、ふつうは具体的な表現の段階における感情的側面を排除して考える。原則として、いわゆる「知的意義の分化に役立つ」ところの形の上の差異が問題とされる (有坂秀世『音韻論』1959, p. 3 など)。たしかに、音韻体系についてそのような定義のもとに分析を進めることは可能であるし、またそれがその言語 (または方言) の音相の重要な部分を説明していることについては、疑いをいれないと思う。しかし、それには、表現上 (あるいは communication 上) のある function のもとにおいてという条件がついていることも否定できないと思う (たとえば「知的情報の伝達」というような)。ある条件のもとでは問題にならなかった (あるいは問題にすることが出来なかった) 対立が、他のある条件のもとでは問題になる (あるいは問題にすることが出来る) ことはありうると思われる。たとえば、名古屋方言では、「甘い」「悪い」などの一種の強調した言い方として、それぞれ [amʔmæε] [warʔryi] といった形が現われる ([mʔ] [rʔ] で、それぞれ声門の緊張をともなった [m] [r] を表わす)。これらの例において、[m] [r] の前に [mʔ] [rʔ] があるかないかは、「知的情報の伝達」という function をもし考えるならば、そしてその条件のもとでという限りにおいては問題にならない。しかし、たとえば「相手に対する訴えかけ」とでもいった function を仮定すれば、その条件のもとでは [mʔ] [rʔ] の有無 (別のことばで言えば [mʔ] /ゼロ, [rʔ] /ゼロといった対立) は無視できない問題となろう。Jakobson は、英語の [big] と、それを強調した形の [bi:g] との間の違いは、ちょうどチェコ語の [vi] <you> と [vi:] <knows> との違いのように、慣習的な、コード化された言語的な特徴 (coded linguistic feature) である。しかし、後者の違いが音韻的なものであるのに対し、前者は emotive な function に関係したものである、としている。そしてこうした emotive な違いを非言語的なものだとする、Sol Saporta の考えを批判している (Jakobson: Linguistics and Poetics, p. 354)。言語表現における emotive な面に関したことがらを linguistic なものであるとする、Jakobson の意見は正当なものだと思うが、ただそれを言語体系の中にどのように位置づけるかについては、さらによく検討する必要があると思う。ここで問題にしたようなことがらを、いわゆる音韻体系 (内のことがら) ではないと主張することはもちろん可能であるが (前にものべた通り、定義の問題だから)、しかしとにかくそれらも言語的事実以外の何ものでもないということは明らかである。

注7 ポーズに関係した問題については、一応次の方針によって処理した。

- a ポーズがなくても、communication 上の function、ことばの調子、あるいは話題に大きな違いが認められる場合には、別の談話と認めた。
- b ある程度のポーズがあっても、それがとくに長い中断でなければ、そして参加者が変わらず、communication 上の function、ことばの調子、話題に大きな違

いが認められない場合には、一つづきの談話と認めた。

注8 たえば、ここでいう「教え・さしず」の時に必らず「おこり」の調子をともなう個人がいる。また、学会での発表などに対する質問に「おこり」の調子をともなう個人もいる。

注9 処理した資料に、ここにあげた全部の種類の特徴、およびその組み合わせが現われているわけではない。

注10 非親せきあるいは親せきというのは、調査した家庭の家族にとって、親せきか親せきでないかということである。

注11 このやり方については、林四郎が国語研究所の新聞語彙調査の結果の分析にとった方法に示唆をうけたところが大きい。林四郎「新聞語彙調査の概略と語彙分析法試案」(『電子計算機による国語研究』国研報告31, 1968) 参照。

注12 これは、非シとシの間のあいさつが、多くの場合ウを含むグループ、つまり非シ・シ・ウで行なわれたためではないかと想像される。

注13 たまたま K4F と K5F との間の会話が長かったためと思われる。

注14 ここでは、前の 1.0. であげた DES₁ と DES₂ および DAR₁ と DAR₂ はそれぞれ区別していない。

注15 ここに 名+SAN として扱ったものの中には、名(略称)+SAN、または愛称的なもの+SAN も含まれている。たとえば、MINO-SAN, KEIBOO-SAN など。

注16 一応 KEEKO-SAN として出したが、語形は未確認である。

注17 これまた未確認。

注18 標準語的意識からすると、ANTA を使えば、あまりていねいでない、あるいはくだけた感じをともなうのがふつうではないか。

2. 処理

2.1. 本報告の分析のためにおこなわれた処理のうちで、最も重要なものは、いうまでもなく、

○音声資料を文字化すること、○文に分割し、分析に必要な付加情報を設定して、それぞれの文につけること、○文を、文節、形態素に分割すること、○文を「談話」としてまとめ、それらを類別すること、○分析に必要な要素（文節或いは形態素）を選定し、リクエストに応じて電算機がうち出した処理結果について、必要な後処理を加えてそれを考察すること……

などであるが、それらはすべて言語学者としての人間（具体的には南個人）がおこなった。本篇で扱うのは、0.4.2.において、その概略を示した、主として電算機によっておこなわれる処理の実際についてである。

これらの処理は、もし人間がやれば、大変な労力と時間とを要するものではあるが、内容的にはまったく補助的なものである。またこの処理用のプログラムは、その構想の点からいっても、プログラミングの手法の点からいっても、特に目新しい特徴をもつものではない。むしろ極めてプリミティブなものといえよう。にもかかわらず、敢て一篇を設けて、処理の実際を示すのは、主として啓蒙的な——言語研究に電算機を利用する一つのあり方を具体的な形で知ってもらおうという——意図によるものである。

2.2. 65 MATSUE PLT（プログラム・ライブラリー・テープ）。

上記名称の PLT（磁気テープ）には、以下のプログラムが収められている。

- | | | | |
|----|-----------|-----|----------------|
| 1) | 65 MATSUE | 1 | 〔処理段階 I—1 に使用〕 |
| 2) | 同 | 2 | 〔 " I—2 " 〕 |
| 3) | 同 | 3 | 〔 " I—3 " 〕 |
| 4) | 同 | 5 | 〔 " I—4 " 〕 |
| 5) | 同 | 6 | 〔 " II—1 " 〕 |
| 6) | 同 | 6 A | 〔 " II—3 " 〕 |
| 7) | 同 | 6 B | 〔 " II—4 " 〕 |

- | | | | |
|-----|-------------------------|-----|------------------|
| 8) | 65 MATSUE | 7 | [処理段階 III—1 に使用] |
| 9) | 同 | 7 A | [" III—4 "] |
| 10) | 同 | 7 B | [" III—5 "] |
| 11) | 同 | 8 | [" II—2 "] |
| 12) | 同 | 90 | [" III—2 "] |
| 13) | 同 | 91 | [" III—2 "] |
| 14) | 同 | 9 A | [" III—3 "] |
| 15) | ABSTRACT | | ※ |
| 16) | TAPE-FILE-MAINTENANCE | | ※ |
| 17) | TAPE-PRINT-SELECTIVE—64 | | ※ |
| 18) | 同 | —96 | ※ |
| 19) | TAPE-SORT-40 | | ※ |

1) から 14) まだが、新たに作成したもので、15) 以下※印のプログラムは、H-3010 のサービスルーチンをそのまま転用したものである。0.4.2.2. のべた、各段階の処理、及びその処理結果 (OUTPUT) を記録する磁気テープの保守、その他の作業をする場合には、この PLT を使用する。なお、これら各ルーチンのソース・プログラムはすべて H-3010 のアッセンブリー・ランゲイジによって書かれたものである。従って、以下の各節で、特に指摘するプログラム内部のノーマル及びエラーホルト以外のホルトについては、H-3010 アッセンブリーシステムのオペレーションマニュアル 第二章 第二節 オブジェクト実行時の操作方法 に従って処理する。(たとえば、入出力 M/T のラベルチェック、あるいは、テープ交換など)

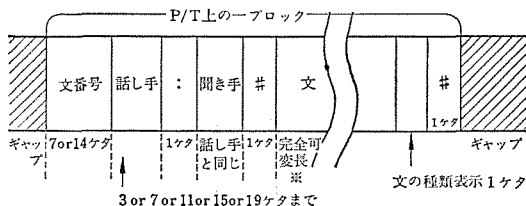
2.3. 処理の実際。

2.3.1. 文の段階。

0) 原始入力テープ P/T の形式について 次ページの図参照

○一文を一ブロック (ギャップにかこまれた部分) にパンチする。

※一応文の長さは完全可変長となっているが、電算機処理の能率を考慮し、実際には、文の部分にパンチされうる上限のケタ数を、535 ケタ



と設定した。万一、一文の長さが上限ケタ数をこえるものが存在した場合には、文番号のチェインニングを利用して処理することが可能である。本報告で扱ったデータ中には、上限ケタ数をこえるものは存在していない。

○話し手、聞き手はそれぞれ5人まで、各人の記号の間に / (スラント) を挿入して表記される。たとえば、U1F/U3M/K1M のように。従って1人のときは3ケタ、2人では7ケタとなり、最大5人のときは19ケタとなる。

○話し手と聞き手の間には : (コロン) 1ケタが入る。

○文番号は7ケタの数字によって示されるが、次のような場合には14ケタとすることもある。たとえば、一人の発話中に(文が完結する前に)別の人が発話しはじめて前の発話が一時中断されたような場合に、

```
00011700001190   話し手: 聞き手 #.....#
0001180           話し手: 聞き手 #.....#
0001190           話し手: 聞き手 #.....#
```

のごとくして、本来 0001170 と 0001190 の文が、一連であり、0001180 の文に中断されたことを示す。

○また発話中に、他の人の発話が重複する場合には、

```
0001120   話し手: 聞き手 #..... /0001130/ .....#
0001130   話し手: 聞き手 #.....#
```

のごとく、重複しはじめた部分に、/ (スラント) でかこんで、重複した発話の該当する文の番号を記入しておき、その内容は、その/でかこまれた番号ではじまるブロックにパンチする。(なお、文の途中に 挿入 される

《实例》

○下の小文字は音韻表記テキストによる。(以下同様)

○入力テープが終わった段階で、最後に E/F ブロックをよみこんで I-1 段階の処理をおわらせる。(E/F は end of file の意で 1 ケタの機械コード)

1) 1-1 65 MATSUE 1の実行 ラン1

(イ) 機器の配置

入力 P/T 紙テープリーダー (原始入力 P/T)

出力 M/T デッキ1番, 2番

PLT デッキ6番、ラインプリンター 96文字モード

(四) ノーマル・ホルト

i N. 9, A・Bとも 9999, ラン終了。

ii N. 5, A・Bとも 5555, ラインプリンター 印字

入力紙テープ交換し，リスタートする。

プログラム独自のエラー・ホルトなし。

ハツワバンゴウエラア ××××…………

ハナシテランシンボルエラア ××××……………

ハナシテランジンインオバア ××××……………

キキテランシンボルエラア ××××……………

キキテランジンインオバア ××××……………

のごとく印字し、そのあと××××……の位置に、ミスのあったブロックの先頭40ケタを印字し、そのブロックの内容はM/Tにかきこまずに次のブロックの処理にうつる。

○このラインプリンターの指示、および人間の目による校正の結果にもとづき、1-2の修正指定の入力紙テープを作製する。

○1 バッチ5レコード、1レコード最大600ケタ（実際は、この段階では592ケタ。あとで時間帯指定8ケタが入って600ケタとなる）

○レコードの形式

文番号 (7ケタ)	文番号 (7ケタ)	話し手 (19ケタ)	聞き手 (19ケタ)	#	文 (可変長最大535ケタ)	#	E /i
				↑ (文の種類) 1ケタ		↑ (文の種類) 1ケタ	

○文番号，話し手，聞き手の不要部分には 0 が入って，固定したケタ数をみたしている。(E/i は end of item の意で 1 ケタの機械コード)

○ラベル 65 MATSUE

2) 1-2 実行前のソート ラン2

○入力 M/T ラン1の出力

○key 文番号14ケタ

○出力 M/T ラベルは入力と同じ, 65 MATSUE

3) 1-2 65 MATSUE 2の実行 ラン3

(i) 機器の配置

入力 M/T デッキ2番 (ラン2ソートの出力 M/T)

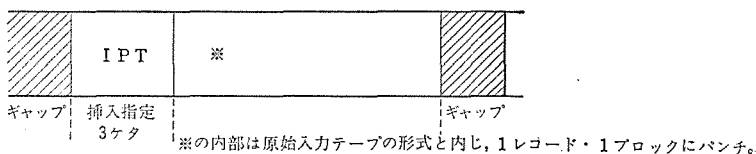
P/T 修正指定パラメータテープ, 時間帯指定パラメータテープ

出力 M/T デッキ3番 (修正がある場合は, これが更に中間入力となり, デッキ4番が最終出力となる。修正を行わない場合は, 3番がそのまま最終出力となる。)

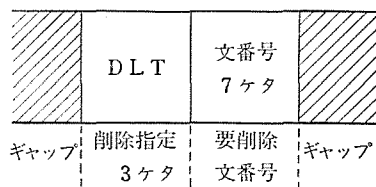
PLT デッキ6番 ラインプリンター 96文字モード

(ii) 修正指定 P/T の形式について

○補充・修正の場合



○削除の場合



○パラメータは修正, 削除をとわず, 文番号の上昇順 (番号の若いものを先) に配列してパンチする。

○指定終了は, FIN 3ケタのブロックによって示す。(時間帯指定 P/T の末尾と同じ。同図参照)

(ii) 時間帯指定 P/T の形式について

1					2					3						
	*	時間帯	文番号 (1)	文番号 (2)		*	時間帯	文番号 (1)	文番号 (2)		*	時間帯	文番号 (1)	文番号 (2)	FIN	
ギャップ	アリス タクト 1ケタ	8ケタ	7ケタ	マイナ ス	7ケタ	1	8	7	1	7	ギャップ	P/T終了 指定				ギャップ

指定方式

- 時間帯 08000829 (8時から8時29分)
12301259 (12時30分から12時59分)
- 文番号 0001010-0002050 (101番から205番まで)
- 実 例 * 073007590006380-0008730
* 080008290008740-0010710
* 083008590010720-0013300
⋮
FIN

(=) ノーマル・ホルト

(ラン開始直後)

- i N. 6, A. 6666, ラインプリンターの印字
データシュウセイアルトキハ Bレジスタ 0001 ニセツト シュウ
セイデータセット リスタートセヨ
データシュウセイナシハ ソノママリスタートセヨ
に従いリスタートする。
(データ修正ある場合)
- ii N. 5, A・Bとも 5555 で停止。ラインプリンターの印字
シュウセイオワリ
ジカンタイパラメータ セツト リスタートセヨ
に従いリスタートする。
- iii N. 0, A・Bとも 0000 でラン終了。

(≠) エラー・ホルト

(データ修正の段階)

- i N. 4, A・Bとも 4444, ラインプリンターの印字

シュウセイパラメータ エラ [パラメータの内容先頭 44 ケタ分印字] テイセイゴリストスタートセヨ

(時間帯挿入の段階)

ii N. 1, A. 1111, ラインプリンター印字

ジカントイシテイパラメータ エラ [パラメータの先頭 44 ケタ分印字] パラメータテイセイゴ リスタートセヨ

iii N. 1, A. 1111, ラインプリンター印字

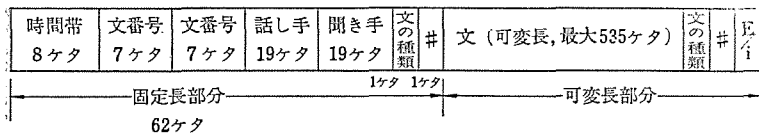
ジカントイミシテイ データ アリ [M/T の該当レコードの先頭 44 ケタ分印字] パラメータ テイセイゴ リスタートセヨ

以上すべて、ラインプリンター印字の指示どおり、パラメータ P/T を修正して再開する。

(4) 65 MATSUE 2 の出力 M/T (文段階マスターファイル) の形式

○1 バッチ 5 レコード, 1 レコード最大 600 ケタの可変長

○レコード形式



○ラベル 65 MATSUE

4) I-3 65 MATSUE 3 の実行 (マージ)

(イ) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1 番 (既存の文段階マスターテープ)

入力 M/T デッキ 2 番 (新しい文段階マスターテープ)

出力 M/T デッキ 3 番, 4 番,

PLT デッキ 6 番, ラインプリンター 96 文字モード

(ロ) データの形式

入力, 出力ともに 3) の (4) 65 MATSUE 2 の出力 M/T の形式

と同じ。

(イ) ノーマル・ホルト

○ N. 0, A・B とも 0000, ラン終了。

(ニ) エラー・ホルト

○ N. 1, A・B とも 0001 で停止, ラインプリンターの印字

センテンスバンゴウジュウフク××××××××××××

(×××……は14ケタのセンテンスバンゴウを示す数字)

このエラーは, 新らしいマスターテープ作製段階の原始入力紙テープにミスがないかぎり起りえないものである。ミスの度合に応じて, ランを中止して, データ補正の上再開する。

このほか, プログラム上には, エラー・ホルトが, N. 2, N. 3, N. 4 の3種類が用意されているが, いずれも論理的機械ミスで, すべてをリセットした上でランを再スタートさせる。正常のオペレーションの場合には起らないはずのものである。

◎ I-4 65 MATSUE 5 実行前のソート 2種類 (ラン4) と, 65 MATSUE 5 の実行 (ラン5) については, 本報告書の内容には直接関係がないので, 省略する。

2.3.2. 文節の段階

1) I-1 65 MATSUE 6 の実行 ラン1

(イ) 機器の配置

入力 M/T デッキ1番 (文段階マスターテープ)

出力 M/T デッキ2番, 3番

PLT デッキ6番 ラインプリンター 64文字モード

(ラン2のソートに備えて ワーク・テープを4番, 5番にセットしておくといふ。)

(ロ) ノーマル・ホルト

○ N. 0, B. 0000, 命令のロケーション B620, ラン終了。

(ハ) エラー・ホルト

なし。プログラム上には, 間接アドレス用の場所として, ロケーション

ン B620 のあとに N. 1 のホルトが設けられているが処理の実行には無関係である。従って、このプログラム実行中に起る、N. 1, N. 2, N. 3 等のホルトは、入力、出力テープのラベルチェック、又はテープ交換に関わるものである。(H 3010・アセンブリ・システムのオペレーション 2 章 2 節 V FCP 表示 参照)

(二) 出力 M/T の形式

○1 バッチ 5 レコード、1 レコード最大 700 ケタの可変長

○レコード形式

文節見出し語 (100ケタ)	付加情報 (62ケタ)	文(可変長最大 535ケタ)	(文の 種類)	#	E/i
-------------------	----------------	-------------------	------------	---	-----

- i 文節見出し語の 100 ケタに満たない部分は全部スペースとなっている。
- ii 付加情報 62 ケタは、文段階マスターファイルの固定長部分と一致する。
- iii 文節見出し語として取り出された文中の該当語句の部分には×××の記号が代りに挿入されている。(以下、作表印字の場合もすべて同様である)

○ラベル 65 M-CHOG

2) 文節(長語)段階マスターファイル作成のソート ラン 2

○ラン 1 の出力 M/T を入力とし、レコード先頭の文節(長語) 20 ケタを第 1 key、文番号 14 ケタを第 2 key としてソート実行

○この出力 M/T のラベルは、ラン 1 の出力と同様、65 M-CHOG とする。

3) II-2・65 MATSUE 8 の実行 ラン 3

(i) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1 番、2 番、(ラン 2 の出力 M/T 文節段階マスターテープ)

出力・中間入力 M/T デッキ 3 番、(長語リスト・テープ 度数表を

印字する場合は入力テープとなる)

PLT

デッキ6番, ラインプリンター 64文字モード

(d) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 1, A・Bとも 0001, 機器配置その他確認の上そのままリスタート。(もしすでに長語リスト M/T が出来あがっており, 作表だけをしたい場合には, 長語リスト M/T を3番デッキにセットした上, Pレジスタに A230 をセットしてリスタートさせる。)

ii N. 2, A・Bともに 0002, 長語リスト M/T 完成。ラインプリンターによる作表が必要な場合には, そのままリスタート。

iii N. 0, A・Bともに 0000, ラン終了。

(e) エラー・ホルト

○ N. 3, A・Bともに 0003, 正常な操作においては起りえないエラーであるので, 3番デッキをマニュアルでリワインドした上, Pレジスタに A230 をセットしてリスタートすると, ノーマル・ホルトの ii にもどるので, そのままスタートさせる。

(f) 出力 M/T (長語リスト M/T) の形式

○1 バッチ10レコード, 1レコード110ケタ 固定長

○レコード形式

文節(長語)見出し語 (100ケタ)	出現度数 (9ケタ)	E/i
-----------------------	---------------	-----

i 見出し語が100ケタに満たない場合, 残余の部分はすべてスペースとなっている。

ii 出現度数は, 10億以下と想定しており, 有効ケタ数が9ケタに満たない場合には, その部分に0がならべられている。

○ラベル CHOGLIST

(g) 作表の形式

○ heading 65 M CHOGO LIST

- 1 ページ 25項目, 1 行おき, 各行左端に見出し語, その右端にその語の出現度数 (有効桁数以上はゼロサプレスしてある) を印字する。

○最終ページ

KOTONARIGOSU × × × × × × ×

NOBEGOSU × × × × × × ×

× × × …はゼロサプレスされた数字。

4) II-3 65 MATSUE 6 A の実行 ラン 4

(i) 機器の配置

入力: P/T 紙テープリーダー (リクエスト指定紙テープ)

: M/T デッキ 1 番, 2 番 (ラン 2 の出力 M/T 文節マスターテープ)

中間出力・中間入力 M/T デッキ 3 番 (印字段階から入力となる。
全文節について作表印字したい場合には, ラン 2 の出力 M/T を最初からデッキ 3 番にセットする。)

PLT デッキ 6 番 ラインプリンター 64 文字モード

(ii) リクエスト指定紙テープの形式

○1 語形, 1 ブロックの形式でパンチする。リクエスト終了の記号としては, FIN 3 ケタをパンチしたブロックをもってこれにあてる。

○ラン 3 で作製された 長語リストを参照して, 確実に存在する語形のみを, アルファベット順に配列してパンチすることが望ましいが, ある種の語形の有無を確める為に, このプログラムを利用することも可能である。また, 場合によっては, まったくランダムに配列した形でリクエストしても, 対応できるようにプログラムはつくられているが, その場合は, 処理時間が長びく。

(iii) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000

○普通の場合は, (i) の配置を確認の上, そのままリスタートする。

○全文節について作表印字する場合は, 文節マスターファイルを 3 番デ

ッキにセットしてあることを確認のうえ、Pレジスタに E910 をセットしてスタートする。

○またすでに中間出力 M/T が出来ている場合にも、それを3番デッキにセットし、Pレジスタに E910 をセットしてスタートする。

ii N. 0, A. 0002, 命令のロケーション E900, 中間出力 M/T 完成。直ちに作表したい場合は、そのままリスタート。

iii N. 0, A・B とも 0000, 命令のロケーション F 290, ラン終了。

(㉔) エラー・ホルト

i N. 1, A. 0000, ラインプリンタ 印字

FILE1 FINISHED

もしリクエスト紙テープにパンチミスがないとすれば、リクエストする文節が正しくアルファベット順に配列されていない場合である。そのままリスタートすると、入力 M/T がリワインドされ、その先頭から現在捜索中の文節をサーチする。それでも当該文節が見出されない場合には、

ii N. 1, A. 0000, ラインプリンタ 印字

THERE IS NO WORD # (P/T にパンチされている当該語形) でホルトする。この場合は、リクエスト指定 P/T の当該ブロックを訂正または抹消の上、すべての M/T をリワインドし、P/T を紙テープリーダーにセットしなおして、Pレジスタ E650 から処理を再開する。

(作表・印字の段階)

iii N. 7, A・B ともに 0000, 正常な操作においては、起りえないエラーであるので、ラインプリンターの頁送りをし、メモリをクリアした上、プログラムを再ロードして、ノーマル・ホルトの i から、Pレジスタに E880 をセットしてリスタートすると、3番デッキがリワインドされ、ノーマル・ホルトの ii となるので、そのままリスタートする。

(㉕) 出力 M/T の形式

○バッチ形式, レコード形式ともに 65 MATSUE 6 の出力 M/T の形式と同じ。

○ラベルは, 65 M-WORK

(ハ) 作表の形式 次表参照

○1 ページ 30行

見出し文節			A	(見出し語該当部分)
話し手	聞き手	文番号	1.	文.....×××.....
.....				
話し手	聞き手	文番号	1.	文.....×××.....
話し手	聞き手	文番号	1.	文.....×××.....
見出し文節			B	
話し手	聞き手	文番号	1.	文.....×××.....

5) II-4 実行前のソート ラン5

○入力 M/T ラン4の出力 又は, 文節段階マスターファイル

○第1 key 話し手19ケタ, 第2 key 聞き手19ケタ, 第3 key 文節
見出し語の先頭36ケタ, 第4 key 文番号14ケタ

○出力 M/T ラベル 65 M 6 BINP

6) II-4 65 MATSUE 6 B の実行 ラン6

(イ) 機器の配置

入力 M/T デッキ1番 (ラン5の出力)

出力 ラインプリンター 作表印字 64文字モード

PLT デッキ6番

(ロ) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000, 機器配置確認後,
そのままスタート。

ii N. 0, A・B とも 0000, 命令のロケーション A 720, ラン終了。

(ハ) エラー・ホルト

○ N. 2, A. 0000, は正常な操作の下では起りえないものなので, メモリをクリアの上, プログラムを再ロードして最初からやりなおす。

(≡) 作表の形式, 次表参照。

○1 ページ 30行

話し手		聞き手	
見出し語 A		文番号.....	
" B		文番号.....	
見出し語 C		文番号.....	
" D		文番号.....	
話し手		聞き手	
見出し語 A		文番号.....	
" D		文番号.....	

2.3.3. 形態素段階

1) Ⅲ-1 65 MATSUE 7 の実行 ラン1

(i) 機器の配置

入力 M/T デッキ1番, 2番 (文節段階マスターテープ)

出力 M/T デッキ3番, 4番

PLT デッキ6番, ラインプリンター 64文字モード

(ii) ノーマル・ホルト

○ N. 0, 命令のロケーション C320, ラン終了。

(iii) エラー・ホルト

なし

(iv) 出力 M/T の形式

○1 バッチ5レコード, 1レコード最大720ケタの可変長

○レコード形式

形態素見出し語 (20ケタ)	文節見出し語 (100ケタ)	付加情報 (62ケタ)	文 (可変長最大 535 ケタ)	(文の種類)	#	E/i
-------------------	-------------------	----------------	------------------	--------	---	-----

i 形態素，文節見出し語の 20 ケタ，100 ケタに満たない部分はすべてスペースとなっている。なお形態素見出し語の末尾には必ず形態素切れ目符号の - (マイナス) がつけてある。

ii 形態素見出し語として取り出された，文節見出し語中の該当部分には，××- の記号が代りに挿入されている。(以下，作表印字の場合もすべて同様)

iii 付加情報以下の形式は，文節段階のラン 1 の出力 M/T の場合と一致する。

○ラベル 65M-TANG

2) 形態素 (短語) 段階マスターファイル作製のソート ラン 2

○入力 M/T ラン 1 の出力

○第 1 key 形態素見出し語 20 ケタ，第 2 key 文節見出し語先頭の 20 ケタ，第 3 key 話し手 19 ケタ，第 4 key 聞き手 15 ケタ，第 5 key 文番号 14 ケタ

○出力 M/T ラベル 65 M-TANG

3) III-2 65 MATSUE 90~91 の実行 ラン 3

プログラム 90~91 は本来一つの処理を，プログラム作製上の便宜として二つにわけたものであるから，必ず連続ランとして実行する。

(i) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1 番，2 番 (形態素段階マスターファイル)

中間出力・入力 M/T デッキ 3 番 (WORK FILE)

出力 M/T デッキ 4 番，5 番 (短語リスト)

PLT デッキ 6 番 ラインプリンター 64 文字モード

(ii) ノーマル・ホルト

3 番デッキのワーク・ファイルに書きこみおわると，1・2・3 番デッキの各テープをリワインドして，

i N. 0, A・B とともに 0000 でホルトし，プログラム 91 をロードする。そのままリスタートすると，

ii N. 0, A・B とともに 0007 でホルト。機器配置確認のうえ，そ

のままりスタート。

iii N. 1, A・B ともに 0000, 短語リスト M/T 完成。短語リスト全表を印字したい場合には, そのままりスタート。

iv N. 0, A・B ともに 0000, ラン終了。

(ハ) エラー・ホルト

機械ミスによる論理的エラー以外のホルトなし。

i N. 7, A. 0000 又は 5080, B. 0000 又は 5184

メモリーをクリアした上, 65 MATSUE 91 プログラムを再ロードして, 再開する。

ii N. 7, A・B ともに 0007

メモリーをクリアした上 65 MATSUE 91 プログラムを再ロードし, ノーマル・ホルト ii から, 4・5 番デッキをリワインド, ラインプリンターをページ送りの上, Pレジスタに H470 をセットしてリスタートする。

(ニ) 中間出力・入力 M/T (WORK FILE) の形式

○1 バッチ 30 レコード, 1 レコード 121 ケタ固定長

○レコードの形式

形態素見出し語 (20ケタ)	文節見出し語 (100ケタ)	E/i
-------------------	-------------------	-----

形態素見出し語 20 ケタ, 文節見出し語 100 ケタ内の形は, 2・3・3

・1) の(ニ)のレコード形式の説明 i, ii に同じ。

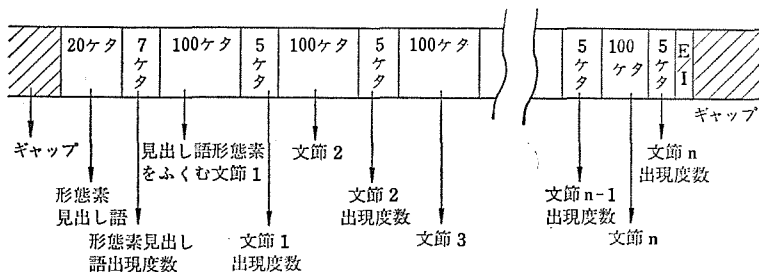
○ラベル WORKFILE

(ホ) 出力 M/T (短語リスト) の形式

○1 バッチ 1 レコード, 最大 9898 ケタの可変長

○レコードの形式 次ページの図参照

○1 レコード中の文節種類数 n は 94 個を最大とする。同一形態素をふくむ文節の種類の数 n が 94 をこえる場合は, 最初の 94 種類の文節を 1 レコードとし, それ以下は次のレコードにおさめられる。レコード先頭の形態素出現度数は, そのレコード中にある文節の出現度数を合計



したものであるから、94文節をこえる用例をもつ形態素の総出現度数は、作表後のあと処理で合計して出すことになる。

○ラベル TANGLIST

(イ) 作表の形式 次表参照

○1 ページ 25行

○ heading 65 M-TANGO-LIST

○見出し語がとり出された文節中の該当部分には、××ー 3ケタの記号が挿入されている。

形態素見出し語 A	A 見出し語出現度数
Aをふくむ 文節 1	文節 1 出現度数
文節 2	文節 2 出現度数
文節 n-1	文節 n-1 出現度数
文節 n	文節 n 出現度数
形態素見出し語 B	B 見出し語出現度数
Bをふくむ 文節 1	文節 1 出現度数
⋮	⋮

(最終ページ)

KOTONARIGOSU	出現形態素ことなり語数
NOBEGOSU	出現形態素のべ語数

4) Ⅲ-3 65 MATSUE 9 A の実行 ラン 4

(イ) 機器の配置

入力：P/T 紙テープリーダー（リクエスト指定紙テープ）
：M/T デッキ1番（ラン3の出力 M/T，短語リスト）
出力 ラインプリンター 64文字モード
PLT デッキ6番

(ロ) リクエスト指定紙テープの形式

- 1 語形，1ブロックの形式でパンチし，リクエスト終了の記号としては，FIN 3ケタをパンチしたブロックをもってこれにあてる。
- 各形態素の末尾には，形態素切れ目符号としての－（マイナス）1ケタを加えておく。
- リクエストする形態素はアルファベット順に配列されていることが望ましい。ランダムに配列してあると，処理時間が長びく。

(ハ) ノーマル・ホルト

- N. 0，A. 0000，命令のロケーション C440，ラン終了。

(ニ) エラー・ホルト

- i N. 1，A・Bともに 0000，ラインプリンター印字

FILE1 EFINISHED

もしリクエスト紙テープにパンチミスがないとすれば，リクエストする形態素の配列順が正しくアルファベット順になっていない場合である。そのままリスタートすると，1番デッキがリワインドされ，短語リスト M/T の最初から問題の形態素見出し語がサーチされる。それでも当該語形が見出されない場合には，

- ii N. 1，A・Bとも 0000 でラインプリンターの印字が，THERE IS NO WORD #（該当語形）で，1番デッキがリワインドされてホルトする。その場合は，レジスターに C340 をセットしリスタートすると，リクエスト P/T の次のブロックが読みこまれ，ランが継続される。

- iii N. 7，A・Bとも 0000，正常な操作においては起りえないエラーなので，メモリーをクリアーした上，プログラムを再ロードして再開する。

(b) 作表の形式

○ 1 ページ 30行

○ heading がなく、最終ページに、全体のことなり語数、のべ語数の表示がない点をのぞき、ラン 3 の作表と同じ形式である。

5) III-4 65 MATSUE 7 A の実行 ラン 5

(i) 機器の配置

入力: P/T 紙テープリーダー (リクエスト指定紙テープ)

: M/T デッキ 1 番, 2 番 (ラン 2 の出力 M/T 形態素段階マスターテープ)

中間出力・入力 M/T デッキ 3 番 (印字段階からの入力。ワーク・ファイル)

出力 ラインプリンター 64文字モード

PLT デッキ 6 番

(ii) リクエスト指定紙テープの形式

ラン 4 の (ii) に同じ。

(iii) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000, 機器の配置を確認してそのままリスタート。もし全見出し語について作表したい場合には、形態素段階マスターテープを最初から 3 番デッキにセットし、P レジスタに F230 をセットしてスタートする。

ii N. 0, A. 0002, B. 0000, 中間出力 (WORK FILE) 完成。直ちに作表したい場合にはそのままリスタート。

iii N. 0, A・B とも 0000, ラン終了。

(iv) エラー・ホルト

i N. 1, A・B とも 0000, ラインプリンタ 印字

FILE 1 FINISHED の場合は、4) の (iv) の場合と同様、そのままリスタート。

ii N. 1, A・B とも 0000, ラインプリンタ 印字

THERE IS NO WORD # (当該見出し語)

この場合は、リクエスト指定 P/T の当該ブロックを訂正または抹消の上、すべての M/T をリワインドし、P/T を紙テープリーダーにセットしなおしてPレジスターに E970 をセットし、処理を再開する。

(作表印字の段階)

- iii N. 7, A・B とも 0000, 正常な操作においておこりえないエラーなので、メモリーをクリアーし、プログラムを再ロードし、ノーマル・ホルトの i から、Pレジスタに F230 をセットしてスタートする。

(e) 中間出力・入力 M/T の形式

ブロック形式、レコード形式とも入力 M/T のそれと同じ。

(f) 作表の形式 次表参照

○1 ページ 30行

- 文節中の形態素見出し語該当部分には ××ー, 文中の見出し語をふくむ文節該当部分には ××× の記号が挿入されている。

<u>形態素A見出し語</u>			
<u>A見出し語をふくむ文節1</u>			
<u>話し手</u>	<u>聞き手</u>	<u>文番号</u>	<u>文(文節1をふくむ)</u>
<u>(文つづき)</u>			
<u>話し手</u>	<u>聞き手</u>	<u>文番号</u>	<u>文(文節1をふくむ)</u>
<u>A見出し語をふくむ文節2</u>			
<u>話し手</u>	<u>聞き手</u>	<u>文番号</u>	<u>文(文節2をふくむ)</u>
<u>(文つづき)</u>			
<u>話し手</u>	<u>聞き手</u>	<u>文番号</u>	<u>文(文節2をふくむ)</u>
⋮	⋮	⋮	⋮
<u>形態素X見出し語</u>			
<u>X見出し語をふくむ文節1</u>			
<u>話し手</u>	<u>聞き手</u>	<u>文番号</u>	<u>文(文節1をふくむ)</u>
<u>X見出し語をふくむ文節n</u>			
<u>話し手</u>	<u>聞き手</u>	<u>文番号</u>	<u>文(文節nをふくむ)</u>

6) III-5 実行前のソート ラン 6

○入力 M/T ラン 5 の出力 (全形態素について実行したい場合には、
形態素段階マスターファイル)

○第 1 key 話し手19ケタ, 第 2 key 聞き手19ケタ, 第 3 key 形態
素見出し語20ケタ, 第 4 key 文番号14ケタ。

○出力 M/T ラベル 65M7BINP

7) III-5 65MATSUE 7B の実行 ラン 7

(i) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1 番 (ラン 6 の出力 M/T)

出力 ラインプリンター 作表印字 64文字モード

PLT デッキ 6 番

(ii) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000, 機器配置確認のう
え, そのままリスタート。

ii N. 0, A・B とも 0000, ラン終了。

(iii) エラー・ホルト

○N. 2, A. 0000, 正常な操作の下では起りえないものなので, メモ
リをクリアーの上, プログラムを再ロードして最初からやりなおす。

(iv) 作表の形式 次ページの表参照

○1 ページ 30行

○文節中の形態素見出し語該当部分には ××ー の記号が挿入されて
いる。

<u>話し手A</u>		<u>聞き手B</u>	
<u>形態素 a</u>			
<u>a をふくむ文節 1</u>		<u>文節 1 をふくむ文番号</u>	
" 2		" 2 "	
" 3		" 3 "	
<u>形態素 x</u>			
<u>x をふくむ文節 1</u>		<u>文節 1 をふくむ文番号</u>	
⋮		⋮	

<u>話し手A</u>		<u>聞き手C</u>	
<u>形態素 a</u>			
<u>a をふくむ文節 1</u>		<u>文節 1 をふくむ文番号</u>	
⋮		⋮	
<u>形態素 c</u>			
<u>c をふくむ文節 1</u>		<u>文節 1 をふくむ文番号</u>	
⋮		⋮	

2.4. 今後の問題。

以上の記述は、現存する 65 MATSUE PLT のプログラムをそのまま使用しただけの形のものであるが、現在までに、国研その他において開発されたプログラムの手法やアイデアをとり入れて、もっと便利なものに修正することは容易である。

たとえば、Ⅲ—4 (65 MATSUE 7 A)、Ⅱ—3 (65 MATSUE 6 A) などにおいて、KWIC (Key Word in Context) のアイデア・手法をとり入れ、センテンス中の見出し語 (形態素) をふくむ文節の存在する場所を表中の一定位置に固定し、それに先行する形式や、後続する形式をもソート key の一項として考慮するならば、表全体がはるかに見やすくなるだけではなく、その当該形式と前後して出やすい形式についての考察もしやすくなるはずである。

また、Ⅰ—2 (65 MATSUE 2) において、時間帯コードのかわりに、この報告書でおもに問題にした「談話」に関する情報、すなわち談話番号と談話の種類に関するコードを挿入することは可能であった。そして別に新しいプログ

ラムをいくつか追加開発することによって、1. 分析 における談話に関する考察自体をもっと容易におこなえたはずだし、さらにここで仮定した談話という概念および、その種類についての、実験的な検証も可能となったはずである。

一応の処理方法完成以前に分析についての十分な考察をすることが出来なかったので、ここで扱ったかぎりの資料については、コンピュータによる処理をいろいろな面で活用できなかったうらみがある。しかし、上にのべたような点について、処理方法の改良、開発をはかれば、今後のこの種の研究に役立つ可能性は大いにあると考えられる。

3. 付 録

3.1. 参加者の組と談話数, 文数。

以下にあげる表は, 参加者の組ごとの談話数と文数を示す。各欄の左の数字は談話数, 右の数字は文数である。なお, communication 上の function 0** (不明), 1** (ひとり) のものはあげなかった。

第 25 表の 1, 2 (あいさつ)

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
非シ・非シ										
K 9 M, K A M										
非シ・シ										
K 4 F, K 5 F				1 3						
K 4 F, K 9 M	2 5	1 16					1 4			
K 4 F, K A M										
K 4 F, K C F							1 2			
K 8 F, K 9 M				1 2						
K 8 F, K A M				1 2						
K 8 F, K C F							1 2			
K 8 F, K F F							1 1			
K C F, K D F				1 3						
K 4 F, K 8 F, K 9 M	1 2									
K 4 F, K 9 M, K A M										
K 8 F, K C F, K D F										
非シ・ウ										
K 3 F, U 1 F				3 6						
K 5 F, U 1 F							7 23		2 2	
K 6 M, U 1 F				1 3						
K 7 M, U 1 F									1 2	
K 9 M, U 1 F							2 5			
K 9 M, U 2 M				2 9						
K A M, U 2 M				1 6						
K C F, U 1 F							6 12			
K C F, U 2 M							3 15			
K E M, U 1 F				1 3						
K F F, U 1 F				2 28			5 18			
K 1 M, U 1 F, U 2 M									1 4	

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
K 9M, KAM U 2M							3 16			
K 9M, U 1 F, U 2M				1 3						1 3
KAM, U 1 F, U 2M										
KCF, U 1 F, U 2M				1 32						
KGM, U 1 F, U 2M										1 7
非シ・シ・ウ										
K 4 F, K 5 F, U 1 F				3 52			3 28			
K 4 F, K 9M, U 1 F				1 14			1 3	1 23		1 3
K 4 F, K 9M, U 2M	1 1									
K 4 F, KAM, U 1 F										
K 4 F, KAM, U 2M										
K 8 F, K 9M, U 1 F								1 3		
K 8 F, K 9M, U 2M										
K 8 F, KAM, U 2M										
K 8 F, KBF, U 1 F				1 12						
K 8 F, KCF, U 1 F								4 22		
K 8 F, KCF, U 2M				1 4						
K 8 F, KFF, U 1 F								2 13		
K 4 F, K 8 F, K 9M, U 2M										
K 4 F, K 8 F, KAM, U 2M										
K 4 F, K 8 F, KCF, U 2M							1 8			
K 4 F, K 9M, U 1 F, U 2M				1 16						
K 8 F, K 9M, U 1 F, U 2M										

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M				1 7						
K 8 F, KBF, U 1 F, U 2 M							1 13			
K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M							2 7			
K 8 F, KGM, U 1 F, U 2 M									1 7	
K 4 F, K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M				1 4			1 24			
K 4 F, K 8 F, KCF, KDF, U 1 F										
K 4 F, K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M				1 22						
K 4 F, K 8 F, KZM, U 1 F, U 2 M										
K 4 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M										
K 4 F, K 8 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M				1 9						
シ・シ										
K 4 F, K 8 F							3 6			
K 4 F, KDF	1 3					1 5	4 6			
K 8 F, KDF							1 1			
K 4 F, K 8 F, KDF										
シ・ウ										
K 2 M, U 1 F							1 13			
K 2 M, U 3 F						1 3				
K 4 F, U 1 F			1 8	1 16			3 13		1 9	
K 4 F, U 2 M			1 4				1 3			
K 8 F, U 1 F							1 3			
K 8 F, U 2 M							1 1			
KDF, U 1 F							4 9			
K 4 F, K 8 F, U 1 F				1 33	1 5		3 12			
K 4 F, K 8 F, U 2 M										

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
K 4 F, K D F, U 1 F										
K 4 F, U 1 F, U 2 M										1 4
K 8 F, K D F, U 1 F										
K 8 F, K D F, U 2 M										
K 8 F, U 1 F, U 2 M										1 2
K 4 F, K 8 F, K D F, U 1 F							1 5			
K 4 F, K 8 F, U 1 F, U 2 M							1 5			
K 8 F, K D F U 1 F, U 2 M										
K 4 F, K 8 F, K D F, U 1 F U 2 M							1 6			
ウ・ウ U 1 F, U 2 M										1 2
U 1 F, U 3 F							1 13			1 2
U 1 F, U 4 M							1 1			1 2
U 1 F, U 5 F							1 6			
U 3 F, U 5 F										
U 1 F, U 2 M, U 4 M										
U 1 F, U 2 M, U 5 F										
U 1 F, U 3 F, U 4 M										
U 1 F, U 3 F, U 5 F										
U 1 F, U 4 M, U 5 F										1 4
U 1 F, U 3 F, U 4 M, U 5 F										1 3

第 25 表の 2, 3 (しらせ・用談)

	321	330	331	332	333	334
非シ・非シ						
K 9 M, K A M						
非シ・シ						
K 4 F, K 5 F			3 208			
K 4 F, K 9 M						
K 4 F, K A M						
K 4 F, K C F						
K 8 F, K 9 M						
K 8 F, K A M						
K 8 F, K C F						
K 8 F, K F F						
K C F, K D F						
K 4 F, K 8 F, K 9 M						
K 4 F, K 9 M, K A M						
K 8 F, K C F, K D F						
非シ・ウ						
K 3 F, U 1 F			3 45			
K 5 F, U 1 F			2 22			
K 6 M, U 1 F			1 23			
K 7 M, U 1 F						
K 9 M, U 1 F					2 16	
K 9 M, U 2 M	1 4				3 30	
K A M, U 2 M					3 32	
K C F, U 1 F			2 5			
K C F, U 2 M			3 13			
K E M, U 1 F						
K F F, U 1 F					2 35	
K 1 M, U 1 F, U 2 M						
K 9 M, K A M, U 2 M						
K 9 M, U 1 F U 2 M			1 3			
K A M, U 1 F, U 2 M					2 21	
K C F, U 1 F, U 2 M			3 31			

	321	330	331	332	333	334
KGM, U1F, U2M			1 5		2 2	
非シ・シ・ウ						
K4F, K5F, U1F			3 135			
K4F, K9M, U1F						
K4F, K9M, U2M						
K4F, KAM, U1F						
K4F, KAM, U2M						
K8F, K9M, U1F		1 1	1 12			
K8F, K9M, U2M						
K8F, KAM, U2M						
K8F, KBF, U1F						
K8F, KCF, U1F			1 2			
K8F, KCF, U2M			1 3			
K8F, KFF, U1F			1 7		1 36	
K4F, K8F, K9M, U2M						
K4F, K8F, KAM, U2M						
K4F, K8F, KCF, U2M						
K4F, K9M, U1F, U2M		1 1				
K8F, K9M, U1F, U2M						
K8F, KAM, U1F, U2M						
K8F, KBF, U1F, U2M						
K8F, KCF, U1F, U2M						
K8F, KGM, U1F, U2M						

	321	330	331	332	333	334
K 4 F, K 8 F, K A M, U 1 F, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, K C F, K D F, U 1 F						
K 4 F, K 8 F, K C F, U 1 F, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, K Z M, U 1 F, U 2 M			1 10			
K 4 F, K C F, K D F, U 1 F, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, K C F, K D F, U 1 F, U 2 M						
シ・シ						
K 4 F, K 8 F			2 4			
K 4 F, K D F						
K 8 F, K D F			4 18			
K 4 F, K 8 F, K D F			2 15			
シ・ウ						
K 2 M, U 1 F						
K 2 M, U 3 F						
K 4 F, U 1 F			22 146			
K 4 F, U 2 M			3 6			
K 8 F, U 1 F	1 2		78 293			
K 8 F, U 2 M	3 11		14 44			
K D F, U 1 F			3 11			
K 4 F, K 8 F, U 1 F			5 64			
K 4 F, K 8 F, U 2 M			5 26			
K 4 F, K D F, U 1 F						
K 4 F, U 1 F, U 2 M			1 7			
K 8 F, K D F, U 1 F			6 58			
K 8 F, K D F, U 2 M			3 12			
					2 23	

	321	330	331	332	333	334
K 8 F, U 1 F, U 2 M	2 13		33 184			
K 4 F, K 8 F, K D F, U 1 F			2 17			
K 4 F, K 8 F, U 1 F, U 2 M	1 2		25 249			
K 8 F, K D F, U 1 F, U 2 M			1 5			
K 4 F, K 8 F, K D F, U 1 F, U 2 M			1 2			
ウ・ウ						
U 1 F, U 2 M			45 259			
U 1 F, U 3 F		1 2	10 27			
U 1 F, U 4 M			12 50			
U 1 F, U 5 F			7 29			
U 3 F, U 5 F			3 23			
U 1 F, U 2 M, U 4 M			1 2			
U 1 F, U 2 M, U 5 F			4 56	1 30		
U 1 F, U 3 F, U 4 M			1 9			
U 1 F, U 3 F, U 5 F			8 58			
U 1 F, U 4 M, U 5 F			1 2			
U 1 F, U 3 F, U 4 M, U 5 F			1 1			

第 25 表の 3, 4 (おしゃべり)

	411	421	422	430	431	432	433	434	43A	481
非シ・非シ										
K 9M, KAM						1 4				
非シ・シ										
K 4 F, K 5 F					2 25					
K 4 F, K 9M				1 6	1 19	2 8				
K 4 F, KAM					5 12	3 5			6 45	
K 4 F, KCF										
K 8 F, K 9M										
K 8 F, KAM								1 50		
K 8 F, KCF					10 31			1 10		
K 8 F, KFF										
KCF, KDF		1 1			1 1					
K 4 F, K 8 F, K 9M					1 5					
K 4 F, K 9M, KAM										
K 8 F, KCF, KDF					2 35					
非シ・ウ										
K 3 F, U 1 F	1 9									
K 5 F, U 1 F					1 5					
K 6 M, U 1 F										
K 7 M, U 1 F										
K 9 M, U 1 F										
K 9 M, U 2 M						1 15				
KAM, U 2 M				7 8		2 19	1 5			
KCF, U 1 F				1 10	3 24					
KCF, U 2 M				1 3	2 19					
KEM, U 1 F										
KFF, U 1 F				1 2	6 31			4 40		
K 1 M, U 1 F U 2 M										
K 9 M, KAM, U 2 M		1 3								
K 9 M, U 1 F, U 2 M										
KAM, U 1 F, U 2 M										
KCF, U 1 F U 2 M										

	411	421	422 *	430	431	432	433	434	43A	481
KGM, U 1 F, U 2 M										
非シ・シ・ウ										
K 4 F, K 5 F, U 1 F					14 232	2 59		1 14		
K 4 F, K 9 M, U 1 F					2 23					
K 4 F, K 9 M, U 2 M								1 7		
K 4 F, KAM, U 1 F									1 64	
K 4 F, KAM, U 2 M						1 22		1 3 5 78		
K 8 F, K 9 M, U 1 F					1 4					
K 8 F, K 9 M, U 2 M		1 7								
K 8 F, KAM, U 2 M		1 21								
K 8 F, KBF, U 1 F										
K 8 F, KCF, U 1 F		1 2			1 6					
K 8 F, KCF, U 2 M		2 9			1 2					
K 8 F, KFF, U 1 F					3 86					
K 4 F, K 8 F, K 9 M, U 2 M			1 9							
K 4 F, K 8 F, KAM, U 2 M			1 23			3 195				
K 4 F, K 8 F, KCF, U 2 M										
K 4 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M										
K 8 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M								1 22		
K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M								1 27		
K 8 F, KBF, U 1 F, U 2 M										
K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M		1 7			1 16					
K 8 F, KGM, U 1 F, U 2 M										

	411	421	422	430	431	432	433	434	43A	481
K 4 F, K 8 F, K A M, U 1 F, U 2 M						2 171				
K 4 F, K 8 F, K C F, K D F, U 1 F					1 14	1 23				
K 4 F, K 8 F, K C F, U 1 F, U 2 M					1 23					
K 4 F, K 8 F, K Z M, U 1 F, U 2 M										
K 4 F, K C F, K D F, U 1 F, U 2 M					1 6					
K 4 F, K 8 F, K C F, K D F, U 1 F, U 2 M										
シ・シ										
K 4 F, K 8 F	1 7				4 26	1 13		2 19		
K 4 F, K D F	1 2				1 22			18 418		
K 8 F, K D F	2 6				2 28			2 14		
K 4 F, K 8 F, K D F					3 58	1 5		2 12		
シ・ウ										
K 2 M, U 1 F					1 2					
K 2 M, U 3 F										
K 4 F, U 1 F					16 288	5 135		16 515		
K 4 F, U 2 M					6 31			1 12		
K 8 F, U 1 F	1 7		3 7	17 71	4 15			2 15		
K 8 F, U 2 M	2 15		3 7	5 20	2 31					
K D F, U 1 F				1 12						
K 4 F, K 8 F, U 1 F	1 13			9 133	3 101			3 66		
K 4 F, K 8 F, U 2 M				7 101	3 60			3 68		
K 4 F, K D F, U 1 F				1 9				1 11		
K 4 F, U 1 F, U 2 M										
K 8 F, K D F, U 1 F				2 107				1 27	1 1	
K 8 F, K D F, U 2 M										

	411	421	422	430	431	432	433	434	43A	481
K 8 F, U 1 F, U 2 M				1 4	2 26	1 20		3 19		
K 4 F, K 8 F, K D F, U 1 F					2 15	2 40		6 477		
K 4 F, K 8 F, U 1 F, U 2 M	2 18			1 1	15 186	10 429		7 373	1 11	
K 8 F, K D F, U 1 F, U 2 M	1 4				2 54					
K 4 F, K 8 F, K D F, U 1 F, U 2 M	1 2				1 72			1 48	.	
ウ・ウ										
U 1 F, U 2 M	2 7				3 10					
U 1 F, U 3 F					3 15			1 2		
U 1 F, U 4 M										
U 1 F, U 5 F					1 7			1 13		
U 3 F, U 5 F					3 17	4 58		3 24		
U 1 F, U 2 M, U 4 M										
U 1 F, U 2 M, U 5 F					2 42	3 63				
U 1 F, U 3 F, U 4 M										
U 1 F, U 3 F U 5 F					4 26	1 16		1 14		
U 1 F, U 4 M U 5 F										
U 1 F, U 3 F, U 4 M, U 5 F										

3.2. 談話の種類と待遇表現関係要素。

以下の各表は、三種類の特徴の組み合わせによる談話の種類と、それぞれの待遇表現関係の要素の現われ方を示す。

3.2.1. ていねい表現関係。

第26表

	DES	MAS	GOZAIMAS	GOZAINS	DAR
000					
020					
030	8	7			11
031		1			
032					
121					
128					
130					
131					
132					
138					
211		1			1
214		7	2		1
215	1	2	1		
219	10	64	14		4
221		1			
229		1			
231	14	29	1		5
234	2	2			
235	1	1			
239	5	5			
321	2	1	1		1
330					
331	78	117	10	9	143
332					6
333	16	16	2		4
334	5	1			3

	DES	MAS	GOZAIMAS	GOZAINS	DAR
411	1	1	1		
421	10	3	2		18
422	4	2			4
430	2				7
431	119	103	5	7	217
432	86	53	1	3	196
433					1
434	111	70		1	261
43A	18	11	1		11
481					1
?	3				2

3.2.2. 尊敬表現關係。

第 27 表

	RARE	NAR	NASAR	RAE	SAQSJAR	NASAIMAS	NASAINS
000							
020							
030							
031		1					
032							
121		1					
128							
130							
131							
132							
138							
211							
214							
215							
219		2	1			5	
221		1			1		
229			1				
231	2	3	15			3	1
234			1				1
235							
239	1						

	RARE	NAR	NASAR	RAE	SAQSJAR	NASAIMAS	NASAINS
321							
330							
331	13	16	21			1	12
332							
333	1		1				
334			1				
411			1				
421	2	2			3		
422	1						
430	1						
431	36	16	14				1
432	16	2	1		1	1	
433							
434	123	10	2	11	3		
43A	1						
481							
?	4		1		1		

3.2.3. 要求表現関係。

第28表

	nasaimase	nasainse	nasai	nai	kudasaimase	kudasainse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
000											
020											
030											
031											
032											
121											
128											
130											
131											
132											
138											
211											
214											
215											
219	5		1				1		2		
221											
229			1								
231	3	1	14	2			14	12	1		2
234											
235											
239											

	nasaimase	nasai'Nse	nasai	nai	kudasaimase	kudasai'Nse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
321							2				
330											
331	1		17	7	1	1	7	9	2	2	10
332											
333							2				
334											
411											
421											
422							1				
430											
431			6	4			3	1			1
432				1							
433											
434											
43A											
481			1	1							
?								1			

3.2.4. 呼び名関係。

第 29 表の 1

	姓+名 だ け	姓だけ	名だけ	姓+名 + SAN	姓 + SAN	名 + SAN	姓+名 (略) + SAN	名 + CJAN	名(略) + CJAN	親族称 呼だけ	親族称呼 + SAN	親族称呼 + CJAN	名+親族 称呼+ SAN
000													
020													
030					1						1	5	
031													
032												1	
121													
128													
130													
131													
132													
138													
211												1	
214											1		
215												1	
219											4	2	
221									1			1	
229												1	
231		1											
234					2				1		17	17	
235													

	姓+名 だけ	姓だけ	名だけ	姓+名 + SAN	姓 + SAN	名+ SAN	姓+名 (略) +SAN	名+ CJAN	名(略) + CJAN	親族称 呼だけ	親族称呼 + SAN	親族称呼 + CJAN	名+親族 称呼+ SAN
239										1	1	2	
321													
330													
331		2			8	9			17	8	6	77	
332													
333					2	3					3	2	
334													
411											1		
421											4	4	
422					2						1		
430						1					1	1	
431		8	8		7	5		1	8	2	16	46	1
432	3	19	3	6	25	1	1				2	26	
433													
434	3	25	24	2	28	35		3	11	14	38	13	1
43A	1	1		2	1				1			3	
481													
?												3	

第 29 表の 2

	BOKU	UCI	WASI	WATASI	WATAKUSI	ANATA	ANTA	OMAI	DONATA	OMAI SAN	ANOSAN	DARESAN
000												
020												
030		1		4			4	1				
031				1			2					
032												
121												
128												
130												
131												
132												
138												
211												
214		1		2								
215												
219				2			11					
221				1		1						
229												
231		2	1	6			17			2		
234				1			2					
235												
239							1					

	BOKU	UCI	WASI	WATASI	WATAKUSI	ANATA	ANTA	OMAI	DONATA	OMAI	ANOSAN	DARESAN
321			1	1			4	1		1		
330												
331		11	5	40			79	7	1	3		
332							1					
333	2		3	2			5					
334							1					
411												
421		3		1			4	4				
422												
430		1								1		
431		11	2	27			51	2		10		
432	2	15	1	13			10			6		
433										1		
434		2		40			17	2	1	1		2
43A				3	1		4					
481				3								
?							3	1				

3.3. OUTPUT の例。

3.3.1. 65 MATSUE 6Aおよび7A。

GOZAIMAS, GOZAINS (以上6A), DES, MAS, RAE, RARE (以上7A) についての処理結果を, ラインプリンタからの output の形のまゝ示す。0. 4. 2. 2. II—3, III—4, 2.3.2. 4) (v), 2.3.3. 5) (v) 参照。

(1) GOZAIMAS, GOZAINS

GOZAIMAS-(++++)			
K9H	U2H	381410000000 (++++) XXX.#	
K4F	K9K	431600000000 DARA S00-DE XXX.#	
GOZAIMAS-RU			
K3F	U1F	114610000000 BANOO DOJ(MI)-VVE DOJ(MI)-VVE XXX (++++).#	
K5F	K4F	239300000000 HAA DOJOSI-VVE XXX.#	
K4F	K5F	252600000000 NIZJUU-DE DOJ(MI)-VVE XXX.#	
K4F	K5F	269500000000 DA-RE# DOJ(MI)-VVE XXX HEEN.#	
K8F	U2H	380500000000 HANZJOO-DE DOJ(MI)-VVE XXX.#	
U2H	KAP	417800000000 DO-SE-DWA-SAHA-DE XXX.#	
U1F	KBF	449000000000 HA DOKUSAN /0045000/ MIRAOSJAR-IE(YI)-MAS-YI-CB*-TE XXX.#	
K8F	KCF	761900000000 HATA KURI*INU-DUR-YI*-DE XXX.#	
KFF	K8F/U1F	986200000000 KEOKOO-DE XXX.#	
KFF	U1F	992600000000 MHHJUA DOJ(MI)-VVE XXX DOOSE DA-OCT-NO (++++).#	
GOZAIMAS-RU-(++++)			

K5F	U1F	223700000000 HAI HAI DOJ(D1)-VVB XXX.#
K5F	U1F/K4F	286200000000 DO-KAKU-SAN-DE XXX /0028630/ SUH-YI-MASE(MAS)-YI-DAR-YI- B-TAR.#
K5F	K5F	945700000000 HAA DINA BASU-GA KADJON-YI-OB-TE (++++)-NEE (++++) XXX.#
GOZAIYAS-RU-DAR-OOHO		
K5F	U1F/K4F	230420000000 SITA-DMA HAK-YI-OB-TE-JORU-RU-KEN DOJ(D1)-VVB XXX.#
GOZAIYAS-RU-DE-A		
K5F	K4F	226600000000 XXX.#
GOZAIYAS-RU-DE-NEE		
K4F	K5F	257000000000 DA-REK-NO CUKE-YI-OB-TAR-NO DJADHARAKA-OOB(YVE)-TE /00257 H/ DOJ(D1)-VVB XXX.#
GOZAIYAS-RU-GA		
K4F	K4H	487400000000 DIIIDJA DOJUCANE-NO-NEE KOO KADHA-GA XXX /0048720/ KAZHAB TA-GA.#
K5F	K5F	974100000000 HAA DOJ(D1)-VVB XXX.#
GOZAIYAS-RU-DMA		
K4F	K5F	280200000000 DUN DUN SO-RE-GA DOJ(D1)-VVB XXX.#
K5F	U2H	706600000000 DN BIBI-TAR-RUS HON(MONO)-DE XXX.#
GOZAIYAS-RU-KA		
K5H	K4F	368100000000 DAA SDO-DE XXX HAI.#
GOZAIYAS-RU-KEN		
K5F	K4F	252700000000 HAI DOJROSI-VVB XXX.#
U1F	K5H	372800000000 DOJROSI-JUUB(VVB) XXX HAI.#
GOZAIYAS-RU-KEN-NE		
K5F	K5F/U1F	986000000000 (++++) XXX.#
GOZAIYAS-RU-KEN-NEE		
K5F	K4F	227300000000 HAA HAA DA-RE# DJADHARAKA-DE XXX.#
GOZAIYAS-RU-NEE		
K4F	K5H	396600000000 DINOURE-SAN (++++) /0039670/ XXX.#
GOZAIYAS-YI-OB-TAR		
K5F	U1F	211100000000 (++++) XXX.#

GOZAI PAS-VI-OB-TE-A
K5F U1F/K4F 211400000000 {++++} XXX.#

GOZAI PAS-VI-OB-TAR
K4F U1F 121000000000 MOO DHARINAI-NI-NEE /0012110/ BI-I-NEDO HUR-YA-DE DOJ(ŋi) -VVŋ XX
X.#

K4F K5F 284310000000 MIZKA-OOŋ(VVŋ) XXX HAŋA HON.#

K4F K9H 368200000000 DE TALHEN HA DO-SOOSIKI-NI-MO /0036830/ SIOURE#1 SI(SU)-ŋ -OB-TE
MAKOTO-NI SUM-ŋ[-HASE(MAS)-ŋA-N-DE /0036840/ XXX.#

K8F KFF 992400000000 GOKUR00-SAN-DE XXX.#

K0F KCF 1014700000000 BI-I TENKI-OE /010148ŋ/ XXX.#

KCF U1F 1052000000000 SUN-ŋI-HASE(MAS)-ŋA-N-DE /0105530/ XXX.#

GOZAI PAS-VI-OB-TAR-GA-NE
K4F K5F 2355000000000 MNH DOJ(ŋi)-VVŋ XXX /0023560/ HUUN.#

K0F KCF 1014900000000 GOKUR00-SAN-DE XXX.#

GOZAI PAS-VI-OB-TE-A
K8F K4F 3517000000000 DOOKO O-HISASI-JUUB(VVŋ) XXX.#

GOZAI PAS-VI-OB-TE-NEE
U1F K9H 3621000000000 {++++} XXX {++++}.#

GOZAINS-{++++}
K4F K5F 2512100000000 SUKOSI DOHO-I-MO-GA DOJ(ŋi)-VVŋ XXX.#

K5F K4F 2513000000000 HAI DOHO-I HON(MONO)-GA DOJ(ŋi)-VVŋ XXX.#

GOZAINS-RU
K5F U1F 2283000000000 DARA SO-GE-N DO-CJA-DWA DOJ(ŋi)-VVŋ XXX.#

K4F K5F 2374000000000 DOJOO DOJKE TABE-ŋI-HASE(MAS)-ŋA-N-{++++}-NEE 2JUUGO-KA /0 23750/
MAA NIZJUUB-DE DOJ(ŋi)-VVŋ XXX.#

K5F K4F 2387100000000 HAI DOJOSI-VVŋ XXX.#

K5F K4F 2453100000000 HO(SO)-RE-DE {++++}-NI-MO-NEE {++++}-HOOD-DEMC DOJ(ŋi)-VV XXX.#

K5F K4F 2519000000000 MOO DO-GO(GOO)-DEMO SICI-GO(GOO)-DEMO DOJOSI-VVŋ XXX.#

K4F K5F 2726000000000 MNHŋJA MNH TOCI-GA SIMAR-ŋI-OB-TAR-GA DOJ(ŋi)-VVŋ XXX #0 HITO-GA

GOZAINS-RU- {++++}
K5F K4F 24340000000 HAI DOMOSI-DMA DO-GE-DEMO DOJ(DI)-VVB XXX /0024350/ HUTA I(SU)-Y
Y-NASAI(S)-YI-OBM-TE-KARA HUTA-NO DUDE-KARA, {++++} /0024360/ BANO SI(SU)-YI-NASAINS-RU-TO ZUO O {++++
} NAGARE-YI-MAS-RU.#
K5F K4F/U1F 275100000000 DJAQPARIM KANE KARIM-YI-OB-TAR HOO-GA DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINS-RU-DAR-DMO-NE-A
K5F U1F/K5F 260900000000 {++++} HOS-YI-OB-TAR-GA DOJ(DI)-VVB XXX /0026100/ BAMA-MI GA /002
6110/ {++++} NAMA-ZUME(CUKE)-YI-DMA DMAMI-KARA CUKE-YI-MAS-RU-DAR-KEN DAZI-DO-NE-A.#
GOZAINS-RU-DAR-KEN-NE-A
K5F K4F 216300000000 HONNI KABU-GA DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINS-RU-GA
K5F U1F/K4F 235000000000 DIBJA {++++} KOTO-OA NA-I-DMA-TO /0023510/ BANO HING-SAM- OKO-KAR
A JOO /0023520/ DOKU-I HAAR-YI-OB-TE MADHAR-X-RA(RAJ)-NEE DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINS-RU-DMA
K4F K6F 814800000000 {++++}-DAR-KEN DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINS-RU-KA
K5F K5F 264900000000 SO-NO DIRO-KO DIRO-KO-DMA DO-KO-DEMO DUR-YI-DE-TE-DIRO-RU -NO-DE
DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINS-RU-KEN-NE-A
K5F K4F 2529000000000 DIRO-GA DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINS-RU-NE
U2H K4F 753000000000 DO-OCI-GA DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINS-RU-NE-A
K5F U1F 967200000000 KO-KO-NO MADE-DMA /0096730/ DEBA-I DI-I GUMAI-NI NAR-YI-M S-YI-OB
N-TAR-DOHO /0096740/ DERA-OOE(VVB) XXX.#
GOZAINS-YI-OBM-TAR-NEE
K5F K4F 900300000000 HAA SO-REK-AB(DMA) DOJ(DI)-VVB XXX.#
GOZAINSE(GOZAINS)-YA-YVVB-NEE
K4F K4F 536900000000 SOD-DE XXX DN.#

(2) DES

DES-	-DO-001-XX-RU-KA	462600000000 (****) XXX.#
KAH	U2H	
	(****)-DAR-YI-OB-TAR-HON(HONO)-XX-RU-KEH	
KCF	U2H	766800000000 KINOO KOTOZUKE-YI-DO 70076690/ KINOO XXX.#
	(****)-YI-OB-TE-JORB-RU#-S00-XX-RU-DJO	
K9H	U2H	405300000000 N00 XXX.#
	(****)-S00-XX-(****)	
KCF	K8F	1044400000000 XXX.#
	(****)-XX-RU-(****)	
KAH	U2H	463400000000 S0-N0 HITO-H0 XXX.#
	(****)-XX-RU-DAR-HUA-NE	
K5F	K4F/U1F	227800000000 HAAH XXX.#
	(****)-XX-RU-GA	
KFF	U1F	975200000000 MINNA SENKI XXX.#
	(****)-XX-RU-GA-NEE	
KAH	K8F/U2F	541700000000 S0-N0 (****)-NEE KASE-YI-OB-TE 60S-Y-RE 010-YI-OB-TEHO DA HEOTA-N
	I (****) XXX.#	
	(****)-XX-RU-DNA	
U2H	K4F	595700000000 HON S0-REN-AB(DNA) XXX.#
	(****)-XX-RU-DNA-NE	

UIF	K4F	161200000000 (++++)	DANO (++++)-NEE /0016130/ HANI SI(SU)-VI-HAS-VI-OB*-TAR-DO
		HO XXX DANTA.#	
	(++++)-XX-RU-KA		
KAH	K8F	454100000000 DAA XXX.#	
KCF	K8F	103200000000 XXX.#	
KDF	K4F	890700000000 SO-RE*-DE-HANCO (++++)-NO DO-ZII-SAN XXX.#	
	(++++)-XX-RU-KA-I-NEE		
KDF	K4F	965200000000 DANO DA-SUKO(KO)-NO (++++) XXX.#	
	(++++)-XX-RU-KA-NE-A		
KDF	K4F	940600000000 XXX.#	
	(++++)-XX-RU-KARA-NEE		
KAH	U2H	499000000000 HAA DAA DUJUN(DI)-RU (++++)-DHA (++++) XXX.#	
	(++++)-XX-RU-KEN-NEE		
KAH	K4F	487600000000 (++++)-NO XXX.#	
KAH	K8F	468400000000 (++++) PENRJO-BUKA(HUKA)-I XXX.#	
	(++++)-XX-RU-NE-A		
KDF	K4F	846200000000 DARA HAA /0084630/ SO-RE*-AD(DHA) (++++) /0084640/ DI-I XXX.#	
	(++++)-XX-RU-NE-TETE		
KDF	U4F/K8F/K4F	109190000000 SO-RE*-KARA SADAJU DIO(DICI)-PAI(HAI) DAGE-VI-CB-(++++) /0109200/	
	(++++) XXX DIID-VI-OB-TARA-NEE /0109210/ NE-GA DAD-YA-N-TO-NE.#		
	(++++)-XX-VI-OB*-TAR-GA-NE-A		
KDF	K4F	969610000000 HO XXX.#	
	BECU-XX-RU-(++++)		
KAH	U2H	506610000000 SO-RE*-JAE(DHA) DANO RENGOO-KAI-HANKA-DHA XXX /0050670/ TANDI-NO	
	OKJOO-DHA DABUNA-I.#		
	BENRI*-XX-RU-DNA-NE-A		
UIF	K4F	121900000000 HONTO HANA-GA DAR-RUK-TO XXX.#	
	BUN-NO-HAN-XX-VI-OB*-TAR-KA-I-NE		
UIF	KAH/U2H	464600000000 HAN-DHA HAN DO-NO XXX.#	
	CUVJO-I-XX-RU		

KAH	U2H/K4F	520500000000 (++++)	ZAIGO-GE-HO-NEE SONO HQQ TOOHOKU HQO HCKURI*KU-NEE /005206
	0-0052070/	HOCKA1000-TE-JUDG(MID)-RU-NO-DNA RUCI-GA XXX.#	
	CUKE-RU-XX-RU-KA		
UIF	K4F	197000000000	DA-RE* (++++) ZANOO HUCUU-NO DAIKO-CUKE-YI-NI CUKEYI-OB-TAR BUN-D
	0 HATA HISO-NI XXX4#		
K4F	K5F	221400000000	KAZE-GA XXX.#
K4F	K5F	228000000000	DASI-GA XXX.#
K0F	KCF	104530000000	ZJA DANTA-(++++) XXX4#
K9H	K8F	429000000000	XXX4#
K9H	K8F	429200000000	DA XXX4#
UIF	K4F	142200000000	SA XXX (++++) DNAKAR-YA-N-NE.#
K4F	K5F	256800000000	DANOO DHATASI-N(NO) TOKO-A(DHA) XXX SJOOGOSIN-NO DAIKON.#
K4F	K5F	211900000000	DARA HATA DJOKE-NAR XXX.#
K4F	K5F	287900000000	DA TAIHEN DE(MI)-E(1) /0028800/ XXX.#
KCF	K8F/K4F	761610000000	XXX.#
KAH	U2H/K4F	512500000000	HAA DICIDOO GINKOO-NI (++++) HQO XXX.#
K8F	K7F	964600000000	DINHJA XXX.#
UIF	K4F	774300000000	XXX4#
	D0-GE-XX-RU-KA		

K4H	K4H	424900000000 XXX SAIKIR#
U1F	K3F	114500000000 DOKAA-SAN XXX#
K8F	K4F	840700000000 HONKE-SAN XXX#
K0F	K4F	875600000000 (++++) DANO (++++)-NO DO-ZII-SAN XXX#
U1F	U2H	140000000000 XXX#
K4H	K8F/U2H	515000000000 DEE XXX#
K4H	U2H	508600000000 XXX#
K4H	K8F	514600000000 DOKUSAN XXX DO-DUCI-DNA#
K4F	K5F	272000000000 DANO HUKOO-NO HOO-DE XXX DANO GO-BUNKE-GA TAT-RU-SOO-DES-RU-GA.#
K0F	K4F	907100000000 DJAJAJA (++++) DO-BABA XXX#
K5F	K4F	249600000000 HAI XXX.#
U2H	K4H	552800000000 XXX.#
U2H	K6H	103961000000 XXX.#
U1F	K4H	552700000000 (++++) DOOMO XXX.#
K0F	U1F	107210000000 (++++) /0107220/ XXX.#
K4F	U2H	384900000000 DIIJJA /0038500/ HAI DO HAIDO 'DI-I HONO CJOODAI-SI(SU)-XI-MAS-XI-O
		8#-TE-A /0038510/ XXX.#
		60C1S00-SAN-XX-XI-OB#-TAR

K4F	U1F U2H	108940000000 DAA XXX.#
U1F	KBF	450100000000 DOKUSAN DINA BATA KO-GE-NAR XXX (++++).#
KDF	K4F	906700000000 HOO XXX.#
K4F	K4H	478600000000 ZHATASI-DHA HOO XXX.#
KAH	U2H K4F	536200000000 HIRO-SA-KARA DID-YI-OB-TARA /0053630/ HA HO-KC-CA(DHA) (++++) (++)
KAH	U2H	532000000000 (++++) XXX.#
KAH	U2H	518100000000 SO-REX-JAB(DHA) DJAOPASI (++++) SOROBAN XXX /0051820/ GINKOO-DHA.
KAH	U2H K4F	512700000000 SJOODHA-NO XXX HANKA /0051280/ TOR-YI#-OUKE-YI-SADHAG-YI-GA DAR-Y#
KDF	K4F	922100000000 XXX.#
KAH	U2H	462800000000 (++++) HONSJA-NO XXX.#
U1F	K4F	170200000000 XXX SO-DE#-DEMO HOO.#
KDF	K4F	912600000000 XXX.#
KDF	K4F	913400000000 XXX.#
U1F	K9H	373600000000 NI-KAI-NO XXX.#

K5F	HOSAKU-BINBOO-XX-RU	K4F/U1F	27190000000	HOOSAKU-(****) XXX.#
K4F	HUZI-GIHKOO-SAN-XX-RU-KA	KAM	45230000000	XXX-#
K4H	HA-(****)-XX-RU-DHA-HAA	K6F	45610000000	HAA HA-HO HEN-NO TOSI-NINI HAR-RU-TO XXX /0045620/HINA-SAN HJOO
K4F	HA-GE-DAR-SOO-XX-RU-GA	K5F	25680000000	HUN HUN DANDOO NOORI-N-GAOKOO-GA XXX.#
K4F	HA-GE-XX-RU	K5F	28170000000	HUN S00 S00 S00 XXX.#
K5F	HA-GE-XX-RU-GA	K5F	24680000000	DINDJA XXX HUUN.#
K5F		K4F	25150000000	HAI XXX.#
K6F		K4F	90680000000	DIDJA DAGE DAGE-NI-NEE NAKA-KARA NAKA-KARA HOSAP-VI-OB-TARI-NANK
			A SU-RU-TO (****) XXX KE /0090690/ DENRJQ-DHA NA-I-KEN-NEE.#	
K7F	HA-GE-XX-RU-GA-NE.	K6F	95820000000	XXX.#
K5F	HA-GE-XX-RU-DHA	K4F	27860000000	HAA XXX.#
U2H		K6F	76971000000	XXX.#
U1F	HA-GE-XX-RU-DHA-NEE	K4F	14710000000	XXX DHH.#
K6F	HA-GE-XX-RU-NE-A	K4F	93071000000	HON(SON)-NA(NARA) /0093080/ DJAOPA IDANOO XXX.#
K6F	HA-GE-XX-VI-OB-TAR-KA-I-NE		10463000000	XXX.#
K4F	HA-RE-XX-RU-GA	K5F	27570000000	DINA DONDON DONDON TAT-VI-HAS-RU-GA HINNA XXX.#
	HA-RE-XX-RU-GA			

K3F U1F 117000000000 HAA DANO XXX /U011710/ DA SO DO-EUNJU-NI-NÈ-A NIRE-KI-08-TÈ /001
1720/ KIZAN-VI-(++++),#
PAGE-VI-08-TAR-XX-(++++)
KCF U1F/K8F 1025200000000 DO-CJA XXX (++++),#
K5F DAKA-XX-RU-DAR-DE-NE-A 218610000000 (++++) ZUCI-NO DJACU-DNA HOM-HAR XXX,#
DANBAI-XX-RU-NE-A
KDF K4F 853100000000 HON(SON)-NAYNARA DE(1)-E(1) XXX,#
DANTA-XX-(++++)-NE
KCF U2H 760700000000 XXX (++++),#
DAR-RUN-SOO-XX-RU-(++++)
K9H U1F 372200000000 CJANTO KAN-VI-08-TÈ XXX,#
DAR-VI-08-TAR-HON(HONO)-XX-RU-NEE
U1F K9H 369200000000 (++++) HINICI-NO SIOSJU-DE-HEE /0036930/ HAA /0036940/ HERRA-I KOT
O-CA XXX.#
KAM DAR-VI-08-TAR-SDO-XX-RU-(++++)
U2H/K1F 512700000000 SJODDNA-NO HAZINE-KURAI-DES-RU-KA HANKA /0051280/ TOR-VI-CUKE-VI
-SADNAG-VI-CA XXX.#
U1F K4F 184800000000 DO-NO KHAI-DNA DO-KO-DE XXXI#
DAR-VI-08-TAR-XX-RU-KA
U1F K4F 184600000000 KINCO-DAI(DHA) DO-KO-DE GO-NO KHAI-CA XXXI#
DAR-VI*-E(1)-HE(SU)-YA-N-XX-RU-DNA
KAM U2H 504810000000 DIPJA HOO SO-REK-JAB(DHA) HUSOO-HO /0050490/ IFABUNA-I KOTO XXX.#
DE(1)-E(1)-XX-RU-(++++)
K4F KAM 518300000000 RIHA (++++) ZUDE TAKA-KU NASAR-VI-08-TAR HOO-CA XXXI#
DE(1)-E(1)-XX-RU-CA-HE
U1F K8F/K4F 623600000000 (++++) DOBA-SAN-HO (++++), XXX.#
DE(1)-E(1)-XX-RU-DNA-NEE
K5F K4F 247700000000 XXX HAI.#

UZF	DE(11)-E(1)-XX-RU-DHA	IND	299900000000 (++++)	/0030000/ DO-SOZAI-NO (++++)-DHA BANTA-N(ND) TOKO-MITA-I-N
			I KARA-I GUDAI-DE XXX.#	
UZF	DE(11)-E(1)-XX-RU-DHA-NE	K4F	198700000000	DINDJA KA KARA-I-KEDO /0019880/ HATA XXX.#
UZF		K4F	199900000000	DAA SJOCJU-TO MIRIN-DE /0020000/ DO-SATOO-KASKA DAA DA-GE-NI K
			ANHI-ZAI CUKAD-YI-OB-TE NA-I-KEN /0020010/ XXX HUN.#	
UZF	DE(11)-E(1)-XX-RU-KEDO-NE-A	K4F	297100000000	DA DAA ZJUUGO-DEH-HARA XXX.#
			DI-I-XX-(++++)	
KCF		UIF/KBF	994700000000	DO-KASI XXX.#
			DI-I-XX-RU	
K4F		K5F	248500000000	HAOPA-DHA-XXX HUN HUN.#
KCF		K5F	980800000000	(++++) SENSEE-DHA BEVR[I#-GA /0098090/ XXX (++++).#
U2H		UIF	465100000000	KO-REK-DE XXX KO-REK-DE-NE.#
			DI-I-XX-RU-(++++)	
K4H		U2H	522100000000	DOOSAKA-DE-HO (++++) XXX.#
KCF		K5F	977500000000	HAA XXX.#
KCF		UIF	973500000000	(++++) XXX.#
			DI-I-XX-RU-(++++)-NE	
KDF/KBF		IND	949200000000	XXX.#
			DI-I-XX-RU-GA-NE	
K5F		K5F	451900000000	HA DOKUSAN XXX (++++).#
K5F		KCF	100330000000	DINDJA XXX.#
			DI-I-XX-RU-DHA	
UIF		K4F	154200000000	DARA HON(SON)-DEHO DAA SAIKIN DI-I-KAGEN-HAR PEGANE-GA DAA-YI-MAS
			-RU-KEN XXX.#	
			DI-I-XX-RU-DHA-NE	
KDF		K4F	871100000000	XXX.#
			DI-I-XX-RU-DHA-NEE	

K8F	KCF	784200000000 HONTO-NI-NEE XXX.#
K8F	KCF	976700000000 HAA XXX.#
		DI-I-XX-RU-KA
U1F	K5F	260700000000 HAA DAZI-GA XXXY#
		DI-I-XX-RU-KEN
KCF	U1F/U2H	789700000000 HAA XXX.#
		DI-I-XX-RU-NE
KFF	U1F	960200000000 SO-RE*AB(DHA) XXX.#
		DI-I-XX-RU-NE-A
K8F	K4F	389400000000 SO-BAA-CJAN DO-GENKI-DE XXX.#
		DI-I-XX-RU-RI-A
KCF	U1F/K8F	976600000000 XXX.#
		DIICU-XX-RU-KA
U1F	K4F	305100000000 (++++) TANOO TOKUDANI-DHA SO-RE-DE-A XXXY#
		DIICU-XX-RU-NE-A
KDF	K4F	844400000000 (++++) REKO-SAN-DHA XXXY#
		DIID-#I-OB-TE-JORD-YI-OB-TAR-XX-RU-DAR-DOMO-NEE
KDF	K4F	856510000000 (++++) (++++)-GA-NE TAISITA (++++) XXX.#
		DIK-YI-OB*-TE-ORU-YI-OB-TAR-XX-RU-KA
KAH	K8F	457200000000 (++++) HO XXXY#
		DIK-YI-OB(OB)-TE-JORD-RU-XX-RU
KAH	U2H/K4F	538000000000 KAZOKU-DHA TOOKJOO XXX.#
		DIKE-YA-N-DJOO-XX-RU-NEE
KCF	U2H	781510000000 TEGO SI(SU)-YI-OB-TE DAGE-YA-NA XXX.#
		DINDJA-XX-RU
K8F	KFF	979600000000 XXX.#
		DINDJA-XX-RU-DE-A
K5F	K4F	263300000000 XXX.#
		DINDJA-XX-RU-KA
U1F	K4F	197200000000 XXX.#

K5F	RINDJA-XX-#1-OB-TAR-KA-I-#EE	223300000000	20HAI-SAN-TOKO-DHA	DAIKO-HO XXX-#B
	U1F			
KDF	210SJO-XX-RU-KEH-NE-A	858500000000	DAA	RUCI-NO (++++)-TO XXX.#
	K4F			
KCF	21H-#A-H-GURAI(KUHAI)-XX-RU-DAR-PHA-NE	102930000000	MOO	XXX.#
	K8F/U1F			
KAM	2JARE-#1-OB-TAR-XX-RU-(++++)	456800000000	MOO	KO-REF#-DAIZHA) XXX.#
	K8F			
KAM	2JAME-#1-OB-TAR-XX-RU	517200000000	21DJA	RUCI-DHA XXX.#
	U2H			
KDF	2JAH-#1-OB-TE-JORH-#1-OB-TAR-XX-RU-DAR-DONO	853000000000	21SJO	HIQPAR-#1-OB-TE-NEE 21OSJOKENWE-DE /0083310/ XXX.#
	K4F			
	2JASU-1-XX-RU-DJO	193200000000	2JAPFARI#	2JASAI-DHA XXX.#
	K4F			
	2JG(D1)-KAR-#1-OB-TAR-XX-RU-NE-A	837500000000	HUUN	/0083760/ SO-REF-JAN(DHA) XXX.#
	K4F			
	2JG(D1)-KAR-#1-OB-TAR-XX-RU-GA-NE	234300000000	XXX.#	
	K5F			
	2JG(D1)-KAR-#1-OB-TAR-XX-RU-DHA	101731000000	(++++)	/0161740/ CJDONO DA-#D (++++)-NI HORAB-#1-OB-TAR-KEK-KOSO-
	KCF			
	NEE XXX.#			
	2JCB-RU-XX-RU-DHA	554500000000	(++++)-HO	TOKI-(++++) XXX.#
	K4F			
	2JCKEE-XX-RU-DHA	763500000000	(++++)	XXX.#
	U2H			
	2O-DEKANE-#1-XX-#1-00#-TAR	118300000000	DAA	HAA XXX DAA.#
	K4F			
	2O-2JANE-#1-DAR-S-O-XX-RU-DE	958700000000	KO-TOSI-DHA	XXX.#
	U1F			
KFF	2O-KO-SAN-XX-#1-OB-#-TAR-DHA-NEE			

KdF	KdF		\$2250000000. dōmā-hū XXX.#	
KdK	dG-TE-dAGI--XI-XX-RU-(****)			
	U2H	/0051210/ HOG SUGU XXX.#	5119C'00000 CJOQ00 DANO CUKAH-XI-KOH-XI-DEMO /0051200/ SI(SU)-XI-OB-TE (****)	
KdF	dO-ZII-SAR-HO-XX-RU-KA			
	KdF		932000000000 (****) (****)-HO XXX1#	
KdF	dOBA-SAN-XX-RU-DHA-NE			
	KdF		950700000000 DO-BAA-CJAN-RJA XXX.#	
KdF	dOISI-I-XX-RU-GA			
	KdF		1053800000000 (****) XXX /0105390/ HAA.#	
UIF		50/ XXX.#	-9940'00000 DAA DANO MISO-CUKE-XI-NO CJUDTO (****) DEE DEE (****)-NE-A /00198	
	dOISI-I-XX-RU-RJO			
	U2H		'015000000000 XXX DA HAA DOO-CAN(SAN).#	
UIF	KdF		99480'00000 DA DJUZU-GA XXX (****).#	
UIF	dOISI-I-XX-RU-NE-A			
	KdF		'961000000000 DINN XXX.#	
KdF	dOFASI-DE-XX-RU-DAR-HON(XONO)			
	KdF		1045500000000 (****) XXX.#	
KdF	dORHA-NO-KO-XX-RU-DHA-NE-A			
	KdF		831800000000 DN XXX.#	
KdF	dOOKI-I-500-XX-RU-DHA			
	KdF	E /0027850/ XXX.#	278310000000 SO-RE*-NI-REE DANO SIMIN-ZEE-GA HACUDE-DWA dOOKI-I-DES-RU-KEN-NE	
KdF	dOOKI-I-XX-RU-KEN-NEE			
	KdF		278310000000 SO-RE*-NI-REE DANO SIMIN-ZEE-GA HACUDE-DWA XXX /0027850/ dOOKI-I-	
KdF		--S00-DES-RU-DHA.#		
KdK	dOR-RUA-XX-RU			
	U2H/KdF		537600000000 SO-RE*-AL(DWA) (****) DOR-RUA-DES-RU HITORI# /0053770/ XXX.#	
KdK	U2H/KdF		537600000000 SO-RE*-AL(DWA) (****) XXX HITORI# /0053770/ dOR-RUA-DES-RU.#	

KAF	20H-YI-OB-TAR-XX-RU-DHA	45740000000 D10SJO-NI XXX KONAIDA-MADE (++++).#
KAF	20S-RU-XX-RU-KA	46581000000 H1HA XXXI#
KAF	20SO-KAR-YI-OB-TAR-XX-RU-DAR-KEN	76710000000 DAND0 (++++). XXX.#
KAF	20TONASI-KAR-YI-OB-TAR-XX-RU-DJO	93680000000 D1H2JA /0093890/ XXX HA-NO KO-DHA.#
KAF	20TONASI-KAR-YI-OB-TAR-XX-RU-DJO-A	93970000000 DAA XXX.#
KAF	20T00T0-XX-RU-KEN-NEE	42660000000 DAND0 /0042670/ HARE-NO HATA-SAN-NO XXX.#
KAF	2HAKA-I-HON(HONO)-HAKASE-YI-XX-RU-DHA-NE	27410000000 MA RON XXX HA-SUKO(KO)-DHA-NE.#
KAF	2HAKAR-YA-N-XX-RU-DJO	45830000000 HAA XXX.#
KAF	2HAKAR-YA-N-XX-RU-DHA	45610000000 NAWADE-GA.CIGAN-YI-OB-TAR-DAR-KEN XXX.#
KAF	2HARU-YI-XX-RU-DHA	76960000000 NAKANAKA-DANTA-(++++). S1GOTO-DHA SAMU-I HE-NI HAD-Y-RAREN-YA-NA D
KAF	2KE-YA-N-KEN /0076970/ SJOKEE KOSI-NO TANE-NI XXX.#	
KAF	2KABU-XX-YI-OB-TAR-DONO	25380000000 DAITAI HAA DAND0 DUCI-NO KABU-DHA /0025390/ DA-GE-NI HADPA-GA (++)
KAF	++ XXX /0025400/ KO-TOSI-DHA TOKUSJU-NAR-N(NO)-DES-RU-KEN-NE-A /0025410/ KE KONE ISE(SU)-YA-NU-NONI	
KAF	KE DO-SYO(KO)-TOMO KE DAIKO-DJA KABU-NO HA-GA KE BOOB00-T0 KO-GE-N (++++).#	
KAF	KAD-YI-TE-JORE-RU-X-RU-(++++)	
KAF	UOH/KAF/KAF	54330000000 SO-REN-KARA NJOPQ00 DANDORI-NO NI-I HITO-DAR-TO-NE SONO HARE-NI
KAF	T0C1 XXX.#	
KAF	KADER-Y-RAREN-RU-SOO-XX-RU-DHA	15930000000 KJ00 XXX.#

KAF	KAKGZ1-XX-RU	^9900000000 XXX.#
U1F	KAF	
U1F	KAHAA-XX-RU-DJO	
U1F	KAF	136810000000 SO-RE-GA XXX.#
U1F	KATA-I-XX-RU	
U2H	KBF/KAF	719200000000 CUTOHE-YI-NIN-GA DICISAN XXX.#
U1F	KAF	18520-000000 HAA HAA XXX.#
KDF	KEIRO-XX-YI-TAR-KA-NE	
KDF	KAF	832200000000 (****) /0083230/ DANC0 DA-RE# SI(SU)-YI-OB-TE-J6RB-YI-OB-TAR-DES-
KDF	KAF	RU-(****) SENDO XXX.#
KFF	KIK-XA-N-DJO-XX-RU-DE-A	
KFF	U1F	750000000000 DINDA DANHARI# XXX.#
KCF	KINOO-XX-RU	
KCF	U1F	105200000000 XXX.#
U1F	KIDAI-XX-RU-GA	
U1F	K5F	245700000000 DAA DANHARI# DIRO-NO CUK-YI-OB-TAR-NO-DA(5HA) DA XXX.#
U1F	KINE#-XX-RU-(****)	
U1F	KAF	562000000000 (****)-HEE (****)-DHA XXX (****)-DHA.#
K8F	KINE#-XX-RU-DJO	
K8F	KDF	102130000000 MAI /0102140/ XXX.#
K4F	KJODHA-GINKOO-XX-RU	
KCF/K8F	KAF	530200000000 DHATASI-H(NO) TOKO-(****) (****) XXX.#
K8F	KO-OC1-XX-RU-DHA	
K8F	U1F/K8F	952700000000 XXX.#
K8F	KO-RE-KARA-XX-RU-DHA-NE	
K8F	KAF	561600000000 XXX.#
K8F	KO-XX-YI-OB#-TAR-DJO	
K8F	KCF	939900000000 HONNI MOTONASI-I XXX.#
K8F	KO(KU)-#-RARE#-YI-OB-TAR-XX-RU-KA	

KCF U2M/K8F/U1F 797900000000 SENSE-DHA KU00 XXX.#
 KOSIRAXE-YI-OB-TE-JORU-RUM-XX-RU-GA
 KAH U2M/K8F 533800000000 (****) GORU#HU-NO RENSUU-ZJ00 /0053390/ XXX (****).#
 KOTO-XX-(****)
 KAH 499600000000 HURU#I XXX /0048970/ HANZJUU-NEN-HO GO-ROKU-ZJUU-NEN-HO MADE-NO
 /0048980.0048990/ KOTO-DAR-HUN(HONO).#
 KOTO-XX-RU-DAR-KEW-NE
 K5F K4F/U1F 273400000000 (****) /0027350/ HOKA-NO XXX (****) GAWAN SI(EU)-YI-OB-TE HORAD-
 (****) /0027360/ HATA D#AKA-I HONO-(****)I#
 KOTO-XX-RU-GA
 K4F K4F 267800000000 DI-I XXX.#
 KOTO-XX-RU-DNA-NE
 K4F K5F 274900000000 KENGOO-HAR XXX HONNI-NEE.#
 U1F K4F 455800000000 SO-RE#-JAB(DHA) SO-BENJAB(DHA) /0030560/ DE(DI)-E(I) XXX.#
 KOTO-XX-YI-OB#-TE
 K4F 274400000000 DIBJA KADHAR-YI-OB-TE DI-YI-HAS-RU-GA-NEE /0037450/ (****) HAA DO
 NYASI NISE-N(NOI) NAKA-NI HOR-YIK-HAS-RU-DAR-DOHO /0037460/ KONDO BANO KAS-YI-CUKE-YI-NO HOD-DO DOHO-
 NI DUAR-Y-RE#-TE DUJUD(DIN)-RU XXX #DIN.#
 KUSA-I-XX-RU-KEN-NEE
 K4F 204100000000 DA-RE# CJOQO HAZINE XXX NIKADHA-KA DANO NAN-20-DE (****).#
 KACURIX-XX-YI-OB#-TAR-KA-NE-A
 K4F 884500000000 (****) /0088460/ XXX.#
 MADE-XX-YI-OB#-TAR-GA
 K4F 955400000000 (****) ZJUU-NEN-GURAI(KURAI) XXX.#
 KFF U1F 955400000000 (****) ZJUU-NEN-GURAI(KURAI) XXX.#
 NI-OCU(CU)-DAR-YI-OB-TAR-XX-RU-NEE
 KAH K4F/U2M 523400000000 DIBE-GA SAN XXX.#
 NIO-KA-XX-(****)
 K4F/U2M 566000000000 HOD /0056610/ MOO HUCU-KA XXX.#
 NIO-KA-XX-RU-TO-NE
 K8F K4F/U2M 569300000000 XXX (****).#

K5F HON(HONO)-XX-RU-DAR-DOHO-JE-A
K4F/U2F 27730000000 HONNI HAA HAA DANTA-TO HOO-PACI-JAB(DNA) NAN(NANI)-DES-YI-OB*-TAR
-DOHO /002740/- RUCI-PACI-JAB(DNA) HONNI CISA-I XXX /0027750/ (++++).#

KDF HON(HONO)-XX-RU-DAR-KEN-NEE
K4F 4499000000000 DIBJA-NEE /0095000/ HAA /0095610/ DANO (++++).#IP-Y-SAS(SASE)-YI
-OB*-TE NORAN-YI-OB-TAR XXX /0095020/ DIO(DICI)-PER(HEN) DIK-XA-NA DIKE-XA-N-GA-TO DONON-RU-DAR-DOHO
HA.#

U1F HON(HONO)-XX-RU-DE-A
KFF 0603000000000 DERA-I XXX.#

K4F HON(HONO)-XX-RU-DNA-NEE
K4H/U2H 5222000000000 DJASUDA-ZENBEI-SAN-(++++) /0052230/ (++++).XXX.#

K4H HON(HONO)-XX-RU-DNA-NEE
K6F/U2H 5411000000000 DIBJA SO-REM-JAB(DNA)-NEE (++++).SI(SU)-YI-OB-TAR XXX.#

U2H HON(HONO)-XX-YI-OB*-TAR-KEN-NEE
K4F 6071000000000 DIBJA MUKASI-DNA-NEE /0060720/ DANO KONO HUNJU-ZJUUC(JUU) KO-RE*
DJAR-YI-OB-TE-JORU-YI-OB-TE-NEE /0060730-0060740/ DANO HOO HATO-DNA ZUOTO HOO DICIDANRAKU SUH-RU-TO
-NEE /0060750/ DANO HOO HA HOO KEE TO-DANI-HO PUT-RU-TOKA-NEE /0060760/ NANTOKA SO-GJAN KOTO DJAR-Y
I-OB-TE-JOKU-YI-OB-TE KE HONNI KEE BIBI-TARU* XXX /0060770/ MUKASI-DNA.#

K4H MOT-Y-SASE-YA-N-XX-RU-KEN-NEE
U2H 4671000000000 KO-RE*SIKA XXX.#

K6F NA-I-HON(HONO)-XX-RU-DE-NE-A
KFF 0561000000000 TAISITA DJOO-GA XXX.#

K4H NA-I-XX-RU
U2H/X4F 4828000000000 DAA DURA DIBJA DA-RE*-DNA-NEE DJOOPARA-DYI-(++++).XXX (++++).#

KDF NA-I-XX-RU-(++++)
K4F 9288000000000 HANDA DINA SO-GE-(++++).SASIDUKANE-YI XXX.#

U1F NA-I-XX-RU-DNA
K4F 1513000000000 DAA DJUZU-DNA-NEE DINA-GORO(KORO).XXX.#

KDF NA-I-XX-RU-DNA-NEE
K4F 0286000000000 (++++).SE-DNA TAKA-I KOTO XXX TAISITA.#

KAM	KBF	514300000000	SOM-NAR KOTO XXX.#
KDF	K4F	RA5000000000	NIIDJA SO-RE-DAR-DONO-NEE /0086590/ KOKORO-GA-NE-A /0086600/ DANO
		O DATAKA-KE-REBA SO-GJAN KOTO XXX.#	
	NA-I-XX-RU-KA		
KBF	K4F	961400000000	NICIBAN SAIGO-DA XXX.#
KBF	U2H	1026500000000	NAN(HANI)-GA XXX.#
KAM	U2H/K4F	521910000000	TOR-XI-OB-TARA RUCI-DJORI * HE(DI)-E(I)-DA XXX NICUBI
	SI-GINKOO-(++++).#		
KAM	U2H/K4F/KBF	544700000000	HAA TAITEE-GA KARI-XI-OB-TE TATE-XI-OB-TE-JORE-RU-DA XXX.#
KDF	K4F	878200000000	(++++) NIHA DO-GE XXX.#
	NA-I-XX-RU-KARA-NE		
XBF	U1F	795100000000	HOD NAN-NEN-TE (++++) ZJUO-NEN-TE DJUR(DI)-RU KOTO XXX.#
U1F	K4F	296200000000	DAA CJOOTO-NEE /0029630/ (++++)-DHA XXX-DNN:#
	NA-I-XX-RU-KEN-NE		
KAM	U2H	506200000000	NOOGJOO-KAI (++++) XXX.#
	NA-I-XX-RU-NE-A		
KDF	K4F	928200000000	DO-GE KO-GE-TE DJUR(DI)-RU KOTO-DA(DHA) XXX.#
K5F	U1F	261600000000	XXX.#
	NANA-ZUKE(CUKE)=XI-XX-RU-(++++)		
K5F	U1F/K4F	262400000000	KEE NIHA HADJA-I-TOKO KEE HADJA-NI TABE-RU DJACU-AB(DHA) XXX.#
	NAN-BJAKU(HJAKU)-MAN-XX-RU-DAR-KEN-NE-4		
KDF	K4F	106300000000	XXX.#
	NAN-DAI-XX-RU-GA		
KDF	K4F	098000000000	NIIDJA HAÀ DANO XXX.#
	NAN-DAI-XX-XI-OB-TAR-GA		
KDF	K4F	965000000000	DANO XXX:#
	NAN-XX-RU-GA		
K5F	K5F	237800000000	DANO XXX-DANO DATZUREN-GA-NE NIHA HOO /0023790/ HADE-GA DIOPAI-

N1 NAR-XI-TE-JOUB-XI-HAS-RU-KEN-NE.#
 NAN-XX-RU-DNA-NE
 KAM/K4F 507400000000 SO-NO KASIRA-TE NJUN(DI)-RU HONO-DNA-NEE /0010750/ SO-RE#-JAB(DH
 A) DANOC KONOC XXX /0050760/ SENGOKU-KOOTAROC-SAN.#
 NAN-XX-RU-KA-NEE
 U2H/U1F/K6F 562900000000 KO-REN-DE.XXX.#
 NAN-XX-RU-KEN
 U2H 381400000000 DHAS[-JAB(DHA) HDO {++++}-XI-HAS-RU-DE DAKOC XXX {++++} KIKU(-XI
 -OB-TE-JOKC-XI-OB-TENO DE(DI)-E(I)-TE NJUN(DI)-RU KOTO-NI {++++}.#
 NAN-ZI-XX-RU-KA
 U1F 362500000000 DIHA XXX.#
 NAN(HANI)-XX-RU-DAR-XA-YVUB(YVUB)-KEN
 K4F 284400000000 {++++} DJAOPASI DANOC TOCI-GA-NEE /0028450/ XXX.#
 NAN(NANI)-XX-RU-DUA
 K4F 298310000000 {++++} HA {++++} KJOO-DNA HA {++++} SEQ(SEC)-CJAN-HO DE-XI-OB-TE
 KU-RUK {++++} /0029840/ XXX RUU.#
 NAN(NANI)-XX-RU-KA
 KPH 392800000000 DJAOPARI# KAS-XI-OUKE-XI-DNA XXX DIHA-GORO(KORO)-DA(DHA) DIPE-DJA
 -NANKA-DO TEI100-NI TOR-XI#-NASAR-(D(XI)-HAS-RU-KA#
 K6F 467900000000 XXX#
 U1F 300900000000 DUR-XI#-DAS-XI-TE DANG HATA XXX#
 U1F 301300000000 DENGEL-NO XXX#
 NAN(NANI)-XX-RU-KEN
 U1F/K6F 302300000000 DIJUA DHASI-JAB(DHA) BECU-NI XXX {++++}.#
 NAN(HANI)-XX-XI-OGA-TAR-DOHO
 K4F/U1F 277300000000 HONNI MAA HAA DANITA-HO HOO-RACI-JAB(DHA) XXX /0027740/ DUCI-RACI-
 JAB(DHA) HONNI CISA-I MON(HONO)-DES-RU-DAR-DOHO-NE-A /0027750/ {++++}.#
 NAN(HANI)-XX-XI-OGA-TAR-GA
 KPH 425510000000 DA-RE DANOC {++++} DIPE-XI-OB-TAR-GENA-DOVO-NEE /0042560/ DANOC X
 XX {++++} {++++}-XI-OB-TAR-DOHO DA-RE MAN-DAI {++++}-NO NAN-DAI {++++}.#

K4F NANBO-XX-RU-DAR-KEN-NEE
 227620000000 DAN SAN-NIN-DJA XXX /0022770/ HUUN.#
 K5F NANTOKA-XX-RU-KEN-NEE
 K4F 098400000000 (++++)-HO HOO-NO HITO-GA DE-Y-RARE*-RU /0089950/ (++++) XXX.#
 KDF NIGIDJAKA-XX-XI-OB*-TAR-NEE
 U1F 172400000000 (++++) XXX.#
 K4F NOH(I-NAR-MON(HONO)-XX-RU-DHA-NE
 K9H 394630000000 (++++) KEE /0039480/ XXX /0039490/ DAA.#
 KDF NOO-NANKA-TE-XX-RU-NE-A
 K4F 932400000000 (++++) XXX.#
 KAH NOOGJOO-KAI-XX-RU-(++++)
 U2H 505300000000 (++++)-NEE TADORE*-RU KIKEN-GA DAR-RU*-HO-DHA XXX.#
 KCF NUKU-I-XX-RU-KARA
 U2H 765600000000 (++++) KJOO-DHA XXX.#
 K5F ROSU-XX-RU-KA
 U1F 215200000000 KANDO-SAN XXX.#
 K8F SAKAI-XX-RU-KEN
 KFF 961900000000 XXX.#
 K8F SAHU-I-XX-RU-GA
 KCF 765900000000 DINDJA XXX SOTO-DHA.#
 K8F SAHU-I-XX-RU-NEE
 U2H 563700000000 XXX.#
 K4F SAN-NEN-XX-XI-OB*-TAR-(NO)-DE-NEE
 KAH 475900000000 SO-RE*-KARA HAA DANOO (++++) /0047600/ (++++)-XI-OB-TE-NEE DANHA.
 IW GAQKOO KADHAR-XI-OB-TE KURE*-X-REX(RE)-OTE DIT-Y-RARE*-XI-MAS-XI-OB*-TENO ZJOGAOKOO XXX /0047610/
 SO-RE*-KARA-NEE ZJOSTI-SIHAN-NO DICI-NEN-NI KADHAR-XI*-MAS-XI-OB*-TAR-(++++).#
 SEDHA-DJAK-XI-XX-RU-DHA-NE
 K4F 913700000000 HAN-DAI KAN-DAI /0091300/ TABE-XI-OB-TE-NEE DANOO XXX.#
 KDF ST(SU)-XI-OB-TE-JORD-XI-OB-TAR-XX-RU-(++++)
 K4F 032200000000 (++++) /0083230/ DANOO HA-RE* XXX SENDO KI(KU)-XI-OB-TE-JORE-XI-0

9-TAR-DES-RU-DHA-NEE.#	
STDO-XX-RU-KA-I-NE	23950000000 XXX.#
K5F	K4F
KAH	46370000000 (++++) XXX.#
KFF	96090000000 DANTA-HO DANTA-HO XXX.#
KDF	87890000000 HN HN XXX.#
KAH	41870000000 DAA XXX.#
U1F	79810000000 DAA XXX.#
K4F	27460000000 HAN HAN HAN DINDJA XXX HUUN.#
K5F	26580000000 XXX (++++).#
U1F	16390000000 (++++) XXX.#
U2H	38061000000 HAI XXX.#
K5F	25360000000 XXX.#
KAH	51030000000 DA XXX.#
KDF	89570000000 DAA XXX.#
U1F	13130000000 DAA XXX.#
U1F	17030000000 DARA XXX.#
KCF/U1F/K8F	78240000000 XXX.#
K8F	54480000000 DAA XXX.#
K4F	89920000000 DAA XXX.#

K8F	K8F	641100000000 DAA XXX {++++} /0094120/ H00.#
U1F	K4F	256200000000 DAA XXX.#
	SO-GE-XX-RU-DNA-MEE	
K0F	K4F	1004100000000 HUUN XXX.#
	SO-GE-XX-RU-KA	
K4F	K5F	240800000000 DAA XXX HUUN.#
K4F	K5F	241100000000 DAA /0024120/ XXX HUUN.#
K4F	K5F	242600000000 DAA XXX.#
K4F	K5F	252000000000 DAA XXX HUUN.#
K4F	K5F	263700000000 HUUN HUN XXX.#
K5F	K4F	220100000000 HAN XXX.#
K8F	K4F	390100000000 DNN XXX.#
K0F	K4F	414500000000 DA XXX.#
K0F	K4F	518000000000 XXX.#
K0F	K4F	920000000000 DA XXX.#
KFF	K8F	978200000000 XXX.#
KFF	U1F	960000000000 HA XXX.#
U1F	IND	304600000000 DNN XXX.#
U1F	K4F	126200000000 HUN HUN HUN XXX.#
U1F	K4F	133700000000 DAA XXX.#
U1F	K4F	134100000000 DAA XXX.#
U1F	K4F	134900000000 DAA XXX.#
U1F	K4F	168100000000 HAA XXX.#
U1F	K4F	186000000000 HAA XXX.#
U1F	K4F	190200000000 DAA XXX HUUN.#
U1F	K4F	302300000000 DAA XXX /0030240/ HUUN.#
U1F	K4F	681400000000 XXX.#
U1F	K5F	219200000000 DAA XXX.#
U1F	KFF	956000000000 DAA XXX.#
U2H	K9H	405810000000 DA XXX.#

U2H	KAH	536100000000 DARA /0053820/ XXX.2
KDF	K4F	892900000000 HAAH XXX.#
UIF	K9H	363600000000 HAA XXX.#
KDF	K4F	897400000000 HAA XXX.#
K4F	K5F	245200000000 HAA XXX HUUN.#
KFF	K8F	980700000000 HA XXX.#
UIF	K9H	373900000000 HAA XXX.#
K5F	K4F	267900000000 XXX (++++).#
K8F	KCF	438400000000 (++++).#
KDF	K4F	837300000000 HA XXX.#
KDF	K4F	133400000000 HA XXX.#
UIF	K4F	201200000000 .XXX.#
K5F	K4F	557000000000 HAA (++++).#
UIF	K5F	245800000000 HAA XXX.#
KDF	K4F	880000000000 HAA XXX.#
KFF	UIF	989100000000 HA XXX.#
UIF	K4F	202200000000 HAA XXX.#
UIF	K4F	229900000000 HUUN XXX.#
		SPU-XX-RU

KCF	U2H	763300000000 XXX.#
	S00-XX-RU-(++++)	
K4F	K5F	280700000000 ZHN MINNA XXX.#
K4F	U2H-KAH	470800000000 HAA /0047090/ XXX.#
KAH	U2H	466900000000 XXX.#
U1F	K5F	230700000000 XXX.#
	S00-XX-RU-CA-NEE	
K4F	K5F	276100000000 DA XXX /0027620/ HUUN.#
	S00-XX-RU-DJO	
K4F	K5F	280400000000 MINNA XXX.#
	S00-XX-RU-DHA	
K8F	KFF	963200000000 HAA XXX.#
	S00-XX-RU-DHA-NE-A	
U1F	K4F	151100000000 XXX.#
	S00-XX-RU-KA	
K4F	K5F	240200000000 HAA XXX.#
K4F	K5F	245800000000 DARA XXX HUUN.#
K4F	K5F	250900000000 HAN HAN DAA /0025100/ XXX HUN HU..#
K4F	K9H	351900000000 DAA XXX RAS-XI-(-++++).#
K4F	K9H	393000000000 HAAN XXX /0039310/ HAAN.#
K4F	K9H	404400000000 DAA XXX /0040450/ HUUN.#
K4F	K9H	405000000000 DAA XXX.#
K4F	KAH	452500000000 (++++) HAA XXX.#
K4F	KAH	487500000000 XXX.#
K4F	KAH	487700000000 DAA XXX /0048780-0048790/ HUUN.#
K4F	KAH	512600000000 ZHN XXX.#
K4F	KAH	542300000000 DAA XXX.#
X8F	KAH	455900000000 DAA XXX.#
K9H	K8F	428100000000 DAA XXX.#
K9H	U1F	363300000000 XXX.#

K4F	477900000000 HAA XXX.#
U2H	432700000000 DAA XXX.#
K4F	096200000000 DARA XXX.#
K4F	444800000000 XXX.#
K4F	551600000000 DA XXX.#
K4F	475700000000 DAA XXX DNN.#
K4F	259500000000 DAA XXX HAA HAA.#
K4F	301700000000 DAA DA HAA XXX.#
K4F	303700000000 DAA XXX.#
K9H	374900000000 DAA XXX.#
K9H	431100000000 (++++) DOOMO DAQ DA XXX HON(SON)-NARA.#
S00-XX-RU-KA-NE	
K4H	456900000000 DAA XXX.#
S00-XX-YI-OB*-TAR-KA-NE-A	
K4F	684300000000 DA XXX.#
S00-XX-YI-OB*-TAR-KA	
K5F	254200000000 DAA XXX HUUN.#
KCF	401730000000 XXX.#
SUKUMA-I-XX-RU-DNA	
K4F	452100000000 DNN DOOMO-GA KO-GAI-DAR-KEN HITAGTE HITO-SAN-YO DO-RIDE-YI-GA XXX
#	
K4F	299400000000 BUSU-KADHA-DNA TOR-YI-OB-TE DAR-RU-KEN-NEE (++++)-KEN NIGA-HI-GA
XXX /0029950/ DNN.#	
SUN-YA-N-XX-RU-NEE	
K3F	440000000000 DAA XXX DANTA.#
SUN-YI-NASE(MAS)-YA-N-XX-YI-OB*-TAR-(++++)	
U1F/K4F	284900000000 D1RG61RO XXX.#
SUN-YI-NASE(MAS)-YA-N-XX-YI-OB*-TAR-NE-A	
KDF	404800000000 XXX.#
SUN-YI-NASE(MAS)-YA-N-XX-YI-OB*-TAR	

K9H	U2H	436800000000 XXX.#
KCF	SUN-YI-HASE(HAS)-YA-N-XX-YI-OB*-TAR-NEE	
KCF	U1F	1054100000000 DJAA XXX DANTA-GA (++++).#
K9H	SUN-YI-HASE(HAS)-YA-N-XX-YI-OB*-TAR	
U1F	U2H/U1F	1039200000000 D0MO XXX.#
KCF	KCF	1061700000000 XXX.#
KCF	TAIHEN-XX-RU-NE-A	
KCF	U1F	1059100000000 (++++)-GA XXX.#
K4F	TAIHEN-XX-RU-NEE	
K4F	K4H	494210000000 (++++) XXX (++++) HADJA-KU 700494307 (++++).#
K0F	TAKASAGO-XX-RU-NEE	
K0F	K4F	8917000000000 KE HA XXX.#
K5F	TAKUSAN-XX-RU	
K5F	K4F	2499000000000 HAI OD-GOO DAR-X-RJA XXX.#
K5F	U1F	2827000000000 MOO XXX.#
U1F	TAKUSAN-XX-RU-(++++)	
K4F	K4F	2002000000000 HOSITE (++++)-NO BUN-DHA-NEE /0020030/ (++++) DANA-WI-GA XXX.#
K8F	TAR-YA-N-XX-RU-DHA	
K4F	U2H	5680000000000 XXX.#
K4F	TAT-RU-500-XX-RU-GA	
K4F	K5F	2720000000000 DANO HUKOO-NO HOO-DE DOO-BES-RU-KA DANO GO-BUNKE-GA XXX.#
K4H	TOKO-XX-RU	
K4H	K4F	4884000000000 (++++)-DO KITA-I (++++) DIK-YI-OB(OB)-TAR XXX.#
K4H	TOKO-XX-RU-GA-NE	
K4H	K4F	4882000000000 (++++) DIZUMO DANO (++++)-DO DE-YI-OB-TE KITA-I DIK-YI-OB*-TAR X
	XX.#	
	TOKO-XX-RU-GA-NEE	
U2H	K4H	4190000000000 NIHA MOO NIHA-MO /0041910/ SO-GE DIH-YI-OB-TE-JORE-RU XXX /004192
	0.0041930/ (++++) DIJOONI KEE MOO DAPUDAPU SI(SU)-YI-OB-TE-JORB-RU-MON(MONO)-DAR-KEN.#	
	TOKUSJU-NAR-N(WO)-XX-RU-KEN-NE-A	

K5F K4F 253800000000 DAITAI NAA MANOO BUCI-NO KABU-DHA /0025390/ GA-GE-NI HAOPA-GA (+
 +) KABU-DES-YI-OBK-TAR-DOMO /0025400/ KO-TOSI-DHA XXX /0025410/ KE KODE SE(SU)-YA-NU-NONI KE DO-#KO
 (KO)-TOHO KE DAIKO-HJA KABU-NO HA-GA KE B00B00-TO KO-GE-N (+***),#
 T00-KA-XX-ZI-OBK-TAR-KA-NEE

K8F K8F 455400000000 KONADA ZJUUPICI-GACU-NO NARU-KA XXX.#
 TOSI-XX-RU-(+****)
 U2H 539700000000 (+****) TOSI-GA XXX.#
 ZIRAH-SAN-XX-RU-KA

K4F 846800000000 HA SO-REV-AR(DHA) XXX4#
 ZIRSUOU-XX-(+****)-DAR-YA-YVC(YVVD)-KEN-NE
 K9H 394620000000 BUCI-JAK(DHA) DAN-NAR HUUN-DE BA SON-NAR-NI KE KUROO SE(SU)-YA-N-
 DEKO DE(hil)-E(I) HIQ(BICI)-SJOOGAI SON-NAR KUROO SE(SU)-YA-N-DEHO DE(hil)-E(I)-TE-DJA-NAR XXX (+****).
 #

ZJHOT00-XX-RU-NAR
 K4F 306900000000 BAA KO-REM-JAU(DHA) XXX.#
 ZJUU-ZI-HAN-XX-RU-(+****)
 K8F 362800000000 XXX.#
 ZJUU-ZI-HAN-XX-RU-DHA
 K9H 362700000000 XXX HIMA.#
 ZJUUNJ-GACU-XX-RU-GA
 U1F 958900000000 (+****) XXX.#
 DCHO- (+****)-DAR-XX

K4F 925600000000 XXX HE-RU KOTO-DHA DO-KAA-SAN (+****).#
 K4F U2H/K6F 595500000000 XXX DAIKAKU-DO RJO-MEN DE-ZI-OB-TE-JOUP-RU-DAR-DOMO /0059560/ NAN
 -DAI CROTO SIKEN SE(SU)-YA-NA MIKE-YA-N-GENA-(+****).#
 K4F U2H/K6F 694800000000 XXX (+****) RJO-ZI-HAN-CORO(KORO)-KARA HUAKU-TEN HUAKU-(+****) HOSO
 DA-SAN-GA RIIDO SI(SU)-YI-OB-TAR (+****).#
 K8F U1F 669400000000 XXXI#
 K8F U1F/K4F 609420000000 (+****) /0060950/ SAKANA-HJOU-YI-DE NISOGASI-KAR-YI-OB-TAR-KEN XY

K6H U2H 377900000000 DAA /0037800/ (++++) D0CIZAI-SAN-DE K4BU-K4N-YA-HINA) HAR-YA-N-TE
 D1D-YI-OB-TE D0IDE-RU-TE XXX.#
 (++++)-YI-XX-RU-KEN
 K6F K4F 1089900000000 D1ATC-KARA XXX.#
 (++++)-YI-XX-RU-KE
 K4H U2H 447700000000 (++++) XXX (++++)-GA.#
 (++++)-YI-XX-RU-NE-A
 U1F K4F 307600000000 (++++) XXX /0030770/ (++++)-NEE.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR
 K4F K6F 285000000000 DARA DARA XXX.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-GA
 K5F U1F/K4F 289300000000 D1JUURE-HO-NEE /0028940/ NI-K0OKAI XXX DAIKO-DC.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-(++++)
 K5F U1F/K5F 287500000000 (++++) /0028760/ XXX.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-KEN-(++++)
 K4H U2H 532500000000 (++++)-DHA H00 XXX.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-(++++)
 KCF/K6F 1002200000000 XXX.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-NEE
 KDF K4F 523300000000 (++++) XXX.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-DHA-NE
 KDF K4F 966000000000 (++++) K0NAIDA (++++)-GA DEHDA K4KE-(++++) XXX.#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-NE-TE
 K6F U1F 984800000000 (++++) XXX D1D-YI-OB-TE (++++).#
 (++++)-YI-XX-YI-OB-K-TAR-DHA-NE
 U1F KCF 787300000000 D0Q (++++) D0-T00-SAN K0NAIDA (++++) /0078740/ SARPONPASU HAR-YI-0
 B-TE XXX.#
 CIGAD-YI-OB-TE-IO(01)-YI-XX-RU-DHA-NEE
 K4H K6F 454900000000 (++++)-GA RJO RJOH00-TOM0 XXX.#
 CIGAD-YI-XX-RU-DKA

K4F K5F 217400000000 (++++) NANTA-N(HN) TOKO-NQ /0021750/ KABU-DWA DIRO-DWA XXX.#
 U1F K4F 139800000000 DAA HEE NJAOPA DAZI-GA XXX.#
 C16MB-YI-XX-RU-KA
 U1F K4F 774310000000 XXX.#
 U1F K4F 774500000000 KO-KO-DWA (++++) XXX.#
 CJOODA[-SI(SU)-YI-XX-YI-00%-TE-A
 K4F U2H 384900000000 DIIIDJA /0038500/ HAIDO HAIDO NI-I HONO XXX /0038510/ GOCIS00-SAK-
 DES-RU-(++++).#
 CUKAa-YI-XX-RU
 K5F U1F/K4F 261300000000 DIRO-KO-RJARA /0026140/ HATA CJOOTO KANMI-ZAI-DOMO XXX.#
 K4F K5F 257400000000 DE DUCI-NQ DAIKON-DO NUU CUKE-YI-OB-TARI* SI(SU)-YI-OB-TE-NE /002
 5750/ SO-REM-KARA DANDU SJOOGONIN-BACKA XXX.#
 CUKE-YI-XX-RU-DAR-KEN
 .K5F U1F/K5F 260900000000 (++++) HOG-YI-OB-TAR-GA RJ0(DI)-VYB GOZAINS-RL-DAR-DOMO-NE-A /002
 6100/ NANA-NI-GA /0026110/ (++++) NANA-ZUKE(CUKE)-YI-DWA PHAKI-KARA XXX DAZI-DO-AE-A.#
 CUKE-YI-XX-RU-GA-NEE
 K4F K5F ARA XXX.#
 CUKE-YI-XX-RU-DWA
 U1F K5F 224100000000 SC-RE-DE CJOOTO KARA-I BUN-TO /0022420/ NAMA-I BUN-TO HUTA-ROKE-N
 I XXX.#
 CUKUR-YI-OB-TE-JORQ-YI-XX-RU-DE-A
 K5F K4F 227000000000 SJOOGONIN-DWA XXX.#
 CUKUR-YI*-NASAR-IT(YI)-XX-RU-NEE
 .K4F K5F 290600000000 TAISITA XXX.#
 DAS-YI-OB-TE-JORQ-YI*-XX-RU-DAR-KEN-NEE
 U1F K4F 187900000000 DAA HOO NI-DO-NQ XXX /0018800/ NAN-TOKA HENZU-GA DAR-YI-500-NAR-N
 ON(MONO)-DAR-DOMO MADA KO(KU)-YA-N-DWA-NE.#
 DAS-YI-XX-RU-KEN

U2H KAM/U2H 461200000000 DAA DAA HAA HA (+++) EIVA XXX.#

U1F K4F 1201000000000 KESA-DWA-NEE /0012020/ GONAH TABE-YA-N-KO-NI XXX.#

K9H U2H DE-YI-OB-E-JORQ-YI-N-XX-RU-GA-TE 405900000000 (+++) /0040600/ DIMA (+++) MOO XXX D:O-YI-OG-TE (++++).#

U1F K5F DE-YI-OB-XX-YI-OB-TAR 215300000000 KANDO-DWA XXX.#

DE-YI-XX-(+)+ K9H 366500000000 DHATASI MOO XXX /0036660/ SO-RE-KARA HAA SICURE*1 SI(SU)-YI-OB-T E /0036670/ DO-EGANI-TOPO PAS-YI-OB-(+)+ /0036680/ MAKOTO-NI SICURE*1 DITAS-YI-PAS-YI-OB*-TE.#

DE-YI-XX-YU-(+)+ K4F 242400000000 SO-GE SI(SU)-YI-MAS-RU-TO-NE-A /0024250/ SUGU SIRUM-GA XXX.#

K8F U2H DE-YI-XX-RU-DWA 569210000000 KONDO-AS(DNA) MACURE-I DEEGA MI-YI-NI XXX.#

K3F U1F DE-YI-XX-RU-KEN 115000000000 HATA RAIVEN-NO HARUM-NI (+++) MATA XXX DO-NEGAP-IC(YI)-SI(SU)-YI -MAS-RU.#

K5F K4F 272300000000 (+++) MATA CIKA-I TOKO-TOKO-I XXX (++++).#

K5F U1F DE-YI-XX-YI-OB-TAR-DOKO 244300000000 KJOO-DWA-NE-A /0021440/ DAIKO-DJA SIRO-KASU-DJA-NE-A /0021450/ HA KUSAI-DJA HOT-YI-OB-TE XXX /0021460/ MOO HAI(HA)JAI#

K4H K8F/U2H DE-YI-XX-YI-OB*-TAR 517000000000 MOO XXX KONAIDA-KARA.#

U1F K4F 121400000000 DAA HINA DINA XXX.#

U1F K8F DE-YI-XX-YI-OB*-TAR-(+)+ 352210000000 HATA HADJA-HADJA-DE PA DAA DO-KUTABIRE*-YI-GA XXX.#

KDF DE-YI-XX-YI-OB*-TARA 824400000000 DANTA /0082450/ CJOOCO DANTA XXX KJOOI#

U1F K4F DEKAKE-YI-XX-YI-OB*-TAR 157600000000 XXX.#

K5F	DEKI-YI-TE-JORD-YI-XX-RU-GA	U1F/K5F	233400000000 (****) DHA ZUUGTO KE DE SUIHO-GA XXX /002335C/GESUL-NO (****) /U
			023351/ DA-SUKO(KO)-KARA OODN-TO SITA-I DOROS-YI-OB-TE-NE KURU*HA-DO.#
	DEKI-YI-XX-RU-DHA		
U1F	K4F	195300000000 DA-HO-HEW-TATARI-DHA DJAORARI DAND DORO-GA DE(II)-E(II)-S00-OE	
		DJO(II)-VVB XXX /0019540/ MIN.#	
U1F	U2H	449000000000 MOO XXX.#	
		DEKI-YI-XX-YI-OB*-TAR-DAR-KEN-NEE	
K4F	K5F	257200000000 CIKA-GORO(KORO)-A(DHA) DAIKOH-DHA DUCI-NI .CITE-DATE DAND DEKI-RU	
		* XXX.#	
K5F	K4F	254100000000 HAAH /0028420/ KO-TOSI-DHA DJO(II)-VVB XXX.#	
		GOMEN-KUOASAR-ID(YI)-XX-Y-RE	
K4F	K8F	351810000000 DOOMO XXX.#	
K4F	KAH	550700000000 DOOMO XXX.#	
KAH	U2H	418000000000 XXX.#	
KCF	IND	760000000000 XXX.#	
		GOMEN-NASAR-ID(YI)-XX-Y-RE	
K8F	K8F	450300000000 DARA XXX.#	
K8F	IND	448900000000 XXX.#	
K5F	K4F	212500000000 DARA XXX.#	
		HAI-DAR-YI*-XX-RU	
K3F	U1F	113600000000 XXX.#	
		HADJAR-YI-XX-RU-DAR-KEN-NE-A	
KDF	K4F	832000000000 DJAOPARI* (****) KOTO-GA XXX.#	
		HANAS-Y-RARE*-YI-XX-RU-NE-A	
KDF	K4F	859300000000 DA MINNA HA XXX.#	
		HA\$-Y-RARE*-YI-XX-RU-DE	

K4F 1094300000000 DJOO XXX.#
HEEKIN-SI(SU)-YI-XX-YI-OB*-TE-(+)+-NEE
U2H 718800000000 (+++)-MO /0071090/ MA XXXI#
K4F HONNI-NEEPIRE-YI-XX-YI-OB*-TEHO
K5F 267000000000 (+++) XXX SUKOSI (+++).#
U1F HOS-YI-OB-TEKI(KU)-YI-XX-RU-KEN
K4F 135500000000 DUCI DIHA (+++) SENTAKU SI(SU)-YI-OB-(+)+) *ONO XXX.#
K8F HUTOR-YI*-XX-YI-OB*-TAR-DHA
K5F 988300000000 DJO(DI)-VVB XXX.#
K8F HUTOR-YI*-XX-YI-OB*-TAR-(+)+)
K5F 988600000000 DJOKEE DJO(DI)-VVB XXX.#
K4F DABAK-YI-XX-RU-HAI-(-+)+)
K5F 271600000000 BANTA-N(NO) TOKO-DJACI-JAB(DHA) BAKUTAI CUKUR-YI*-NASAR-RUA-DAR-K
EN /0027170/ DINN KANE-GA DEKI-YI-OB-TE XXX.#
K4F DABAR-YI-NASAR-ID(YI)-XX-Y-Y-RE
K9H 362200000000 XXX.#
K4F DABAR-YI-XX-Y-RE
K4F 943500000000 DO-BAA-CJAN (+++) GOHAN XXX HADJA-VB(VVB).#
K5F DAGE-YI-XX-(-+)+)
U1F DAGE-YI-XX-RU
K5F 957200000000 HON(SON)-NANARA) NA KCRAD-YI-OB-TE KI(KU)-YI-OB-TE XXX.#
K5F 281600000000 DA KABU-DHA HON(SON)-NARA /0028190/ DAHO MATA DIYA HADE-GA /00282
U1F 00/ DAK-YI-MAS-YI-OB*-TAR /0028210/ DATOZURE*-NI /0028220/ MATA RUK-YI-OB-TE XXX.#
K8F 843800000000 HAA XXX HAI.#
K4F DAGE-YI-XX-RU-DE
K5F 236500000000 HAA XXX HANBO-DAT.#
K5F 281600000000 MATA HAA DO-KO-DJA TANON-YI-OB-DE(TE) DOK-YI-CB-TE (+++) XXX (+
++)-YI-MASE(MAS)-YA-ZU-NI-NE.#
K4F DAGE-YI-XX-RU-DHA
K5F 236700000000 HAA HOS-YI-OB-TE XXX.#

U2H	BAR-WI-XX-RU-KA	589100000000	DIROO-KHAI-GA XXX4#	WI-HAS-WI-OB-WI-OB-NE-A /0025650/ NAHA-ZUKE(CUKE)-WI-GA NAHARAKA-(+****) /0025660/ (+****) NAHA-ZUKE(CUKE)-WI SU-RU KOTO-NI SI(SU)-WI-OB-TE-JORG-WI-MAS-RU /0025670/ HADJA-I BUN-DWA (+****),#
U3F	BAR-WI-XX-RU-KA-NEE	K8F	175100000000	(+****) MOO CUCOTO DATO-DE MATA XXX.4#
U3F	BAR-WI-XX-RU-KEN	K4F	154200000000	DARA HON(SON)-DEMO DAA SAIKIH NI-I-KAGEN-NAR WEGANE-GA XXX NI-I-OB-T
U3F	ES-RU-DWA.4#	K9H	371700000000	HAA HINNA DANO NANI-SI(SU)-WI-OB-TE XXX.4#
K0F	BAR-WI-XX-WI-OB-WI-TAR-KA-(+****)	K4F	920600000000	(+****) DO-KJAKU-SAN TAKUSAN XXX4#
K5F	BAR-WI-XX-WI-OB-WI-NEE	K4F,U1F	288400000000	NAHA-MI-GA XXX DOROS-(+****) /0028850/ DE(NI)-E(I)-TE NI-D-WI-OB-TE HINNA KEE (+****) MOO KEE RUCI-NO DAIKO-DA HA-KER-WA-NJA DO-KJAKU-SAN-GA KE KINE-WA-NI-TE NI-D-WI-OB-T E NI-D-WI-RARE-WI-OB-TE.4#
K9H	BAR-WI-N-XX-(+****)	U1F	364300000000	NI-DJA (+****) DANO ZJUUNICI-ZI-MADE-NI NI-K-RU TOKO XXX SUGU KADER-4#
U1F	BAR-WI-N-XX-(+****)-KA	KFF	974900000000	DA-REW-KA DO-TOHODACI-NO KADHAR-WI-OB-TAR DOOSEE-GA XXX4#
K0F	BAR-WI-N-XX-(+****)-KEN-NEE	K4F	965400000000	SO-KO-MO DENDHA-GA XXX.4#
K4F	BAR-WI-N-XX-(+****)-IIE	KAH	487110000000	KADHA-GA XXX DANO DOJOCUGANE-NO /0048730/ TOKCRO-NI.4#
KFF	BAR-WI-N-XX-RU	U1F	971900000000	XXX GOZJUU-BEN.4#
U1F	BAR-WI-N-XX-RU-(+****)	K4F	564400000000	HAI HAI XXX.4#
K3F	U1F	U1F	112410000000	DATON-BHA XXX.4#

K4F 267400000000 SO-RE*-KARA KAH-YI-OB-TAR DJACU-JAB-DHA) HO-BEN-NO (++++) DO-BENT
OO-DO SIU-RUM-TO /0026750/ DO-BENTOO-NO GOHAN-GA-HEE KI-IRO(DIRO)-NI NAR-YI-OB-TAR-(++++) /0026760/ H
OO HONNI DOZO-I-DJA-NAR-TE XXX.#

K4F 856100000000 DE DO-KAA-CJAN-NI KOKAIDA BUURUM-NO KIHONO-(++++) KOSIRAME-YI-OB-
TE MORAD-YI-OB-TE (++++) XXX.#

U2H 109520000000 SO-RE-DE DAMO MADA DAMO DOZO-CAN(SAN)-{++++} MAHE-NAR TOKI-NI-N
EE /0109530,0109540/ DAMO HATA KO-RE-NO HITO-CU DINE-DO TANOM-RU-KEH-HOO DOCHAI-KUN-TETE (++++) XX
X.#

K5F 272500000000 (++++) HOO SUKOSI GAMAN SI(SU)-YI-OB-TE MORAD-RU-DAR-DHA-TE XXX H
UN.#

K4F 966400000000 DAA /0096650/ (++++)-NE-A DO-KAA-CJAN KARADA LAIZI-NI SI(SU)-YI-N
AR-Y-IB(NE)-DJO DIP-YI-OB-TE-NE-A /0096660/ (++++) XXX.#

U1F 162400000000 DJAQ-CJAN-HO JUOKO-SAN-NI HU-GII SI(SU)-YI-TE-JURO-YI-OB-TE MADA
DA DAS-YA-N XXX (++++).#

K5F 224300000000 (++++) (++++)-SAN-TE XXXI#
U1F/K4F

K4F 394600000000 (++++) DICIROO-GA /0039470/ CANO /003947I/ NI-SEN-HAN-SEN-DHA NA
-RE-NA DA DE-YA-N-DE-NE-TE DIP-YI-OB-TE HAA DIDE-DHA DAF-YI-OB-TEHO-NE HUN XXXI#

KCF 105640000000 SO-RE-DE DHATASI (++++) /0105650/ (++++)-NE-A /0105660/ (++++)-HA
CI-MADE /0105670/ XXX /0105680,0105690/ (++++)-NE-A /0105700,0105710/ (++++) DAGE-RU-TO DI-I-DHA-TO-
/0105720/ DONOD-YI-OB-TAR-KEO HAA /0105730/ (++++)-DA NA-KE-NA DHAKAR-YIM-MADE(WAS)-YA-N-(++++).#

K9H 427100000000 DIPJA-I XXX.#
U2H

UIF K4F 154900000000 MAA PA /0045500/ NJA N'AO-CJAN-GA-NE SENDO ZAAO0 HOI-XI-OB-TE XXX
 #
 MIKE-XI-XX-(++++)
 K4F K5F 269000000000 HUN'DANOO PIRO-GA KADNAR-XI-MAS-XI-OB*-TE-NEE /0026910/ DANOO NO
 KOR-XI-OB-TAR DJACU-GA-NEE DANO KONDO TABE-RU TOKI-NI PIRO-GA KE ZHARUX-VYU-NI HAR-XI-OB-TE XXX.#
 DIN-X-RADE(REE*)-XX-XI-OB*-TAR-(++++)
 K4F KDF 925900000000 (++++) XXX.#
 DIN-X-RARE*-XI-XX-XI-OB*-TAR-DE-A
 K5F UIF/K4F 289700000000 DOTOBAI-NI CUN-XI-OB-DE(TE)-NE-A /0028980/ XXX.#
 DIN-XI-XX-XI-OB*-TAR
 K4F KDF 853800000000 HUYA-CU-DAI TOMAR-XI-OB-TE-NEE /0085390.0085400/ XXX.#
 DIN-XI-XX-RU-DAR-DHA-NE
 UIF K4F 146700000000 (++++) ZIBUN-DE HADA (++++) SUGU ZA NAHI SI(SU)-XI-OB-TARI* KOKU
 J-X-RARE*-XA-H-KEN (++++) SAKI-DAR-TE-(++++) HENZI-MO TENA-GA XXX.#
 DIN-XI-XX-RU-KA-I-NE
 UIF U2H/KAM 464400000000 HAN-GA XXXI#
 DIN-XI-X-XX-RU
 K4F K4F 914000000000 SEDHA-GA /0091410/ XXX.#
 DIRAGSJAR-IC(XI)-XX-XI-OB*-TAR
 K4F K5F 285400000000 BARARA DJC(DI)-KU XXX.#
 DIRAGSJAR-IC(XI)-XX-X-RE
 K4F K5F 291900000000 DJAA DJAA MATA XXX.#
 K4F K9H 361500000000 XXX DEQ.#
 DIRAGSJAR-IC(XI)-XX-XI-OB*-TAR
 K8F KAM 415800000000 XXX.#
 K8F KCF 761500000000 DARA XXX.#
 KOF K4F 819700000000 DO-BAA-CJAN XXX.#
 DIRAGSJAR-IC(XI)-XX-XI-OB*-TE
 UIF K8F 449000000000 MA HOKUSAN /0045000/ XXX GOZAIHAS-RU.#
 DIRAGSJAR-IC(XI)-XX-XI-OB*-TAR

U1F KFF 953800000000 (++++ XXX (++++).#
 D1RASJAR-1S(X)-X-X-Y-RE
 K4F K8F 351000000000 DAA XXX.#
 D1TAS-XI-XX-RU
 K4F K5F 285600000000 SO-RE*DE-JAB(DHA) K4BU-DO NI2JU0-HODO DO-NEGAD-YI XXX.#
 KAM U1F/U2F 549900000000 DO-NEGAD-YI XXX (++++ DOOMO.#
 D1TAS-XI-XX-YI-OB*-TE
 K4F K9H 365700000000 GO-BUSATA 'XXYI#
 K4F K9H 366500000000 DHATASI MOO DE-YI-MAS-(++++ /0036660/ SO-RE*-KARA MAA S1CURE#I S
 I(SU)-XI-OB-TE /0036670/ DO-TEGAMI-DOMO DAS-YI-OB-(++++ /0036660/ HAKOTO-NI-S1CURE#I XXX.#
 U1F K9H 451800000000 MAA MA DODHO DAK-NAR HATA CJOODA[-HONO XXX DARI#GATOO-GOZAIHAS-YI
 -CB*-TAR.#
 DUAHE-Y-RARE*-YI-XX-(++++)-KEN-(++++)-NE-A
 K4F K4F 1005300000000 CIKAKO-DOBA-SAN-TOKO-(++++ /0100540/ KO-TOSI /0100550/ XXX.#
 DUAHE-XI-XX-RU-DHA
 K4F K4F 199310000000 MA RAINEN-DHA DA-GE-NI SJ00CJU0 DIRE*-RU* KOTC XXX.#
 DJAR-XI-OB-TE-AGE*(DAGE)-YI-XX-RU-ZE
 K8F K8F 528600000000 DAA XXX.#
 DJAR-XI-OB-TE-JORU-Y-RARE*(RARE*)-YI-XX-RU-(++++)
 K4F KDF 861820000000 HUM1-SAN-GA /0086190/ KEE DOKOR-YI-OB-TE XXX.#
 DJAR-XI-OB-TE-JORU-Y-RARE*-YI-XX-(++++)
 K4F KDF 883000000000 HUM1-SAN-GA XXX.#
 DJAR-XI-OB-TE-JORU-Y-RARE*-YI-XX-RU-(++++)
 K4F KDF 916300000000 XXX.#
 DJAR-XI-OB-TE-JORU-Y-RARE*-YI-XX-(++++)
 KDF U2 1044900000000 DA-NQ /0104500/ TOORI* KAKA-DE-HO NIG1JAKA-NI XXX.#
 DJAR-XI-OB-TE-JORU-YI*-XX-(++++)
 KFF U1F 975600000000 SOCUGOCU XXX.#
 DJAR-XI-OB-TE-JORU-YI-XX-RU-GA-NE-A
 U1F U1F 989400000000 (++++ GENKI-NI XXX.#

U1F R4F 168300000000 HON(SON)-NA(NARA) NADQ-CJAN GENKI-DE /0016940/ XXX HUUN.#
 RJAR-YI-OB-TE-JORU-Y-RARE*-YI-XX-RU-KA-REE
 RJAR-YI-OB-TE-JORU-YI-XX-RU-DNA-REE
 U2H K4F 681910000000 HINHA XXX.#
 RJAR-YI-XX-RU-((++))
 K5F K4F/U1F 274300000000 ZIBUN-GA SEKEI SI(SU)-YI-OB-TE /0027440/0027450/ MOR-YI-MAS-RU-D
 AIH-KEN ZE(MI)-DJO-NI SI(SU)-YI-OB-TE XXX.#
 RJAR-YI-XX-RU-DNA-((++))
 K5F K4F/U1F 273800000000 ZHAKA-I MON(MOND)-GA MATA /0027390/ NANTOKA SI(SU)-YI-OB-TE XXX.#
 RJAR-YI-XX-YI-OB*-YAR-DAR-KEN
 K5F K4F/U1F 274700000000 ZIBUN-GA SEKEI SI(SU)-YI-OB-TE MOO /0027480/ ZE(MI)-E(I)-DJA-NI
 SI(SU)-YI-OB-TE XXX.#
 RJUDARE*-YI-OB-TE-JORU-YI-XX-RU-TWA
 K6F KDF 101480000000 HA ((++)) XXX.#
 RJCHARE*-YI-XX-RU-((++))
 K5F U1F/K4F 236000000000 DE HON(SON)-NA(NARA) MA XXX.#
 KCF K8F/U1F/U2H 994200000000 ((++)) HADU-MONO XXX.#
 RJCHARE*-YI-XX-RU-KA
 K8F IND 692410000000 SA XXX CJONBOO.#
 RJUDARE*-YI-XX-YI-OB*-YAR-DNA
 K6F U1F 411700000000 TEHURA SI(SU)-YI-OB-TE /0041180/0041190/ XXX.#
 RJUDARE*-YI-XX-YI-OB*-YAR
 K8F U2H/U1F 936500000000 MAQ DO-SAKI-NI /0093660/ XXX.#
 RJUDARE*-YI-XX-YI-OB*-TE
 KCF U1F/U2H 1061500000000 DHATASI-MADE /0106190/ XXX.#
 RJORDKOB-Y-RARE*-YI-XX-YI-OB*-TAP-DESE(DES)-ZA-YVVE-GA-NE-A
 KDF I4F #86600000000 HAA XXX.#
 RJUK-YI-XX-YI-OB*-TE
 K4F K9H 366900000000 DHATASI-MO ZHAKA-I XXX /0036700/ KINCOI#
 DO-ZAGAR-YI-XX-Y-RE

K9F	K4F	353500000000	DO-BAA-CJAN XXX.#
UIF	DO-RIIDE-YI-XX-RU-DHA	153900000000	HAA HAA KOOTAI-DE DANTA XXX.#
UIF	DO-KAIR-YI-XX-RE	455000000000	(++++) DE-YI-OB-TE MAGSUGU XXX.#
K4F	DO-HAGAD-YI-SI(SU)-YI-XX-RU	252400000000	HON(SON)-NA(HARA) XXX.#
K3F	DO-NEGAD-IR(YI)-SI(SU)-YI-XX-RU	115000000000	NATA RAIVEN-NO HARU-NI (++++) HATA DE-YI-HAS-RU-KEN XXX.#
K4F	DO-NEGAD-YI-SI(SU)-YI-XX-RU	238010000000	XXX.#
K6H	UIF	294500000000	HAI XXX.#
K6H	UIF	923710000000	SUH-ZA-N-(++++) XXX.#
UIF	DOCI-YI-XX-YI-OB*-TAR	1200000000	DO-DOE XXX.#
K7F	DOIDE-YI-XX-RU	977600000000	ZALGO-TARA-OTE RIJA-YI-OB-TE DO-KO-NI XXX4#
K5F	DOIDE-YI-XX-RU-(++++)	222600000000	(++++) DO-KJAKU-SAN-DE XXX.#
K5F	DOIDE-YI-XX-RU-DAR-(++++)	216520000000	DO-KJAKU-SAN-DE XXX4#
K6F	DOIDE-YI-XX-Y-RE	951200000000	HAI KO-OCI XXX.#
U2H	DOIDE-YI-XX-YI-OB*-TAR	760400000000	HAA XXX.#
U2H	KCF	760600000000	DAO XXX.#
K3F	DOX-YI-XX-RU-KEN	114200000000	SON-NARA KO-KO-I XXX.#
K9H	DOXOR-Y-RAD-E-YI-XX-RU	410610000000	DAVOD KAZITA-(++++) (++++) /0041076/ (++++) XXX.#

K9M DOKURE*-XI-XX-XI-OB*-TE
 U2H 37650000000 KJ00 /0037660/ ZJU0-ZI-NI KO(KU)-XI-I(RF)-TE 2,0Z(niñ)-RU KOTO-DAR
 -XI-OB-TAR-DONO /0037670/ XXX.#
 DOKURE*-XI-XX-XI-TE
 U3F 363700000000 CJOOT XXX.#
 DOKUD*-XI-XX-RU-GA
 K4H 489400000000 2JOCUGARE-DAR-TO XXX.#
 DOKUD*-XI-XX-RU-KE00-NEE
 K4F 1568000000000 H00 2ODOR-XI-OB-TE KU-RUM-DAR-XA-00E(YUVB)-TO XXX.#
 DOKUD*-XI-XX-XI-OB-TE-NEE
 K5F 2697000000000 DANO KUJO ZANTA-(****) K00 HARA-SAN-EJA NANKA KI(KU)-Y-RAR
 E*-XI-HAS-RU-DAR-YA-AB(YUVB)-KEN /0026980/ SO-RE-DE KEE MATA DANO BIK-XI-OB*-TEHC .ENARU-I-KA-HQ SIRE
 *YA-N-TO XXX CJOOT-DAL DO-2JAMA-DUI#
 DOKSJAR-IC(XI)-XX-XI-OB*-TAR-KE00-NEE
 K4H 4798000000000 (****) SHANE-SIHAN DID-XI-OB-TE XXX /0047990/ (****) DAIBUN TOSI
 -(****)-HAA-TO (****) DOKUD*-XI-OB-TE (****).#
 DOR-X-RADE(RARE*)-XI-XX-RU-DHA-NE
 K4F K5F 3900000000000 DUCI-NI XXX /0039010/ RUSU-BAN SI(SU)-XI-OB-TE.#
 DOR-X-RADE(RARE*)-XI-XX-RU-DHA
 K4F K5F 9098000000000 SADMAG-XI-OB-DE(TE) XXX.#
 DOR-X-RADE(RARE*)-XI-XX-RU-GA
 K4F K5F 912710000000 (****) SADMAG-XI-OB-DE(TE) XXX.#
 DOR-X-RADE*-XI-XX-XI-OB*-TAR-DHA
 K8F 4537000000000 DANO-NEE DUCI-DJACI-HO TONODACI-GA HUTARI* XXX.#
 DOR-X-RADE*-XI-XX-XI-OB*-TAR-GA
 K8F 1046400000000 NODKJ00-NI /0104650/ XXX.#
 DOR-XI-XX-RU-DAR-DONO-NEE
 K9M U3F 3737000000000 DIDJA XXX /0037380/ NI MISE- I DOR-XI*-KAS-RU (****).#
 DOR-XI-XX-RU-DAR-KEN
 K5F K4F/U3F 274300000000 ZIBUN-GA SEKEI SI(SU)-XI-OB-TE /0027440,0027450/ XXX DE(ni)-2J0-

NI SI(SU)-YI-OB-TE NJAR-YI-MAS-RU-(++++).#

DOR-YI*-XX-RU
 K8F 978100000000 KAKA-NO HOO-NI XXX.#
 K8F 979610000000 NONANI-NI XXX.#
 K9H 373700000000 DIDJA DOR-YI-MAS-RU-DAR-DOMO-NEE /0037360/ NI HISE-NI XXX (++++)
 #

DOR-YI*-XX-RU-DAR-(++++)-NEE
 K4H 530500000000 DUCI-NO SITEN-CJOO-HO /0053060/ (++++) XXX.#

DOR-YI*-XX-RU-DAR-DOMO
 K4F 374400000000 DIDJA KAZHAR-YI-OB-TE DI-YI-MAS-RU-GA-NEE /0037450/ (++++) NAA DO
 K9H NIASI MISE-N(NO) NAKA-NI XXX /0037460/ KONDO DAND KAS-YI-CUKE-YI-NO HOO-DO DOMO-NI NJAR-Y-REH-TE DU
 D(DID)-RU KOIO-OES-YI-OB*-TE #NNH.#

DOR-YI*-XX-YI-OB*-TAR-KEDD-NEE
 K4F 475300000000 SO-REH-KARA DANO KO-QCI-HO ZJOGAKOO-NI XXX.#

DOSCRENDIR-YI*-XX-RU-NEE
 KFF USF/K8F 974600000000 NJAJDJA XXX.#

DUKAGAD-YI*-XX-RU-DE-NE
 KCF UZH 106100000000 MATA GECU-DJOO-BI-NI-DEMO /0106110/ XXX.#

DUR-YI-OB-TE-JORD-YI-XX-RU-GA
 K5F K4F 259100000000 NOORIN-KARA MARAD-YI-OB-TE-KARA /0025920/ XXX.#

DMAKAR-YI*-XX-YI-OB*-TAR
 K4F K5F 250500000000 HUUN XXX.#

JORD-YI-XX-YI-OB*-TAR
 K4F K5F 284000000000 DUCI-(++++) DAIKON-(++++) NUK-YI-OB-TE-JORD-Y-RARE*-YI-OB-TAR-GA
 DNARI*DAI DI-I DAIKON-GA DEKI-YI-TE XXX.#

KAD-YI-XX-YI-OB*-TE-NEE
 K4F K5F 253200000000 DAN TACTA-DANDO HANE-NO HI-NI XXX /0025330/ HC(SO)-DE(RE)-KARA DA
 RA HONNI DHARU*-KAR-YI-OB-TAR-NAA-TO DOUD-RU-KEDOMO /0025340/ KAD-YI-OB-TAR-NO-GA (++++)-GA (++++)
 HA-BAOKARI-DNA DAA NAKHANI)-DE-NE-A /0025350/ KABU-NO PIRO-GA DHARU*-OB-TE /0025360/ DIDJA DHARU*-K
 AR-YI-OB-TAR-NAA-TE-DICTE DID-YI-OB-TAR-KEDOMO /0025370/ SON-NAR-NI DJOO TABE-YA-N-DAR-KEN.#

KADER-Y-RARE*-YI-YX-YI-OB*-TAR-(+****)
K8F/U1F U2M 37570000000 DAA SACKI XXX DINA DENDHA (+****).#

KADER-Y-RARE*-YI-YX-(+****)
K8F 98220000000 (+****) XXX.#

KADER-YI-XX-YI-OB*-TAR
K8F KCF 100450000000 SENDO /0100460/ MORAP-YI-OB-TE XXX.#

KADER-YI*-XX-YI-OB*-TAR
K9M U1F 36430000000 DIDJA.(+****) DANO ZUUDICI-ZI-MADE-NI DIK-RU TOKO DAR-YI*-HAS-(+****) SUGU XXX.#

KADER-YI*-XX-YI-OB*-TAR-(+****)
K8F K9M 368000000000 DOTOLOI XXX.#

KADER-YI-XX-YI-OB*-TAR
K8F K4F 455800000000 (+****) HGT-YI-OB-TE XXX SO-REN-DO.#

KAZJOP-YI-XX-YI-JCRL-YI-OB-TAR-KEN-NEE
K4F K4M 489410000000 (+****) /0048950/ DANO RJOO-GA DAR-YI-OB-TE DA-SUKO(KO)-I XXX MAAN #

KADHAR-YI-OB-TE-IO(DI)-YI-XX-RU-DAR-KEN-NEE
K4M K8F 458100000000 HAA DA-NO HEN-NO TOSI-N(NI) HAR-RU-TO DA-(+****)-DES-RU-DHA-NAA /C

KADHAR-YI-XX-YI-OB*-TAR-GENA-NE-A
U1F K9M 373400000000 HAA DANTA KONDA KHA-GA XXX.#

KADHAR-YI*-XX-YI-OB*-TAR-NEE
K4M U2M 432500000000 HAA DAIBU XXX KO-NO (+****).#

KADHAR-YI*-XX-YI-OB*-TAR-NEE
K4F K5F 268000000000 HUN DANO DIRO-GA XXX /0026810/ DANO NOKOR-YI-OB-TAR DJACU-GA-NE E DANO KONDO TABE-RU TOKI-NI DIRO-GA KE DHARU*-VVD-NI NAR-YI-OB-TE DIKS-YI-MAS-(+****).#

KADHAR-YI*-XX-YI-OB*-TAR-(+****)
K4F K4M 475900000000 SO-REN-KARA HAA DANO (+****) /0047600/ (+****)-YI-OB-TE-NEE DANHAR IM GAKKOO KADHAR-YI-OB-TE KUREN*-Y-REQ(RE)-OTE DID-Y-RARE*-YI-MAS-YI-OB*-TEHO ZJOGAKNOO SAIH-NEN-DES-Y I-OB*-TAR-N(NO)-DE-NEE /0047610/ SO-REN-KARA-NEE ZJOSI-SIHAN-NO DICI-NEN-NI XXX.#

KAK-YI-DAS-YI-XX-RU-DAR-KEN-NE-A

K5F K4F 276500000000 MOO DOHA:-SAN /0027660/ MINNA DA-GE SI(SU)-YI-OB-TE XXX.#
 MAKE-YI-OB-TE-JORU-YI-XX-RU-GA
 K5F K4F/U1F 218900000000 (****) XXX MA SO-NO HADE-NAR KOTO.#
 KAKE-YI-OB-TE-JORE-YI*-XX-RU-KEN
 K5F U1F 216200000000 DANO-NE-A NUK-YI-OB-TE DANO XXX MATA DOKÉ (****).#
 KAKE-YI-OR-TE-JORU-YI-XX-RU-DHA
 K5F U1F/K4F 219100000000 (****)-HADE-DHA XXX.#
 KAKE-YI-XX-YI-OB*-TAR-(****)
 K4F K4F 965010000000 (****) DO-TOO-SAN DEN-DHA XXX TOOKJOO-I.#
 KAKE-YI-XX-YI-OB*-TE-NE
 K5F U1F 260200000000 XXX SO-RE*-KARA /0026030/ SO-RE*-KARA NAMA-ZUKE(CUKE)-YI SI(SU)-Y
 I-OB-TE.#
 KASEG-Y-RARE-YI-XX-(****)
 K4F K4F 763800000000 SENSE-DHA MATA CJANTO HOIKU-SJO-DJA SOO DJUD6IT)-RU TOKO-NI /007
 6390/ XXX.#
 KASEG-YI-PAHAR-YI-OB-TE-JORE-YI-XX-RU-DAR-KEN-NE-A
 K4F K4F 764000000000 SO-GAN TOKORO-DJA-NEE XXX.#
 KATACUKE-E-RADE(RARE)*-YI-XX-RU-E-A
 K4F K4F 860500000000 ZJODZU-NI XXX.#
 KI-YI-XX-RU-(****)
 K5F K4F/U1F 283900000000 DANO MATA MOT-YI-OB-TE XXX.#
 KI(KU)-X-RARE*-YI-XX-RU-DAR-YA-AR(YVW)-KEN
 K5F K4F/U1F 269700000000 DAND KUJO DANTA*(****) (****) KOO HARA-SAN-TJA NANKA XXX /0026980
 / SO-RE-DE KEE YATA DANO DIK-YI-OB*-TEMO DHARU-I-KA-HO SIRE*-YA-N-TO DOHO*-YI-MAS-YI-OB-TE-NEE CIQTO
 -DAI DO-ZJAMA-ROI#
 KI(KU)-YI-OB-TE-TO(MI)-YI-XX-YI-OB*-TAR-KEDD-NEE
 K4F K4F 964800000000 DANNAI XXX.#
 KI(KU)-YI-OB-TE-JORE-YI-XX-RU-DHA
 K4F K4F 761700000000 MATA (****)-GA XXX.#
 KI(KU)-YI-OB-TE-JORE-YI-XX-RU-(****)

UIF K4F 158300000000 SAKURAI-SAN-NO KODOMO-GA XXX.#
 KCF KI(KU)-XI-XX-(++++)
 UIF 105260/ XXX.#
 KIKU)-XI-XX-RU
 KGH UIF 294330000000 HON(SON)-NARA DASITA XXX.#
 KIKU)-XI-XX-RU-(++++)
 UIF K4F 168100000000 MA NENNAI-NI-NO XXX HON(SON)-NARA MAA.#
 KIKU)-XI-XX-RU-DIIO
 KGH UIF 99200000000 (++++) HATA XXX.#
 KIKU)-XI-XX-RU-DIJA
 UIF K4F 298300000000 MOO MO MODOR-XI-OB-TE XXX DAA.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR
 K4F UIF 134600000000 (++++) DANO DICIRIKIDOO-NO DO-KHASI MOT-XI-OB-TE XXX.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR-DHA-TETE-DIOTE
 K4F UIF 171910000000 SO-RE*-KARA KISUKI-DHA TOSIKO-TO /0017200/ SO-RE*-KARA HUKO-SAN-G
 A DAN DCSIKAKE-XI-OB-TE XXX KO(KU)-Y-RARE*-XI-OB-TAR /0017210/ DNN.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR-DHA-NE
 KGH KAH 455500000000 HAA HA ZUUDICI-GACU-NO TOO-KA-NI-NEE DAR-RUN DIID-XI-OB-TE-NEE DA
 NNAI-GA XXX.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR-KA
 KAH UZH 444200000000 DANDO (++++)-GA XXX TEGAMI-GA.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR
 UIF 948600000000 DINDJA DHATASI-DHA MOO SUM-XI-OB-DE(TE) XXX.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR-KA
 KCF UIF 954200000000 DANDO KONAIDA /0095430/ DUDENO-SAN-KARA HAGAKI-GA XXX.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR-GA
 UZH/UIF 1038000000000 (++++) XXX.#
 KIKU)-XI-XX-XI-OB*-TAR-TO
 UIF K4F 139500000000 HAO (++++) NAN(NANI)-KA DANO SONOO DADOMORI*-YARA-NEE /0013960/ D

A:00 NO-UR-YI-OB-TE XXX.#
 KIRK-YI-XX-RU
 U1F/K9F K4F 666510000000 SIBIRE*-ZI-GA XXX HAI.#
 KIRK-YI-XX-YI-OB*-TAR
 U1F K9F 579600000000 DAA GOMAH TOONI XXX.#
 KO-PU)-Y-RARE*-YI-XX-RU-DESE(DES)-YA-YVVC
 K9F K4F 549300000000 HON(SON)-NA(NARA) MAIA XXX#
 KO(KU)-Y-RARE*-YI-XX-RU-KA
 U1F K4F 524100000000 HUNAKOSI-NO BOZI-SAN-NHA XXX#
 U1F K4F 524300000000 (****)-SAN (****) XXX#
 KO-AR-YI-XX-RU-D-A
 K4F U1F/K9F 545300000000 DINDJA HAA DANHARI* HIRO-I TOKO-NO XXX.#
 KC:00LKE-ZI-XX-YI-OB*-TAR-KEN-UF
 U1F K4F 154710000000 DA DANDOO NAN-DAL DANDOO NASU-DAL-DNA XXX.#
 KURAS-YI-XX-RU-DAN-DNA-NE
 K9F K9H 397300000000 (****) KONKI-IJI SI(SU)-YI-OB-TE KOO-SI(SU)-YI-OB-TE XXX.#
 KAZIR-YI-XX-RU
 U1F U1F/K9F 504000000000 DIK-YI-OB(OR)-TE XXX.#
 KAZAR-YI-XX-YI-OB*-TAR-DNA
 K9F U1F/K9F 234600000000 (****) HUSASIBURIK-NI TONOOI-KA-NO HARE KOO /0023470/ XXX.#
 MAI-YI-OB-TE-JORB-Y-RARE*-YI-XX-YI-OB*-TAR-D
 K9F K9F 505020000000 XXX MID-YI-OB-TE MID-YI-OB-TE-JORB-Y-RARE*-YI-OB-TAR.#
 MAZE-YI-XX-YI-OB*-TE
 K9F K4F 264100000000 SIMO-NI /0026420/ NUKA-TO SO-NO DIRO-KO-TO /0026430/ KOO XXX /002
 6440/ SIMO-TO /0026450/ SO-NE-KARA CUKE-(****).#
 NI-YI-XX-YI-OB*-TE
 K9F K9F 255400000000 HOSI DANDOO MIN-YI-OB-DE(TE) KIK-YI-OB-TE XXX#
 EIDE-YI-XX-(****)-KA
 K4F 536100000000 XXX (****) HEGANE-DE#
 NOCIR-YI-XX-RU-(****)

K5F K4F 246100000000 K4BU-DO-NE-A /0024620/ DAGE-11 DANO HA-DO NAKA-GADNA-NI SI-K-YI-09
 -TE-(++++) /0024630/ (++++) SUTE-YI-OB-TE DANO (++++)-N(NO) TO-DO-DE DENDEMUSI (++++) /0024640/ SUT
 E-YI-09-TE MOTO-1 XXX.#

MORAD-Y-RAREX-YI-XX-RU-(++++)
 K8F K9H 361800000000 HON(SON)-NANARA) KONA KAKE-YI-09-TE XXX.#

MORAD-YI-XX-RU
 K5F U1F/K5F 222100000000 HAA HONNI CJOHBOO DATAR-Y-SASE-YI-09-TE XXX.#
 U1F K5F 223400000000 BIRJA SA DAIKO-DHA-NE-A DANO SICIZUOO-HODO XXX.#
 USF U3F/U1F 699000000000 MATA (++++) SI(SU)-YI-09-TE (++++)-YI-09-TE XXX.#

MORAD-YI-XX-RU-(++++)
 K5F K4F/U1F 272900000000 HA TEHAI-NI KI-GA DAR-RU-DAR-KEN (++++) DODJA-KO-ZURE*(CURE*) SI(SU)-YI-09-TE KIR-YI-DAS-YI-09-TE /0027300/ HO(SO)-RE*-KARA MATA SEIDAI (++++)-YI-09-TE XXX.#
 NAGAREX-YI-XX-RU
 K4F 243400000000 HAI DOHOST-DHA DO-GE-DENO DU(DI)-VVB GOZAINS-RU-(++++) /0024350/
 NUTA SI(SU)-YI-NASAINS-YI-09*-TE-KARA HUTA-NO DUDE-KARA (++++) /0024360/ DANO SI(SU)-YI-NASAINS-RU-TO ZUOTO (++++) XXX.#

HAH-Y-RAREX-YI-XX-YI-09*-TAR-NE
 K8F K9H 427300000000 DJAHANODUCI)-CAN(SAN)-DHA DICU-KARA KAO KAKARIM-NI XXX
 1#

HAH-Y-RAREX-YI-XX-YI-09*-TAR-NE-A
 K4F 889700000000 DANO (++++)-SAN-DHA NANBO-KURAI-NI XXX.#

NAN-Y-RAREX-YI-XX-YI-09*-TAR-DESE(DES)-YA-YVVB-(++++)
 K4F 921900000000 HAA HOO DAIBU DOOKI(DOOKI)-{(++++) XXX.#

KAR-YI-HAS-YI-XX-YI-09*-TE
 U1F/K4F 285500000000 (++++) XXX.#

NAR-YI-09-TE-JORU-YI-XX-RU-(++++)
 K4F/U1F 279300000000 SJOTOKU-ZEE-NI KHANKEE SI(SU)-YI-09-TE SO-RE-IE SO-GE-NAR-BUNKE-D
 JA-NANKA TATE-RU DAITA: KANE-GA NA-I RIKUCU-NI XXX.#

NAR-YI-09-TE-JORU-YI-XX-RU-DAR-KEN
 K4F/U1F 279610000000 KIMAI SITO-CU KAP-RU-TE-TE NANI SITO-CU KAP-RU-TE-TE /0027970/ (++++

*) SO-GE-NAR DO-KANE-GA SONG DOBUH-NO DO-KANE-GA NA-I-PAZU-NI /0027980/ XXX.#
 K5F NAR-VI-TE-JORU-VI-XX-RU-KEN-NE
 GA DIOPAI-NI XXX.#
 237800000000 HANGO NAR-DES-RU-GA DANO DATOZURE*-GA-NE DINA MOO /0023790/ HADE-
 NAR-VI-XX-RU-KEN
 K5F NAR-VI-XX-VI-NAS-VI-OB*-TG
 K4F 25191000000 ZIKI TABE-V-RARE*-RU-DJA-NINI} XXX.#
 U1F/K4F 285500000000 (++++) XXX.#
 K5F NAR-VI-XX-VI-OB*-TE-NE-A
 K4F 240500000000 NUKA-DO-NE-A /0024060/ HANHARI* DJOKEE DIRE*-VI-NASAINS-RU-TO-NE-
 A /0024070/ HANO DIRO-GA HANRU*-VVC XXX.#
 K5F NAR-VI-XX-VI-OB*-TAR-DOHO
 U1F 967200000000 KO-KO-NO MADE-DHA /0096730/ HERA-I DI-I GUPAI-NI XXX /0096740/ DE
 RA-OB(VVC) GOZAINS-RU-NE-A.#
 K5F NAR-VI-XX-VI-OB*-TAR
 KAM 551000000000 GO-KURDO-SAN-NI XXX.#
 K9H NAR-VI-XX-VI-OB*-TE
 U1F 373300000000 KO-NO-GORO(KORO) HATASI-DHA DE-V-BARE*-VA-N-PAJAA-NI XXX.#
 U2H NAR-VI-XX-VI-OB*-TAR
 KCF 937600000000 DIPA DIPA DO-SEPA-SAN-NI XXX.#
 K5F NAR-VI*-XX-RU-DAR-DHA-NE
 K4F 252100000000 (++++) HADJA-NE-NI XXX.#
 K4F NAR-VI*-XX-RU-GA
 K9H 396210000000 KQZIN-SJCORAI-DHA DOIPUI HANGO NEE /0039690/ DIKE-PA-N-DJOO-NI /0
 039700/ XXX /0039710/ (++++).#
 NAR-VI*-XX-VI-OB*-(++++)
 IND 413700000000 SAMU XXX.#
 KAM U2H/U1F/K4F/K6F 548700000000 DOHO KO-RE*-JAE(DHA) GOCISOO-SAN-NI XXX /0054880/ SUN-VI-PASE(HA
 S)-PA-N.#
 NAR-VI*-XX-VI-OB*-TAR

K5F		U1F/K4F	27070000000 HAA GOCISOO-SAMA-NI XXX.#
K9H		U2H	43660000000 000HO GOCISOO-SAN-NI XXX.#
U1F		K4F	11990000000 HAA HA GCHAN-HO SUH-YI-OB-DE(TE)-NE NIHA-SAN-TO DO-DEKAKE-YI-NI X
		XX.#	
		NAR-YI-X-X-XI-OB*-TE-NE-A.	
K3F		U1F	11550000000 DJUZU-NE-A /0011560/ (++++) SUKOSI XXXI#
K5F		U1F/K4F	26600000000 DJAADAJA (++++)-SAN-NI XXX DARIKATOO-GOZAIMAS-RU.#
		NAR-YI-X-X-XI-OB*-TE	
K9H		U1F	43170000000 ZJA DOOHQ TAIHEN GOCISOO-SAN-NI XXX DARIKATOC-GOZAIMAS-YI-OB*-T#
		R.#	
KAH		NAR-YI-X-X-XI-OB*-TE-NEE	
		K9H	42520000000 HAA SITER-CJOO-TO ZICJOO-TO QIOSJD-NI XXX (++++),#
		NAR-YI-X-X-XI-OB*-TE	
U1F		K4F	11850000000 HAA DJUUBE-DHA DOOHQ GOCISOO-SAN-NI XXX /0011660/ DARIKATOI#
U1F		K4F	12060000000 HAA (++++)-HO DJUUBE-DHA ROSO-KU GOCISOO-SAN-NI XXX /0012070/ DAR
		IKATOO-GOZAIMAS-YI-OB*-TAR.#	
U2H		K9H	43130000000 DJIROIRO DO-SEHHA-SAN-NI XXX /0043140/ SUH-YI-PAHE(MAS)-YA-TAR-YI-
		OB-TAR DOOHQ DOOHQ.#	
		NAREX-YI-X-X-XI-OB*-TAR-DJO	
K6F		KCF	10405000000 KAKA-NO KOTOBA-NO DAIBUN XXX.#
		NASAR-IC(YI)-X-X-YI-OB*-TE-NEE	
K5F		K4F	28530000000 HAA HAA DO-SIZUKA-NI XXX HAA.#
		NOH-X-RARE*-YI-X-X-RU-DAR-NEE	
K6F		K4F	93380000000 (++++) SO-RE-DAMO HI-TORIN-DE KUSURI# XXX.#
		NUK-YI-X-X-YI-OB-TAR	
K5F		U1F	21540000000 (++++) KANDO-SAN-NO (++++)-NE-A /0021550/ KABL XXX.#
		NURE*-YI-OB-TE-JORD-YI-X-X-RU-KA	
U1F		U2H	46200000000 XXXY#
		SASIDAGE-YI-X-X-RU-(++++)	

KZF 2369000000000 AHD HOS-VI-OB-TE HOSYI-OB-YE XXX.#
 SE(SU)-Y-RARE*-YI-XX-(+)+ SE(SU)-Y-RARE*-YI-XX-TE HOSYI-OB-YE XXX.#
 KBF 983400000000 (+++) /0098350/ XXX.#
 SE(SU)-Y-RADRE*-YI-XX-YI-OB*-TAR-NEE
 KDF 10037000000000 2HHN TALSJOKU XXX.#
 SE(SU)-Y-RADRE*-YI-XX-RU-DA*-NE
 UIF 2986000000000 DOBA-SAN-TOKO-DJACI-JAE(DHA) TOTEHQ-RE(DI)-E(TI) MOORE-YI XXX.#
 SE(SU)-Y-RADRE*(RARE*)-YI-XX-YI-OB*-TAR-NE-A
 KDF 9062000000000 SO-RE-JAE(DHA) DI-I KOTO XXX.#
 SI(SU)-YI-OB-TE-JCRB-Y-RARE*-YI-XX-RU-GA
 KBF 8075000000000 KENKHA XXX KOCOTO-BACKAA DID-YI-OB-TE.#
 SI(SU)-YI-OB-TE-JCRB-YI-XX-YI-OB*-TAR-DE
 KDF 8941000000000 DAHOO CICTO-DAL DOBA-SAN-DHA CIKA-GORO(KORO) TE-Y-RARE*-YA-N-TE D
 ID-YI-OB-TE DUDHASA XXX(+)+ DHATASI-GA DID-YI-OB-YARA-NEE /0089420/ DAHOO DJOC CIKA-GORO(KORO) MA
 A DE-YA-N-DAR-DOKO /0089430/ SEKO HONNI (+++) NANI SU-RUM-DAR-YI-OB-TAR-DOHO NIRSABA-NI DANO KOK-
 O-I HOS*-YI-TA-OB-TE HJOR-YI-OB-TOR-TE DID-YI-OB-TE.#
 SI(SU)-YI-OB-TE-U*OB-YI-XX-RU-GA
 KBF 8968000000000 (+++) /0089690/ SOTO-I DE-Y-RARE*-YA-N-TE MDIC-YI-OB-TE /0089700/
 0089710/ DANO /0089720/ DUDHASA XXX /0089730/ (+++)#
 SI(SU)-YI-OB-TE-JCRB-Y-RARE*(RARE*)-YI-XX-RU-GA
 KDF 9141000000000 (+++) NAW-DAL KAN-DAI-NEE /0091420/ (+++) MATA TAR-YA-N HONO-DH
 A.KAH-YI-OB-TE-JCRB-YI-OB-TE-NEE /0091430/ (+++) DAGE-YI-OB-TARI*-NEE /0091440/ XXX.#
 SI(SU)-YI-OB-TE-JCRB-YI-XX-RU
 KBF 2592000000000 SJOOODIH-DHA CUKE-YI-WASE(HAS)-YA-N-DAR-DOHO-NE-A /0025930/ DHA
 CUKE-Y-RARE*-RU TOKO-GA DAR-YI-WAS-RU-GANE-GA-NE-A /0025940/ DO-OCI-KA-TE DHA TANOO DAIKON-DHA NAM
 A-ZUKE(CUKE)YI SI(SU)-YI-WAS-YI-OB*-TE-NE-A /0025950/ NAWA-ZUKE(CUKE)-YI-GA DAIKAWAKA-(+)+ /0025
 960/ (+++) NAWA-ZUKE(CUKE)-YI SU-RU KOTO-NI XXX /0025970/ HADJA-I BUN-DHA (+++)#
 SI(SU)-YI-OB-TE-JCRB-(+)+-YI-XX-YI-OB*-TAR-GA
 KBF 6512000000000 DINIDUN /0065130/ DANO KINJOO-NEE KISJA-KAIKEN XXX /0066140/ (+++)
 J.#

K4F	SI(SU)-YI-XX-RU	
K5F	K5F	285800000000 D00Z0 D0-NEGAD-YI XXX.#
	K4F	280500000000 HAI D1MA SO-GE SI(SU)-YI-MASE(MAS)-YA-NJA-NEE /0028060/ (++++) KH
		ANKEL XXX.#
K9N		432100000000 WATA D0-ZJANA XXX.#
K9H	U1F/U2*	431000000000 WATA D0-ZJANA XXX.#
		U2H
K4F	SI(SU)-YI-XX-RU-(++++)	247500000000 HAOPA-DNA-NEE /0024760/ JOO MINNA-GA KEE DANO /0024770/ TABE-YA-Z
		U-NI HOR-YI-OB-TAA(TARI)-NANKA XXX.#
K5F	K4F	263500000000 DUCI-RACI-JAB(DHA) DA-RE-DHA (++++) NANI XXX TON-ZUKE(CUKE)-YI-NO
		HOO-NI.#
K5F	K4F/U1F	276000000000 DJAOPA SO-GE SI(SU)-YI-MASE(MAS)-YA-N-TO ZEEKIN-NI KWANKEL XXX.#
K8F	KDF	673710000000 DANO D1MA (++++) GOCISOO XXX.#
		SI(SU)-YI-XX-RU-(++++)-NE
K4H	K8F	468900000000 DOKUSAN HON(SON)-NA(NARA) D0-NEGAD-YI XXX (++++).#
		SI(SU)-YI-XX-RU-DAR-GA-NE
K4F	K9H	397700000000 (++++) DE(DI)-E(I)-TO XXX HUH.#
		SI(SU)-YI-XX-RU-DNA-NEE
KDF	K4F	898800000000 (++++) MAA /0089890-0089900/ D0-GENKI-DE NJAR-YI-OB-TE-JORD-Y-RAR
		EX-Y-RJA /0089900/ DE(DI)-E(I)-TO XXX.#
		SI(SU)-YI-XX-RU-GA-TE-DID-YI-OB-TE
		U1F/K4F
K5F		233200000000 SO-GE-N DANO TOOR-Y-RARE*(++++) TOKO TOOR-Y-RJA SIKAR-Y-RARE-RU
		-KEN DHASI-JAB(DHA) DATO-GAJR(KAIR)-YI XXX DID-YI-OB-TARA DE(DI)-E(I)-GA-NE (++++) DAR-YI-OB-TARA KO
		-HA DANO D00-CAN(SAN)-GA DANO TOOR-Y-REN-TE DID-Y-RARE*-YI-OB-TAR-KEN-TE-DID-YI-OB-TE DID-YI-OB-TE-
		JORD-Y-GJA DE(DI)-E(I)-DNA.#
		SI(SU)-YI-XX-RU-DNA
U1F	K4F	204300000000 DANO D00-YI-MU NUR-YI-M-HONO-NO DA-NO NIDON-YI-GA XXX NE-A.#
		SI(SU)-YI-XX-RU-TO-NE-A
K5F	K4F	242400000000 SO-GE XXX /0024250/ SUGU SI(UR)-GA DE-YI-MAS-RU-(++++).#
		SI(SU)-YI-XX-RU-ZE

U1F K8F 579300000000 XXX.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TAR-KEN
 K4F K8F 255600000000 DHATASI KONAIDA-NEE DIO(DICI)-SUUKAN-HODO RUSU XXX.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TE-NE-A
 K4F K8F 258200000000 SJOGORIN-DHA CUKE-XI-PASE(H+S)-XA-N-DAR-DOKO-NE-A /0025830/ DIHA
 CUKE-X-RARE-RU TOKO-CA DAR-XI-MAS-RU-GANE-RA-NE-A /0025840/ DO-OCI-KA-TE DIHA IZANOD DAIKON-FHA NAH
 A-ZUKE(CUKE)-XI XXX /0025850/ NAMA-ZUKE(CUKE)-XI-BA DJADHARAKA-(****) /0025860/ (****) NAMA-ZUKE(CUK
 E)-XI SU-RU KOTO-NI SI(SU)-XI-OS-TE-JOR-XI-MAS-RU /0025870/ HASJA-I BUN-DHA (****).#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TAR-KEN-NE
 K4F K8F 285700000000 HAI BANO SJOOOI XXX (****).#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TAR-DHA
 K4F/K8F/U1F 862100000000 HAIKEN XXX /0086220.0086230/ HAI.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TE-NE-A
 K4F K8F 988310000000 BJOOKI XXXI#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TE
 U1F K8F 352100000000 KONAIDA (****) /0035220/ DO-ZJANA XXX DARI-GATOO-GOZAIHAS-XI-OR-
 TAR.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TE-NEE
 U1F/K4F K8F 370100000000 HANE-NO HI-DHA DHATASI-DHA-NEE /0037020/ KASOC-BA-I GOZEN-TO 6060
 -TO NI-KEN DO-TOMO XXX.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TAR
 U2M K8F 106060000000 HAI SJOOOI XXX HAI.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TAR-DOKO
 K4F U1F 161200000000 (****) BANO (****)-NEE /0016130/ HANI XXX (****)-DES-RU-DHA-NE BA
 NTA.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OR-TAR
 K4F K8F 350400000000 DAA KO-KO-MO (****) JUUSOO XXX.#
 SI(SU)-XI-XX-XI-OS-TAR-DJO
 U1F K8F 704000000000 DEO XXX.#
 SI(SU)-XI-XX-PI

KFF UIF 96786000000 {++++} XXX.#

K5F SIMB-YI-XX-RU 243800000000 {++++} HUTA NA-SI-NI DIREK-RU-TO NUKA-DHA KE ZUOTO SIRA-I DOCT-I-SI

K5F SUHAR-I#-XX-RU-(++++) -OB-TE XXX.#

K5F SUH-YI-XX-YI-OB-TAR-NE 222800000000 HASIRA-HO MOO-I XXX.#

K5F SUH-YI-XX-YI-OB-TAR-NE 220110000000 {++++} DUA XXX.#

K5F SUH-YI-XX-YI-OB-TAR-KA-NE 253100000000 NAA DAKINAZ-YI XXXI#

K5F SUH-YI-XX-YI-OB-TAR-KEN 119700000000 NAA KAA DO-SOOZI-HO XXX DOOZO.#

K5F SUH-YI-XX-YI-OB-TAR-KA 213800000000 XXX HA HAA.#

K5F TABE-Y-RATE(RAREX)-YI-XX-YI-OB-TAR-KA-YVE(YVYD)-KA 902700000000 DJAA DUA HA DINJA HA DINJA {++++} DICU {++++} XXXI#

K5F TABE-Y-RAREX-YI-XX-RU-KA 134910000000 DE XXXI#

K5F TABE-YI-XX-NE 628000000000 HAO XXX.#

K5F TABOREX-YI-XX-RU 505500000000 DINJA NOOGJOO-KAI-{++++} XXX.#

K5F TABOREX-YI-XX-RU-(++++) 506400000000 {++++} XXX.#

K5F TABOREX-YI-XX-RU 506600000000 DINJA DANTAI {++++} NOOGJOO-KAI-{++++} XXX.#

K5F TAT-YI-XX-RU-DAR-KEN-NEE 543000000000 {++++} NAA {++++} TEENEN-MADE-NI NAR-RUK-TO /0054310/ SO-NO TAIISU

K5F TAT-YI-XX-RU-DAR-KEN-NEE 00(TAISUOKU)-KIN-NO- SO-NO NAN-NKARIN-KA-DE HOD DIRE-GA XXX /0054320/ {++++} MINNA SAKI-I TATE-{++++}

K5F TAT-YI-XX-RU-GA 3.#

K4F K5F 275700000000 DINA DONDON DONDON XXX MINNA DA-RE-DES-RU-GA.#

K4F TATE-YI-XX-RUGJARA

K5F 272100000000 MICO-KOSO XXX DOKUSAN KAKANAKA TATE-Y-RARE*-YI-YASE(MAS)-YA-DE.#

U1F TATE-YI-XX-YI-OB*-TAR

K4F 121610000000 DAA DO-HANA BIIADAK-YI-OB*-TE (****) HOTOKI-SAN-NI XXX.#

U1F TECUDAD*-YI-OB-TE- GRD-YI-XX-RU-ZHA-NE-A

K4F 150100000000 KOD ROOSUI-HO /0093020/ XXX.#

K5F TOR-Y-EARE*(CARE*)-YI-XX-RU-DAR-(****)

K4F 179100000000 SJOTOKU-ZEE-DE KE DUKE XXX.#

K4F TOR-Y-EARE*-YI-XX-RU-RJO

K5F 276900000000 HUN XXX.#

K4F TOR-Y-EARE*-YI-XX-RU-ZHA

K5F 276900000000 TUCI-RACI-JAE(DNA) NAN-DAI SP-DE-N (****) DAR-YI-SI(SU)-YI-YASE(M

K4F 277700000000 SO-GE-*, ZEE-IN-TE BII-YI-OB-TE DAS-YI-YASE(MAS)-YA-N-DAR-DONO-NEE KAZOKU

K5F TOR-Y-EARE*-YI-XX-RU

K4F 277700000000 SO-RE-DE DUKE XXX.#

K4F TOR-YI-HAS(R-ID(*)-XX-RU-KA

K5F 352800000000 T-JAPARI# KAS-YI-CUKI-YI-DNA NAN(NANI)-DES-RU-KA DINA-GORO(KORO)-

K4F D(ON*) BII-E-DJA-KANKA-TO TFI10C-P. XXX#

K5F TOR-YI*-XX-RU-RJO

K4F 392900000000 HA XXX.#

K5F TOR-YI*-XX-Y-RE

K4F 383100000000 HAA /0030320/ XXX HADJA-DE(YE).#

K5F TOR-E*-YI-YI-YI-OD*-TAR-NE-A

K4F 762200000000 HOKNI XXX.#

K5F DII-YI-XX-YI-N-DAR-YA-YVE(YVVE)-KA

K4F 137700000000 HOK(SON)-NA(NARA) PHATA#I-NO-DE-DHA PHITA /0013780/ XXX#

K5F SYU-YI-XX-YI-#

K3F U1F TOR-YI-XX-YA-N-SI 231810000000 NJAA NJA XXX.#
 U1F K4F 12600000000 KARAA-NO BUN (****) XXX.#
 MASE(HAS)-
 (****)-YI-XX-YA-N-(****)-HEE
 K5F K4F 248400000000 NJABPA (****) HAPPA-NO CUKE-(****) /0024850/ XXX NAMA-NI-GA DE-YI
 -CB-TE KI(KU)-YI-(****).#
 (****)-YI-XX-YA-N-(****)
 K6F K6F 103250000000 (****) XXX.#
 (****)-YI-XX-YA-N-DE
 K4F KAN 529600000000 NAKAKAKA NO-KANE-GA /0052970/ XXX.#
 (****)-YI-XX-YA-N-KA
 U1F K4F 167000000000 XXX.#
 (****)-YI-XX-YA-YVVB
 K9N U1F 372000000000 XXX.#
 (****)-YI-XX-YA-YVB(YVVB)
 K5F U1F 268700000000 HAA HASI-NO XXX KO-NO TE NUKUNE-YI-OB-TE.#
 (****)-YI-XX-YA-ZI-NI-NE
 K5F K4F 281600000000 MATA HAA DO-KO-NJA TANOH-YI-OB-DE(TE) DOK-YI-CB-TE (****) PAGE-YI
 -HAS-RU-DE XXX.#
 CJ00DAI-SI(SU)-YI-XX-YA-YVVB-KA
 K4F U1F 101850000000 XXX.#
 CUK-YI-XX-YA-N-DE-A
 K5F K4F 265300000000 HAJ HANO HISE-NJA NO-PA(DHA) NIHO-GA NJOKE XXX.#
 CUKAD-YI-XX-YA-N-DAR-KEN-NE-A
 K5F K4F/U1F 272700000000 NJADPA SO-GE-N KFE SJOKUNIN-SAN KE HAKASE-YI-TE DONDON DONDON (**) XXX.#
 CUK-YI-XX-YA-N-DAR-DOND-NE-A
 K5F K4F 259200000000 SJ00G021H-GNA XXX /0025630/ NIHA CUKE-Y-BARE-RU TOKO-GA DAR-YI-N
 AS-RU-GANE-GA-NE-A /0025640/ DO-OCI-KA-TE NIHA HANO DAIKON-GNA NAMA-ZUKE(CUKE)-YI SI(SU)-YI-HAS-YI-

K4F	K5F	09#-TE-NE-A /002560/ KANA-ZUKE(CUKE)-XI-GA DJADHAPAKA-(+****) /002560/ (+****) NAHA-ZUKE(CUKE)-XI-SI -RU KOTO-NI SI(SU)-XI-OB-TE-JORU-VI-MAS-RU /002560/ HADJA-I BUX-DHA (+****).#
K4F	K5F	CUKUR-XI-XX-YA-N 2843000000000 KON-HAR-NI DUJO NAGA-I DAIKOT XXX.# 271700000000 (+****) XXX.#
K5F	K4F	DAS-XI-XX-YA-N-DAR-DOHO-NEE K4F/UUF 2769000000000 DUCI-RACI-JAB(DHA) WAN-DAI SO-GE-N (+****) DAR-VI-SI(SU)-XI-MASEYI ASI-YA-N-DAR-NEDO /002700/ SO-GE-N ZEEK(N-TE DIDA-XI-OB-TE XXX YADOKU-ZEE-DHA TOG-Y-RARE-XI-YAS-RU DHA /0027710/ DUOKE.#
K4F	K5F	DE-Y-RARE-XI-XX-YA-N-GA 269900000000 (+****) /002700/ TOSI-GA DUJO-XI-OB-TE DUOKEE XXX.#
K5F	K4F	DE-XI-XX-YA-N-DES-XI-OBH-TAR 964600000000 DINDJA XXX.#
K5F	K4F	DE-XI-XX-YA-ZU U4F 450400000000 (+****) DO-REI-NI-HO XXX SICUREXI (+****).#
K5F	K4F	DE-XI-XX-YA-ZU-TE KDF 897600000000 CIKA-GORO(KORO) KEE DHATASI-HO DUJO XXX (+****).#
K4F	K5F	DEKI-XI-XX-YA-N K9H 396200000000 (+****) NI-SEN-NAN-DUJO-DHA I-A-KE-NJA DIKE-YA-N-TE DIDA-XI-OB-TE /0 039630/003963/ NI-SEN-NAN-DEH-(+****) SHI-ZEN(SEN)-NAN-NEH /0039640/0039650/ (+****) SO-RE#-DAKE-NI N AKANAKA /0039660/0039660/ (+****) KAJE-DHA XXX.#
K4F	K5F	DEKI-XI-XX-YA-N-SI-(+****) K9H 401300000000 HADA SOOKO-(+****) XXX.#
U2H	K8F	HAKE-XI-E(DHA)-SI(SU)-XI-XX-YA-N-DHA-NE 631600000000 KO-OCI-I KO-RE#-DAKE-DHA XXX.#
K8F	K4F	DAKE-XI-XX-YA-YV(YVVE)-KA U4F 989800000000 DO-KAA-CJAN DO-CJA XXXI#
K8F	K4F	DAU-I-XI-XX-YA-N-KA-NE 1092000000000 HAKURA XXXI#
K4F	K5F	DAU-I-XI-XX-YA-N-KA-NE 226700000000 SJOOGOH-DHA XXXI#

DAR-YI-EX(DHA)-SI(SU)-YI-XX-YA-N-KEN-NEE
 K4F K4F 898200000000 YA DE-Y-RARE*-Y-RJA DAITAI ROKU-NAR KOTO XXX.#
 DAR-YI-SI(SU)-YI-XX-YA-N-DAR-KEDO
 K5F K4F/U4F 276900000000 DUCI-RACI-JAC(DHA) NAN-DAI SO-GE-N {++++} XXX /0027700/ SO-GE-N Z
 EEW(N-TE DIZ-YI-OB-TE DAS-YI-HASE(HAS)-YA-N-DAR-DODUO-NEE KADOKU-TE-DHA TOR-Y-RARE*-YI-MAS-RU-DHA /O
 027710/ DJOOKE.#
 DAR-YI-XX-YA-N
 K4F K5F 285200000000 DIBE DIBE NAN-DAI DO-KJAKU-SAN-DA XXX.#
 U1F K5F 222700000000 HAA NIIDJA DO-KJAKU-SAN-DA XXX.#
 DAR-YI-XX-YA-N-DAR-KEN
 K5F K4F/U4F 276300000000 {++++} SO-GE-NAR DAITAI KANE-SA DAR-RU-HAZU-D: XXX /0027640/ NOOK
 A-DHA-NE-A.#
 DAR-YI-XX-YA-N-DE
 K4F K6F 874900000000 {++++} SO-GEN DHA7ASI-MO {++++} XXX.#
 DAR-YI-XX-YA-N-GA
 U1F K4F 118910000000 SO-RE-DEMO KESA-DHA LO-RE-DEMO DHARI*-NI SAMU-I-KOTO XXX.#
 DAR-YI-XX-YA-N-DHA
 K5F U1F 262000000000 DUCI-RJACI-JAC(DHA) DANO {++++} YI-OB-TE-JORC-YI-MAS-RU-DAR-KEN
 /0026220/ XXX.#
 K6F U1F 353100000000 {++++} NAN-DAI DO-NIPJAGE-DA(DHA) XXX.#
 U2H K4F 718600000000 DAA NAKAKA SO-GE-NI HERJASU-IZ(I) KOTO-BA(DHA) XXX.#
 DAR-YI-XX-YA-N-KA
 K4F K5F 256100000000 DANTA-N(HO) TOKO-{++++} DUKE-YI-NASAR-RUM TOKC XXXY#
 U1F K5H 373410000000 {++++} KANO NI-Y-RARE*-YA-N-DA XXXY#
 DAR-YI-XX-YA-YVVD
 K4F U1F 188400000000 DNN HUNDE DA-MO TOKI-NI /0018850/ ZENZEN TAN-NAR DIKE-YA-NAI-MANA
 -DAR-YI-OB-TARA /0018860/ DENRJO-NA-SI-NI DOGSJAR-YI-OB-TE /0018870/ KUDASAR-Y-IT(RE)-TE DJUT(I)D)-R
 U KOTO-GA /0018880/ KAK-YI-OB-TE XXX /0018890/ DNN.#
 DAR-YI-M-JAV(DHA)-SI(SU)-YI-XX-YA-N-GA
 K6F K6F 976900000000 HAN-DAI XXX.#

K4F ZAR-YI-X-X-YA-N 4716000000000 GEOKUW-(+)+-DHA SI(SU)-YI-DJOO-GA XXX.#
 K4F ZAR-YI-X-X-YA-N-DAR-HON(HONO) 4018000000000 (+)+ XXX.#
 K4F ZAR-YI-X-X-YA-N-DE-NEE 3958000000000 (+)+ /0039390/ ZUCI-RI-HO /0039400/ HA DHA BASJO-HO NA-I-KEDO
 (+)+ SI(SU)-YA-YVVE-TO ZOVOD-YI-OB-TEHO /0039140,0039411/ ZO-ANE-GA XXX.#
 K4F ZAR-YI-X-X-YA-N-DESE(DES)-YA-YVVE 4755000000000 SO-RO (+)+-NI NATA ZANOO GAKHOQ-GA (+)+ HAIR-RU* HOHO-GA XXX
 /0047565/ NAKAHAKA.#
 K4F ZAR-YI-X-X-YA-N-DHA 2133000000000 DITHUA CIOTONO SON-HAR KOTO-DALDHA /0021340/ XXX.#
 K4F ZAR-YI-X-X-YA-N-KA 3782000000000 KENEDII-SAN-DE KADU-EA-SAGAR-YI-OB-TAR-OTETTES AJUDCHIB)-RU-DE-JA
 B(DHA) XXX*(+)+.#
 K4F ZIK-Y-BARE*-YI-X-X-DAR-YI-OB-TAR-(+)+ 9518000000000 (+)+ ZHATASI-HO HAA ZANOO SO-GE-NAR ZANBAI-DE (+)+ /0095190/
 ZHAKAR-YA-N-DJOO-NAR /0095200/ KI-GA SI(SU)-YI-OB-TE-NEE /0095210/ HAA HADJA-DOR(VVb) DIK-YA-(+)+
 /0095220,0095221/ (+)+ HAH-NICI-HI /0095230/ DIK-RU NAH-NICI-NI /0095240/ #IK-RU /0095250/ DITH-YI-
 OB-TE /0095260,0095270/ NAKAHAKA /0095280,0095290/ XXX.#
 K4F DIK-YI-X-X-YA-N-GE 5814000000000 ZJOOQ-CJAH-DHA NADA NADA SO-GE-NAR ZHANE-NI XXX.#
 K4F DIKE-YI-X-X-(+)+ 4658000000000 HAA ZANOO ZICUHIN DOS-YA-NA XXX DOOIE#
 U1F DIKE-YI-X-X-YA-DAR-YI-OB-TAR-DHA-NE-A 2547000000000 SO-RE*-NI NE /0025480/ (+)+ HA-GA ZANHA DEKI-YI-SUGI-YI-OB-TE-N
 K4F K4F/U1F E-A /0025490/ XXX.#
 K4F DIKE-YI-X-X-YA-N 9958000000000 (+)+ XXX (+)+.#
 K4F K4F/U1F 7992000000000 DITHUA ZANO TEHNI-DE-DHA-NEE /0078930/ HATA XXX HAA.#

DUK-E-YI-TOE-YI-XX-YA-N-DE
 IND 94400000000 (++++)-NE-A (++++) XXX.#
 DNAKAR-YI-XX-YA-N-++++)
 U1F 1056400000000 SO-RE-DE DNATASI (++++)/0105650/ (++++)-NE-A /0105660/ (++++)-NA
 CI-MADE /0105670/ DIK-YI-MAS-RU-DE-NE-A /0105680-0105690/ (++++)-NE-A /0105700-0105710/ (++++) DAGE-
 RU-TO DI-I-ZHA-TO /0105720/ D0H0Z-YI-OB-TAH-KEDO MAA /0105730/ (++++)-DA HA-KE-NA XXX.#
 KAD-YI-XX-YA-N-DE-NEE
 K5F 2192000000000 DUOO XXX.#
 KADHAR-YI-XX-YA-N-GA-NEE
 K5F 2683000000000 HA-NO KI-IRO(DIRO)-I-NO-DNA DIHO-GA XXX.#
 KANE-YI-XX-YA-N-DAR-GA-NE-A
 K4F 8325000000000 (++++) SOHO DANOO NAKANAKA SO-RE-GA DJAKU-SE(SU)-Y-RADREN-YA-DE-N
 EE /000326010083270/ HENZI-GA XXX.#
 KARTI*-YI-XX-YA-N-TO-NE-A
 K4F/D1F 2800000000000 HO(SN)-RE-DAR-KEN DUJODASI SU-GE-NAR HOO-KAA(YARA) KANE XXX /0028
 010/ DIKE-YI-MASE(MAS)-YA-N-DAR-KEN (++++).#
 KI(KU)-YI-XX-YA-N-++++)
 K9H 3631000000000 CUOORO DIINA DS-TOO-SAN /0036320/ NADA KESA DASA-GOHAN TABE-YA-N-K
 O-NI DE-YI-OB-TE NADA KADER-YI-OB-TE XXX.#
 KI(KU)-YI-XX-YA-N-DHA-(++++)
 K4F 1566000000000 KAHN-I DE-YI-OB-TE-NEE NADA DASA-KARA KADER-YI-OB-TE XXX.#
 KIK-YI-XX-YA-N-DNA
 K4F 3058000000000 GUTAI-TEKI (++++) XXX HAA.#
 KO(KU)-Y-RARER-YI-XX-YA-YVU-(++++).
 K4F 1204000000000 DIINA MODO KADER-YI-OB-TE XXX.#
 MAIR-Y-RARER-YI-XX-YA-N-GA-NE
 U2H 6601000000000 MAH-DE-TE DISOGASI-I-DAR-KEN XXX SO-GJAN KOTO.#
 HORAD-YI-XX-YA-YVU(YVU)-KA-I-YA
 U1F/K4F 220500010000 DUJAA DUJAA SON-NARA C.GNBOO DATAR-Y-SASE-YI-OB-TE XXX.#
 HORANE-YI-XX-YA-N-++++)

K8F K8F 873500000000 HADA GOMAN-GA TARE-Y-SASE-YI-OB-TE XXX.#
 NAR-YI-XX-YA-OAR-YI-OB-TAR-DHA-TE-TE
 K4F U1F 177510000000 SO-RE-DE NATA MOT-YI-OB-TE DJUK(DIK)-YA-N(NA) XXX D1D-YI-OB-TE JO
 RQ-Y-RARE-YI-OB-TAR HUN.#
 NAR-YI-XX-YA-N-(+****)
 K4F U1F 179500000000 DIRJA D1Q(DICI)-PEN(HEN) DUKAGAD-YA-N(HA) XXX D1D-YI-OB-TE-1000-Y
 -RARE-YI-OB-TAR /0017960/ HUN.#
 NAR-YI-XX-YA-N-(+****)
 U1F K4F 152400000000 SONO DAN-NAR-NI XXX G0PJ00-KIK-YI-GA KU-RU-MEDO-NE-A.#
 NAR-YI-XX-YA-N-N-NEE
 K4F K9M 366300000000 RUCI-MO CJOOTO DUKAGAD-YA-N(HA) XXX.#
 HUK-YI-XX-YA-ZU-NI
 K4F K4F 238100000000 SO-KO-NO HADA DOKANO-SAN-NO-TO XXX.#
 SI(SU)-YI-DJA-SI(SU)-YI-XX-YA-N
 JF K8F 783800000000 DAR-KEN (+****) HJAKUSJOO XXX.#
 SI(SU)-YI-XX-YA-N-DAR-YA-YVE(YVVB)-(+****)
 K4F K4F 255300000000 RANO (+****) XXX.#
 SI(SU)-YI-XX-YA-N-OAR-YA-YVE(YVVB)-KEH
 U2M KCF 763200000000 DIRJA KEE YOO D1HE MOO DNASUHE-YI-DJA(DHA) XXX.#
 SI(SU)-YI-XX-YA-N-TO
 K4F U1F K4F U1F 276000000000 DJADPA SO-GE XXX ZEEK(H-NI) K ANKEI SI(SU)-YI-AS-RU-(+****).#
 SI(SU)-YI-XX-YA-N-N-NEE
 K4F K4F 280500000000 HAI DIMA SO-GE XXX /0028060/ (+****) KHANKEI SI(SU)-YI-MAS-RU.#
 SI(SU)-YI-XX-YA-YVVB
 U1F KCF 791100000000 DAA ZA SON-NA(NARA) SOO XXX.#
 U1F KCF 791300000000 HAI HAI SOO XXX.#
 SIN-Y-RARE-YI-ED(DHA)-SI(SU)-YI-XX-YA-N-DAR-KEN-NEE
 K4F K4F 935600000000 DIRJA (+****) NAN-ZO DHAZURAR-YA-HA XXX.#
 SI(SU)-YI-XX-YA-N-DAR-(+****)
 K4F K4F 856700000000 (+****) MATOHAR-YI-OB-TAR KOFO-DJA-HANKA XXX.#

SIREN-VI-XX-YA-N-DAR-DOHO
 K4F 263800000000 HONNI KADEGTE NARA-NO HOO-GA PI-I-KA-HO XXX /0026390/ HON-ZUKÉ(CU
 KE)-VI-NO HOO-NI (++++),#
 SUN-VI-XX-YA-(++++)
 IND 450010000000 HAA KONAIDA-DUA (++++) HONTO-NI XXX.#
 SUN-VI-XX-YA-DAR-VI-OB-TAR
 U1F/K4F 28620000000000 DO-KJAKU-SAN-DE GOZAIHAS-RU-(++++) /0028630/ XXX.#
 U1F/K5F 291100000000 (++++) XXX (++++),#
 K9H 43131000000000 NIROIRO DO-SEDHA-SAN-NI NAR-VI-NHAS-VI-OB*TE /0043140/ XXX DOOHO
 DOOHO.#
 SUN-VI-XX-YA-N
 K4F 29180000000000 XXX HAA (++++),#
 KAH U2H/U1F/K4F/K5F 54870000000000 DOOHO KO-REN-JAR(DHA) GOCISOO-SAN-NI NAR-VI-NHAS-VI-OB* /0
 054890/ XXX.#
 KCF U1F 10363000000000 XXX (++++) ZHATASI-HADE ZJOBARE*-(++++),#
 KCF U1F/K8F 10088000000000 XXX (++++),#
 K8F K8F 992100000000 HA DOOHO XXX.#
 KFF U1F 99180000000000 DUAAZUA XXX.#
 KFF U1F/K8F 97470000000000 ZARA DARA XXX.#
 KGH U2H/U1F 10383000000000 XXX DOOHO.#
 U1F K8F 992910000000 DOOHO XXX.#
 U2H KCF 79660000000000 DUAA DUAA XXX.#
 SUN-VI-XX-YA-N-DE
 K9H 36820000000000 DE TAIHEN MA DO-SOOSIKI-NI-NO /0036830/ SICURE*VI-OB-TE
 NIKOTO-NI XXX /0036840/ GOZAIHAS-VI-OB*-TAR.#
 KCF U1F 10552000000000 XXX /0105530/ GOZAIHAS-VI-OB*-TAR.#
 SUN-VI-XX-YA-N-DES-VI-OB*-TAR-(++++)
 U1F/K4F 28490000000000 NIROIRO XXX.#
 SUN-VI-XX-YA-N-DES-VI-OB*-TAR-NE-A
 K8F K8F 10469000000000 XXX.#

K9H	SUH-YI-XX-YA-N-DES-YI-08*-TAR	U2H	436800000000 XXX.#
KCF	SUK-YI-XX-YA-N-DES-YI-08*-TAR-NEE	U1F	1054100000000 DJAA XXX PANTA-GA (++++).#
K9H	SUH-YI-XX-YA-N-DES-YI-08*-TAR	U2H/U1F	1039200000000 DOOH0 XXX.#
U1F	KCF	U1F	1061700000000 XXX.#
U1F	SUH-YI-XX-YA-N-DWA-NEE	U1F	9925000000000 DO-KOTOZUKE-YI (++++).#
KAH	SUH-YI-XX-YA-N-KEDO-NEE	U2H	4609000000000 (++++).#
K3F	SUH-YI-XX-YA-N-NE	U1F	1128000000000 XXX CUOTO (++++).#
K4F	TABE-YI-XX-YA-N-((++++).-NEE	K5F	2374000000000 DJOO DJOKE XXX ZJUUGO-KA /0023750/ HAA NIZJUU-DE DJO(II)-VVB GOZA
K4F	TABE-YI-XX-YA-N-DAR-KEN-NEE	K5F	2528100000000 (++++).#
K5F	TATE-Y-RARE*-YI-XX-YA-DE	K4F	2721000000000 DICU-KOSO TATE-YI-MAS-RUJARA ROKUSAN NAKANAKA XXX.#
K4F	TODOR-Y-RARE*-YI-XX-YA-N-KA	K5F	2870000000000 SO-KO-DWA XXX.#
U1F	TOOR-Y-RARE*-YI-XX-YA-N-DWA-NE	K4F	1526100000000 XXX.#
N-	(++++).-HE(SU)-YA-XX-GA		
K8F	(++++).-RARE*-YA-XX-KEN	U2H	6015100000000 XXX.#
KDF	U1F	U1F	9946000000000 MOO DUCI-MO DIHA (++++).#

(4) RAE. RARE

RADE(RARE)-
K0(KU)-Y-XX-YI-OB-TE-NEE
K4F KDF 883900000000 DNATASI-TO NIOSUG-NI /0088400/ DNATASI-GA /0088410/ SUKOSI HADJA-
NI (++++)-NEE /0088420/ HO(SO)-REH-KARA XXX.#
RADE(RARE#)
NIK-XX-YI-OB-TAR-(++++)
K4F U1F 126100000000 NINORU-KARA NIK-YI XXX.#
DJAR-YI-OB-TE-JORB-Y-XX-YI-MAS-RU-(++++)
K4F KDF 881820000000 HUNI-SAN-GA /0088190/ KEE DOKOR-YI-OB-TE XXX.#
DOR-Y-XX-YI-MAS-RU-GA
K4F KDF 912710000000 (++++) SADHAG-YI-OB-DE(TE) XXX.#
DOR-Y-XX-YI-MAS-RU-DHA-NE
K4F K8F 390000000000 DUCI-NI XXX /0039010/ RUSU-BAN SI(SU)-YI-OB-TE.#
DOR-Y-XX-YI-MAS-RU-DHA
K4F KDF 909800000000 SADHAG-YI-OB-DE(TE) XXX.#
DOR-Y-XX-YI-OB-TAR-OTE-DI-D-YI-OB-TE
K4F U1F 125500000000 SO-REM-KARA ZIBUN-MO /0012560/ NAN-DAI DANTEI-SJO-DAI NAN-DAI DIK
-YI-OR(OB)-TARA /0012570/ CJANTO DANTEI-SJO-NI XXX.#
KASE-Y-XX-YI-EO(DHA)-HE(SU)-YA-N-(++++)
K4H U2H 539010000000 (++++) /0053910/ (++++) XXX.#
KASE-Y-XX-YI-EO(DHA)-HE(SU)-YA-N
K4H KAH 539200000000 DAA XXX SO-REM-JAB(DHA) MOO.#
KATACUKE-Y-XX-YI-MAS-RU-NE-A
K4F K4F 860500000000 ZJO07U-NI XXX.#
K0(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR-DJO
K4F KDF 852300000000 SO-REM-KARA DANDOO /0085240/ (++++) TOKO MADHAP-YI-OB-TE-NEE /0085
250/0085260/ HUKO-SAN-MO /0085270/ KO-GCI-I /0085280/ XXX.#
SI(SU)-YI-OB-TE-JORB-Y-XX-YI-MAS-RU-GA

K4F KDF 9440000000 (****) NAN-DAI KAN-DAI-NEE /0091420/ (****) HATA TAR-YA-N MONO-DH
A KAP-YI-00E(0B)-TE-JOKA-XI-OB-TE-NEE /0091430/ (****) HAGE-WI-OB-TARI-N-NEE /0091440/ XXX.#
TAGE-X-XX-YI-MAS-XI-OB-TAR-YA-YVB(YVVB)-KA
K4F 902700000000 DJAA DJA HA DIDJA HA DIDJA (****) DICU (****) XXX4#
TAT-X-XX-YA-N-GA-KE
U1F 663100000000 CJOOTO BANTA SIBIRE-XI-GA KIRE-XI-OB-TE DHATASI XXX.#
K2F TOOR-X-XX-YA-N-DAR-KEN
U2H 728100000000 (****) XXX.#
K5F TOR-X-XX-YI-MAS-RU-DAR-(****)
K4F/U1F 279100000000 SJOTOKU-ZEE-DE KE DJOKE XXX.#
RAGSJAR-
DID-X-XX-RU-KEN-TE
K4F/U2H/U1F 575100000000 DIK-RU-NA-DJO HATA KASE-X-EG(KE)-TE XXX (****).#
RARE-
SIKAR-X-XX-RU-KEN
U1F/K4F 233200000000 SO-GE-N DANOO TOOR-X-RANE-(****) TOKO TOOR-X-RJA XXX DHASI-JAB(4
WA) DATO-GAIR(KAIR)-YI SI(SU)-XI-MAS-RU-GA-TE-DID-XI-OB-TE DID-XI-OB-TARA DE(DI)-E(I)-GA-NE (****) D
AR-YI-OB-TARA KO-NA DANOO DDO-CAN(SAN)-GA DAHO TOOR-X-RE-TE DID-X-RARE-XI-OB-TAR-KEN-TE-DID-XI-OB-
TE DID-XI-OB-TE-JORB-X-RJA DE(DI)-E(I)-DNA.#
RARE-
(****)-X-XX-YI-MAS-RU-DE
U1F/K5F 266100000000 XXX.#
(****)-X-XX-YI-OB-TAR-KEN
KDF U1F 826500000000 XXX.#
CUKAD-X-XX-(****)
K4F 812400000000 DIOSJO-NI XXX.#
KCF CUKE-X-XX-(****)
U2H 782800000000 (****) KO-RE# (****)-N(NO) NAKA-I SAKANA XXX.#
CUKE-X-XX-RU
K5F 258200000000 SJOOGODIN-DNA CUKE-XI-MASE(MAS)-YA-N-DAR-DOMO-NE-A /0025830/ DIMA

XXX TOKO-GA DAR-XI-MAS-RU-GANE-NE-A /0025640/ DO-OCI-KA-TE NIHA DANDU DAIKOH-NHA NAMA-ZUKE(CUKE)
 -XI SI(SU)-XI-MAS-XI-OB-XI-OB-TE-NE-A /0025650/ NAMA-ZUKE(CUKE)-XI-CA DJADHAKKA-(****) /0025660/ (****)
 NAMA-ZUKE(CUKE)-XI SU-RU KOTO-NI SI(SU)-XI-OB-TE-JORU-XI-MAS-RU /0025670/ HAR-JA-I BUN-DHA (****).#
 CUKE-X-X-XA-N-TE
 K4F ULF 196100000000 SO-BER-KARA DNN HUMIKO-SAN DUCI-DA(DHA) KIRAI-DE-NEE /0019620/ (+
 +++) DEKI-XA-N-(****) CIOTO-DAI XXX /0019630/ DNN.#
 CUNAG-XI-OB-DE(TE)-JOKU-X-X-RU-NHA-HE
 K8F KDF 106900000000 DNN DO-KO-DEMO XXX.#
 DE-X-X-X-(****)
 K4F KDF 850900000000 (****) XXX.#
 DE-X-X-X-RU
 KDF K4F 896400000000 (****)-HO HOO-HO HITO-GA XXX /0089650/ (****) NANTOKA-DES-RU-KEN-
 HEE.#
 DE-X-X-X-RU-(****)
 K4F KDF 861300000000 HAA DOJ(DI)-VVB-NI NAR-XI-OB-TE GUDHAI-GA DOJ(DI)-VVB-NI NAR-XI-O
 D-TE SO-GEN KOTO-DEMO PINNA DHAKA-I-SJU-NI MAKASE-XI-OB-TE-NEE /0086140/ HUN XXX (****)-XI-OB-TAR.#
 DE-X-X-X-RJA
 KDF K4F 898200000000 HA XXX DAITAI ROKU-NIR KOTO DAR-XI-EO(DHA)-SI(SU)-XI-MASE(MAS)-XA
 -H-KEN-NEE:#
 DE-X-X-XA-N-DJAA-NI
 K9H ULF 373300000000 KO-HG-GORO(KORO) DHA-TASI-DHA XXX NAR-XI-MAS-XI-OB-XI-TE.#
 DE-X-X-XA-N-KA-NE
 K4F ULF 154600000000 (****)-CJAN-TOKO-KARA KO-BEG-AB(DHA) XXX.#
 DE-X-X-XA-N-TE
 K4F KDF 894100000000 DANDU CIOTO-DAI HUBA-SAN-DNN CIKA-GORO(KORO) XXX DIT-XI-OB-TE NUD
 HASA SI(SU)-XI-OB-TE-JORU-XI-MAS-XI-OB-TAR-UF (****) DHA-TASI-CA DIT-XI-OB-TARA-TEE /0089420/ DANDU
 DJOO CIKA-GORO(KORO) HAA DE-XA-N-DAR-DONO /0089430/ SENDO HONNI (****) NAUI SU-RU-DAR-XI-OB-TAR-DOH
 O NIMAYA-NI DANDU KO-KO-I RJOR-XI-S-TA-OB-TE RJOR-XI-OB-TAR-TE DIT-XI-OB-TE.#
 K4F KDF 896800000000 (****) /0089690/ SOTO-I XXX DIT-XI-OB-TE /0089700.0089710/ DANDU
 /0089720/ DUDHASA SI(SU)-XI-OB-TE-JORU-XI-MAS-RU-CA /0089730/ (****).#

K4F KOF 907700000000 (++++)-DE MOO XXX NID-YI-OB-TE-NEE /0090780/ (++++).#
 DE-Y-XX-YI-E(DHA)-HE(SU)-YA-N-(++++)
 K6F U1F 530000000000 RHATASI-(++++) (++++) TECUBAQ-YI-(++++) XXX.#
 DE-Y-XX-YI-MAS-YI-OB-TAR-DJO
 U1F K4F 120100000000 KESA-DHA-HEE /0012020/ GOHAN TABE-YI-H-KO-NI XXX.#
 DE-Y-XX-YI-MASE(MAS)-YA-N-GA
 K4F K6F 269900000000 (++++) /0027000/ TOSI-GA NJOR-YI-OB-TE NJOKEE XXX.#
 DE-Y-XX-YI-OB-TAR
 K4F K6F 515800000000 (++++) CJOCKOO KAH-YI-HONO-NI XXX TOKI-NI-(++++) NJOR-YI-OB-TE (+
 +++)#. #
 GOS-Y-XX-RU
 K6F 1080500000000 RHINJA (++++)-DOO-CAN(SAN)-TE NJUB(NID)-RU-DAS-KA-I-NE NICU-HO NJ
 O(NI)-KU XXX TOKO.#
 GOS-Y-XX-RU-(++++)
 K4F K6F 814310000000 SO-RE-KARA MAA TANA-NI TANA-NI KEE XXX (++++)-KEN.#
 GOS-Y-XX-YI-OB-TAR
 U1F KOF 1052200000000 KEEKO-SAN-DHA NICU SO-GE NID-YI-OB-TE XXX.#
 GOS-Y-XX-YI-OB-TAR-(++++)
 K4F U1F 165000000000 HUUN KODHIL-DJARA /0016510/ NANI-DJA HOGOR-YI-OB-TE XXX.#
 K6F 280500000000 SO-RE-DE (++++) NEBJASU KOTO-DAR-TO DOROP-YI-OB-TE SO-RE-KARA HAA
 DANO NIDHA-HO HOO-GA RASI-GA JA-KAR-YI-OB-TAR (++++) /0088060/ ZOOSAKU SI(SU)-YI-OB-TAR-DAL DO-GE-D
 AI-DE-NE-A /0088070/ SO-RE-DE KIKU)-YI-OB-TE GOS-(++++)-TE NID-YI-OB-TE (++++) /0088080/ (++++) XXX
 .#
 GOS-Y-XX-YI-OB-TARI*
 K4F KOF 998500000000 2N /0099860/ NANI-ZO DAGE-Y-RJA HATA XXX NUKOO-KARA /0099870/ DOSO
 R-YI-OB-TE GOS-(++++) SU-(++++).#
 GOS-Y-XX-YI-OB-TE
 K5F U1F/K4F 233700000000 SINSECU-NI SI(SU)-YI-OB-TE-NE-A /0023380/ XXXI#
 HAAR-Y-XX-YA-N
 K5F U1F/K4F 230800000000 MAA KO-KO-N(KO) TOKO XXX (++++).#

K9F PAJR-X-XX-YA-N-DUTCE(DES)-YA-YVYU-NA
 UJF 23110000000 XXX.#
 K9F PAJR-X-XX-YI-ET(EA)-HE(SU)-YA-I-2JO
 U2H 6:2700000000 23000000-IG CUTE-GA YA-KE-(****) XXX.#
 U2H K9F UZ-F/KAF
 61231000000 XXX.#
 K9F PAJR-X-XX-YI-OB-TAR-DMA-NE
 UJF 61160000000 DAR-WONG DI-I TOPO X'X HU7I-SINKOO-NAHKA (****).#
 K9F PAJR-X-XX-YI-OB-TF
 KAF 6:90000000000 HA DUKOO REIKO-S-N-(****) XXX.#
 K9F HANGB-X-XX-RU-NE-A
 K9F UJF 92770000000 IAH-DAI DORO-DO XXX.#
 K9F HAKAS-X-XX-YI-NJOC-YI-OB-TAR
 KAF 5986000000000 (****) GAKKOO-IHOO-DUA TATE-YI-OB-TE-JOKU-YA-NA DIKE-YA-N DIB-YI-OB-TE-NFE /005980/ DATO-DE KOKKAI SU-IWE-SJA-NI NAB-RUR DIB-YI-OB-TE /005980/ (****)-NO /005980/ XXX.#
 K9F HAKAS-X-XX-YI-MAS-RU-NE-A
 KAF 0593000000000 DA N'HKA HA XXX.#
 K9F HAS-X-XX-YI-MAS-RU-DE
 KAF 109430000000000 2JOO XXX.#
 K9F HUTOR-YI-OB-TE-JOCU-X-XX-(****)
 K9F 626700000000 (****) NJAGPARI* XXX.#
 K9F DAAK(DARUK)-X-XX-YA-N-SJA-NI
 K9F 0763000000000 SO-RE-GA KJUU-NI TAZORE*-YI-OB-TE (****) XXX AAR-YI-OB-(****).#
 K9F DAAK(DARUK)-X-XX-YI-OB-TAR-DESE(DES)-YA-YVYU
 K9F 0761000000000 2AHOO XXX.#
 K9F DACHAR-X-XX-RU-TG-NE
 U3F 7520000000000 DA-SOKO(KO)-E HA XXX ZEN-KOKU-NO (****).#
 K9F DAB-X-XX-YA-NA
 U2H 7696000000000 NAKAHAKA DANTA-(****) SIGOTO-DMA SAMU-I ME-NI XXX DIKE-YA-N-KEN /0076970/ QJOKEE KOSTI-NO TAHE-NI DHARU*-I-DES-RU-DMA.#

00865
NAT-XX-XI-HO KOF 88491000000 MACURU-NI /0089500/ KEE DHATASI-KO NIK-YI-OBX-(****) NAT /00865

NASUK-XX-XI-(****)
KOF 1032800000000 (****) SUDOCUU XXX.#
DILAR-YI-OB-TE-JORU-XX-XI-OB-TE-NEE
KOF 808100000000 KEE XXX.#
DILAR-YI-OB-TE-JORU-XX-XI-RU-GA
KOF 808200000000 XXX.#
DID-Y-RARE-YI-OB-TE-JORE-XX-XI-OB-TAR-DOKU-NEE-TE
KOF 949300000000 (****) DIK-YA-NA DIKE-YA-IN-TE XXX DID-YI-OB-TE /0094940/ (****)
DID-Y-XX-(****)
KOF 854300000000 MUKOO-HO-DE-HO DANDU DO-TOO-SAN-(****) TO-KAA-SAN-GA-NEE /008
5440/ HI-YI-OB-TE HONNIN-DO NI-YI-OB-TE-NEE /0085450/ DANDU DOMAI-NI-DHA HOOTAIN-I-KURAI-(****) XXX

KOF 886100000000 DE HIA SUGU SON-MAR NANI-DHA NA-I-TE DID-YI-OB-TE DO-ISUA(INSJA)
GA XXX.#
KOF UAF/KBF/K4F 1091200000000 (****) DJUUBE-NE SAKURAI-HO YANDU HUKO-SAN-TO-NE-A /0109130/01091
40/ DANDU DOKUSAN-TO KI(KU)-YI-OB-TE-NE-A /0109150/0109160/ SO-RE-KARA DHATASI:CJA DIREK-YI-OU-TARA
-NE-A /0109170/ DANDU DHATASI SANJU KUDASAR-X-I(IRE)-TE XXX.#
DID-Y-XX-RU
KOF 9114000000000 SO-RE*-KARA HOO SAA DICU-ZI-SUGI-YI-DAR-YI-OB-TAR-DAR-YA-YVB(YVVC)
Y-KA-NAA /0091150/ HOO DANDU HIZU KUW-YI-OB-DEYTE KO(KU)-YI(IRE)-TE XXX.#
DID-Y-XX-RU-(****)
KOF/KBF 892000000000 HARA-DAR-TE XXX.#
DID-Y-XX-RU-DAR-KEN
KOF 890900000000 NAN-DAI KAN-DAI DO-BABA (****) KOGOTO XXX.#
DID-Y-XX-RU-DAR-YI-OOR(YVUB)-GA
KOF 1468010000000 SOO SU-RUM-TO DHATASI-GA ZENZEN DANDU SAIRJOO-GA NAI-DJOO-KAPA-NEE
UIF E /0014690/ (****) XXX /0014700/ DJUN(DI)Z-YI-OB-TARIW SI(SU)-YI-OB-TE (****)-DAF-POM(WOND)-NEE.#

K4F		ZID-X-XX-RU-GEHA-N-E-HEE	
K4F	KOF	DAR-YA-YVB(YVVC)/KEN-HEE /0084710/ (****) RJQOSI-NI SONOO SIKHA-DI-I	
		ZID-X-XX-RUX	
K4F	KDF	SJQOBEH-DEHO-NEE /0093610/ (****) ZHATISI-GA DIK-XI-OBN-TA	
	R (****)	SJOBEH-DAR-DE-TE XXX BID-X-BAREX-RUK-DHA-NE.#	
		ZID-X-XX-RUX-(****)	
K4F	KDF	SJQOBEH-DAR-DE-TE XXX BID-X-BAREX-RUK-DHA-NE.#	
		ZID-X-XX-RUX-(****)-HEE	
K4F	KDF	OKI-DAR-KEN-TE BID-XI-OB-TE XXX.#	
		ZID-X-XX-RUX-GEHA-DHA-NE	
K4F	KDF	93270000000 DE KUSURIK-DHA NA-I-TE XXX.#	
		ZID-X-XX-RUX-DHA-NE	
K4F	KOF	93600000000 (****) SJQOBEH-DEHO-NEE /0093610/ (****) ZHATISI-GA DIK-XI-OBN-TA	
	R (****)	SJOBEH-DAR-DE-TE BID-X-BAREX-RUK XXX.#	
		ZID-X-XX-DAR-XI-OB-TAR-SOO-NAR	
K4F	UIF	14850000000 KORCI-I HORAN-RU-QTE RU SUQ DANGO ZICIZDO MENSECU SI(SU)-XI-OR-T	
		AR-KEDORO /0014860/ MN SO-REX-DAR-DOHO NAK-DAL TALISITA BECDUAN-NO HANASI-DHA ZAA SOO NJUKU(MI)-RU K	
		OTO-RHA-NEE /0014870/ XXX (****) HUH.#	
		ZID-X-XX-XI-MAS-RU-DHA	
K4F	KSF	26720000000 BIRO-GA-HEE ZE CUK-XI-OB-TAR-NO-DHA DIKE-XA-R-TE XXX.#	
		ZID-X-XX-XI-MAS-XI-OBX-TEHO	
K4F	KAN	47590000000 SO-REN-KARA MA DANGO (****) /0047600/ (****)-XI-OB-TE-HEE BANBAR	
	I# GAOKOO	KADHAR-XI-OB-TE KUREN-X-HEQ(IRE)-OTE XXX ZJOGACKOO SAR-NEN-DES-XI-OBN-TAR-N(KO)-DE-NEE /004	
		7610/ SO-REN-KARA-NEE ZJOST-SIHAI-RO DIC1-NEN-NI KADHAR-XI-MAS-XI-OBX-TAR-(****).#	
		ZID-X-XX-XI-OB-TA-(****)	
K8F	K4F/U2C/U1F	57490000000 (****) HA-I NA-I-TE XXX DJUCI-(****) KO(KU)-X-BAREX-XI-EO(DHA)-HEE	
		SU)-YA-N-GA.#	
		ZID-X-XX-XI-OB-TAR	

K4F K0F 890800000000 (++++) ZIBUW-N0 NHARIKAKH-NI (++++) NID-YI-08-TAR-MON(MON0)-DAR-D
OH0 /0099900/ SO-RE-DAR-DOMO NI-I-TE /0099920.009920/ XXX (++++).#
NID-X-XX-YI-OB-TAR-(++++)

K4F U1F 306500000000 NAN-DAI NID0 MOT-YI-OB-TE K0(KU)-YA-N-TE NID-XI-OB-TE NID-YI-OB-T
ARA /0030660/ SAMHEN-KJOO-DAI KAGANI SAMHEN-KJOO-N0 SITO-CU-N0 MOT-YI-OB-TE KU-RU-YAR-DNA-NANTE XXX
NID-YI-OB-TE-JORU-YI-OB-TAR-(++++).#

U1F U2H 413240000000 NIDJA DANTA NIZU-GA NAN-DAI SONO DO-DJU-(++++) KA-RE-NA DIKE-YA-N
-TE XXX.#

U2H K4F/K4h 523900000000 (++++) ZEIGORQ0-SAN-TE XXX.#
NID-X-XX-YI-OB-TAR-DJ0

K4F K0F 896000000000 SO-REK-DE NERA-I HAA GO-BUSATA S1(SU)-YI-OB-TE-JORU-YI-OB-TE /008
9610/ TE NID-YI-OB-TE NJOROSI-JUUB(VVB) NID-YI-OB-TE GOS-Y-RE XXX.#
NID-X-XX-YI-OB-TAR-KEN-TE-NID-YI-OB-TE

K0F U1F/K4F 233200000000 SO-GE-N NANO TOOR-X-RARE#-(++) TOKO TOOR-X-RJA SIKAR-X-RARE-RU
-KEN NHASI-JAR(DKA).NATO-GAIR(KAIR)-YI S1(SU)-YI-HAS-RU-GA-TE-NID-YI-OB-TE NID-YI-OB-TARA N0(RI)-E(I
)-GA-NE (++++) DAR-YI-OB-TARA KO-NI NANO DOQ-CAN(SAN)-GA NANO TOOR-X-REK-TE XXX NID-YI-OB-TE-JORU-Y
-RJA N0(RI)-E(I)-DMA.#

NID-X-XX-YI-OB-TAR-QTE

K4F U1F 193800000000 NAN-GA NANO SOO XXX.#
NID-X-XX-YI-OB-XE

K4F K0F 851500000000 NODJA-DNA (++++) HAKOTO-NI NJASASI-I NI-I SITC-DAR-DOMO /0095160/
NANO HOMNIN-GA NI-YI-TA-I-LE XXX (++++)-KARA /0085170/ (++++)-SOO-NAR-(++++).#

K4F U1F 180400000000 HUKOO NINOTO-DNA NANO /0018050/ TOOKJOO-N0 NAN-DAI NAN-DAI-DAIGA
KU SINAD-YI-OB-TE-NEE DE TOOKJOO-NI MOR-YI-OB-TAR-DOMO HUKOO KO-OCI-I KADES-YA-N-TO DIKE-YA-N-TE NID
-YI-OB-TE-HEE DO-BABA-NI XXX DNN.#

K4F U1F 348600000000 NNDP NANO NANI-GA NJOCKO-SAN-DJOO SAKI-NI NANO REKO-D0 NANI-SI
SUI-YI-OB-TE SINAD-(++++) CJOQTO SJASIN DAS-YI-OB-TARA ZIBUW-TOKO-I MORAN-YI-TA-I-(++++) XXX DONDON
SUSUN-YI-OB-DAR (++++) /0034870/ DNN.#

K4F U1F/K8F 801000000000 MODON-YI-OB-TE (++++) DO-SUSI KAD-YI-OB-TE KI(KU)-YI-OB-TE GOS-Y-
NE XXX GANOO-DE DO-SUSI KUD-YI-OB-TARIN (++++) SE(SU)-X-RARE#-YI-OB-TAR-BENA-GA.#

K5F KMF/UJLF 208400000000 DANA-KI-GA JAR-FI-MAS-YI-OB#-TE-NEE JOROS-(+****) /0028850/ DE(IKI)
-E(I)-TE NID-VI-OB-TE MINNA KEE (+****) HOO KEE DUOI-NO DAIKO-DA NA-KER-YA-HUA YO-KJAKU-SAN-GA KE MIK
E-XA-N-TE NID-VI-OB-TE XXX.#

NID-X-XI-YI-OR-TE-JORB-X-RARE#-YI-OB-TAR-DORO-NEE-TE
K6F KUF 949300000000 (+****) DIK-YA-NA NIKE-YA-N-TE XXX NID-VI-OB-TE /0094940/ (+****).#
NID-VI-OB-TE-JORB-X-XX-YI-MAS-RU

K6F K5F 267400000000 SO-REH-KARA KA#-XI-OR-TAR DJACU-JAB(DHA) #O-BEN-NO (+****) XO-BENT
CO-PO SU-RUW-TO /0026750/ MO-BENTOO-HO GOMAN-GA-NEE KI-TRO(MIRO)-NI NAR-XI-OB-TAF-(+****) /0023760/ MO-BENT
OO HOINI DOZO-I-EJA-NAR-TE XXX.#

NID-VI-OB-TE-JORB-X-XX-YI-OB-TAR(+****)
K6F KUF 849400000000 DE HA SAN-ZOO-NO HEZJA-GA-NEE /0084950/ KONDC MAA KEOKOH-SIKI-NI
MA-NI-DAD-(+****) NID-VI-OB-TE XXX /0084960/ (+****) TEGANI-GA KI(KU)-VI-OB-TE-JORB-XI-OB-TAR-(+****).
#

NID-VI-OB-TE-JORB-X-XX-(+****)
K6F KUF 950300000000 MAA NIHA-NEE /0095040/ (+****) TAISITA /0095050/ KOTO-DA(DHA) -NA-I
-NEBU /0095060/ BANGO DOZO SINPAI /0095070/ SI(SU)-XI-OB-TE /0095080/ SI(SU)-XI-OB-TE KUDASAR-RUM-N
A XXX.#

NID-VI-OB-TE-JORB-X-XX-YI-OB-TAR
K6F UAF 479500000000 NIDJA NIG(ICI)-PEN(HEN) RUKAGAB-YA-HA(NH) NAR-YI-MASE(HAS)-YA-N-
++++) XXX /0047960/ HUP.#

NID-VI-OB-TE-JORB-X-XX-YI-OB-TAR-TE
K6F UZF 305700000000 NI-YR.XXX NID-VI-OB-TE.#

NID-VI-OB-TE-JORB-X-XX-YI-OB-TAR
K6F KUF 405020000000 NAT-XI-CO-TE-JORHI-X-RARE#-YI-MAS-YI-OB#-TAR-N.O NID-VI-OB-TE XXX.
#

NID-VI-TE-JORB-X-XX-RU-GA
U5F UAF/U2F 379000000000 MUKOO-NO SJOOTEN MAHO XXX.#

NID-X-XX-RUX-XI-NEE
K6F KUF 403280000000 NI-CUUU-NO HOO-NB XXX.#

ZIK-X-XX-YA-N-GA

K4F K4F/U1F/U2H 708900000000 {++++} NI SJONBE SI(SU)--XI-NI-DAI XXX /007090C/ {++++}.#
 D1(K-X-XX-XI-HASE(YAS)-YA-OAR-XI-OB-TAR-{++++}
 K4F 951800000000 {++++} DHAIA[SI-HO HAA DANO SO-GE-NAR DANBAI-DE {++++} /009519D/
 DNAKAR-YA-N-DJOO-NAR /009520D/ KI-GA SI(SU)-XI-OB-TE-NEE /009521D/ HAA HAAJA-DOR(VYB) D1K-YA-{++++}
 /009522D,009523D/ {++++} NAN-NICI-NI /009523D/ D1K-RU NAN-NICI-NI /009524D/ D1K-FU /009525D/ D1B-XI-
 OB-TE /009526D,009527D/ NAKANAKA /009528D,009529D/ XXX.#
 D1K-XI-OB-X-TE-JORU-Y-X-XI-OB-TAR-NE
 K4F U2H 739400000000 SAKURAI-SAN-DWA KJONEN DO-KO-I XXX.#
 D1K-XI-OB-X-TE-JORU-Y-X-X-{++++}
 K4F U2H 739600000000 ZUOTO HINNA TOOKJOO- XXX.#
 D1K-XI-OB-X-TE-JORU-Y-X-X-RU#
 K4F 965240000000 {++++} HO NI-BANIE-HO HO-ZJOO-SAN-{++++} XXX TOKORO-NEE /009653D/
 DENZHA {++++}.#
 D1K-XI-OB(X)-TE-JORU-Y-X-X-RU-DAR-NEN-NEE
 U1F K4F 159900000000 DAA HO-DAA-SAN-GA XXX.#
 D1N-X-XX-XI-HAS-XI-OB-X-TAR-DE-A
 K4F U1F/K4F 289700000000 DOOTOBAI-NI CUM-XI-OB-DE(TE)-NE-A /002098D/ XXX.#
 D1N-X-XX-XI-OB-TAR-NE
 K4F U2H 637700000000 HAN(WANI)-DE XXX.#
 D1N-X-XX-XI-N-DWA-NEE
 K4F U2H 718700000000 XXX CO-GE-NAR KOTO-HO FAR-RU-DAR-NEN.#
 D1NIE-Y-XX-XI-HAS-{++++}-NEN-{++++}-NE-A
 K4F 1005300000000 CIKAKO-DABA-SAN-TDKO-{++++} /010054D/ KO-TOSI /010055D/ XXX.#
 D1NIE-Y-XX-XI-OB-{++++}-NEE
 K4F 1003400000000 {++++} HAA DANO /010035D/ GAKKO /010036D/ TEENEN-DE /010037D/ X
 XX.#
 D1N-XI-OB-TE-JORU-Y-X-XI-HAS-{++++}
 K4F K4F 883000000000 HUNI-SAN-GA XXX.#
 D1N-XI-OB-TE-JORU-Y-X-XI-HAS-RU-{++++}
 K4F K4F 916300000000 XXX.#

K4F BJAR-YI-OB-TE-JORU-Y-XX-RUY-NE
 U1F 295500000000 DA-SUKO(YO)-DE XXX.#
 KCF BJAR-YI-OB-TE-JORU-Y-XX-YI-MAS-(++++)
 K8F/02H 104490000000 DA-HO /004500/ TOORI* KAKA-DE-HO NIGISJAKA-NI XXX.#
 KDF BJAR-YI-OB-TE-JORU-Y-XX-Y-RJA
 K4F 898800000000 (++++) HAA /009990,0089900/ NO-GEWIKI-DE XXX /0089910/ DE(21)-E1
 3-TO 3(1SU)-YI-MAS-RU-DNA-NEE.#
 U1F BJAR-YI-OB-TE-JORU-Y-XX-YI-MAS-RU-KA-NEE
 K4F 168300000000 HOK(SO)-HA(NABA) HAKO-CJAN GEWIKI-DE /0016840/ XXX HUUN.#
 K8F BJOB-Y-XX-YI-OB-TAR-RJO
 U1F 400400000000 NO-KAA-CJAN SENDO-ZHA-NEE ZIROO-KAI-GA DAR-YI-OB-TE-NE-A /0040050
 / XXX.#
 K8F BJOB-Y-XX-YI-OB-TE
 U1F 176600000000 DNH HO(SO)-RE* KARA HANO KUNIHO-HO XXX DOR-YI-OB-TAR-DONO /00167
 0/ BJUK(ZIK)-YA-ZU-NEE DNH.#
 K8F BJOR-Y-XX-YA-H-DNA
 U1F/02H 590100000000 DAR-NEBO KONDO-BA(NHA) KOKO-I XXX /0059020/ HITO-TO NIOSJO-DAR-RE
 N.#
 KDF BJOROKOB-Y-XX-YI-MAS-YI-OB*-TAR-DESE(DES)-YA-YVVE-GA-NE-A
 K4F 886600000000 HAA XXX.#
 K4F BJUK-Y-XX-RU-DNA
 U1F 183300000000 SJOO-GAKOO-DEHO MOO DAIGAKU DE-YI-OB-TE-JORU-RU-DAR-KEN /0018340
 / CJUUTOO-GAKOO-DEHO /0018350/ DO-KO-DEHO NI HAA XXX.#
 K4F BJUK-Y-XX-RU*
 U1F 170310000000 BJAR-YI-OB-TE XXX.#
 K4F BOCI-Y-XX-YI-OB-TAR
 U2H/K8F 692810000000 XXX (++++).#
 K8F BOCI-Y-XX-YI-OB-TAR-RJO
 K4F 692900000000 HAA XXX.#
 ZOK-Y-XX-YI-MASE(MAS)-YA-H-DAR-YA-YVVE(YVVE)-KA

K5F K4F/U1F 273100000000 BA-SOKO(KO)-I KI-GA XXX /0027320/ {++++}.#
 DOK-YI-OB-TE-JORE-Y-XX-YI-EQ(DMA)-HE(SU)-XA-IL- {++++}
 U1F U2H 495200000000 NOBEO-SAN-DHA HAN XXX.#
 DOKONAH-Y-XX-RU#
 U5F U3F 865100000000 HIZJUU-KU-NCI(NICI)-HO GOZEH-ZJUJ-ZI-KARA MAUL-DE-SI DAGEHOGI-CJOO
 OKURICU-SIHANE-RJOC-JOO-SJO-DE-HO DOWAZIRU SJOOKA-HO HINAN-KUNDE#N-GA XXX.#
 DOKOR-Y-XX- {++++}
 K4F KDF 912300000000 XXX.#
 DOKUR-Y-XX- {++++}-HE
 U1F U2H 631000000000 IN KO-REI(RE)-AN(THA) HADA KO-OCI-I {++++} HUKOO-I XXX.#
 DOKUR-XX-YI-OD-TAR-GA
 K4F U1F 131010000000 SO-RE-KARA NA-SUKO(KO)-I-DHA DANDO BECU-NI /0013110/ HAA XXX /001
 3120/ SANDO-BIN-DE.#
 DOKOR-Y-XX-S-RJA
 U1F K4F 147300000000 {++++} XXX HOO /0014740/ HAA DOOMO NA DIKE-YA-N-KEN-TE DIZ-YI-OB-
 TE {++++}-YI-MAS-RU-DIA-HE.#
 DOKOR-Y-XX-YI-OB-TAR-DAR-DHA-HE
 U1F K6F 004600000000 ZIBUII-GA {++++} /0080470/ {++++}-GA-TO DOKON-YI-OB-TE DIK-YA-YVU(
 YVUB)-TO XXX.#
 DOK-Y-XX- {++++}
 K4F U1F 169920000000 DE KUURJOO-HO DIASU-I-TETE /0017000/ TE DIZ-YI-OB-TE XXX.#
 K6F KAH 454500000000 SUN HUTARI* XXX.#
 KCF KDF 1045400000000 DA KO-KO-NI XXX.#
 DOK-Y-XX- {++++}-NON(HOND)-DESE(DES)-YA-YVUB-JO
 U1F K4F 147600000000 DIII {++++} HAA HEKZI-DHA SOR-HAR NOBINOB-DEHC ZE(RI)-E(I)-TO DOK
 OB-YI-OD-TE-DHA XXX.#
 DOK-Y-XX-RU- {++++}
 K4F KDF 830100000000 KENKJUI-TE DIZ-Y-REBA HAA HOOSEE-HO /0083820/ NI XXX DAIGAKU- {+++
 } {+83030/ {++++}-YI-OB-TE-HEE /0083840/ KENCIKU-KNA-HO NAN(HANI)-DE.#
 U1F KDF 050100000000 TONARI-NI XXX.#

ZOR-¥-XX-RU-DE-NEE
 K4F 597000000000 (++++) NIMA DANDU (++++) /0059710/ HORI#NE-NO NEE /0059720/ GA HA
 UZH#8F
 YA NINSIN-DE NJASUH-¥I-OB-DE(TE) XXX HATA.#
 ZOR-¥-XX-RU-KEN
 K4F 913500000000 (++++) NA-RE-GA XXX (++++).#
 KDF
 ZOR-¥-XX-RU-KEN-(++++)
 K4F 913100000000 (++++) DO-BABA-NO XXX.#
 KDF
 ZOR-¥-XX-RU-TO-NEE
 K4F 939100000000 HQD SUM-¥I-OB-DAR(TAN)-TEIE DID-¥I-OB-TE-NEE /0093920/ (++++) XXX
 /0093930/0093940/ HATA /0093950/ DANDU /0093960/ SONO /0093970/ NAKANAKA /0093980/ ZUGTO MANSUGU GE
 NKI-NI-NEE.#
 ZOR-¥-XX-RU#
 K4F 169400000000 DAR-KEN DE(NI)-E(I) TOKO-I DE-¥I-OB-TE XXX.#
 U1F 205100000000 XXXI#
 K4F 846100000000 DJUD(DID)-RU-NODE KO-OCI-I DE-¥I-OB-TE NIMA SINCIKU SI(SU)-¥I-OB-
 TE XXX.#
 ZOR-¥-XX-RU#-KANO
 U1F 189500000000 DANDU (++++) HA NAN-TOKA SAGAS-¥I-OB-TE XXX SIR-¥A-N-KEDO ZHAKAR-
 ¥A-N-(++++).#
 ZOR-¥-XX-¥-HERBA
 K4F 920300000000 (++++) HQD NATAMA-DJAHAI-DAR-KEN-NEE /0092840/ NIGU KHAG-TO SI(SU
)-¥I-OB-TE DANDU CI-GA DABAR-RUA-DAL /0092850/ DO-GE SU-RUM-DAL ZHAKAR-¥A-N-DOMO-NEE /0092860/ (++++
) KO-NO-HAMA SIJUKA-NI CJAHTO SI(SU)-¥I-OB-TE XXX /0092870/0092880/ DANDU SD-GE KU-UI-NI DOO-OTE(TE) "
 JUD(NID)-RU KOTO-DHA HA-I-GA /0092890/ HA-I-KA-TO ZOHOD-¥I-OB-TE (++++).#
 ZOR-¥-XX-¥A-N-GENA
 UZH 715000000000 (++++) /0071510/ XXX.#
 U1F#8F
 ZOR-¥-XX-¥I-NAS-¥I-OB#-TAR-DHA
 K4F 453700000000 DANDU-NEE DUCI-DJACI-NO TOHODACI-GA HUTARI# XXX:#
 K4F
 ZOR-¥-XX-¥I-NAS-¥I-OB#-TAR-GA

K8F KCF 1046400000000 N00KJ00-NI /0104650/ XXX.#

K8F K8F/KAF/UF 8364000000000 SO-RE-DE SENSE-DHA DAIGAKU DUKE-({****}) NAR-VI-OB-TARA HUCUU-KWA-I
HAIH-V-RJA DJO(DI)-KAR-VI-OB-TAR-NI-NAA-TE MIB-VI-OB-TE XXX (****) DAIGAKU BE-VI-ES(DHA)-HE(SU)-YA-
N-({****}) (****)-KEN.#

K4F KCF 1488000000000 DNDH NAKA-I DANO SO-NO HANAS-VI-ARU-VI-OB-TAR KATA-NO /0014890/ H
ADA DAD-VI-00E(OB)-TE DOR-YA-N-KARA /0014900/ CJOODO DAA BAKURUF-HI-GA SJUOCJOO-DE-NE /0014910/ KADA
DAD-VI-00E(OB)-TE DOR-YA-N-KARA DANDU HATA DAD-VI-00E(OB)-TE HI-RUM-TOKA MIB-VI-OB-TE XXX.#

K4F KCF 8418000000000 HUN SO-RE-DAR-DONO-NEE /0084190/ DANDU SO-NO DO-HITO-DWA NII-SAN
-(****) HOOSEE (****) /0084200,0084210/ HOOSEE DE-VI-OB-TE-NEE /0084220/ SO-RE-KARA XXX /0084230/ S
O-RE-KARA DOTOOTO-SAN-DHA-NEE /0084240/ TOODAI DAR-TO-NE.#

U1F KCF 8298000000000 DEE DEEGO-BADOKARIM-KA-NE XXX #DAR-VI-OB-TAR-DHA-NEI#

U2H KCF 6445000000000 SEKAI-KARA XXXI#

K4F U2H/K8F 6444000000000 SEKAI-KARA /0064450/ ZEN-SEKAI-KARA XXX (****).#

K4F U2H/K8F 6442000000000 ZENKOKU-KARA XXX.#

K8F KCF 6439000000000 XXX HINNA-KARA.#

K4F U3F 1741100000000 SO-RE-DE DO-HIDJJA-SAN-GA DADUNA-I-DAR-KEN-NE (****) HOKA HOTOOTO SI
HO-1 XXX.#

K4F KCF 8503100000000 (****) DANDU DO-KAA-SAN-GA (****)-UN UUK-VI-0E-TE-JORU-VI-OB-TE /
0085040/ XXX /0085050/ TAIHEN (****).#

DUI-V-XX-RU-DAR-KA-NE

K8F K9F/U1F 1074110000000 NAK-GA SO-GEN TAKA-NI XXX.#
DUR-Y-XX-YI-OB-TAR-KA-NE
K8F K4F 618300000000 HAA SO-RE-DE XXX.#
K4F U4F 177510000000 SO-RE-DE HATA MOT-YI-OB-TE DJUK(DIK)-YA-N(HA) NAR-YI-HASE(UAS)-YA
-DAR-YI-OB-TAR-DHA-TE TE DID-YI-OB-TE XXX HUN.#
KAD-Y-XX-RU-TE
K5F U4F/K4F 290000000000 DO-KJAKU-SAN-GA TALSITA (++++) XXX DID-YI-OB-TE /0029010/ KO-NO D
AIKO (++++) /0029020/ ZIKI DURE-RU-TE.#
KAD-Y-XX-YA-N-DE
U4F K4F 159500000000 DAA NAKANAKA KIQU-GA XXX.#
KAD-Y-XX-YI-OB-TAR-NON(HONO)
K8F K4F 819000000000 DAN-SAN HUKOO-DE DIDE XXX.#
KAD-Y-XX-RU-DESE(DES)-YA-YVV-DE-REE
U4F K4F 304110000000 (++++) SO-NO DUU HODKE-YI-DE-DO. DO-KANE-NI XXX /0030420/ (++++).#
KADER-Y-XX-RU-500-DES-RU-DHA
U4F K4F 159300000000 KUOO XXX.#
KADER-Y-XX-YA-N-TO-DAI
K4F U4F 308100000000 NOO IACURE-DHA XXX DID-YI-OB-TE-JORE-RU-JETE#
KADER-Y-XX-YI-HAS-(++++)
KCF K8F 982200000000 (++++) XXX.#
KADER-Y-XX-YI-HAS-YI-OB-TAR-(++++)
K8F/U1F U2H 375700000000 DAA SAKKI XXX DINA DENHA (++++).#
KADER-Y-XX-YI-OB-TAR-GENA-(++++)
K4F K8F 882800000000 DIDJA DIDJA DO-ZIZI-GA NAKADE XXX.#
KADER-Y-XX-YI-OB-TAR
K8F U4F/K4F 820700000000 DINA (++++)-KARA XXX TOKO.#
KADER-Y-XX-YI-OB-TAR-DESE(DES)-YA-YVV#
K8F K9H 427800000000 SENDO DHATASI-NO NAKADE-DE KARI-YI-OB-TE-JORE-Y-RARE-YI-OB-TAR-
NO XXX.#

K8F K9H KARI-XI-OB-TE-JORU-X-XX-YI-OB-TAR-NO
 42790000000 SENDO DHATASI-NO NAMAHE-DE XXX KADES-X-RARE-XI-OB-TAR-DESEIDES)-
 YA-YVVC:#
 K8F K9H KARI-XI-OB-TE-JORU-X-XX-YI-OB-TAR-DNA-NE-A
 4280000000000 XXX /0042810/ KAKA-NO HITO-GA.#
 K8F K9H KARI-XI-OB-TE-JORU-X-XX-YI-OB-TAR
 4294000000000 HIRJA HIRJA DANOO XXX SITO-DNA.#
 K8F K4F/K1F KI(KU)-X-XX-YI-HAS-RU-DAR-XA-AB(YVVC)-KEN
 2697000000000 HANO KUJO DANTA-(****) (****) KOO HARA-SAN-DJA NANKA XXX /0026980
 / SO-RE-DE KEE HATA HANO DIK-YI-OBH-TEHO DHARU-I-KA-NO SIRE-XA-N-TO DONOD-YI-HAS-XI-OB-TE-MEE CIOTO
 -DAI DO-ZJANA-ROIF
 K8F K1(KU)-YI-OB-TE-JORU-X-XX-RU-NE-A
 4360000000000 DAA HICU-HO XXX.#
 K8F K4F KIHU-SE(SU)-X-XX-YI-OB-TEHO
 3034000000000 HIDE DO-KANE KIHU-SI(SU)-YI-OB-TEHO /0030350/ DA DA NA-I SINAMONO
 XXX (****) /0030350/ (****) DAA DANOO HUROSIKI-CA (****).#
 K8F K1(KU)-X-XX-YI-OB-TAR
 1459000000000 DON-NAR KOTO-DO XXX DIROIRO KEE DOJ(HI)-VVE (****).#
 K8F K4F KIK-X-XX-YI-OB-TAR-DESE(DES)-YA-YVVC-KA
 1456000000000 HIDE DON-NAR KOTO-DO XXX.#
 K8F K8F KO-X-XX-YI-OB-TE-MEE
 636810000000 (****) XXX.#
 K8F K4F KO(KU)-X-XX-(****)
 9210000000000 DANHO-GA-NEE /0092110/ KO(KU)-X-RARE-XA-N-HAZU-DAR-YI-OB-TAR-DO-
 O NAN-DAI (****)-DJA NAN-DAI-(****) /0092120/ XXX.#
 K8F K4F K4F U1F 1719000000000 HON(SON)-DE DANOO XXX.#
 K8F U1F 6792000000000 NANI SI(SU)-YI-NI XXX.#
 K8F KO(KU)-X-XX-RU-GA
 7392000000000 HINA SAKURAI-SAN-GA-NOO /0073930/ HINA MODOR-XI-OB-TE XXX.#
 U2H K8F KO(KU)-X-XX-RU-DNA-NE

KBF UIF/KBF 107831000000 HATA DUB-YI#-NI XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-RU-NE
 KBF UBF/ULF 678800000000 KAH#-NO DINKJO-SAN NANI SI(SU)-YI-OB-NI XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-RU#
 UIF KBF 741200000000 (++++) DIN-YI-OB-DE(TE)-DHA HATA XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-YA-N-UZU-DAR-YI-OB-TAR-DONG
 KBF KBF 921000000000 BANNO-GA-NEE /0092110/ XXX PAN-DAI (++++)-DJA NAN-DAI-(++++) /009
 KO(KU)-Y-XX-YA-N-KEN
 2120/ KO(KU)-Y-RAREN-(++++).#
 UIF KBF 146700000000 (++++) ZIBUN-DE HADA (++++) SUGU ZA NANI SI(SU)-YI-OB-TARI# XXX (++++)
 SAKI-DAR-TE-(++++) HENZI-MO YENA-GA MIR-YI-HAS-RU-DAR-DHA-NE.#
 KO(KU)-Y-XX-YA-N-TE
 KBF KBF 159100000000 TOKU-SAN-GA TOOKJOO-I NIK-YI-OB(GB)-TE NI-YI-OB-TE HADA KAPER-YI-OB-TE XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-YI-E2(DHA)-HE(SU)-YA-N-GA
 KBF/U2/ULF 574900000000 (++++) NA-I NA-I-TE NID-Y-RAREN-YI-OB-TA-(++++) DUCI-(++++) XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-YI-HAS-RU-DESE(DES)-YA-YVVB
 KAH 549300000000 HON(SON)-HAC(NARA) HATA XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-YI-HAS-RU-KA
 KBF KBF 124100000000 HUNAKOSI-MO DIZI-SAN-DHA XXX.#
 KBF KBF 124300000000 (++++)-SAN (++++) XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-YI-HASE(HAS)-YA-YVVB-(++++)
 KBF KBF 120400000000 NIMA HOO KAPER-YI-OB#-TE XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-YI-MO
 KBF UIF 805000000000 HAA DJOOKI-NI HAR-YI-OB-TE XXX SE(SU)-YA-DAR-YI-OB-TAR-NEE DO-KAA
 -CIJAN.#
 KO(KU)-Y-XX-YI-OB-(++++)
 KBF UIF 107230000000 DO-KAA-CIJAN (++++) DJUZO (++++) KONDO DUB-YI#-NI XXX.#
 KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR
 KBF UIF 171910000000 SO-RE#-KARA KISUKI-DHA TOSIKO-TO /0017200/ SO-RE#-KARA HUKO-SAN-G

A HAN POSIKAKE-YI-OB-TE KI(KU)-YI-HAS-YI-OB-TAR-DHA-TE-TE-DIOTE XXX /0017210/ DHA.#

K0F KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR-GA
889000000000 DHAO KO-KO-I HADTORESU /0008910/ DUR-YI-NI XXX.#

K0F KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR-(++++)
UUF 360700000000 GONEH-KUDASAR-Y-15(RE)-TE SI-TO-GA XXX.#

K0F KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR-(++++)-A
UUF 1072310000000 (++++) DURI-YI-NI XXX.#

K0F KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR-DHODH
UUF 1072310000000 (++++) DURI-YI-NI XXX.#

K0F UUF/K0F
1076100000000 SO-RE-DAR-DHODH (++++) DUR-YI-NI XXX KONDO-BA(DHA) DO-GE (++++)-D
AI-NE-A.#

K0F KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR-DES-RU-KA
UUF 7979000000000 SENSE-DHA KUO XXX.#

K0F KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TAR
UUF 1030200000000 SAGKI XXX DA-NO DOKUSAN DO-KO (++++).#

K0F KO(KU)-Y-XX-YI-OB-TE-A
K0F/K0F 0268000000000 BAN-HO-NE-A (++++) DUUBE-DHA DHAOD SENSE-TO-NE-A(++++) HUURU-ZUR
EM(CUREN)-YI-(++++) XXX /0082690/ SO-REH-KARA DUCI-I DAGA-R-YI-KOH-YI-OB-DE(TE)-NE-A.#

K0F KO(KU)-XX-YI-OB-TE
UUF 1292000000000 (++++) RUSU-GUJU-NI XXX /0012930/ SO-RE-GA DHATASI-GA KADER-RU* H
ADE-NO HI-DAR-YI-OB-TAR-SOO-(++++) /0012940/ DH.#

K0F KOSIRADE-Y-XX-RU-DAR-KEN
K0F 620000000000 (++++) DE(GI)-E(1)-DAR-DHODH /0062010/ HURO-BA-DHA NAWIHANIS-NO TA
T-RU-DAR-KEN-HEE /0062020/ BECU-HI XXX /0062030/ NAW-DAI KIGEN-GA DHARU-I-(++++).#

KUD-Y-XX-(++++)
K0F 1022300000000 XXX NAWO-DEHO.#

KUD-Y-XX-YA-N-DHA
K0F 117500000000 (++++) XXX.#

KUD-Y-XX-YA-N-DHA-(++++)
UUF/K0F 102220000000 (++++) SO-GEN KO-GEN XXX.#

K0F HAIR-Y-XX-YA-N-(++++)-KA

U1F K8F 659200000000 SAN-NEN-KAN XXXY#
 MAIR-Y-XX-YA-N-TO
 K8F U1F 657910000000 SO-RE-DE SAN-NEN-KAN-((+++)) XXX KQ-TOSI MAIR-YI-OB-TE-JOKU-YI-OB-TE.#
 TR.#
 K8F U2H 660100000000 NAN-DE-TE HISOGASI-I-DAR-KEN XXX SQ-QJAN KOTO.#
 MAIR-Y-XX-YI-OB-TAR-GENA-KEN-NEE
 K4F K8F/U1F 800400000000 NHATASI-TO NIOSJO-NI HAKI-MAIR-YI# S1(SU)-YI-OB-TE /0080050/00800
 60/ SO-RE-KARA HATA MAIR-YA-N(NA) NAR-YA-N-TO BID-YI-OB-TE XXX (++++).#
 MAKURE-Y-XX-YI-OB-TAR
 K4F U2H 416800000000 HAA SONOO XXX TOKI-NI /0041690/ NASI-GA DIMA-YADE DUGOK-YI-OB-TE-
 JORU-YI-OB-TE DUGOK-YA-N-((++++)) /0041700/ DOO-SAHAG-YI SE(SU)-Y-RARE-YI-OB-TAR-((+++)) /0041710/ (=
 +++) KOKAR-YI-OB-TAR.#
 .HAT-YI-OB-TE-JORU-Y-XX-YI-HAS-YI-OB-TAR-BJO
 K8F K8F 1050200000000 XXX BID-YI-OB-TE BID-YI-OB-TE-JORU-Y-RARE-YI-OB-TAR.#
 HI-Y-XX-YA-N
 U1F 103400000000 HOG-HI-YA-NAI HI-YA-NAI XXX.#
 HI-Y-XX-YA-N-DA
 K5H 372410000000 (++++)) KAHQ XXX HAR-YI-HASE(NAS)-YA-N-KA#
 HI-Y-XX-YA-N-KEN-NEE
 U1F/U2H/K8F 663600000000 TERE#BI-NO XXX.#
 K4F MOTOS-Y-XX-YI-OB-TAR-TE
 K8F K5H/U2H 428600000000 BJOOBJAKU XXX.#
 YOKAD-Y-XX-RU-DAR-DJA
 K4F U1F 484300000000 (++++)) HADA HENZJOO-GA XXX DO-GE-DAR-DJA INHAKAR-YA-N-((++++)) (++++)
 } /0018440/ DNN.#
 HONAD-Y-XX-RUK-DAR-KEN-NEE
 K8F 814320000000 DO-GE-DAI SO-RE-HODO ZAISAN-GA HAR-YI-OB-TE XXX.#
 HONAD-Y-XX-YI-HAS-RU-((++++))
 K5H 351800000000 HOM(GON)-NANARA) KOKDA KAKE-YI-OB-TE XXX.#

K4F K0H77-X-XX-YI-OB-TAR-GA
U2H/K0F 597500000000 (++++)-HO NAKNANI)-GA KEEDLO(KEEDICI)-CAN(SAN)-NO DUOSI XXX.#

U1F NADOS-X-XX-YI-OB-TAR
K0F 620700000000 HARE-NO HURO-GA TAR-RU-KEN XXX (++++) /0062080/ GASU-BURO(HURO)-H
I.#

U1F NAKUNAR-X-XX-YI-OB-TE-NEE
K0F/K0F 1031500000000 (++++) SO-NO KA-NO-SAN-NO DANNA-SAN-DHA TOO-HI XXX.#

U1F NAR-X-XX-(++++)
K0F 1054700000000 (++++)-NEE /0105460.0105490/ GO-DJ002I-NI 701IE-YI-NI XXX (++++).
#

K0F NAR-X-XX-RU*
U1F 981900000000 HOO CUUGAKU-SEE-MI XXX.#

K0F NAR-X-XX-YI-MAS-YI-OB*-TAR-NE
K9H 427300000000 DJAHANDUQ(DJAHANDUCI)-CAN(SAN)-DHA DICU-KARA KAO KAKARI*-NI XXX
-#

K0F NAR-X-XX-YI-MAS-YI-OB*-TAR-NE-A
K4F 009700000000 DANO (++++)-SAN-DHA NABO-KURAI-NI XXX.#

K0F NAR-X-XX-YI-OB-TAR
K0F/U2F 020800000000 DO-KU-DE DIOSJO-HI YI.YI#

K0F NAR-X-XX-YI-OB-TE-A
U2H/K0F/U2F 613300000000 C.ROHO BANTA ZJAHANDUC(DJAHANDUCI)-CAN(SAN)-TO DIOSJO-HI XXX.#

K4F NAR-YI-OB-TE-JORE-X-XX-RU-KEN-NEE
K0F/K0F 863800000000 MUKO)-GA DIOSJOKI HPEL-NI XXX.#

K0F NE-X-XX-RU)-KA-NE
K4F 756000000000 TO-DI-O-GI*TA KA-NI HPO-DE XXX.#

K0F NE-X-XX-YA-H-(++++)-NEE
K0F 109090000000 SO-GIT (++++) XXX.#

K4F K0H-X-XX-YI-MAS-RU-DAR-NEE
K4F 93361000000 (++++) SO-RE-LANHO HI-TORIN-DE KUSURI* XXX.#

K0F KUK-YI-OB-TE-JOR-X-XX-YI-OB-TAR-GA

[illegible]

/0020000/ SO-RE*-KARA DA-SHOK(KO)-NO DAND KARCUCU-DA-HO SAN-SEN(KEH)-NE-DAI-NI-HO DOKKI-I HU NISE
KAIZOO-SI(SU)-XI-OB-TE-NEE /002009N/ CU000 SJUHU-NO-MISE-NO-DJOO-NI XXX /002010C/ DNN.#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-RU-DHA-NE

K4F KBF 62150000000 DIMA BEDJQ-GA HADJAR-RU-DAP-XEI /006216Q/ SO-GE-NAR DA KASARE-D
E HUKOC-DHA XXX.#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-XI-MAS-RU-GA

K4F KBF 80750000000 KENKA XXX KOGOTQ-BAGKAA DIB-XI-OB-TE.#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-RU-((++))

K4F KBF 80840000000 DHAGA (++++) HORAD-XI-OB-TE /008050/ SO-RE-KARA CIKA-GOROI(KORO)-
DHA DANTA (++++) DANAR-XI-OB-TE DANAR-XI-OB-TE SIR-YA-N-KADO XXX.#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-RU-DAR-KEN-NEE

K4F KDF 91060000000 SO-GE SI(SU)-XI-OB-TARA HOD DITAN CUOTO NE-XI-OB-TE-NEE /009109
O/ DU-DJUHAN-HO (++++)-DAR-KEN-NEE /009110Q/ DA KO-BADJA(HADJA)-NI TABE-XI-OB-TE /009111Q/ HOSI(D)-R
EN-KARA NE-XI-OB-TE DOKI-((++)) NE-XI-OB-TARIH DOKI-XI-OB-TARIH /009112Q/ XXX.#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-((++))

K4F U2H/KBF/U1F 65061000000 DIKEDA-SAN-((++)) TOGREN XXX.#

K4F K4F 38991000000 KA DOBA-CJAH-DHA DIMA HOD NANI XXX.#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-RU-DJO

K4F KDF 10598000000 (++++) DJAKUBA-NO KOCUKAI-SAX XXX DIMA.#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-RU-DAR-KEN

K4F U1F/K4F 80940000000 DO-DJONE-SAN-HO SA DE(DI)-E(I)-DJA-NI XXX (++++).#

SI(SU)-XI-OB-TE-JORC-Y-XX-((++))

K4F U2H/U1F/K4F 74530000000 (++++)-KARA DANNA-SAN-DA(DHA) NANI XXX.#

SI(SU)-XI-TE-JORC-Y-XX-XI-OB-TAR

K4F U1F 101710000000 DIDA DDCIDAI-SAN (++++) KI(YU)-XI-OB-TAR-DONC-NE-A /010172Q/ (++)
++ SINPAI XXX.#

SI(H-X-XX-RU-TO

K4F KDF 88560000000 SO-RE-HADE-NI MIK-YA-OD(YVVD)-TO DOND-XI-OB-TAR-DOND /008570/
MAA XXX DIKE-YA-N-GA-YO DOND-XI-OB-TAR-DOND-NEE /008580/ DHARIMAI SINZOO-GA TASIKA-NAR-KEH-((++))
/008590/ SO-GEN TAISITA NAN(NANI)-DA HA-I-((++)) (++++).#

K8F K4F 734000000000 D1HAD-VI SE(SU)-YA-NA DO-BA-A-GJAN XXX.#
 S1N-X-XX-YI-EO(DNA)-HE(SU)-YA-RJN
 K0F K4F 935600000000 D1RJA {++++} NAN-ZO DHAZURAD-YA-NA XXX.#
 S1N-X-XX-YI-OB-TAR-KA-NE
 K8F K4F 889400000000 DAA DA-NO DOO-CAN(SAN) /008050/ XXX.#
 S1R-X-XX-YA-NA-DAR-DOHO-MAA
 K4F U1F 307400000000 {++++} D0T00-CAN(SAN)-DMA XXX.#
 S1R-X-XX-YA-NA-DAR-KEN-NEE
 U1F K4F 135100000000 D1D-VI-OB-TE-JOKD-YA-NA XXX.#
 S1ABE-X-XX-RU-SI
 K4F K8F 389800000000 SJABE-RU# KOTO-NO XXX /0038990/ TABE-RU KOTO-POI#
 TABE-X-XX-RU-DJA-N(NI)
 K5F K4F 251910000000 ZIKI XXX NAR-YI-MAS-PU-KEN.#
 TABE-X-XX-RU-TOHO
 K4F U1F 135000000000 DAA XXX HANBO-DEHO.#
 TABE-X-XX-YI-MAS-RU-KA
 U1F K4F 134910000000 DE XXX1#
 TABE-YI-OB-TE-JORU-X-XX-YI-OB-TAR-GENA
 K4F U1F 307000000000 BAKUTAI KANE XXX.#
 TANDH-X-XX-YI-OB-TAR-TOKO-1
 K3F U1F 115800000000 SO-RE#-DE SITO-GU-DJA HUTA-CU {++++} XXX POT-YI-OB-TE-IRG(IK)-RU
 -NON(HONO)-DAR-KEN-NE-A.#
 TANDH-X-XX-YI-OB-TAR
 K5F U1F 225600000000 PAN-DJA-SAN {++++} CUGIOTO-PAN-DJA {++++} XXX.#
 TABE-X-XX-RU-SI-TE-NE-A
 K8F K4F 599500000000 DIDE-DJA-NANKA-NARA DATO-DE-DEHO XXXI#
 TATE-X-XX-YI-MASE(HAS)-YA-DE
 K5F K4F 272100000000 DICU-KOSO TATE-YI-MAS-RUDJARA DOKUSAN MAKANAKA XXX.#
 TATE-YI-OB-TE-JORU-X-XX-RU-DAR-HOH(HOH)

K8F KAH 540900000000 MINNA NIJE XXX.#
 TOOR-X-XX-DE-NE-A
 U1F K5F 2864000000000 NA XXX.#
 TOOR-X-XX-XA-DE
 K5F U1F/K5F 2865000000000 NAA NE KO-KO-GA XXXI#
 TOOR-X-XX-XI-HASE(HAS)-XA-H-KA
 K4F K5F 2870000000000 SO-KO-DHA XXXI#
 TOMAR-X-XX-XA-N-GA
 K8F U2H 7235000000000 DATA: XXX.#
 TOOR-X-XX-(-+++) U1F/K4F
 WA) DATO-GAIR(KAIR)-XI S(SU)-XI-MAS-RU-GA-TE-DID-XI-OB-TE DID-XI-OB-TARA DE(DI)-E(I)-GA-NE (++) D
 AR-XI-OB-TARA KO-NA DANO DOO-CAN(SAN)-GA DANO TOOR-X-RE-XE-TE DID-X-RARE-XI-OB-TAR-KEN-TE-DID-XI-OB-
 TE DID-XI-OB-TE-UORE-X-RJA RE(DI)-E(I)-DHA.#
 TOOR-X-XX-XA-DE-NE-A
 K5F U1F/K4F 2318000000000 (++) HI-XI-OB-TE-JORB-XI-OB-TARA HUTO-GA TOOR-X-RARE-XI-OB-TAR
 -HON(HONO)-DAR-(-++) /0023190.0023200/ (++)-TO DHOH-XI-OB-TE DIK-XI-KAKE-XI-OB-TARA-NE-A /002321
 O/ KE HONNI XXX /0023220/ SO-KO HCH(SOH)-HARA DATO-GAIR(KAIR)-XI S(SU)-XI-OB-TE DANO (++) MADHAR
 -RU-DAR-DHA-TO DHOH-XI-OB-TE-JORB-XI-OB-TARA /0023230/ DANO ZIDDOOSJAI#
 TOOR-X-XX-XA-N
 K4F U1F 1527000000000 XXX.#
 TOOR-X-XX-XI-MASE(HAS)-XA-H-DHA-NE
 U1F K4F 1526100000000 XXX.#
 TOOR-X-XX-XI-OB-TAR-HON(HONO)-DAR-(-++) U1F/K4F
 2319000000000 (++) HI-XI-OB-TE-JORB-XI-OB-TARA HUTO-GA XXX /0023190.0023200/
 (++)-TO DHOH-XI-OB-TE DIK-XI-KAKE-XI-OB-TARA-NE-A /0023210/ KE HONNI TOOR-X-RARE-XA-DE-NE-A /002
 3220/ SO-KO HON(SOH)-HARA DATO-GAIR(KAIR)-XI S(SU)-XI-OB-TE DANO (++) MADHAR-RU-DAR-DHA-TO DHOH
 -XI-OB-TE-JORB-XI-OB-TARA /0023230/ DANO ZIDDOOSJAI#
 TOH-X-XX-(-++) K4F U2H 7103000000000 (++) ROKUDON-DHA XXX.#

U1F K4F 29860000000 DOBA-SAN-TOKO-SJACI-JAB(DHA) TOTENO DE(MI)-E(I) HOOKE-YI XXX.#
 SE(SU)-Y-XX-YI-MAS-YI-OB-TAR-NEE
 K4F 1003700000000 DHN TAISJOKU XXX.#
 SE(SU)-Y-XX-YI-OB-TAR-(++++)
 K4F U2H 41680000000 HAA SONOO MAKUREN-Y-BAKE-YI-OB-TAR TOKI-MI /0041690/ MASI-GA BIH
 A-HADE HUGOK-YI-OB-TE HUGOK-YA-N-(++++) /0041700/ DOO-SAMAG-YI XXX /0041710/ (++++) KO
 MAR-YI-OB-TAR.#
 RAPREX(RARE)-
 SE(SU)-Y-XX-RU-NE
 K4F K4F/U2K/U1F 68150000000 HAN-SITE BA-GE-(++++) KOTO (++++) BIHAN XXX.#
 SE(SU)-Y-XX-YI-DJOR-YI-OB-TAR-GA
 K4F K4F/U1F/K4F 93080000000 (++++) XXX.#
 SE(SU)-Y-XX-YI-MAS-YI-OB-TAR-NE-A
 K4F 90620000000 SO-RE-JAB(DHA) BI-I KOTO XXX.#
 SE(SU)-Y-XX-YI-NAR-RU-DAR-XEN-NEE
 K4F 93221000000 NAN-(++++) ZJAZJA XXX.#
 SE(SU)-Y-XX-YI-OB-TAR-RJO
 K4F K4F/U1F 86650000000 DANO-NEE CJANTO DE-YI-OB-TE-(++++) TAISACU XXX.#
 RU-
 DIJ-Y-SADSJAR-XX-KA
 K4F 94380000000 (++++) XXX.#
 RU-
 (++++)-DAR-YI-OB-TAR-HON(HONO)-DES-XX-KER
 K4F U2H 76680000000 KINGO KOTOZUKE-YI-DO /0076690/ KINGO XXX.#
 (++++)-DES-XX-(++++)
 K4F U2H 46340000000 SO-NO HITO-NO XXX.#
 (++++)-DES-XX-DAR-DHA-NE
 K4F/U1F 22780000000 HAAH XXX.#
 (++++)-DES-XX-GA
 K4F U1F 97520000000 MINNA GENKI XXX.#

3.3.2. 65 MATUE 7 B.

リクエストした諸項目のうち、DAR, DES, MAS, NASAIMAS, NASA-INS, NASAR, RARE, SAN についての処理結果の中から、U1F (主婦) を話し手とし、K5F (野菜売りの婦人2), K8F (長女), K9M (山陰合同銀行員), U2M (主人) を聞き手とした、四つの場合を例として示す。0. 4. 2. III-5, 2. 3. 3. 7) (=参照。ただしここでは、印刷の都合で、ラインプリンタからの output の形式そのままではなく、同じ内容を組みかえて示した。

U1F : K5F

DAR-	
××-KEN	00228700000000
カ ATAR-ヱI-MAS-RU-××-(++++)-NE	00230110000000
NAMA-ZUKE(CUKE)-ヱI-××-GA-NE	00261500000000
カ AN-NAR-××-KEN	00287300000000
カ E(カI)-E(I)-××-カWA-NE	00238800000000
DES-	
SO-GE-××-ヱI-OB-TAR-KA-I-NE-A	00215800000000
SO-GE-××-RU-KA	00219200000000
SOO-××-RU-(++++)	00230700000000
カJO(カI)-KAR-ヱI-OB-TAR-××-RU-GA-NE	00234300000000
SOO-××-ヱI-OB*-TAR-KA	00254200000000
カI-I-××-RU-KA	00260700000000
KIRAI-××-RU-GA	00265700000000
MAS-	
SUM-ヱI-××-ヱI-OB*-TAR-KA	00213800000000
DE-ヱI-OB-××-ヱI-OB-TAR	00215300000000
SUM-ヱI-××-ヱI-OB-TAR-NE	00220110000000
MORAカ-ヱI-××-RU	00223400000000
CUKE-ヱI-××-RU-カWA	00224100000000
カ ATAR-ヱI-××-RU-DAR-(++++)-NE	00230110000000
MASE (MAS)-	
カAR-ヱI-××-ヱA-N	00222700000000
NASAINS-	
カ ATAR-ヱI-××-ヱRE	00216320000000
NASAR-	
カAGAR-ヱI-××-ヱ-Iセ (RE)	00212300000000
カ ATAR-ヱI-××-ヱ-Iセ (RE)	00215110000000
HII-ヱI-××-RU-カWA-NE	00220700000000
カ ATAR-ヱI-××-ヱ-Iセ (RE)	00221900000000
カ ATAR-ヱI-××-ヱ-Iセ (RE)	00222410000000
カ ATAR-ヱI-××-ヱ-Iセ (RE)	00226300000000
DE-ヱI-××-RU-TO	00231200000000
TABE-ヱI-××-ヱ-Iセ (RE)	00270800000000
SAN-	

カOBA-××	00211000000000
カO-KJAKU-××-(++++)	00216500000000
カO-KJAKU-××-DA	00222700000000
NAN-DAI-××	00224800000000
MACUBABA-××	00225400000000
カOBA-××	00230100000000
カOBA-××	00235700000000
カOBA-××	00254500000000
カOBA-××	00268600000000
カOBA-××	00269100000000
カOBA-××	00281100000000
カOBA-××	00282400000000

U1F:K8F

DAR-

(++++)-××-カWA-NE	00354100000000
SUTEKI-××-カWA	00357300000000
カWAKAR-RU-××-DOMO	00430000000000
KIRE*E-××	00437800000000
SOO-××	00440300000000
SU-RU*-××	00441300000000
NAN-PONDO-××-NE	00443000000000
NAN-××-カWA-NE	00527400000000
カIQSJO-××-KEN-NE	00590300000000
(++++)-××-KEN	00601110000000
KOTO-××-カWA-NE	00607000000000
GO-ROKU-××-カJO	00609600000000
MON(MONO)-××-(++++)	00609610000000
DO-KO-××-ヱA-YVㄥ(YVVㄥ)-KA-NA	00611310000000
TOKUBECU-BANGUMI-××-カWA	00652200000000
TAKUSAN-××	00669110000000
KOTO-××-カWA	00669500000000
DE-ヱI-OB-TE-JORㄥ-RU*-××-KEN	00679300000000
(++++)-××	00740800000000
カOMOカ-ヱ-RARE*-ヱI-OB-TAR-××-カWA-NE	00804600000000
SUKI-××-NE	00817200000000
GOS-RU-××-カWA	00897200000000
NANBO-××-NE	01072700000000
ZJUU-カEN-GURAI(KURAI)-××-ヱI-OB-TARA	01073200000000
(++++)-××-DOMO-NEE	01082600000000

MAS-

DE-ヱI-××-ヱI-OB*-TAR-(++++)	00352210000000
カJAR-ヱI-OB-TE-AGEㄥ(カAGE)-ヱI-××-RU-ZE	00558600000000
SI(SU)-ヱI-××-RU-ZE	00579300000000
カAGE-ヱI-××-RU	00843800000000

NASAR-

SUカWAR-ヱI-××-ヱ-Iㄥ(RE)	00440330000000
SI(SU)-ヱI-××-ヱ-Iㄥ(RE)	00440910000000
KI(KU)-ヱI-××-ヱ-Iㄥ(RE)	01014500000000

RARE*-

NAカOS-ヱ-××-ヱI-OB-TAR	00620700000000
----------------------	----------------

MAIR-ㄣ-××-ㄣA-N-(++++)-KA	00659200000000
KO-(KU)-ㄣ-××-RU*	00741200000000
カOMOカ-ㄣ-××-ㄣI-OB-TAR-DAR-カWA-NE	00804600000000
SAN-	
SIZU-××-NEE	00356200000000
NEE-××	00356600000000
NOBOO-××-NO	00356600000000
SECUKO-××	00390600000000
SECUKO-××	00394110000000
カO-TOO-××-カWA	00396310000000
KEN-××	00397100000000
HIRO-××	00399000000000
カO-BAA-××-TOKO-MO	00412000000000
カOMAI-××	00430000000000
SAKURAI-××-(++++)	00435900000000
カOMAI-××	00474200000000
カOMAI-××	00474200000000
KANDA-××-NO	00547400000000
カJACIカJOKO-××-TO	00564800000000
CJABO-××-(++++)-NI	00600800000000
カOMAI-××	00607000000000
MOTOME-××-TOKO-NO	00633700000000
HUZHARA-MOTOME-××-TE	00634100000000
××-NEN-KAN	00659200000000
××-KA-GECU	00740810000000
カOMAI-××	00829700000000
カO-TOO-××	00852500000000
SECUKO-××	00875500000000

U 1 F : K 9 M

DES-	
SO-GE-××-RU-KA-(++++)	00363600000000
カAR-ㄣI-OB-TAR-MON(MONO)-××-RU-NEE	00369200000000
SO-GE-××-RU(++++)	00370300000000
SOO-××-RU-KA	00371900000000
HOO-××-RUKA	00373600000000
SO-GE-××-RU-KA-NE	00373900000000
MAS-	
カAR-ㄣI*-××-ㄣI-OB*-TAR-(++++)	00370600000000
カAR-ㄣI-××-RU-KEN	00371700000000
KAカWAR-ㄣI-××-ㄣI-OB*-TAR-GENA-NE-A	00373400000000
カITAS-ㄣI-××-ㄣI-OB*-TE	00431800000000
MASE (MAS)-	
KI(U)-ㄣI-××-ㄣA-N-(++++)	00363100000000
カAR-ㄣI-××-ㄣA-N-KA	00373410000000
NASAINS-	
NAR-ㄣI-××-ㄣI-OB*-TAR-NE-A	00369900000000
SAN-	
カO-TOO-××	00363100000000
TAMURA-××-TO	00368500000000

U1F:U2M

DAR-

(++++)-NO-カJA-××

00001700000000

カIカ-ヱI-OB-TE-JORセ-RU-××-DOMO-NEE

00025900000000

DE-RU-××-カWA-NE

00044300000000

MODOR-RU-××

00048500000000

NAN-××-KEDO-NEE

00048900000000

(++++)-××-ヱI-OB-TAR-(++++)

00495600000000

NAR-ヱA-N-××-(++++)

00496810000000

DES-

DO-GE-××-ヱI-OB*-TAR-KA-NE

00014000000000

MAS-

カOCI-ヱI-××-ヱI-OB*-TAR

00001200000000

DEKI-ヱI-××-ヱI-OB-TAR-DE

00044900000000

カO-KAIR-ヱI-××-RE

00045500000000

NURE*-ヱI-OB-TE-JORセ-ヱI-××-RU-KA

00046200000000

NASAR-

カJAME-ヱI-××-ヱ-Iセ(RE)

00562500000000

RARE*-

カOR-ヱ-××-RU*

00028510000000

カIカ-ヱ-××-ヱI-OB-TAR-(++++)

00413210000000

カOK-ヱI-OB-TE-JORセ-ヱ-××-ヱI-Eウ(カWA)-HE(SU)-

00495200000000

ヱA-N-(++++)

00631000000000

カOKUR-ヱ-××-(++++)-NE

00631000000000

SAN-

MINA-××-GA

00048900000000

NOBOO-××-カWA

00495200000000

SITEN-CJOO-××

00534000000000

SITENCJOO-××

00534600000000

カOMAI-××

00663410000000

3. 4. 松江調査関係文献。

石綿敏雄

- 1965 「外来語の普及度—松江市での調査から—」
(『言語生活』No. 161, 1965—2)

国立国語研究所

- 1965 a 「国民各層の言語生活の実態調査 (B) (松江調査の概要)」(『国立国語研究所年報』15)
- 1965 b 「松江調査の結果」(1965年2月に松江市で行なわれた報告講演会の際の配布資料)
- 1967 「電子計算機による話しことば資料の分析・処理の研究」(『国立国語研究所年報』18)
- 1969 「言語情報処理に関する基礎的研究」(『国立国語研究所年報』19)

齋賀秀夫, 松本昭ほか

- 1965 「座談会, 敬語調査法をたしかめる」(『言語生活』No. 162, 1965—3)

林四郎

- 1966 「言語行動のタイプ」(『文体論入門』三省堂)
- 1967 「私たちの生活とメモ」(『言語生活』No. 192, 1967—9)

南不二男

- 1965 「この人の敬語行動—松江 24 時間調査から—」(『言語生活』No. 162, 1965—3, 講座「ことばの生活」第3巻, 筑摩書房, 1967に再収)
- 1969 a Some Remarks on Honorific Expressions in Modern Japanese (1969年2月, オーストラリア, パースの西オーストラリア

大学で行なわれた, Australian Universities Language and Literature Association の第12回大会における発表の際の配布資料)

1969 b 「形態音韻論」(『数理科学』7—11, 1969—11)

1970 「松江 24 時間調査における『談話』について」(LDP <国語研究所第一資料研究室, 第三資料研究室, 言語計量調査室月報別冊> No. 7, 1970—11)

渡辺友左

1965 a 「言語生活研究覚え書き」(『国立国語研究所論集ことばの研究』第2集)

1965 b 「マス・メディアと市民——長岡市と松江市の市民の場合——」(『新聞研究』No. 166, 1965—5)

1968 『家庭における子どものコミュニケーション意識』(国立国語研究所報告 33)

3.5. 索引。

項目は以下のように分類してあげた。

- (1) 会話・談話・待遇表現関係事項
- (2) 待遇表現関係要素・言語形式
- (3) 言語単位・文法用語その他
- (4) 資料・テキストの種類・表記その他
- (5) プログラム関係
- (6) レコード形式
- (7) 作表形式

それぞれにおける項目の並べ方は五十音順。ただし、ローマ字表記のものはそれだけまとめてアルファベット順であげた。なお、あげてあるページは、それぞれの事項についてとくに重要と思われる箇所だけである。

〔会話・談話・待遇表現関係事項〕		聞き手	5, 15, 16, 34, 76
あいさつ	35~40, 73~74	きまり文句	36, 38
相手	36~37, 56~57	くだけ	35~36, 38
遊び	36~37	けんか	36~38
悪口・非難・不平	36	個人うわさ	36, 39
あらたまり	35~36, 38~39	ことばの調子	35~38
おこり	36, 38, 81	参加者	34, 106~117
教え・さしず	36~37, 81	～の種類	42~46
おしつけ	36, 38	思考	36~37
おしゃべり	35~37, 39, 74~75	しらせ・用談	36~39, 74~75
会話	5~8, 78~79	親せき	42
会話（談話の集りとしての）	34	事務・用事	36
～の構造	73~75	世間・時事	36
感覚・感情	36, 38	尊敬表現	13, 30, 52~57, 71~72, 75~76, 119~120
関係者	56~57, 70~71, 76	待遇表現の意味（内容）	75~76
感謝・賞讃	36	第三者	56~57, 70~71
感情の直接表現	36		

談話	15, 33~41, 72~ 73, 79~81
～の種類	35~39
～の認定	34~35, 80~81
～の分類	35~39
つくり話・うそ	36
ていねい表現	13, 30, 46~52, 73~75, 118~119
同居家族	6, 8, 12, 42~ 46
泣き	36
日常・身辺・家庭	36, 39
発話者	6, 8~10
話し手	5, 14~16, 34, 76, 78
話し手, 聞き手の組 み合わせ	50~52, 60~61, 74~75
非親せき	42
ひとり	36, 38
皮肉	36~38
ふつう (ことばの調 子)	36~39
文章	5, 15, 28
へりくだり	36, 38
訪問者	3, 5~6, 8, 12, 25
みうち	45~46, 51~52, 60~61, 74
昔話	36, 38
要求表現	13, 30, 57~61, 121~122
呼び名	13, 62~72, 75~ 76, 123~126
話題	35~36, 38
communication 上の function	14, 35~37, 79 ~80
discourse	15, 28

〔待遇表現関係要素・言語形式〕

親族称呼だけ	62~72, 123~124
親族称呼 + CJAN	62~72, 123~124
親族称呼 + SAN	62~72, 123~124
姓だけ	62~72, 123~124
姓 + SAN	62~72, 123~124
姓 + 名だけ	62~72, 123~124
姓 + 名 + SAN	62~72, 123~124
姓 + 名 (略) + SAN	62~72, 123~124
名だけ	62~72, 123~124
名 + CJAN	62~72, 123~124
名 + SAN	62~72, 81, 123 ~124
名 (略) + CJAN	62~72, 123~124
名 + 親族称呼 + SAN	62~72, 123~124
ANATA	62~72, 125~126
ANOSAN	62~72, 125~126
ANTA	62~72, 81, 125 ~126
BOKU	62~72, 125~126
CJODAI	31~32, 57~61
cjoodai	31~32, 57~61, 121~122
DAR	30~33, 46~52, 78, 81, 118~119, 219~220, 222
DARESAN	62~72, 125~126
dawa	31~32, 121~122
DONATA	62~72, 125~126
DES	30~33, 46~52, 78, 81, 118~119, 131~155, 219~222
GOS	31~32, 57~61
gosinai	31~32, 57~61, 121~122
gosudawa	31~32, 57~61, 121~122

GOZAIMAS	30~32, 46~52, 127~129
GOZAINS	30~32, 46~52, 127~130
kudasai	30~32, 57~61, 121~122
KUDASAIMAS	30~32, 57~61
kudasaimase	30~32, 57~61, 121~122
KUDASAINS	30~32, 57~61,
kudasaiNse	30~32, 57~61 121~122
KUDASAR	30~32, 57~61
MAS	30~32, 46~52, 156~192, 220~223
nai	30~32, 57~61, 121~122
NAR	30~32, 52~61, 119~120
nasai	30~32, 57~61, 121~122
NASAIMAS	30~32, 52~61, 119~120
nasaimase	30~32, 57~61, 121~122
NASAINS	30~32, 52~61, 119~120, 220, 222
nasaiNse	30~32, 57~61, 121~122
NASAR	30~32, 52~61, 119~120, 220 ~ 221, 223
OMAI	62~72, 125~126
OMAI SAN	62~72, 125~126
RAE	30~32, 52~57, 119~120, 193~

	194
RARE	30~32, 52~57, 119~120, 193~ 218, 220~222
RE	30~33, 57~61
SAQSJAR	30~32, 52~57, 119~120
UCI	62~72, 125~126
WASI	62~72, 125~126
WATAKUSI	62~72, 125~126
WATASI	62~72, 125~126
〔言語単位, 文法用語その他〕	
音素	15
間投助詞	33
疑問文	11, 27
形態音素	11
形態素	13, 15, 16, 30~ 33
～の段階 (処理の 過程における)	18~20, 96~104
～の連続	13
接続助詞	33
終助詞	33
単語	15
短語	(形態素を見よ)
中断文	11, 27
長語	(文節を見よ)
発話	7~8, 12
普通文	11, 27
文	5~6, 11, 15, 16, 28~29
～の種類	11, 27
～の段階 (処理の 過程における)	17~18, 83~90
文節	5~6, 16
～の段階 (処理の	18, 90~96

過程における)		65 MATSUE 6	18, 82, 90~91
命令形	33	65 MATSUE 6A	18, 82, 93~95, 127~130
〔資料・テキストの種類・表記その他〕		65 MATSUE 6B	18, 82, 95~96
音韻表記	11, 26	65 MATSUE 7	19, 83, 96~97
～テキスト	10~11, 76~77, 85	65 MATSUE 7A	19, 83, 101~103, 127~143
音声表記テキスト	10, 76~77	65 MATSUE 7B	20, 83, 103~104, 219~222
形式不明の表記	26	65 MATSUE 8	18, 83, 91~93
形態音韻表記	11, 25~26	65 MATSUE 90~91	19, 83, 97~99
～テキスト	11, 76~77, 83~85	65 MATSUE 9A	19, 83, 99~101
形態素の切れ目	11, 26	65 MATSUE PLT	82~83
形態素の表記	25~26	〔レコード形式〕	
形態素の連続の表記	26	形態素(短語)段階	96~97
促音(ッ)(の表記)	26	マスターファイル	
談話番号	40	のレコード形式	
長母音にあたる母音	26	<2.3 3.1>(ニ)	
音素の連続の(表記)		の出力 M/T に同	
撥音(ン)(の表記)	26	じ>	
発話なしの表記	26	原始入力紙テープの	83~85
話し手:聞き手コード	11, 25, 84	レコード形式	
付加情報	10~11, 16~19	短語リスト M/T の	98~99
文節の切れ目	11, 26	レコード形式	
文の切れ目	11, 26	長語リスト M/T の	92
文番号	11, 27, 40, 84	レコード形式	
文字化資料	10~12, 76~77	文節(長語)段階マ	91
ヤ行音, 拗音の半母音	26	スターファイルの	
にあたるもの(の表記)		レコード形式	
録音資料	10	文段階マスターファ	89
〔プログラム関係〕		イルのレコード形	
フローチャート	20~24	式	
65 MATSUE	16~17	〔作表形式〕	
65 MATSUE 1	17, 82, 85~87	度数付短語リストの	99
65 MATSUE 2	17, 82, 87~89	作表形式	
65 MATSUE 3	17, 82, 89~90		
65 MATSUE 5	18, 82, 90		

度数付長語リストの 作表形式	92~93	65 MATSUE 7A の 作表形式	102, 127~143
65 MATSUE 6A の 作表形式	95, 127~130	65 MATSUE 7B の 作表形式	103~104, 219~ 222
65 MATSUE 6B の 作表形式	96		

3. 6. Summary

The purpose of this report is to show some of the results of an investigation into honorific expressions spoken in a local community in Japan. Since the analysis of the data is not complete, definite conclusions in all respects have not been reached. Only some facts about the system of honorific expressions and outlines of the processing of the materials are presented here.

The present study is based on the materials obtained by a so-called "one-day investigation of verbal behavior" carried out in Matsue (population about 110,000), the capital of Shimane-prefecture in western Japan. The investigation was a part of the research project on "linguistic life" (this term covers various aspects of language use in daily life) in a local community conducted by the National Language Research Institute in 1963.

Two points might be mentioned as the characteristics of the present study: first, the analysis of honorific expressions in the materials was consistently made from the point of view of discourse. Since every actual use of honorific expressions in the materials is always found in a discourse, many of the conditions relating to the selection of the elements of honorific expressions should be revealed by the analysis of discourse. In this study, all discourses in the materials were classified into several categories according to their functions in verbal communication (greetings, conversation for business, chatting etc.), tone of speech (neutral, joking, ironical, complaining etc.) and topics (matters in daily life, business, gossip etc.). And every actual use of the honorific expressions including polite expressions, exalted expressions, demand expressions and personal names as well as pronouns were examined in each category of the discourse. For example, a definite difference among the morphemes used in exalted expressions was found in examining the discourses in which they appeared; -RARE- appeared, in most cases, in the discourses of gossip and was used for the third person 194 times out of a total of 201. On the

other hand, -NASAR- mainly appeared in the discourses of topics related to daily life or business matters and was used for the addressee 54 times out of a total of 60. Secondly, the computer system of the institute was used for the processing of the materials. The institute has been carrying out a large scale investigation into the vocabulary in newspapers since 1965, using the computer. However, the present study is the first attempt at the institute in processing colloquial language materials. Lists of morphemes and words with their frequencies and other lists with contexts in KWOC form were made for further linguistic analysis. Although co-operative relationships between the linguistic analysis and the processing by computer remain to be improved in many respects, the attempt will suggest some clues for the development of study in this field.

In this study, Fujio Minami was mainly in charge of linguistic analysis and Akira Matsumoto in charge of processing of materials.

昭和46年3月

国立国語研究所

東京都北区稲付西山町

電話東京(900)3111(代表)

UDC 809.56-085.5-093.16:681.3

NDC 810.9

本書の市販品発行所

東京都新宿区市谷加賀町2の30 (260) 5281

株式会社 秀英出版

国立国語研究所刊行書一覧

国立国語研究所報告

1	八丈島の言語調査	秀英出版刊	品切れ
2	言語生活の実態 ——白河市および付近の農村における——	〃	〃
3	現代語の助詞・助動詞 ——用法と実例——	〃	700円
4	婦人雑誌の用語 ——現代語の語彙調査——	〃	500円
5	地域社会の言語生活 ——鶴岡における実態調査——	〃	600円
6	少年と新聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	〃	180円
7	入門期の言語能力	〃	200円
8	談話語の実態	〃	品切れ
9	読みの実験的研究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析——	〃	〃
10	低学年の読み書き能力	〃	〃
11	敬語と敬語意識	〃	〃
12	総合雑誌の用語 (前編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
13	総合雑誌の用語 (後編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
14	中学年の読み書き能力	〃	400円
15	明治初期の新聞の用語	〃	品切れ
16	日本方言の記述的研究	明治書院刊	〃
17	高学年の読み書き能力	秀英出版刊	〃
18	話しことばの文型 (1) ——対話資料による研究——	〃	800円
19	総合雑誌の用字	〃	品切れ
20	同音語の研究	〃	550円
21	現代雑誌九十種の用語用字 (1) ——総記および語彙表——	〃	1,000円
22	現代雑誌九十種の用語用字 (2) ——漢字表——	〃	1,000円

23	話 し こ と ば の 文 型 (2) ——独話資料による研究——	"	550円
24	横 組 み の 字 形 に 関 す る 研 究	"	350円
25	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (3) ——分 析——	"	1,000円
26	小 学 生 の 言 語 能 力 の 発 達	明治図書刊	2,100円
27	共 通 語 化 の 過 程	秀英出版刊	品切れ
28	類 義 語 の 研 究	"	750円
29	戦 後 の 国 民 各 層 の 文 字 生 活	"	400円
30—1	日 本 言 語 地 図 (1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30—2	日 本 言 語 地 図 (2)	"	"
30—3	日 本 言 語 地 図 (3)	"	8,000円
30—4	日 本 言 語 地 図 (4)	"	8,000円
31	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究	秀英出版刊	450円
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	"	250円
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	"	350円
34	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (Ⅱ)	"	450円
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	"	450円
36	中 学 生 の 漢 字 習 得 に 関 す る 研 究	"	5,000円
37	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査	"	1,300円
38	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査 (Ⅱ)	"	2,800円
39	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (Ⅱ)	"	700円
40	送 り が な 意 識 の 調 査	"	1,500円
41	待 遇 表 現 の 実 態 ——松江24時間調査資料から——	"	900円

国立国語研究所資料集

1	国 語 関 係 刊 行 書 目 (昭和17～24年)	秀英出版刊	品切れ
2	語 彙 調 査 ——現代新聞用語の一例——	"	"
3	送 り 仮 名 法 資 料 集	"	"
4	明 治 以 降 国 語 関 係 刊 行 書 目	"	300円
5	沖 縄 語 辞 典	大蔵省印刷局刊	3,000円

6	分類語彙表	秀英出版刊	1,100円
7	動詞・形容詞問題語用例集	"	1,700円
8	現代新聞の漢字調査(中間報告)	"	500円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	"	750円
3	ことばの研究 第3集	"	800円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭和24年度	品切れ	12	昭和35年度	350円
2	昭和25年度	"	13	昭和36年度	160円
3	昭和26年度	160円	14	昭和37年度	220円
4	昭和27年度	品切れ	15	昭和38年度	250円
5	昭和28年度	240円	16	昭和39年度	250円
6	昭和29年度	200円	17	昭和40年度	250円
7	昭和30年度	品切れ	18	昭和41年度	300円
8	昭和31年度	220円	19	昭和42年度	300円
9	昭和32年度	200円	20	昭和43年度	350円
10	昭和33年度	品切れ	21	昭和44年度	400円
11	昭和34年度	220円			

国語年鑑 秀英出版刊

昭和29年版	450円	昭和38年版	950円
昭和30年版	600円	昭和39年版	品切れ
昭和31年版	品切れ	昭和40年版	1,100円
昭和32年版	"	昭和41年版	1,100円
昭和33年版	"	昭和42年版	1,100円
昭和34年版	"	昭和43年版	1,200円
昭和35年版	550円	昭和44年版	1,500円
昭和36年版	800円	昭和45年版	1,500円
昭和37年版	品切れ		

高 校 生 と 新 聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共著	金沢書店刊	品切れ

SOME ASPECTS OF HONORIFIC EXPRESSIONS

— in special reference to discourse —

Foreword

0. Introduction

- 0.1. Purpose of the report
- 0.2. Outline of the Matsue investigation
- 0.3. One-day investigation of verbal behavior
- 0.4. Linguistic analysis and processing of materials
- 0.5. Explanatory notes

1. Analysis

- 1.0. Structure of honorific expressions in the Matsue dialect
- 1.1. Discourse
- 1.2. Kinds of discourses and kinds of speakers
- 1.3. Polite expressions
- 1.4. Exalted expressions
- 1.5. Demand expressions
- 1.6. Personal names and pronouns
- 1.7. Remarks on further studies

2. Processing of materials

- 2.1. Purpose of the processing
- 2.2. 65 MATSUE PLT (program library tape)
- 2.3. Outline of the actual method of processing
- 2.4. Remarks on some problems in the processing

3. Appendices

- 3.1. Tables of numbers of discourses and sentences according to kinds of speakers
- 3.2. Tables of numbers of elements of honorific expressions according to kinds of discourses
- 3.3. Samples of output
- 3.4. Bibliography
- 3.5. Index
- 3.6. Summary

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE

TOKYO 1971